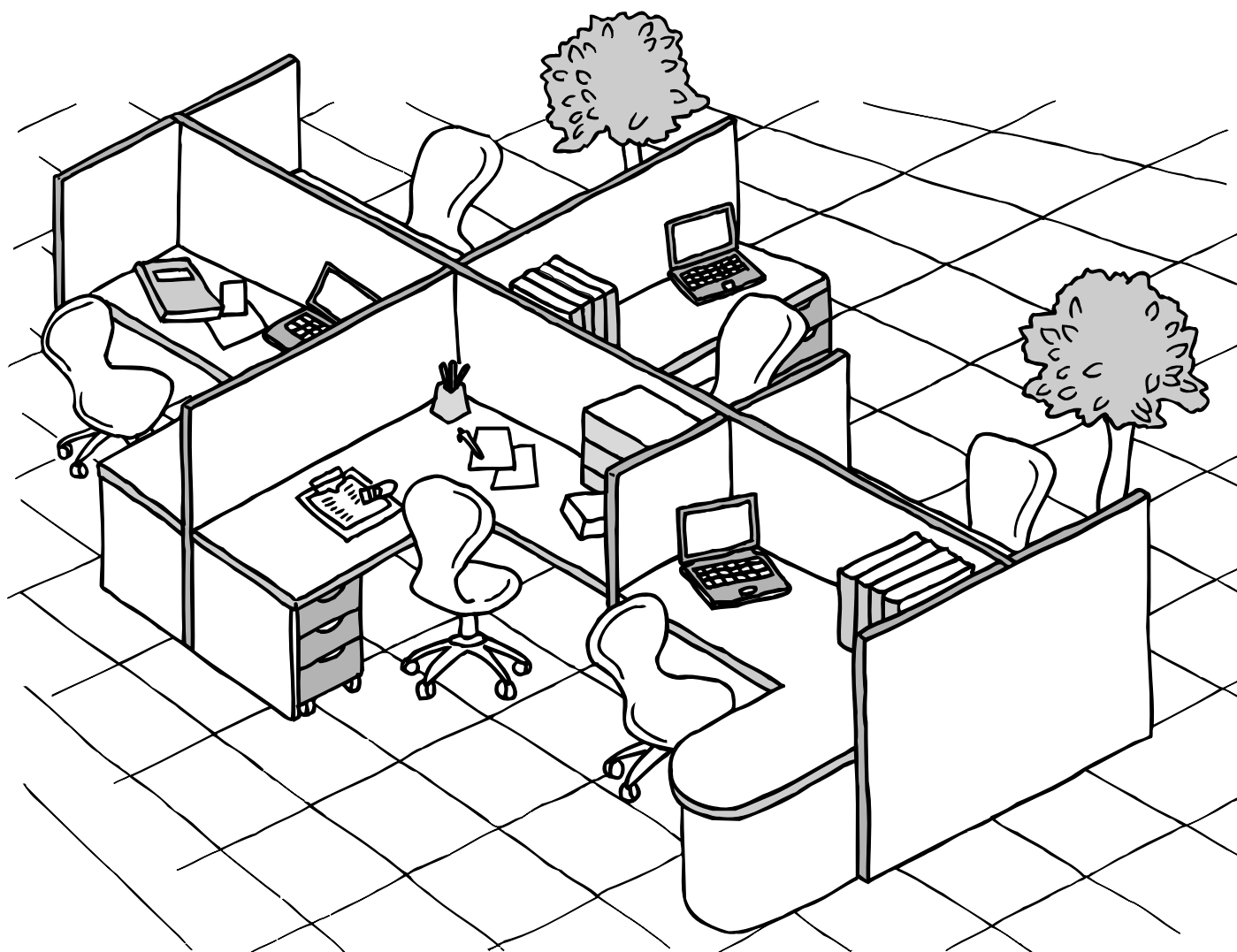
Panasonic®

取扱説明書

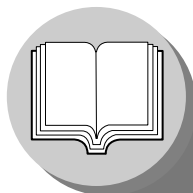
(G3通信／インターネットFAX／Eメール編)
レーザー普通紙ファクシミリ

品番 UF-9000

WORKIO

このたびは、パナソニックレーザー普通紙ファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■ お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

上手に使って上手に節電

お使いになるまえに
ファクス基本編
インターネットFAX/Eメール（基本編）
ファクス応用編
インターネットFAX/Eメール（応用編）
登録編
リスト・レポート
トラブル
その他

はじめに

オフィスにピッタリ、1 台5 役+ α です

コピー機として

・コピーサイズ：はがき～A4
原稿サイズ：はがき～A4
・精細写真原稿から文字原稿まで、原稿の種類に応じたコピーができます。

ネットワークプリンターとして

・パソコンのネットワーク共有プリンター（600dpi）として使用できます。

ファクス機として

・G3通信（ファクス）機として使用できます。
・更に、便利なインターネットFAXやEメール機能を標準装備しております。

ネットワークスキャナーとして

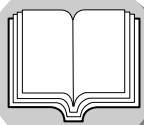
・カラー／モノクロネットワークイメージスキャナーとして使用できます。（モノクロ：600dpi、カラー：300dpi）

アプリケーションソフト

・装置設定、ステータスモニター、Document Management System等の機能を標準ソフトウェアとして添付しております。このソフトウェアにより、上記の機能を更に便利に使用できます。

取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は、〈本体管理／コピー／ネットワークスキャナー編〉と〈G3 通信／インターネットFAX ／ E メール編〉を印刷本、〈プリンター編／ Document Management System 編〉を別添付のCD にて提供しております。

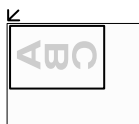
本体管理／コピー／ネットワークスキャナー編	本機の共通操作（用紙／トナー補給、紙づまり処置方法、各種ファンクション設定など）とコピーやネットワークスキャナーの操作について説明をしています。
G3 通信／インターネットFAX ／ E メール編〈本書〉	ファクス機能、インターネット FAX 機能やE メール機能の使いかたについて説明しています。
プリンター編／ Document Management System 編（CD）	プリンター、アドレス帳、装置設定、ステータスモニター、Document Management System 機能の使いかたや、困ったときの対処方法などを検索が便利な CD で説明しています。

本取扱説明書の概要

お使いになるまえに
ファクス基本編
インターネットFAX／
Eメール（基本編）
ファクス応用編
インターネットFAX／
Eメール（応用編）
登録編
リスト・レポート
トラブル
その他

はじめに

アイコン、イラスト説明

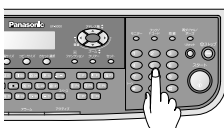
各アイコン、イラストの説明

ADF に原稿をセットする

原稿台ガラスへ原稿をセットする

コントロールパネル上のキーを押す

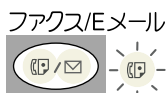
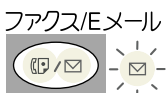
キーを押す

番号を入力する

- 電話番号
- メールアドレス、その他

キーボードから入力する

次の手順へ進む

次の手順へ進む
（次の行、または前のページ）

次の手順へ進む
（次のページ）

ファクス /E メールボタンのファクスランプが点灯していることを確認。
点灯していない場合は、ファクス /E メールボタンを押して点灯させる。

ファクス /E メールボタンの E メールランプが点灯していることを確認。
点灯していない場合は、ファクス /E メールボタンを押して点灯させる。

お使いになるまえに

もくじ

はじめに

お使いになるまえに

ファクス基本編

お使いになるまえに

もくじ

ファクス基本編

インターネットFAX ／ E メール（基本編）

インターネット FAX ／ E メール（基本編）

ファクス応用編

お使いになるまえに

もくじ

インターネットFAX ／ Eメール（応用編）

登録編

登録編

リスト・レポート

トラブル

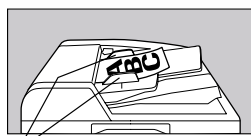
その他

お使いになるまえに

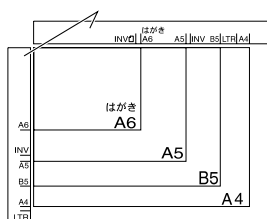
基本送信手順

■ 基本手順

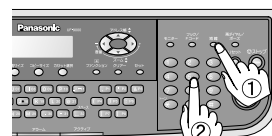
1 ADF トレイ

ADF から送信

原稿ガイド
原稿の幅にガイドを合わせる

または原稿台ガラスから送信

原稿ガイド

- 送信原稿を下向きで原稿台ガラスのガイドに沿って置く、または上向きで ADF に置き、原稿の幅にガイドを合わせる
- 原稿台ガラスにセットするときは、原稿サイズを選択する、A5 サイズ以下の原稿を送るときは、A5 に設定する

4a ワンタッチ／短縮ダイヤル（☞ お知らせ 3）

または

短縮 ＋ 短縮ダイヤル番号（3 桁）

ワンタッチ／短縮ダイヤルの場合、宛先を表示するだけで宛先が指定されます。

または

4b 直接ダイヤル

E メールアドレスを入力するとき

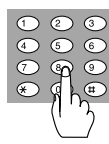
ファクス/Eメール

E メールアドレス入力モードに切替える

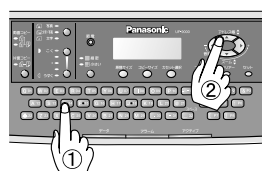
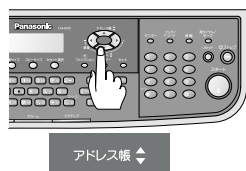
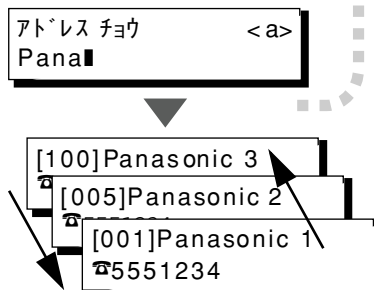
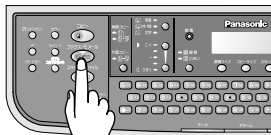
E メールアドレス

または

電話番号を入力するとき

ファクス/Eメール

電話番号

または

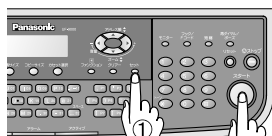
4c アドレス帳検索ダイヤル（☞ お知らせ 3）

検索する文字を入力する
（☞ 12 ページ）
例："Pana"

複数宛先の指定

- メモリー送信するときは、1 つの原稿を複数宛先へ送信することができます。手順 4a、4b または 4c の操作の後、［セット］を押して、宛先数を確認後、手順 4a、4b または 4c の操作を繰り返して宛先を指定できます。［セット］は、省略することも可能ですが、［スタート］を押す前には［セット］を押して宛先数を確認することをおすすめします。宛先の消去については、12 ページを参照してください。

リダイヤル待ちとバッチ送信

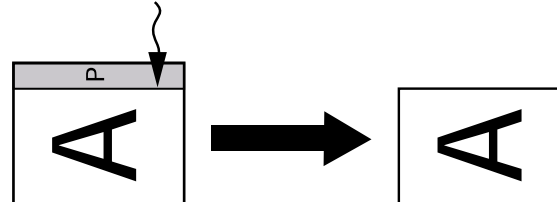
- 送信相手先が通話中などで原稿を送信できなかったときは、リダイヤル待ちになります。リダイヤル後に自動送信した場合は、その送信の完了時刻が通信結果レポートに記録されます。
- リダイヤル待ち状態の同じ送信相手先に原稿を送信した場合は、複数の原稿をまとめて送信します（バッチ送信）。

2

3

送信する原稿に合わせ、送信設定をし、送信宛先を指定する。

4a

4b

4c

原稿台ガラスを使っての送信の場合は、スタート を押したあと原稿サイズを選択し、再度 スタート を押してください。
1枚読み込む毎に
「ツギノ ゲンコウガ アリマスカ?」の表示をします。

①:ハイ
原稿を交換して スタート を押し、原稿サイズを選択したのち再度 スタート を押します。

②:イイエ
送信を開始します。

5

セット を押して宛先数を確認する

スタート

原稿の読取りが開始され、ファイルナンバーとともにメモリーに蓄積されます。読取りが完了した原稿から送信が開始されます。

各送信設定

濃度調整

細密	特に細かい文字の原稿(400 または 600 dpi,☞ 153 ページ)(☞ お知らせ 4)
小さい	新聞などのように、細かい文字の原稿
普通	普通の文字の原稿(ランプが両方消えているとき)

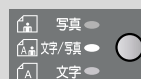
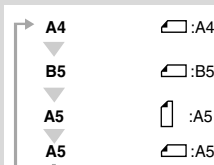
(カラー送信のときには、「細密」では 300dpi となります)

(カラー送信のときは、文字/写真になります)

写真	写真やイラストなどの原稿をきれいに送信できます
文字/写真	文字と写真が混在する原稿
文字	文字主体の原稿

原稿サイズ

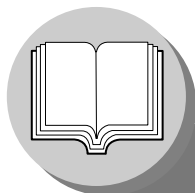
A4	:A4
B5	:B5
A5	:A5
A5	:A5

- 原稿サイズキーは原稿台ガラスから読み込むときに使用します

カラー

カラーで原稿を送信するとき(PDF または JPEG ファイルとなります)
次のときにご利用できます
- E メール(☞ 56 ~ 59 ページ)
- PC へ送信するとき:
  - ネットワーク(LAN)使用時
  - クロスケーブルを使ってローカル接続時

定型外の原稿を送信する場合
定型外の原稿を送信する場合は、定型サイズよりはみ出している部分("P" 部分)は送信されません。

お知らせ

1. 手順 4a、4b、4c で「ピピピ」と音が鳴ったときは、ダイヤルメモリーがいっぱいです。
2. E メール機能を使用するには、事前にネットワーク設定が必要です。ネットワークの設定に関してはネットワーク管理者へお問い合わせください。
3. アドレス帳機能(ワンタッチ/短縮ダイヤル)は登録されているときにご利用できます。(☞142 ページ)
   宛先を間違えたときは クリアー を押して訂正してください。(☞12 ページ)
4. 写真画質+「細密(400 または 600 dpi)」で送信した原稿を受信側でプリントしたとき、画質が「小さい」などで送信した場合より落ちる可能性があります。この場合は、「小さい」の設定で送信してください。
5. 送信を途中でやめるときは、ストップ を押してください。(☞12 ページ)
   原稿の読取中に ストップ を押すと、待機状態にもどるのに時間がかかる場合があります。

お使いになるまえに

基本送信手順

■ 送信を途中でやめる

1

2

ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ

1

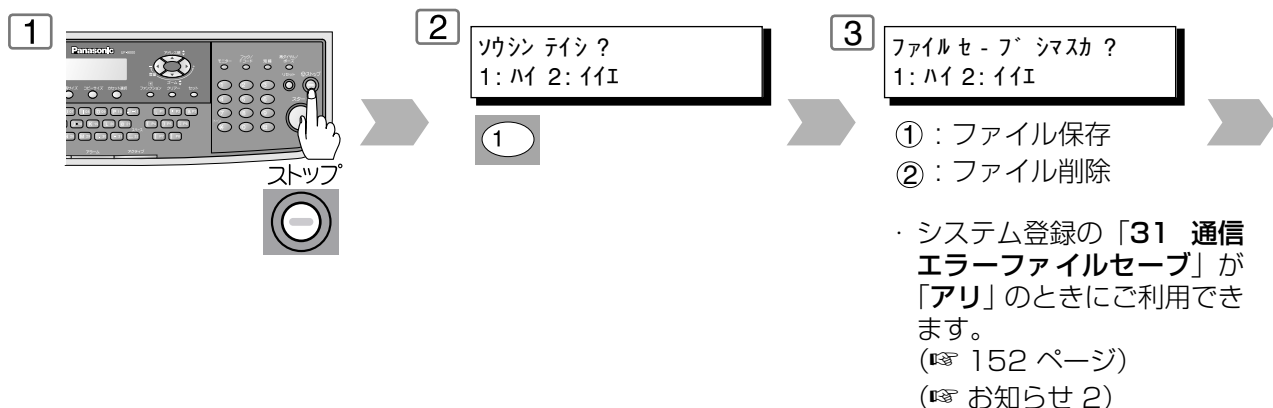
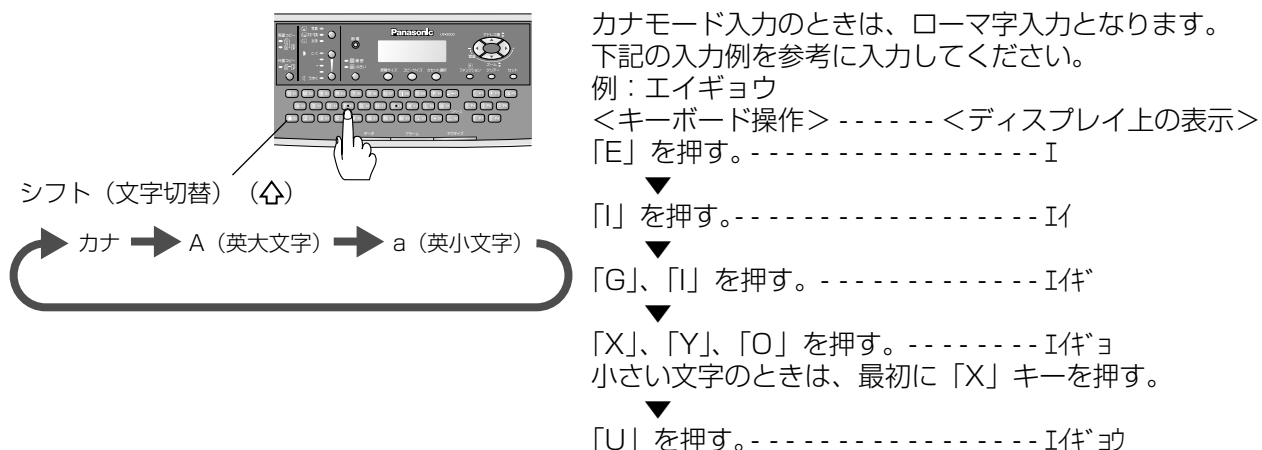
3

ﾌｧｲﾙ ｾｰﾌﾞ ｼﾏｽｶ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ

①：ファイル保存
②：ファイル削除

・システム登録の「**31 通信エラーファイルセーブ**」が「**アリ**」のときにご利用できます。
(☞ 152 ページ)
(☞ お知らせ 2)

■ 文字入力のしかた

カナモード入力のときは、ローマ字入力となります。
下記の入力例を参考に入力してください。
例：エイギョウ
<キーボード操作> - - - - - - <ディスプレイ上の表示>
「E」を押す。- - - - - - - - - - - - - - - - - - ｴ
▼
「I」を押す。- - - - - - - - - - - - - - - - - - ｴｲ
▼
「G」、「I」を押す。- - - - - - - - - - - - - - ｴｲｷﾞ
▼
「X」、「Y」、「O」を押す。- - - - - - - - ｴｲｷﾞｮ
小さい文字のときは、最初に「X」キーを押す。
▼
「U」を押す。- - - - - - - - - - - - - - - - - - ｴｲｷﾞｮｳ

■ 複数宛先指定時の宛先消去のしかた

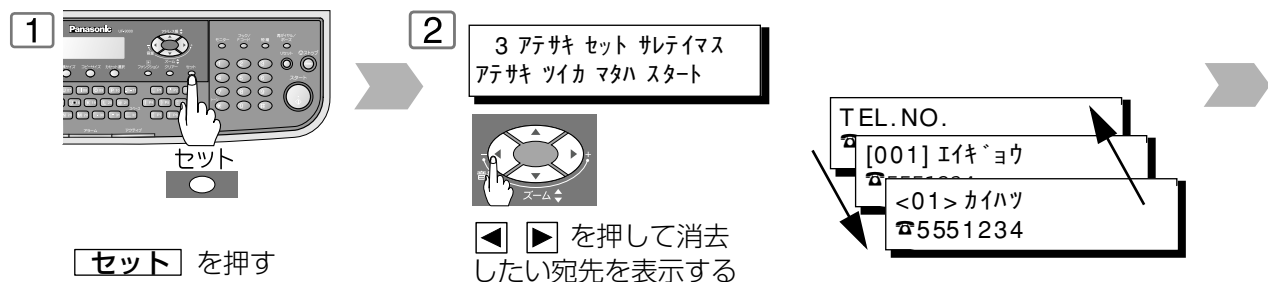
例： 1 宛先目が直接ダイヤル、2 宛先目が短縮ダイヤル［001］、3 宛先目がワンタッチ Q 01 で宛先を選択した場合

1

セット を押す

2

3 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ

◀ ▶ を押して消去したい宛先を表示する

お知らせ

1. 通信結果レポートをプリントするように設定するにはシステム登録の「**12 通信結果レポート**」の設定を変更します。(☞ 151 ページ)

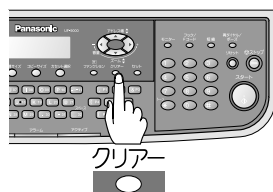
4

ﾂｳｼﾝｹｯｶﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ

①： レポートのプリントをする
②： レポートのプリントをしない
（☞ お知らせ 1）

5

送信停止します

3

クリアー を押して、表示している宛先を消去する

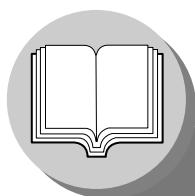
4

2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ

セット を押して宛先数が減っていることを確認する

- 複数宛先を消去する場合は手順 2 ～ 4 をくりかえす

お知らせ

2. 通信エラーとして保存されたファイルは、通信予約ファイルとして扱われます。 通信エラーファイルの内容確認や消去、再通信などは 98 ～ 105 ページを参照してください。

お使いになるまえに

モード設定

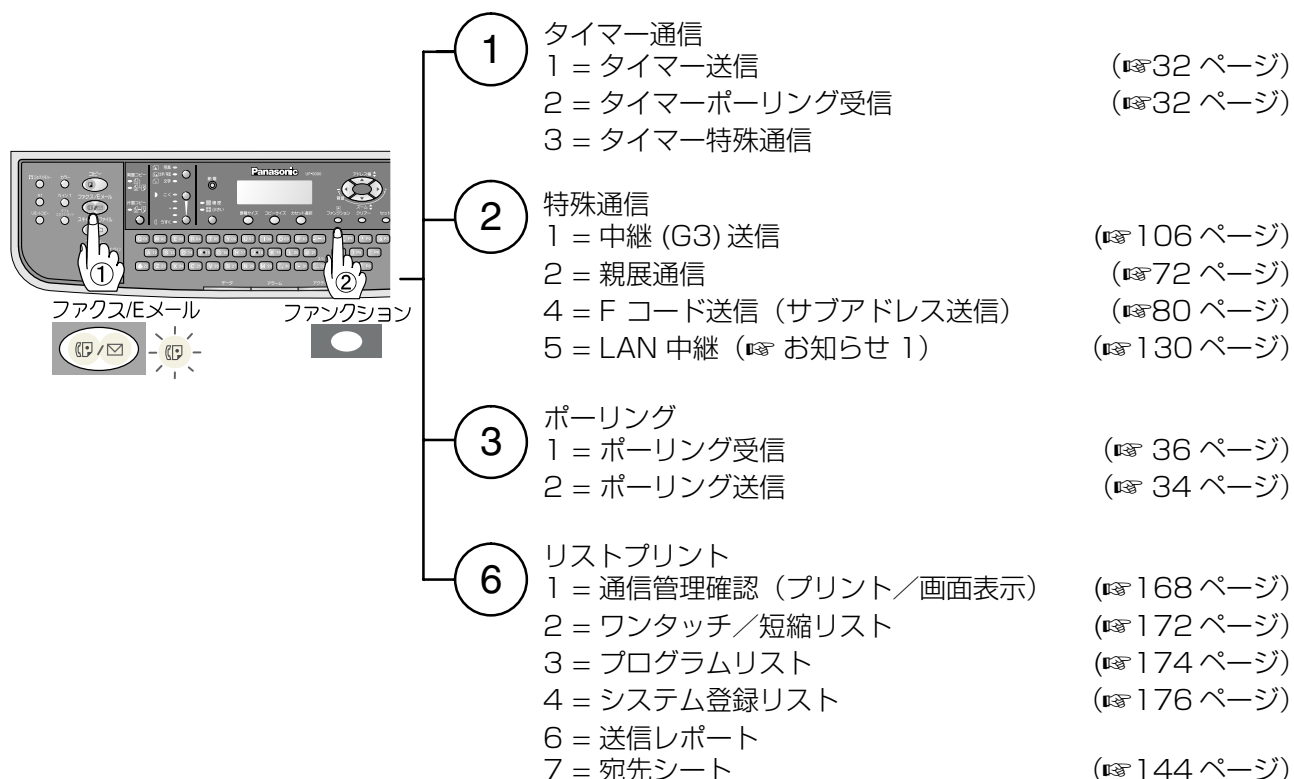
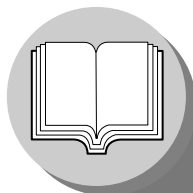
■ モード設定のしかた

各機能は、最初に ファンクション キーを押して機能番号を押す、または目的の機能を ▼ ▲ キーを押しスクロールさせて表示する方法で選択し、セット キーで設定ができます。

1 タイマー通信
- 1 = タイマー送信 (☞32 ページ)
- 2 = タイマーポーリング受信 (☞32 ページ)
- 3 = タイマー特殊通信

2 特殊通信
- 1 = 中継 (G3) 送信 (☞106 ページ)
- 2 = 親展通信 (☞72 ページ)
- 4 = F コード送信（サブアドレス送信） (☞80 ページ)
- 5 = LAN 中継（☞ お知らせ 1） (☞130 ページ)

3 ポーリング
- 1 = ポーリング受信 (☞ 36 ページ)
- 2 = ポーリング送信 (☞ 34 ページ)

6 リストプリント
- 1 = 通信管理確認（プリント／画面表示） (☞168 ページ)
- 2 = ワンタッチ／短縮リスト (☞172 ページ)
- 3 = プログラムリスト (☞174 ページ)
- 4 = システム登録リスト (☞176 ページ)
- 6 = 送信レポート
- 7 = 宛先シート (☞144 ページ)

お知らせ

1. システム登録の「**140 LAN 中継送信指示**」の設定を「**アリ**」にすると表示され、ご利用できます。(☞153 ページ)
2. セレクトモード（ ファンクション ⑧）では、通信毎に設定を変更できます。通信完了後、各設定はシステム登録で設定している値へ戻ります。システム登録の設定を変更するときは、148 ページを参照してください。

7

登録モード
1 = 自局登録 (☞138 ページ)
- 時刻
- 発信元
- 文字 ID
- 数字 ID (Fax 電話番号)

(インターネットパラメーター)
2 = ワンタッチ／短縮登録 (☞142 ページ)
3 = プログラム登録 (☞38 ページ)
4 = システム登録 (☞148 ページ)
5 = 中継情報 (☞156 ページ)

8

セレクトモード （☞ お知らせ 2 ）
1 = 通信結果レポート = オフ / オン / 未通信 (☞170 ページ)
2 = 送達確認 = オフ / オン (☞50, 155 ページ)
4 = パスワード送信 = オフ / オン (☞ お知らせ 3) (☞84, 86 ページ)
5 = メモリー受信 = オフ / オン / プリント (☞ 88 ページ)
6 = ファイルタイプ / ファイル名 = TIFF/JPEG, PDF (☞57, 59 ページ)
7 ＝ 済スタンプ ＝ オフ / オン
8 = グレースケール = オフ / オン
(グレースケールは PDF または JPEG ファイル送信
（E メール送信）時のみご利用できます）
9 = メモリー送信 = オフ / オン (☞22 ページ)

9

メモリー編集モード
1 = 通信予約の確認 (プリント / 画面表示) (☞98 ページ)
2 = 時間・宛先変更 (☞100 ページ)
3 = メモリー（通信予約）の消去 (☞100 ページ)
4 = メモリー（指定通信予約）プリント (☞102 ページ)
5 = 原稿追加 (☞102 ページ)
6 = 通信エラーリトライ (☞104 ページ)

お知らせ

3. パスワード送信をお使いになるときは、システム登録の「**43 パスワード 送信**」のパスワードを設定してください。（☞152 ページ）
4. モード設定の各機能名称は、参照ページの内容を簡略に表現したものです。

お使いになるまえに

回線・ＬＡＮケーブルなどの接続

LINK ランプ
- LAN に接続されていると点灯します。LAN ケーブルが断線していると点灯しません。

LAN 接続用ジャック (10/100Base-TX)

LAN ケーブル
- カチッと音がするまで差し込んでください。（LAN ケーブルは付属されていません。[EIA 568A CAT.5] に準拠のケーブルをご用意願います。）

10Base-T/100Base-TX イーサネットハブ

ACTIVITY ランプ
- 接続されている LAN のデータがあるときに点灯します。

・LINK
10/100BASE-TX
・RX

ハンドセットコード差込口

ハンドセット（オプション）
（お使いになるときはシステム登録の「075 オプションハンドセット」を「アリ」にしてください。（☞ 152 ページ））

電源スイッチ

外部電話機用モジュラージャック
- 外部電話機を接続する。

外部電話機
- 本体に標準的な１回線用の電話機を追加接続することができます。

受話器
外部電話
回線

回線用モジュラージャック
- NTT などの電話回線を接続する。
- お使いの電話回線に合わせて、システム登録の「006 ダイヤル切替」の設定をする。（☞150 ページ）

使用上のお願い

■ キャッチホンサービスをご契約になっている場合

- ファクスの送信や受信中に、他の方から電話やファクスがかかってくると、ファクス受信画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- 上記の場合は、キャッチホンや機器の異常ではありませんのでご了承願います。
- なお、キャッチホンサービスをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定して頂くと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。

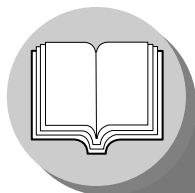
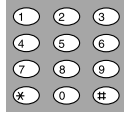
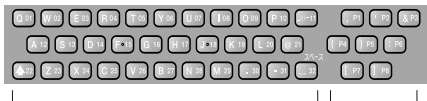
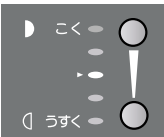
■ 各サービスについて

- 発信者番号通知·ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT にお問い合わせください。
- NCC 回線をご利用の場合は、NCC 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知・ダイヤルインサービスの詳細につきましてはご契約の NCC にお問い合わせください。

■ 節電モード設定時のお願い

- 節電モードで「シャットダウン」が選択されているときは、インターネット ＦＡＸ ／ Ｅ メールの自動受信機能が動作しなくなります。節電モードを設定されている場合は、初期設定値（お買い上げ時）の「スリープ」に戻してください。（☞ 本体管理編取扱説明書：ファンクション設定モード（共通機能：キーオペレーター専用）の「節電モード」を参照ください）

その他

本取扱説明書は、従来の一般加入回線等での G3 通信および、LAN システムを使用したインターネット通信が可能なインターネットファクス機能についての取扱説明書です。
※ネットワークとの接続および使用に際しては、本製品以外にソフトウェアおよび LAN 伝送路用品が必要です。

お使いになるまえに

コントロールパネル（操作キー）

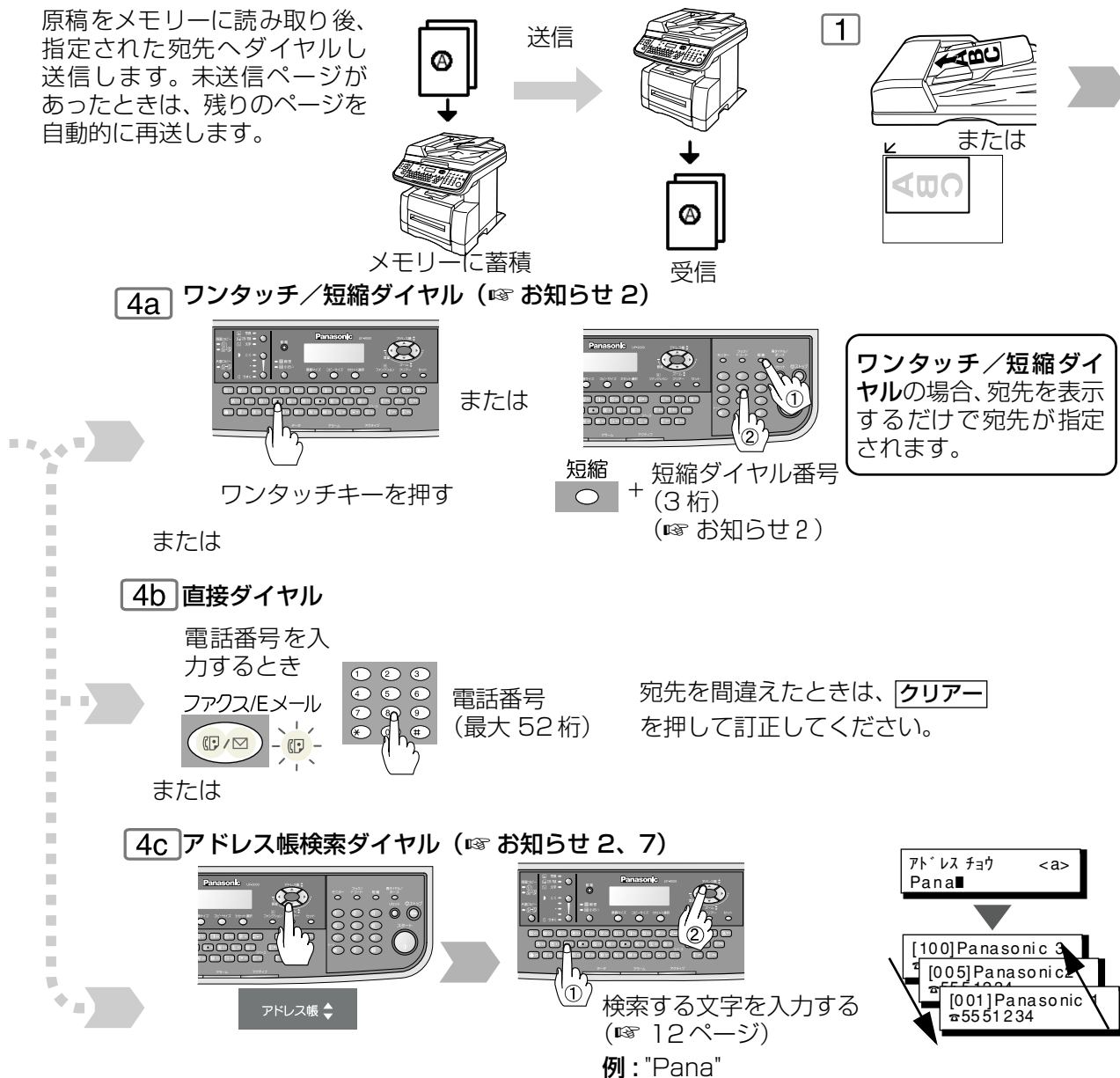
No.	アイコン	内　容	No.	アイコン	内　容
②	カラー	**カラー** カラーで原稿を E メール送信するとき（☞ 11 ページ） 点灯：カラー読取り 消灯：モノクロ読取り	③	ファクス/Eメール	**ファクス／ E メール** ファクス／ E メール機能を使用するとき。電話番号と E メールアドレスの入力モードを変更するとき
④	写真 文字/写真 文字	**画質** 画質を選ぶとき（☞ 11 ページ）	⑤	節電	**節電** 節電機能をオン／オフするとき
⑥	細密 小さい	**解像度（文字サイズ）** ふつう、小さい、細密（400 または 600 dpi、カラー送信時は 300 dpi）を選ぶとき （☞ 11 ページ）	⑦	原稿サイズ	**原稿サイズ** 送信原稿サイズを変更するとき （☞ 11 ページ）
⑩		**ディスプレイ** 電話番号、原稿サイズ、エラーコードなどを表示します			
⑪	アドレス帳 音量 ズーム	**カーソル／アドレス帳** • モニター音量／呼出音量を調整するとき • 数字／文字入力時にカーソルを移動するとき • アドレス帳を検索するとき • 同報宛先の確認をするとき • 機能選択のとき • 現在の通信状況を確認するとき （ページ、ID、電話番号、E メールアドレス、ファイル番号）			
⑫	モニター	**モニター** オンフックダイヤルをするとき （☞ 24 ページ）	⑬		**フック／ F コード** • 通話中にキャッチフォンの切替え、構内交換機に接続されている場合に保留や転送をするとき • F コード（サブアドレス）を入力するとき
⑭	短縮	**短縮** 短縮ダイヤルを使うとき （☞ 10, 20, 58 ページ）	⑮		**再ダイヤル／ポーズ** • ファクスを送り直すとき • 番号の間に待ち時間を入れるとき

No.	アイコン	内　容	No.	アイコン	内　容
⑯	ストップ	**ストップ** 通信、登録操作を中止するときやアラームを止めるとき	⑰	スタート	**スタート** 送受信を開始するとき
⑱	リセット	**リセット** 設定した機能を解除するとき（セレクトモードによる設定は除く）	⑲	1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 #	**テンキー／トーンキー** • ダイヤルするとき • 数字入力するとき • ダイヤル式回線でプッシュホン信号を使いたいとき
⑳	セット	**セット** 登録・設定するとき	㉑	クリアー	**クリアー** 入力した番号や文字を訂正するとき
㉒	ファンクション	**ファンクション** 各種機能を設定するとき（☞14 ページ）	㉓	アクティブ	**アクティブランプ（緑）** • **点滅**：本機が動作中のとき • **点灯**：受信データがメモリーにあるとき
㉔	アラーム	**アラームランプ（赤）** トラブルが発生したときに点灯／点滅します • **点灯**：トナーなし、紙づまりやマシンエラーなどで動作停止のとき • **点滅**：本機が警告状態になったとき（動作は停止しません）。トナーの残量が少ない、給紙カセット（上段または下段／オプション）に用紙がないとき	㉕	データ	**データランプ（緑）** • **点滅**：プリントデータをパソコンより受信中のとき • **点灯**：パソコンより受信したプリントデータを印刷中のとき
㉖	文字入力キー／ワンタッチキー（01～32）　プログラムキー（[P1]～[P8]）	**キーボード** • 文字を入力するとき（カナ／英大文字／英小文字を切替えるときはシフト（文字切替）（⇧）を押す） • ワンタッチ／プログラムキーとして使うとき • 発信元、文字ＩＤ、アドレス帳登録の名称、アドレス入力のとき			
㉗	こく　うすく	**濃度（コントラスト）調整** セットした原稿に合わせて、送信する濃さを調整するとき			
① ⑧ ⑨ ㉘ ~㉛		コピー機能などを使うときに使用します			

ファクス基本編

ファクスを送る

■ メモリー送信

原稿をメモリーに読み取り後、指定された宛先へダイヤルし送信します。未送信ページがあったときは、残りのページを自動的に再送します。

1

4a ワンタッチ／短縮ダイヤル（☞ お知らせ 2）

または

ワンタッチキーを押す

短縮 ＋ 短縮ダイヤル番号（3 桁）（☞ お知らせ 2）

ワンタッチ／短縮ダイヤルの場合、宛先を表示するだけで宛先が指定されます。

または

4b 直接ダイヤル

電話番号を入力するとき

ファクス/Eメール

電話番号（最大 52 桁）

宛先を間違えたときは、クリアー を押して訂正してください。

または

4c アドレス帳検索ダイヤル（☞ お知らせ 2、7）

検索する文字を入力する（☞ 12ページ）

例："Pana"

複数宛先の指定

- メモリー送信するときは、1 つの原稿を複数宛先へ送信することができます。手順 4a、4b または 4c の操作の後、セット を押して、宛先数を確認後、手順 4a、4b または 4c の操作を繰り返して宛先を指定できます。セット は、省略することも可能ですが、スタート を押す前には セット を押して宛先数を確認することをおすすめします。宛先の消去については、12 ページを参照してください。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押してから宛先の電話番号を入力します。（ポーズは "-" で表示されます）
   例： 9 ポーズ 5551234
2. アドレス帳（ワンタッチ／短縮）ダイヤルは、登録されているときにご利用になれます。（☞142 ページ）
   宛先を間違えたときは クリアー を押して訂正してください。（☞12 ページ）
3. 送信を途中でやめるときは、ストップ を押してください。（☞ 24 ページ）
   原稿の読取中に ストップ を押すと、待機状態にもどるのに時間がかかる場合があります。

2

ファクス/Eメール

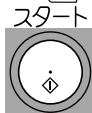
3 送信する原稿に合わせ、送信設定をする
(☞ 11 ページ)

4a

4b

4c

5

セット を押して宛先数を確認する

スタート

原稿台ガラスを使っての送信の場合は、スタート を押したあと原稿サイズを選択し、スタート を押してください。
１枚読み込む毎に
「ツギノ　ゲンコウガ　アリマスカ？」の表示をします。

①：ハイ
原稿を交換して スタート を押し、原稿サイズを選択したのち スタート を押します。

②：イイエ
送信を開始します。

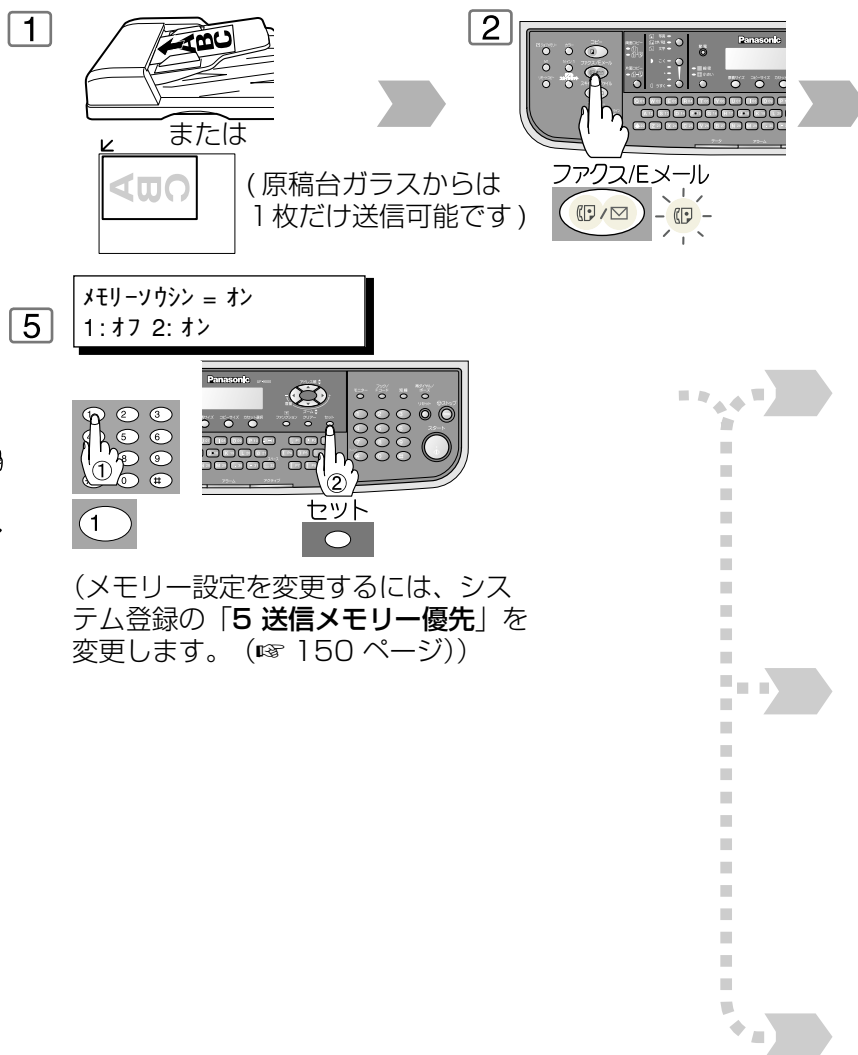
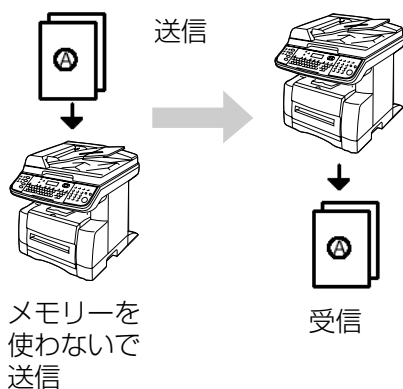
原稿の読取りが開始され、ファイルナンバーとともにメモリーに蓄積されます。読取りが完了した原稿から送信が開始されます。
ADF から複数枚の原稿を１宛先でメモリー送信した場合、１枚目を読み込んだ時点で送信を開始します。(☞ お知らせ５)
残りのページは順次メモリーへ蓄積されます。

- １宛先へのメモリー送信時にメモリーがいっぱいになった場合、お買い上げ時の設定（システム登録の「**82 クイックメモリー送信**」が「**アリ**」）では蓄積したところまでを送信し、残りの原稿が送信できなかったことを知らせるメッセージ「サイツウシン　ガ　ヒツヨウデス　コード= 870」が表示されます。
クイックメモリー送信を「**ナシ**」にして１宛先へメモリー送信している場合、ページの途中でメモリー容量が少ないと本機が判断した場合、ダイレクト送信に自動的に切替えます。他の場合は、メモリー容量がないことと、蓄積されたページを送信するかの確認メッセージが表示されます。「**ハイ**」で取消、または「**イイエ**」で送信します。１０秒以内に操作をしない場合は、自動的に読み込んだページまでを送信します。１ページ目でメモリーがいっぱいになったときは、送信することはできません。
- 送信できなかったときや送信先から応答がなかったときは、エラーコードを表示します。蓄積されていた原稿は自動的にメモリーから消去され、エラーコードと共に通信結果レポートがプリントされます。メモリーから消去されないようにするには、システム登録の「**31 通信エラーファイルセーブ**」を「**アリ**」に設定しておく必要があります。
再通信指定を行なうには 104 ページを参照ください。

お知らせ

4. パルスダイヤル回線をお使いの場合、ダイヤルの途中でトーン発信に変更するときは、
✱ （トーン）を押します。” ／ ” が表示され、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
例： 9 ポーズ トーン 5551234
5. この機能は「クイックメモリー送信」です。もし全ての原稿をメモリーに読み込んでから送信を開始する場合は、システム登録の 「**82 クイックメモリー送信**」 を「**ナシ**」にします。
(☞ 152ページ)
6. クイックメモリー送信は複数の宛先を指定している場合にはお使いになれません。
7. 「ミツカリマセン」 や希望の宛先が出てこないときに、手動で電話番号を表示する場合は、
クリアー を１度または２度押してから入力してください。

■ ダイレクト送信（優先送信予約）

急ぎの原稿を送りたいときに、メモリーに多くのファイルがあったりしてすぐに送れないときにはダイレクト送信予約を使えます。ダイレクト送信予約をすることで、現在送信中の通信が完了後に割り込みで送信できます。また、メモリーに蓄積できない原稿などを送信する場合や、メモリーがいっぱいの場合は、ダイレクト送信を使います。（ダイレクト送信では複数宛先指定はできません）

1

または

（原稿台ガラスからは
1枚だけ送信可能です）

2

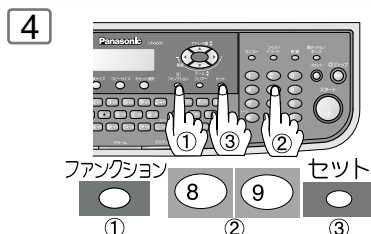
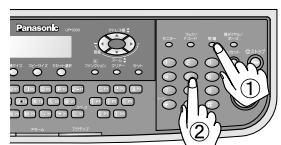
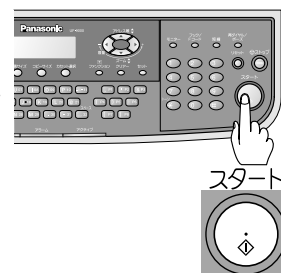
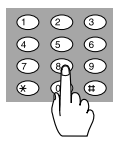
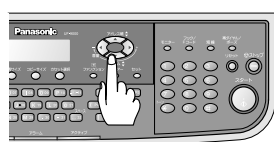
ファクス/Eメール

5

メモリーソウシン = オン
1:オフ 2:オン

（メモリー設定を変更するには、システム登録の「**5 送信メモリー優先**」を変更します。（☞ 150 ページ））

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押してから宛先の電話番号を入力します。（ポーズは "-" で表示されます）
   例： 9 **ポーズ** 5551234
2. アドレス帳（ワンタッチ／短縮）ダイヤルは、登録されているときにご利用になれます。
   （☞ 142 ページ）

お知らせ

3. 送信を途中でやめるときは、ストップ を押してください。（☞ 24 ページ）
原稿の読取中に ストップ を押すと、待機状態にもどるのに時間がかかる場合があります。
4. パルスダイヤル回線をお使いの場合、ダイヤルの途中でトーン発信に変更するときは、
✱（トーン）を押します。”／”が表示され、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
例： 9 ポーズ トーン 5551234

ファクス基本編

ファクスを送る

■ オンフックダイヤル

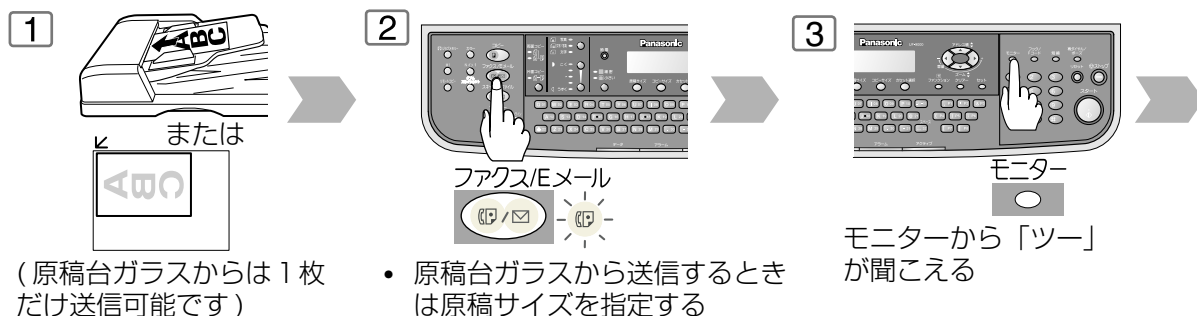
1

（原稿台ガラスからは1枚だけ送信可能です）

2

- 原稿台ガラスから送信するときは原稿サイズを指定する

3

モニターから「ツー」が聞こえる

■ 相手と話してから送信する（オフフックダイヤル）

本機にオプションのハンドセット、または外部電話機を接続してお使いになっている場合、接続した受話器で話しをした後ファクスの送信ができます。（☞ お知らせ2）

1

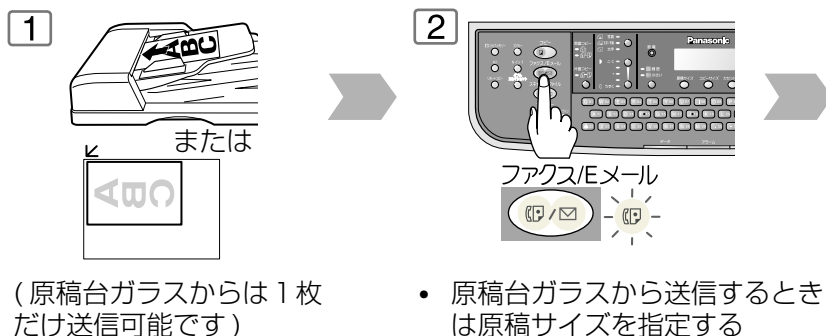
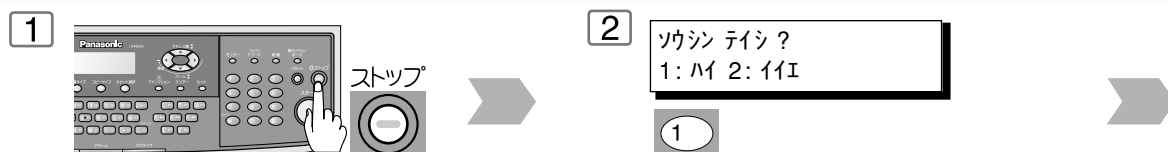
（原稿台ガラスからは1枚だけ送信可能です）

2

- 原稿台ガラスから送信するときは原稿サイズを指定する

■ 送信を途中でやめる

2

ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ

■ ダイレクト送信予約をキャンセルする

1

ﾕｳｾﾝ ﾖﾔｸ ｻﾚﾃｲﾏｽ
(宛先名)

2

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 [ポーズ] を押してから宛先の電話番号を入力します。（ポーズは "-" で表示されます）
   例： 9 [ポーズ] 5551234
2. オプションのハンドセットをお使いになるときは、システム登録の「**75 オプションハンドセット**」の設定を「**アリ**」にしてください。（☞ 152 ページ）

3

受話器を
あげる

電話番号

4 相手の方にファクスを送信することを伝え、受信の準備をしてもらう

5

ピーという音が聞こえたら スタート を押し、受話器を戻す

スタート

3

ﾌｧｲﾙ ｾ-ﾌﾞ ｼﾏｽｶ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ

①: ファイル保存
②: ファイル削除
システム登録の「**31 通信エラーファイルセーブ**」が「**アリ**」のときにお使いになれます
(☞ 152ページ)(☞ お知らせ4)

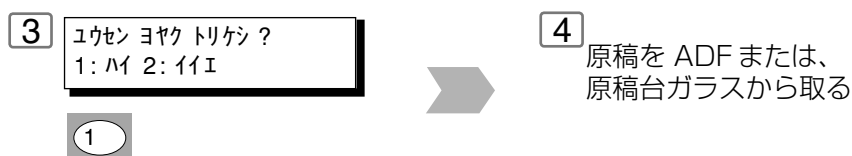
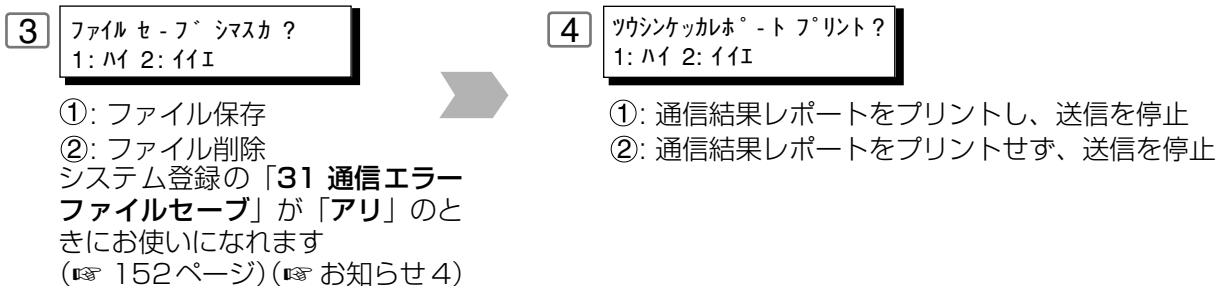
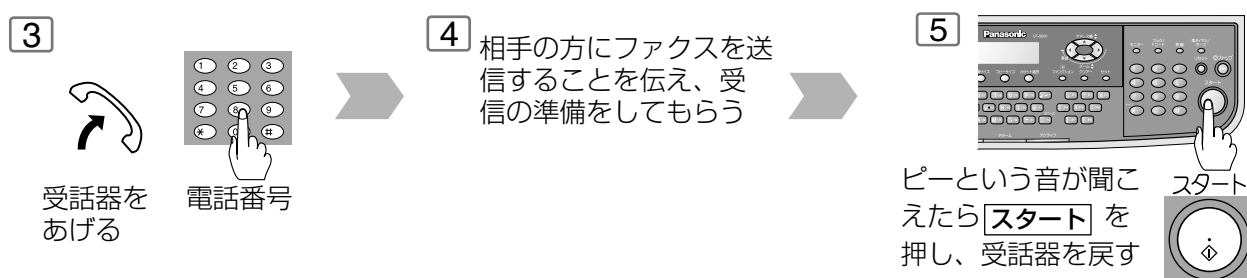
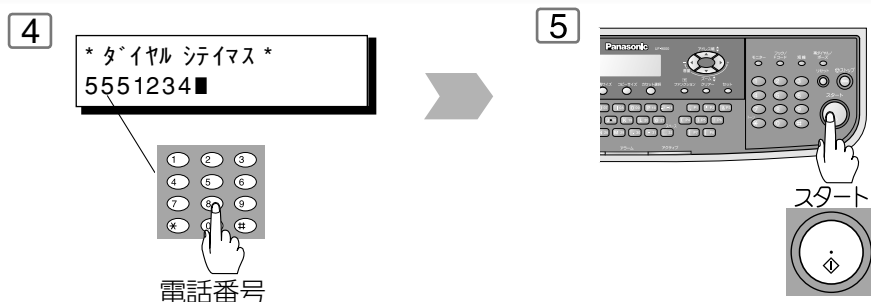
4

ﾂｳｼﾝｹｯｶﾚﾎﾟ-ﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ

①: 通信結果レポートをプリントし、送信を停止
②: 通信結果レポートをプリントせず、送信を停止

3

ﾕｳｾﾝ ﾖﾔｸ ﾄﾘｹｼ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ

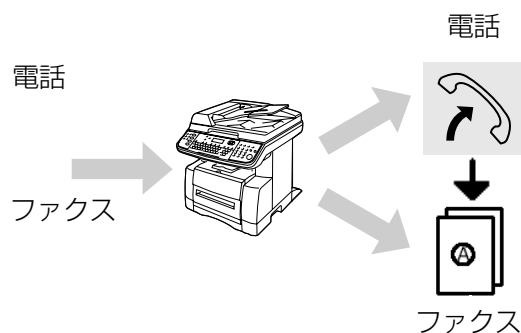
4 原稿を ADF または、原稿台ガラスから取る

お知らせ

3. パルスダイヤル回線をお使いの場合、ダイヤルの途中でトーン発信に変更するときは、
(＊)（トーン）を押します。”／”が表示され、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
例： 9 ポーズ トーン 5551234
4. 通信エラーとして保存されたファイルは、通信予約ファイルとして扱われます。通信エラーファイルの内容確認や消去、再通信などは 98 ～ 105 ページを参照してください。

ファクス基本編

受信のしかた

■ 受信モード

受信のしかたはお使いの状況に応じて受信モードを切替えてご利用できます。

■ 手動受信する（電話モード）

本機にオプションのハンドセットもしくは外部電話機を接続してお使いになっている場合、受話器をあげ、相手がファクスであることを確認した後、受信ができます。

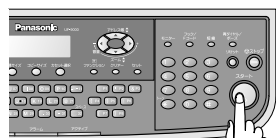
お知らせ

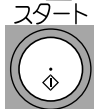
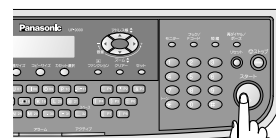
1. オプションのハンドセットをお使いになるときは、システム登録の「**75 オプションハンドセット**」の設定を「**アリ**」にしてください。（☞ 152 ページ）
2. 受信モードの切替えは、 ファクス/Eメール（"ファクスランプ点灯"） ファンクション ⑦ ④ セット ① ⑦ セット で選択できます。

以下の 3 つのモードから１つを選択できます。

ご利用の目安	受信モード	設定
電話での受信のみ	電話モード（手動受信） 呼び出し音が鳴ると、受話器を取ります。ファクスを受けたいときは、スタート を押して、手動で受信します。	システム登録の No.17 を「**シュドウ**」にする。 2004-06-1515:00 <ｼｭﾄﾞｳ> 00%
ファクスでの受信のみ	ファクス専用モード（自動受信） 呼び出し音が鳴ると、自動的にファクスを受信します。お買い上げ時はこの設定になっています。	システム登録の No.17 を「**FAX センヨウ**」にする。 2004-06-1515:00 00%
電話とファクス両方を受信する	ファクス / 電話自動切替モード 呼び出し音が鳴ると、ファクスが一度電話を受けてから、相手がファクスか電話かを自動的に判断して切替えます。	システム登録の No.17 を「**F/T キリカエ**」にする。 2004-06-1515:00 <F/T ｷﾘｶｴ> 00%

ハンドセットを使っている場合

4a

スタート を押して受話器を下ろします。受信が開始されます。

4b

または

［リモート受信］
- 外部電話機のテンキーで操作し、受話器を下ろします。

㊍ ㊍ プッシュ回線（2 秒以内に押す）

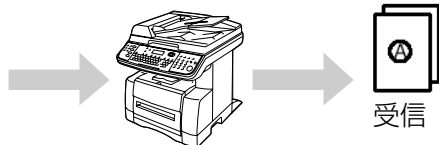
⑨ ⑨ ダイヤル回線（5 秒以内に押す）

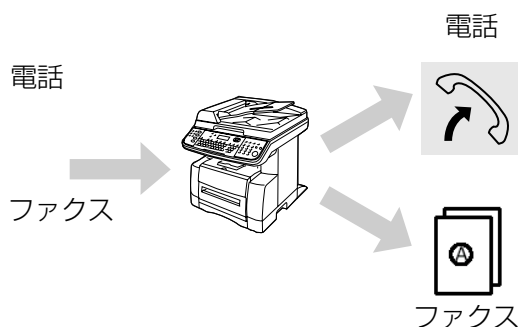
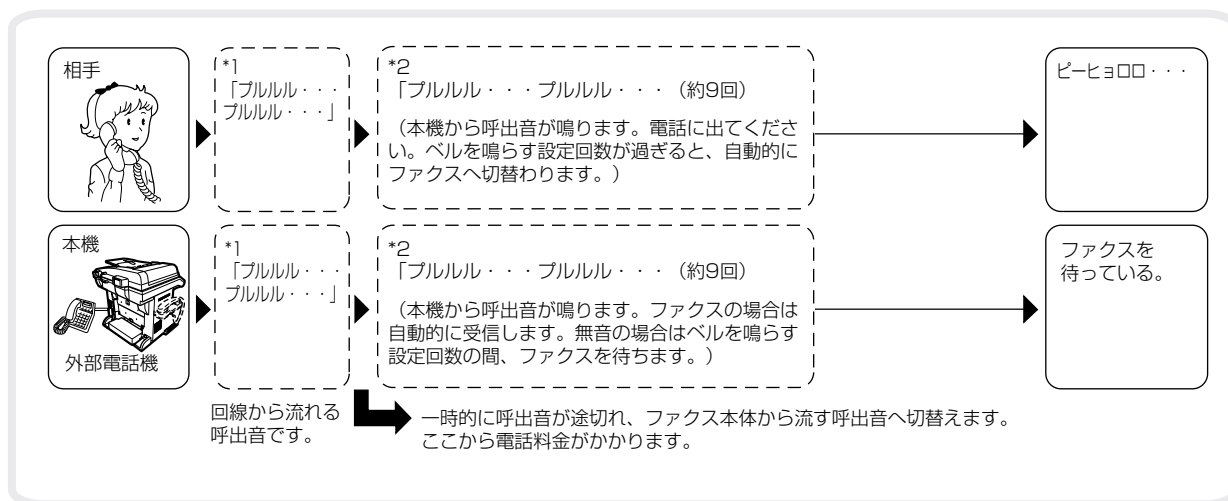
外部電話機を使っている場合

スタート を押して受話器を下ろします。受信が開始されます。

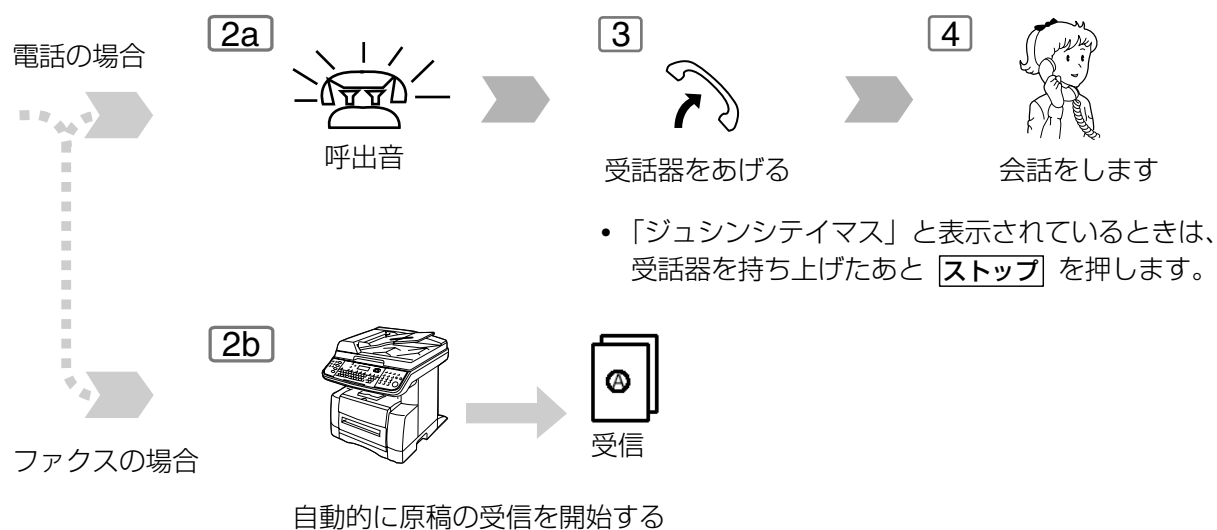
ファクス基本編

受信のしかた

■ ファクスを受信する（ファクス専用モード）

お買い上げ時の設定では、相手がファクスを送ってくると、自動的に受信を始めます。
(電話がかかってきた場合も、自動的にファクス受信となります。電話がかかってくることが考えられる場合は、ファクス / 電話自動切替モードの設定をおすすめします。)

■ ファクス／電話自動切替のとき（ファクス／電話自動切替モード）

1 ファクスが最初に応答し、電話かファクス着信かを区別する

*1 システム登録の「**21 着信ベル回数**」(☞151 ページ)
本機から流す着信音が聞こえる前に、回線から流す呼出音を鳴らすことができます。
呼出回数を設定すると、相手が自動送信のファクスでも呼出音が鳴ります。

*2 システム登録の「**18 F/T ベル回数**」(☞151 ページ)
ファクスの着信音を鳴らす回数です。設定により呼出し回数を変更することができます。変更すると、本機から相手に流す呼出音「プルルル・・・」の回数も変わります。

- 「ジュシンシテイマス」と表示されているときは、受話器を持ち上げたあと ストップ を押します。

ファクス基本編

受信のしかた

■ 両面受信

システム登録の「**67 受信 2 イン 1/ 両面**」を「**リョウメン**」に設定する
(☞ 152 ページ)(☞ お知らせ 6)

受信（A4 原稿）

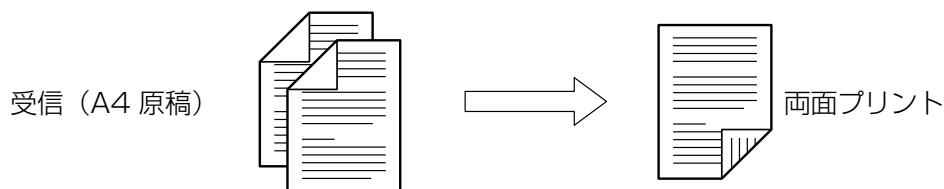
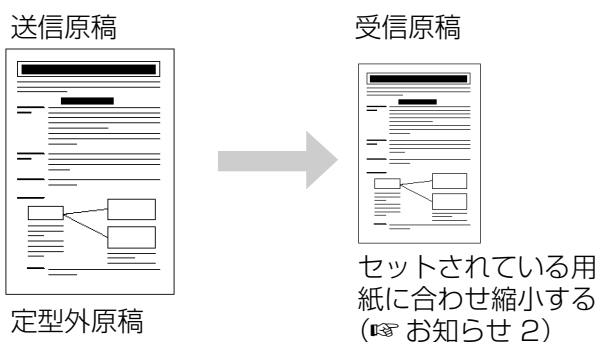
両面プリント

■ 縮小受信設定

送信原稿

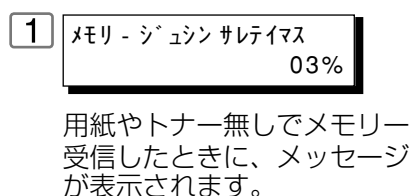
受信原稿

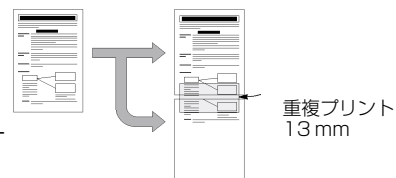
定型外原稿

セットされている用紙に合わせ縮小する
(☞ お知らせ 2)

■ メモリー代行受信

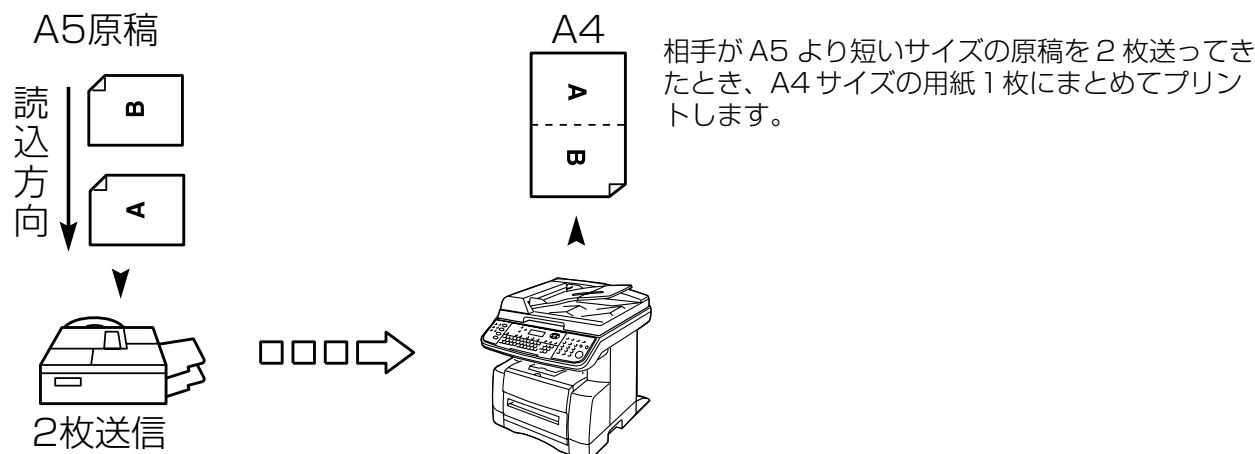
用紙無し、紙ジャム、トナー無しなどでプリントできなくなっても、受信した内容はメモリーに記録されます。メモリーに記録された内容は、用紙やトナーを補給するとプリントされます。(☞ お知らせ３、4)

1

用紙やトナー無しでメモリー受信したときに、メッセージが表示されます。

お知らせ

1. 細密の画質で受信したとき、縮小無しで分割プリントされます。
2. 受信原稿が極端に長い（記録用紙より 39%以上）場合、原稿は別々の用紙に分かれます。
   別々のページにプリントするとき、1 枚目の下から 13mm までの部分と、2 枚目の最初の部分が重なるようにプリントします。分割の最終ページに「コノページハ ブンカツキロクサレマシタ」と印字されます。

■ 2 イン 1 受信

システム登録の「**67 受信 2 イン 1 ／両面**」を「**2 イン 1** 」に設定する

相手が A5 より短いサイズの原稿を 2 枚送ってきたとき、A4 サイズの用紙 1 枚にまとめてプリントします。

自動縮小

システム登録の「**24 縮小受信**」が「**自動**」の場合、原稿長を基準に縮小率 (70-100%) を計算し、縮小プリントします。（☞ 151 ページ）

固定縮小

70-100% で 1 %きざみで縮小率を指定できます。

a) システム登録の「**24 縮小受信**」を「**固定**」に設定します。

b) システム登録の「**25 固定縮小率**」を設定します。（☞151 ページ）

2 用紙またはトナーを補給します。メモリー受信した原稿をプリントします。

お知らせ

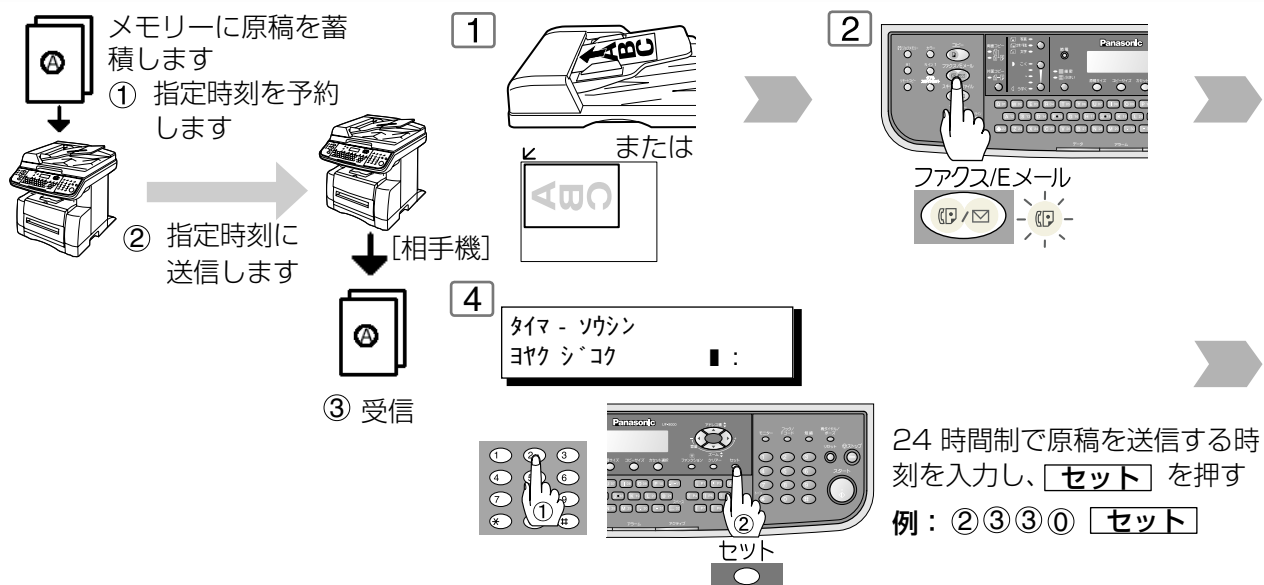
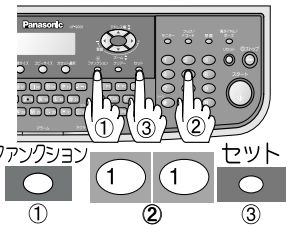
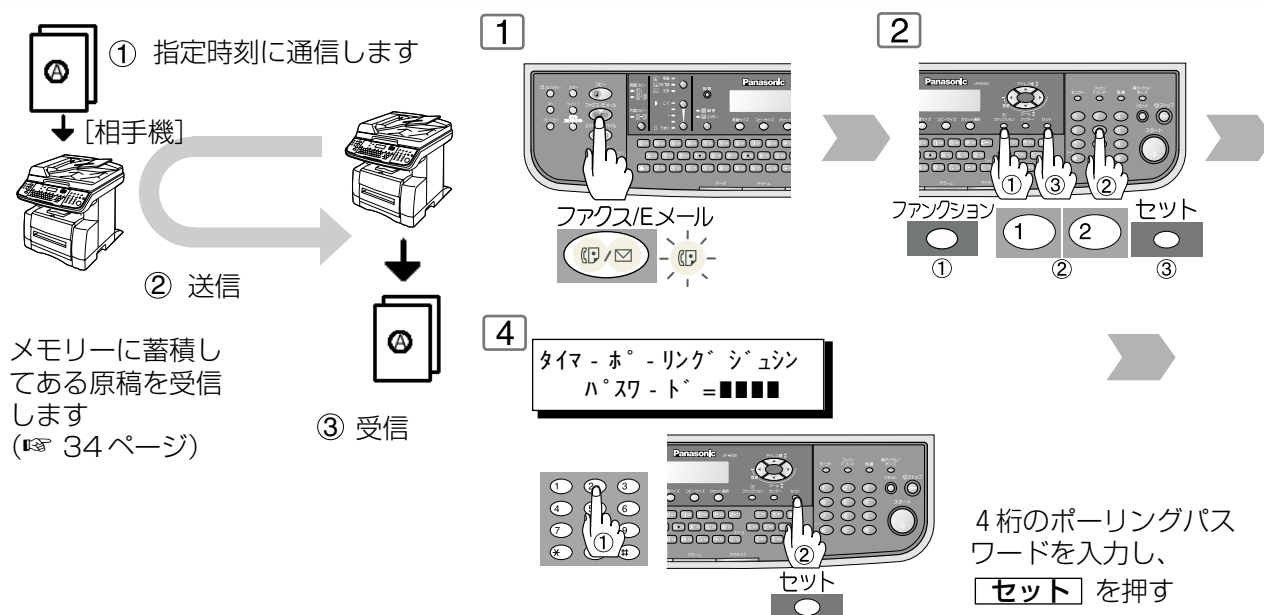
3. メモリーには制限があります。用紙やトナーは早めに補充してください。
4. メモリー代行受信をお使いにならないときは、システム登録の「**22 代行受信**」を「**ナシ**」に設定してください。（☞ 151 ページ）
5. 受信した原稿は、手差しトレイからプリントできません。
6. 両面受信を設定しているときにメモリーフルとなった場合は、片面プリントとなります。

ファクス基本編

タイマー通信

■ 概要

タイマー通信とは、あらかじめ指定した時刻に、自動的に送信／受信動作を行なう機能です。タイマー送信とタイマーポーリング受信を合わせて 50 通信まで指定できます。

■ タイマー送信

■ タイマーポーリング受信

お知らせ

1. タイマー通信のキャンセルまたは設定時刻の変更は 100 ページを参照ください。
2. システム登録の「**26 ポーリングパスワード**」を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。 新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。

お知らせ

3. 入力を間違えた場合は、**クリアー**を押して訂正します。

ファクス基本編

ポーリング

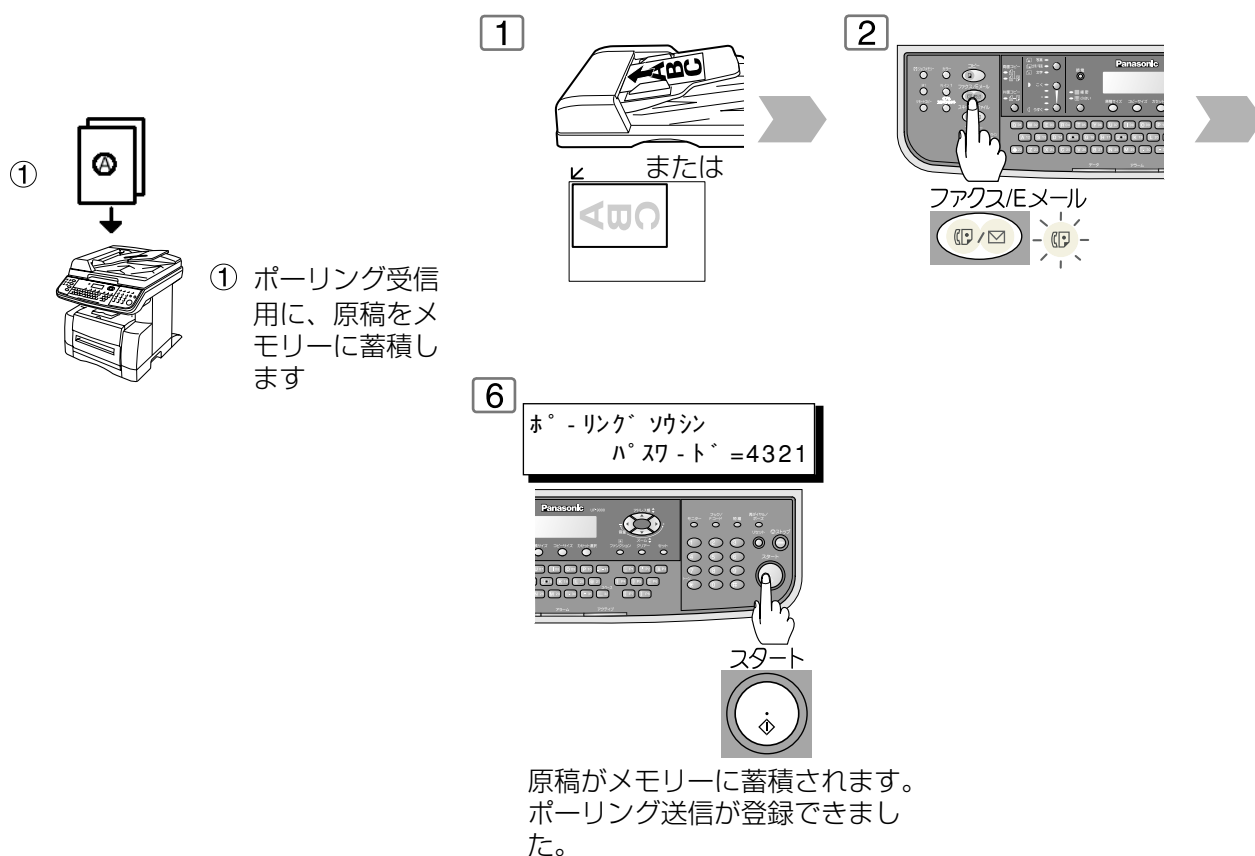
■ 概要

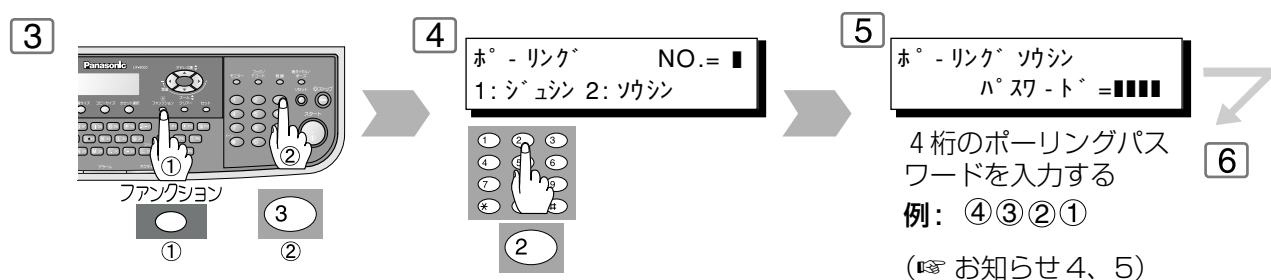
ポーリング通信とは、送信側にセットした原稿を、受信側の操作により取り出すことができる機能です。通信料はポーリング受信側の負担となります。送信側は、必要に応じてパスワード(暗証番号)を設定し、安全に通信することができます。この場合は受信側へもあらかじめパスワードを知らせておく必要があります。
(ポーリング通信は機種が限定されます。詳しくは、サービス実施会社へご相談ください。)

■ ポーリング送信

受信側に原稿をポーリングさせるには、あらかじめ原稿をメモリー蓄積させておく必要があります。安全のため原稿をメモリーに蓄積させる前にポーリングパスワードが設定されていることを確認してください。ポーリング通信後、メモリーに蓄積されていた原稿は自動的に消去されます。原稿を繰り返しポーリングさせるには、システム登録の「**27 ポーリングファイル保存**」を「**アリ**」に変更してください。

① ポーリング受信用に、原稿をメモリーに蓄積します

原稿がメモリーに蓄積されます。
ポーリング送信が登録できました。

お知らせ

1. ポーリング送受信がセットされている場合でも、ファクスの送信、受信はできます。
2. ポーリング送信ファイルは1件のみ登録できます。同じファイルに追加原稿がある場合は102ページを参照ください。
3. ポーリング送信ファイルを削除するには100ページを参照ください。

お知らせ

4. システム登録の「**26 ポーリングパスワード**」を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。
5. 通常はパスワード設定をおすすめします。当社機以外のファクスやパスワードを使わない相手にポーリング送信／受信するときは、パスワードを入力しないでセットします。

ファクス基本編

ポーリング

■ **ポーリング受信**

原稿をメモリーに蓄積します
(☞ 34 ページ)

タイマーポーリングは 32 ページを参照ください

6

宛先を指定する
- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
- 直接ダイヤル

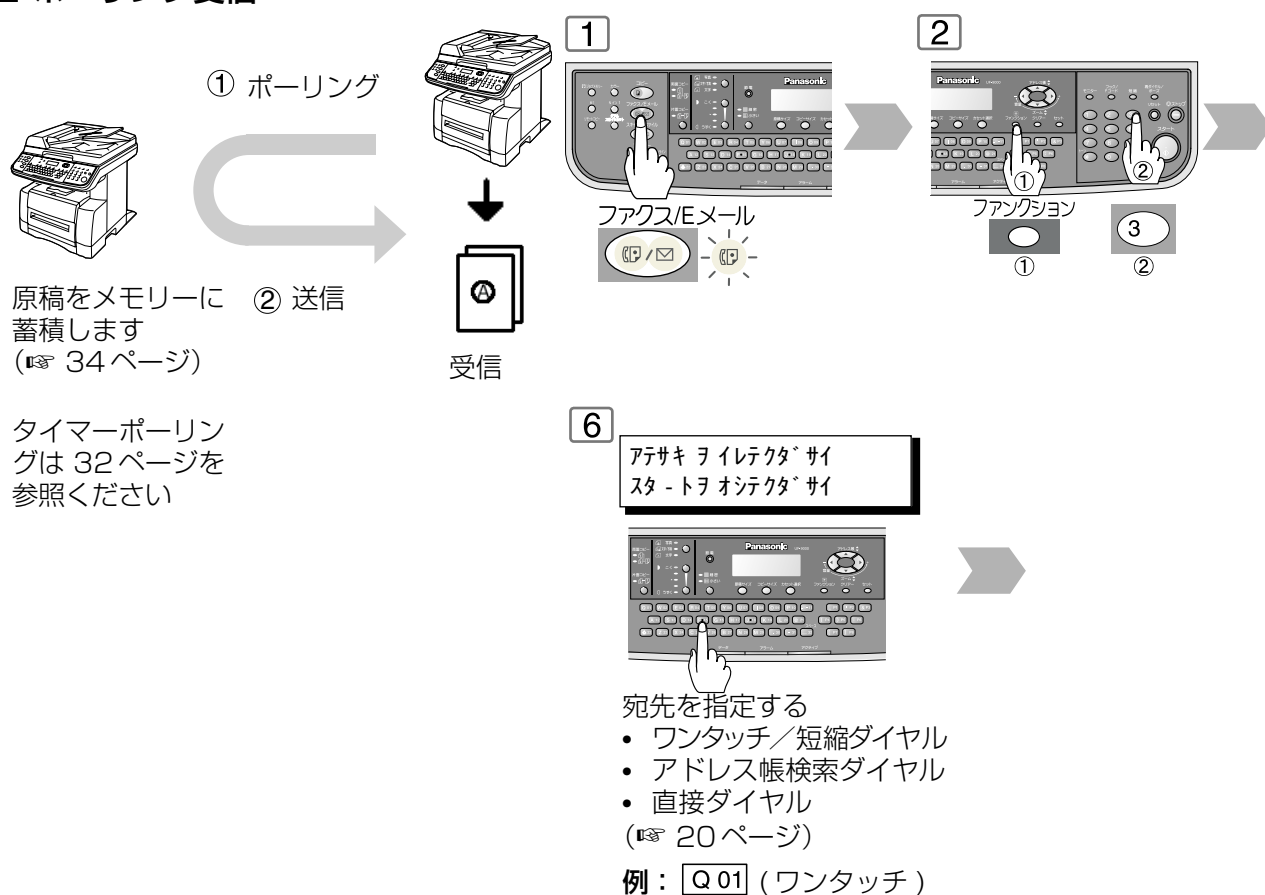
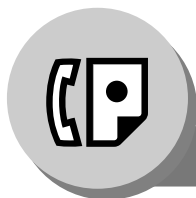
(☞ 20 ページ)

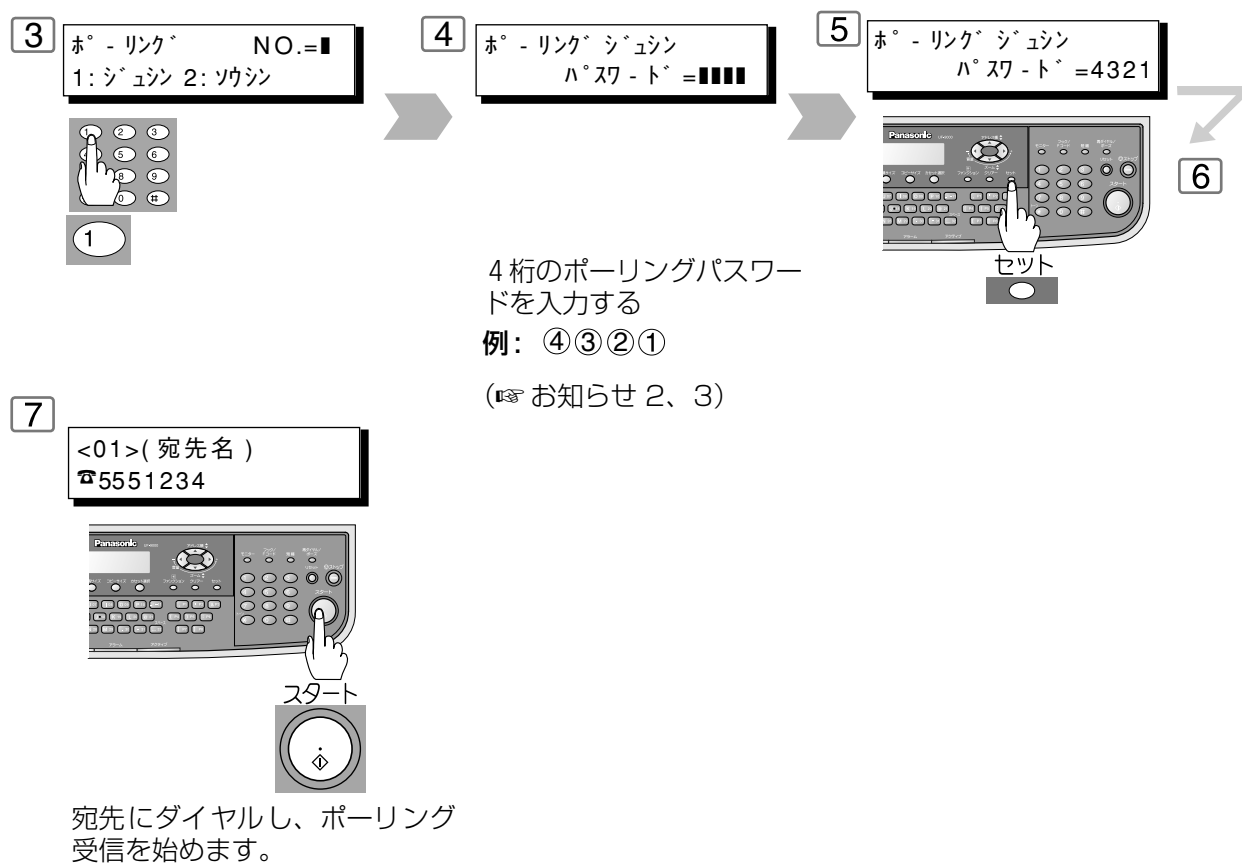
例： Q 01 (ワンタッチ)

お知らせ

1. ポーリング送受信がセットされている場合でも、ファクスの送信、受信はできます。

４桁のポーリングパスワードを入力する

例： ④③②①

(☞ お知らせ 2、3)

宛先にダイヤルし、ポーリング受信を始めます。

お知らせ

2. システム登録の「**26 ポーリングパスワード**」を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。
3. 通常はパスワード設定をおすすめします。当社機以外のファクスやパスワードを使わない相手にポーリング送信／受信するときは、パスワードを入力しないでセットします。

ファクス基本編

プログラム登録

■ **概要**

プログラムキー（[P1] ～ [P8]）に宛先とポーリング受信などの各種通信操作を登録しておくと、複雑な機能もキーを１回押すだけで指定できます。また、プログラムキーに複数の短縮ダイヤルやワンタッチキーを登録して、グループダイヤルとしてお使いになれます。
(手動 ＰＯＰ 受信については 70 ページを参照ください)

■ **グループダイヤルの登録**

プログラムキーに、複数の宛先を登録して、グループダイヤルとしてお使いになれます。グループダイヤルには、登録済のワンタッチ／短縮ダイヤルを指定します。

5

グループダイヤル名（最大 15 文字）を入力し、 セット を押す
(☞ 12 ページ)
例：グループ A

6a

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀ-ﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

ワンタッチを指定する。詳細は 20 ページを参照ください。
例： Q 01 (ワンタッチ)

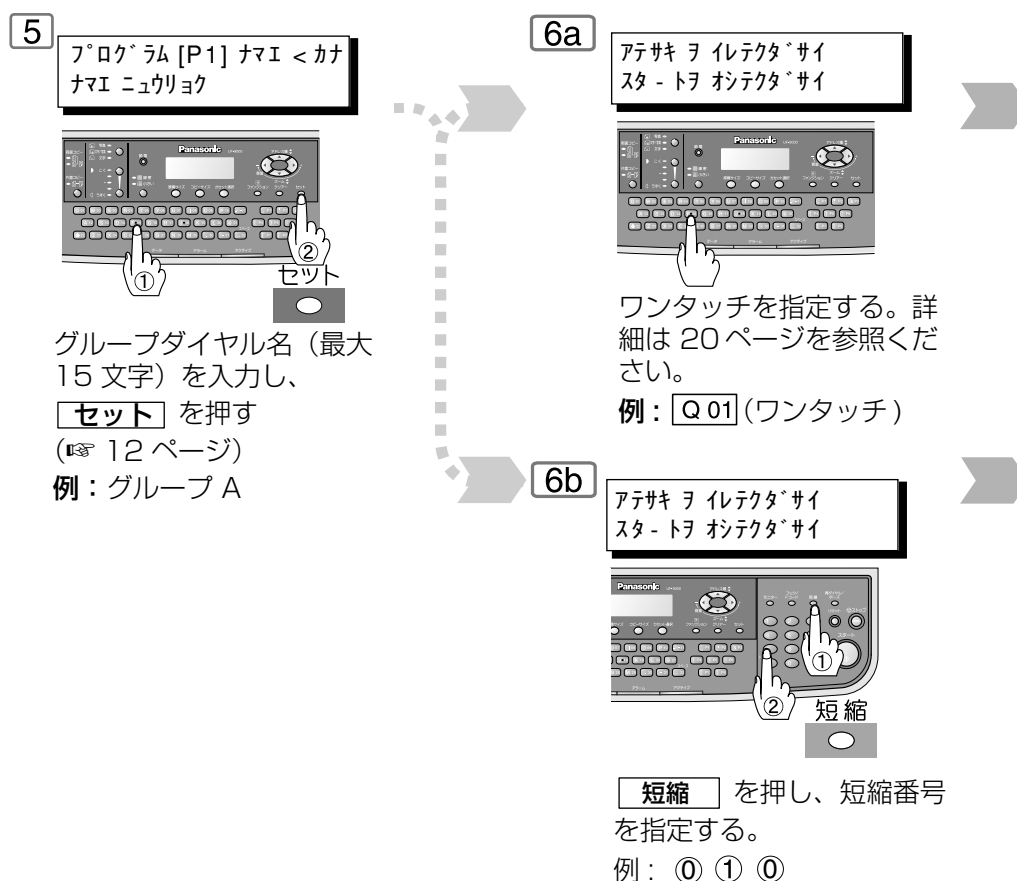
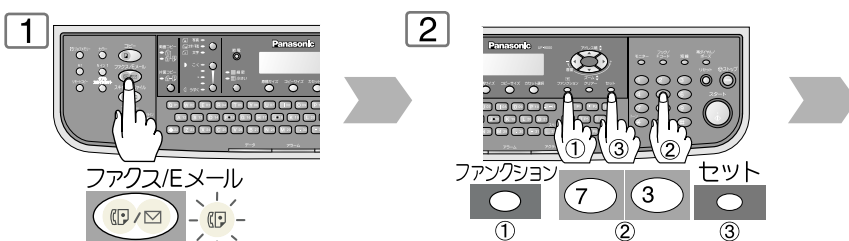
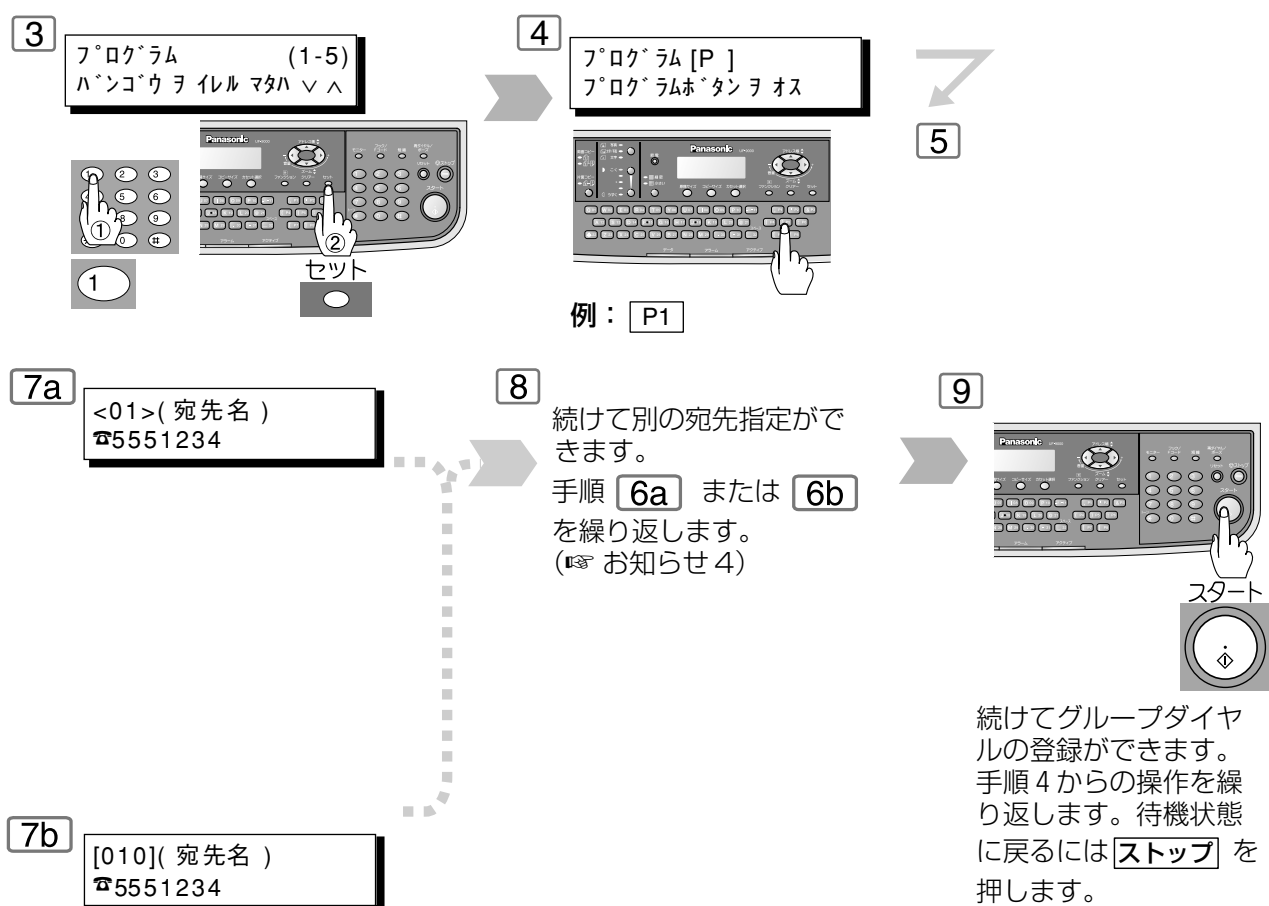
6b

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀ-ﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

短縮 を押し、短縮番号を指定する。
例： ⓪ ① ⓪

お知らせ

1. グループダイヤルを消去するには、 ファクス/Eメール（"ファクスランプ点灯"） ファンクション ⑦ ③ セット ④ の手順で行ないます。

続けて別の宛先指定ができます。
手順 6a または 6b を繰り返します。
(☞ お知らせ4)

続けてグループダイヤルの登録ができます。手順4からの操作を繰り返します。待機状態に戻るには **ストップ** を押します。

お知らせ

2. 予約されたグループまたはプログラムダイヤル通信が完了するまでは、登録された宛先の変更、消去はできません。
3. プログラムリストのプリントを行なうには 174 ページを参照ください。
4. 宛先を間違えたときは、**クリアー** を押して訂正してください。

プログラム登録

■ プログラムダイヤルの登録

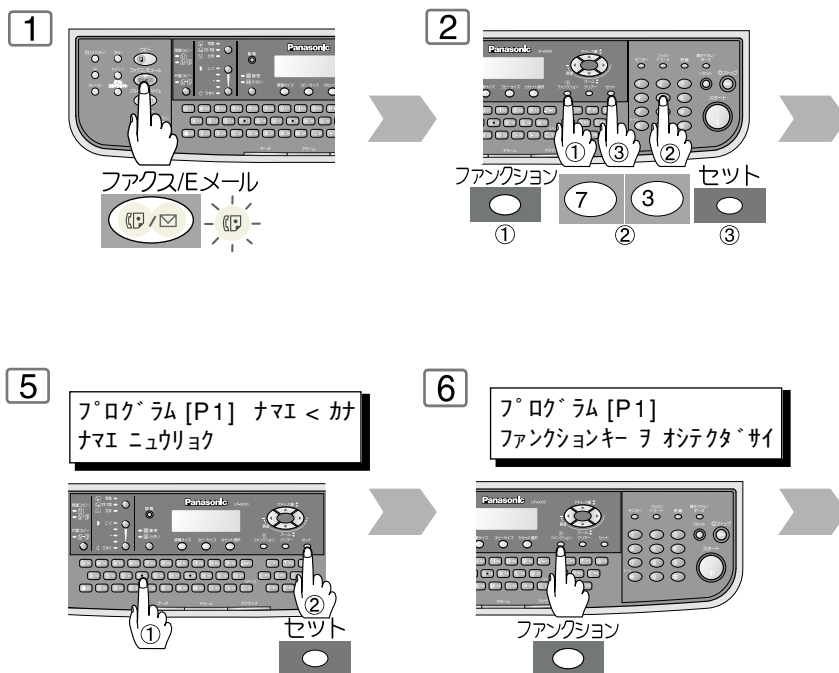
プログラムキー（[P1]～[P8]）に、宛先とポーリング受信などの各種操作を登録しておくと、プログラムダイヤルとして複雑な機能もキーを１回押すだけで指定できます。
プログラムダイヤルには、登録済のアドレス帳（ワンタッチ／短縮ダイヤル）を指定します。あらかじめ、アドレス帳の登録をしておいてください。
直接ダイヤル入力での登録は、できません。

1

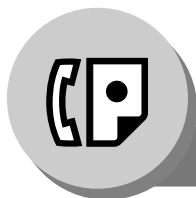
2

5

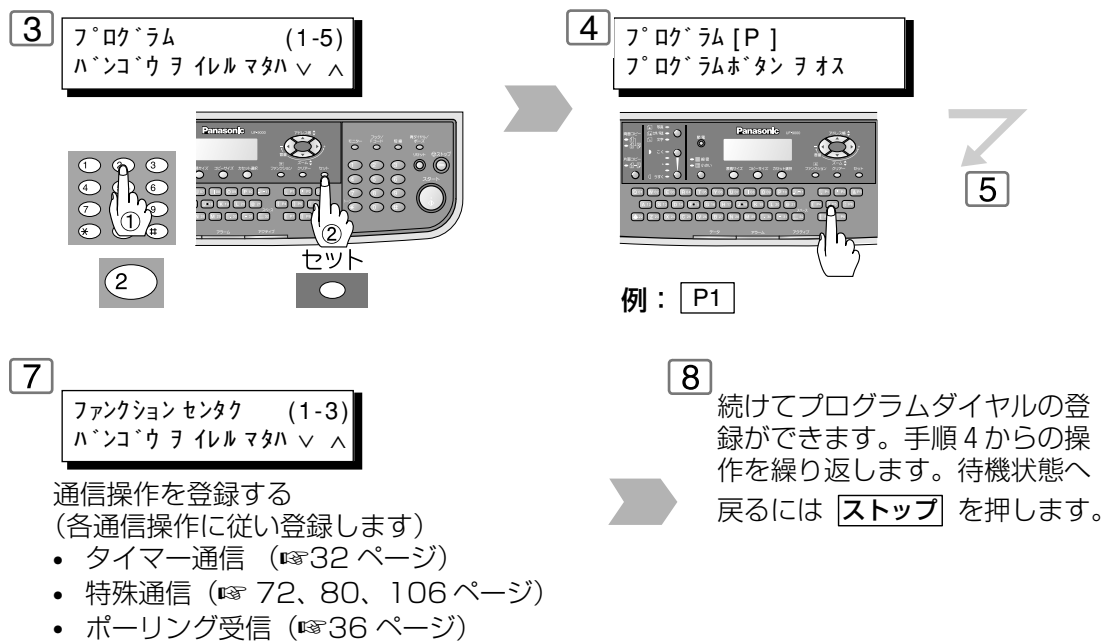
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]　ﾅﾏｴ < ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ

セット

プログラム名称（最大15文字）を入力し、セット を押す
(☞ 12ページ)
例 : プログラムA

6

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ [P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

ファンクション

お知らせ

1. プログラムダイヤルを消去するには、**ファクス/Eメール（"ファクスランプ点灯"）** **ファンクション** ⑦ ③ **セット** ④ の手順で行ないます。
2. 予約されたグループまたはプログラムダイヤル通信が完了するまでは、登録された宛先の変更、消去はできません。

3

4

例： P1

5

7

ﾌｧﾝｸｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ (1-3)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

通信操作を登録する
（各通信操作に従い登録します）
- タイマー通信 （☞32 ページ）
- 特殊通信（☞ 72、80、106 ページ）
- ポーリング受信（☞36 ページ）

8

続けてプログラムダイヤルの登録ができます。手順 4 からの操作を繰り返します。待機状態へ戻るには **ストップ** を押します。

お知らせ

3. プログラムリストのプリントを行なうには 174 ページを参照ください。

■ ワンタッチキーの登録

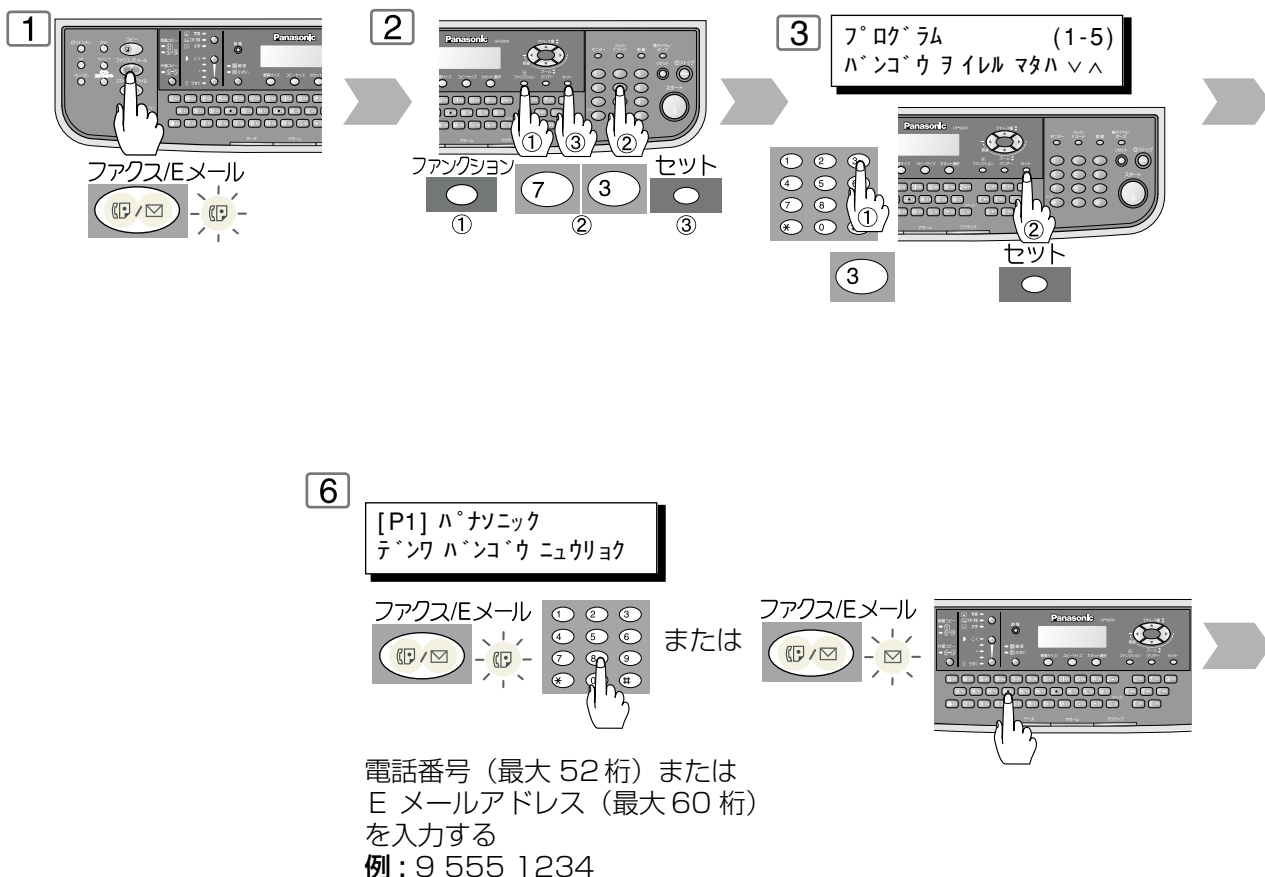
6

[P1] ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ

ファクス/Eメール

または

ファクス/Eメール

電話番号（最大 52 桁）または
E メールアドレス（最大 60 桁）
を入力する
例 : 9 555 1234

■ プログラムキーの変更

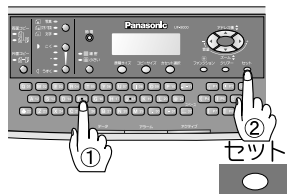
プログラムキーに登録されているつぎの内容を変更するには、38 ～ 43 ページの手順を行います。

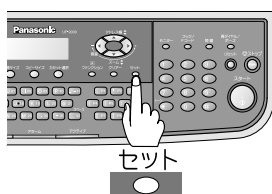
- タイマー送信の開始時間または宛先
- ポーリングの宛先
- タイマーポーリングの開始時間または宛先
- グループダイヤルの宛先
- ワンタッチキーの電話番号／ E メールアドレスまたはキー名称

ワンタッチ／短縮ダイヤルに登録されている電話番号や E メールアドレスの変更と消去は 146 ～ 147 ページの操作で行います。

お知らせ

1. プログラムのワンタッチを消去するには、ファクス/Eメール（"ファクスランプ点灯"）
   ファンクション ⑦ ③ セット ④ の手順で行ないます。
2. ワンタッチキーの登録は、142 ～ 143 ページの「アドレス帳の登録（電話番号）」や「アドレス帳の登録（メールアドレス）」でも設定できます。

例： P1

宛先名称（最大１５文字）を入力する
(☞ 12 ページ)

例：パナソニック

続けてワンタッチキーの登録ができます。手順４からの操作を繰り返します。待機状態に戻るには
ストップ を押します。
(☞ お知らせ４)

お知らせ

3. プログラムリストのプリントを行なうには 174 ページを参照ください。
4. 中継通信登録を行なう場合は、108 ページの手順 7 以降を参照してください。

インターネットFAX／Eメール（基本編）

インターネットに接続するための事前準備

本機をネットワークに接続される前に、この章をご覧いただくことにより各機能についてのご理解がいっそう深まります。
本機は、10BASE-T/100BASE-TX イーサネット LAN（ローカルエリアネットワーク）へ接続されると以下のような事ができます。

- ドキュメント情報を E メールで送信
- E メールを自動的に受信し印刷する
- ファクスもしくは E メールで受信したものを、自動的にあらかじめ設定した E メールアドレスもしくは通常のファクスへ転送（☞ 122 ページ）
- G3 ファクスから受信したものを、自動的に ITU-T のサブアドレスを使って、発信者の指定した E メールアドレスもしくはファクスへルーティングする（☞ 116 ページ）
- ファクスから受信したものを、自動的にファクスの発信元 ID を使って、発信者の指定した E メールアドレスもしくはファクスへルーティングする（☞ 116 ページ）
- E メールを通常のファクス送信としてファクスへ中継（☞ 124 ページ）

ここに記載した機能をご利用になるには、本機をネットワークへ正しく設定する必要があります。現在のネットワーク設定値については、お客様のネットワーク管理者へお問合せ願います。

この章の 48 ページに添付されている事前設定調査表をコピーの上、MAC (Media Access Control) アドレスを記入した後に、表にある残りの項目を埋めていただきますようネットワーク管理者へご依頼願います。
本機の MAC アドレスは、システム登録リストの 3 ページ目に印刷されます。

システム登録リストの印刷は、つぎの手順で行ないます。
[ファクス/Eメール（"ファクスランプ点灯"）] [ファンクション] ⑥ ④ [セット].

本機は、SMTP 転送もしくは POP クライアントによる受信のいずれかが設定できます。また設定により、ご利用になれる機能が以下の表の通り異なります。

機能	SMTP 転送	POP クライアント
ドキュメント情報を E メールで送信	○	○
E メールの自動受信と印刷	○	○
E メールの手動受信と印刷	×	○
受信したファクスもしくは E メールの自動転送	○	○
ファクスの自動振り分け転送（ルーティング）	○	○
E メールからファクスへの中継	○	×

[重要]

システム登録の「**177 送信ファイルタイプ**」には「**PDF**」の設定があります。この設定は、読み込んだ原稿を PC へ送付するときに使います（スキャン -to-E メール機能）。
しかし PDF フォーマットはインターネット FAX 通信ではご利用できません。現在のインターネット FAX 仕様では PDF ファイルフォーマットをサポートしていないためです。インターネット FAX 通信を主にお使いになるときは、システム登録の「**177 送信ファイルタイプ**」を「**TIFF/JPEG**」に設定してご使用ください。(☞155 ページ)

インターネット FAX もスキャン -to-E メールも両方交互にお使いになり、送信フォーマットを通信毎に切替えられるときは、**セレクトモード（F8-6）**「**送信ファイルタイプ／名称**」で通信毎に切替えてお使いください。送信終了後、システム登録の「**177 送信ファイルタイプ**」で設定した値へもどります。
(☞ 56 ～ 59 ページ)

お知らせ

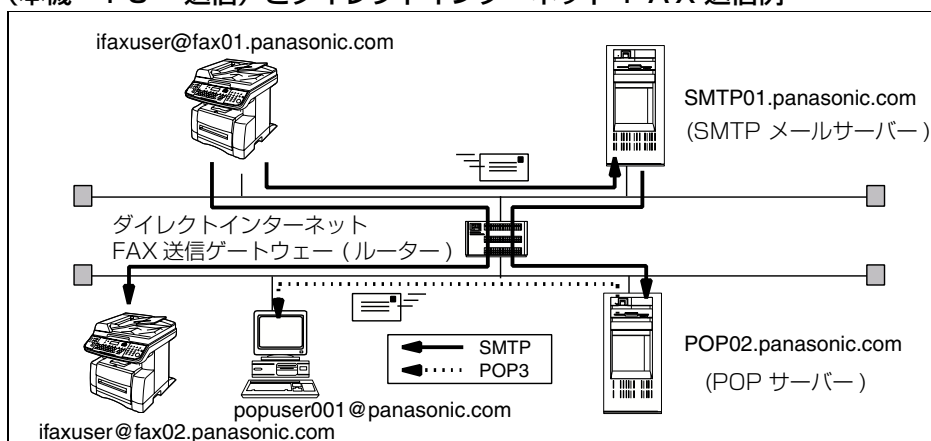
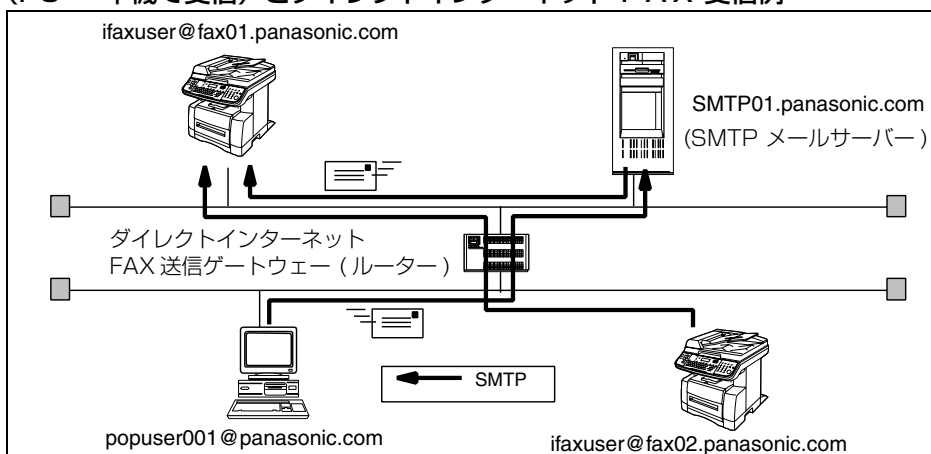
1. SMTP 転送機能をご利用になるには、本機の E メールアドレスにお客様のドメインとホスト名を含まなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS(Domain Name System) サーバーへ登録されていなければなりません。
   例： Internet_Fax@fax01.panasonic.com
2. 自動的に SMTP 転送もしくは POP 受信を実行します。POP クライアントとしての設定時には、手動操作による受信ができます。
3. DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) をご使用の場合、インターネット登録リスト (自局登録リスト) の IP アドレスはシステム管理者に依頼してください。
4. 本機が受信、印刷、転送、中継可能な E メールは、テキスト本文と TIFF-F 形式画像の添付ファイルのみです。

インターネットFAX／Eメール（基本編）

設定（SMTP 転送／ POP クライアント）

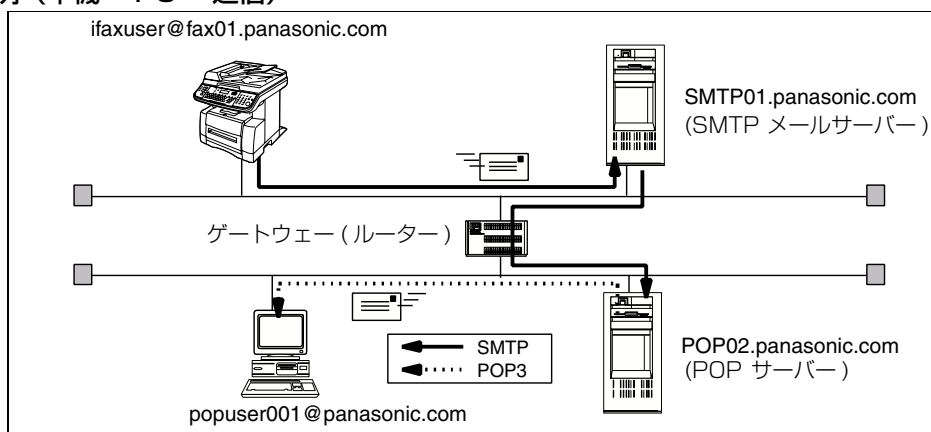
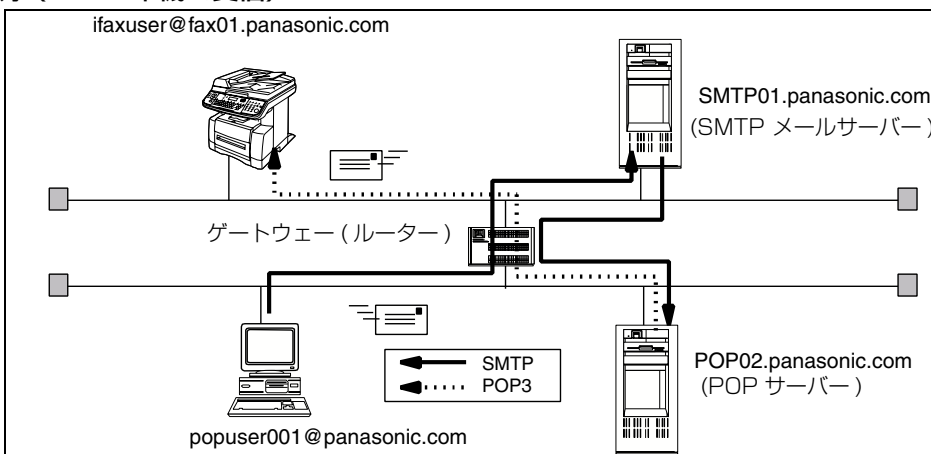
本機を SMTP 転送設定でご利用頂くには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- デフォルトゲートウェーの IP アドレス
- ホスト名／ドメイン名
- DNS サーバーの IP アドレス （ＤＮＳ サーバーが利用できない場合は、お知らせ 2 を参照）
- 本機の E メールアドレス（☞ お知らせ 1 ）
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- SMTP 認証名 （ＳＭＴＰ サーバーから要求時）
- SMTP 認証パスワード （ＳＭＴＰ サーバーから要求時）

E メール送信（本機～ PC へ送信）とダイレクトインターネット ＦＡＸ 送信例

E メール受信（PC ～ 本機で受信）とダイレクトインターネット ＦＡＸ 受信例

お知らせ

1. SMTP 転送機能をご利用になるには、本機の E メールアドレスにお客様のドメインとホスト名を含まなければなりません。 ホスト名はお客様のネットワークの DNS(Domain Name System) サーバーへ登録されていなければなりません。 登録は 「○○○ @ ホスト名 . ドメイン名」 の形式で行います。
   例： Internet_Fax@fax01.panasonic.com
2. お買い上げ時の設定では、DNS サーバーの IP アドレスと SMTP サーバー名が必要です。DNS サーバーがご利用になれない場合は、本体管理編ファンクション設定モード共通機能設定の 「**23 DNS サーバーアドレス**」 を 「**ナシ**」 へ変更してください (コピー ファンクション ① セット ⑨、パスワード入力 セット ② ③ DNSサーバーアドレス)。その後 SMTP サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。

本機を POP クライアントとして利用いただくには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。
- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- デフォルトゲートウェーの IP アドレス
- DNS サーバーの IP アドレス （ＤＮＳ サーバーが利用できない場合：☞ お知らせ 2 ）
- 本機の E メールアドレス（☞ お知らせ 3 ）
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- POP サーバー名もしくは IP アドレス
- POP ユーザーアカウント名
- POP パスワード

E メール送信例（本機～ PC へ送信）

E メール受信例（ PC ～本機で受信）

お知らせ

3. E メールアドレス形式は、通常の E メールアドレスと同じです。 登録は 「 POP ユーザー名@ドメイン名」 の形式で行います。
例：Internet_Fax@panasonic.com

インターネットFAX／Eメール（基本編）

設定（SMTP 転送／ POP クライアアント）

LAN 経由で全体のシステムが正しく動作するために、確定情報と追加パラメーターを設定しなければなりません。ネットワーク管理者から必要な情報を得た上で LAN へ接続してください。

ユーザー情報	
社名	
部署名	
住所	
電話番号	ＦＡＸ番号

インターネットパラメーター（自局登録）リスト（☞ 54 ページ）		
(1) *IP アドレス :		
(2) *サブネットマスク :		
(3) *デフォルトゲートウェーの IP アドレス :		
(4) *ＤＮＳサーバー１　ＩＰアドレス :		
(5) *ＤＮＳサーバー２　ＩＰアドレス :		
(6) 自局メールアドレス :		
(7) メールサーバー名:	もしくは	メールサーバーＩＰ アドレス :
(8) SMTP 認証名 :		
(9) SMTP 認証パスワード :		
(10) POP サーバー名 :	もしくは	POP サーバー ＩＰ アドレス
(11) POP ユーザー名 :		
(12) POP パスワード :		
(13) * ホスト名/ ドメイン名:		
(14) デフォルトサブジェクト :		
(15) デフォルトドメイン :		
(16) セレクトドメイン :		
1.	6.	
2.	7.	
3.	8.	
4.	9.	
5.	10.	
(17) リモートパスワード :		
(18) 中継用パスワード :		
(19) 管理者メールアドレス :		
(20) 中継許可ドメイン :		
1.	6.	
2.	7.	
3.	8.	
4.	9.	
5.	10.	

お知らせ

1. (1) ～ (17) はネットワーク管理者から提供される情報です。
2. お買い上げ時の設定では、DNS サーバーの IP アドレスと SMTP サーバー名が必要です。DNS サーバーがご利用になれない場合は、本体管理編ファンクション設定モード共通機能設定の「**23 DNS サーバーアドレス**」を「**ナシ**」へ変更してください（**コピー** **ファンクション** ① **セット** ⑨、パスワード入力 **セット** ② ③ **DNSサーバーアドレス**）。その後 SMTP サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。
3. 本機の MAC アドレスは、システム登録リストの 3 ページ目に印刷されます（**ファクス/Eメール（"ファクスランプ点灯"）** **ファンクション** ⑥ ④ **セット**）。

記載内容説明

	MAC アドレス	: システム登録リストの 3 枚目にプリントされます。
*(1)	TCP/IP アドレス	: インターネットプロトコルアドレス
*(2)	TCP/IP サブネットマスク	: サブネットマスク番号
*(3)	TCP/IP デフォルトゲートウェーアドレス	: デフォルトルーターの IP アドレス
*(4)	DNS サーバー 1 IP アドレス	: DNS サーバー 1 の IP アドレス
*(5)	DNS サーバー 2 IP アドレス	: DNS サーバー 2 の IP アドレス
(6)	自局メールアドレス	: 60 桁まで
(7)	メールサーバー名もしくはメールサーバー IP アドレス	: メールサーバー名（60 桁まで)、メールサーバーの IP アドレス
(8)	SMTP 認証名	: SMTP サーバーの IP アドレス (40 桁まで)
(9)	SMTP 認証パスワード	: 本機に割り当てられたパスワード (10 文字まで)
(10)	POP サーバー名もしくは POP サーバー IP アドレス	: POP サーバー名（60 桁まで)、POP サーバーの IP アドレス
(11)	POP ユーザー名	: 40 桁まで
(12)	POP パスワード	: 10 文字まで
*(13)	ホスト名 / ドメイン名	: 本機に割り当てられた名称 (60 文字まで)
(14)	デフォルトサブジェクト	: 件名（Subject) の部分に自動挿入される内容 (全角で 20 文字まで)
(15)	デフォルトドメイン	: E メールアドレス省略時の付加ドメイン名 (50 桁まで) (例：yourcompany.com)
(16)	セレクトドメイン (01 ～ 10)	: ドメインリストに表示するドメイン名 (30 桁まで)
(17)	リモートパスワード	: E メールを使ったリモート操作によるインターネットパラメーター、宛先登録、通信管理レポートの取得に関するパスワード (10 桁まで)
(18)	LAN 中継用パスワード (01 ～ 05)	: LAN 中継送信時の中継許可用パスワード（10 文字まで)
(19)	管理者メールアドレス	: LAN 中継送信状況モニターと通信費用管理として利用 (60 桁まで)
(20)	中継許可ドメイン名 (01 ～ 10)	: 中継許可ドメイン (30 桁まで)

(* このマークは共通機能設定で設定します。詳細は本体管理編取扱説明書：ファンクション設定モード（共通機能：キーオペレーター専用）を参照ください。)

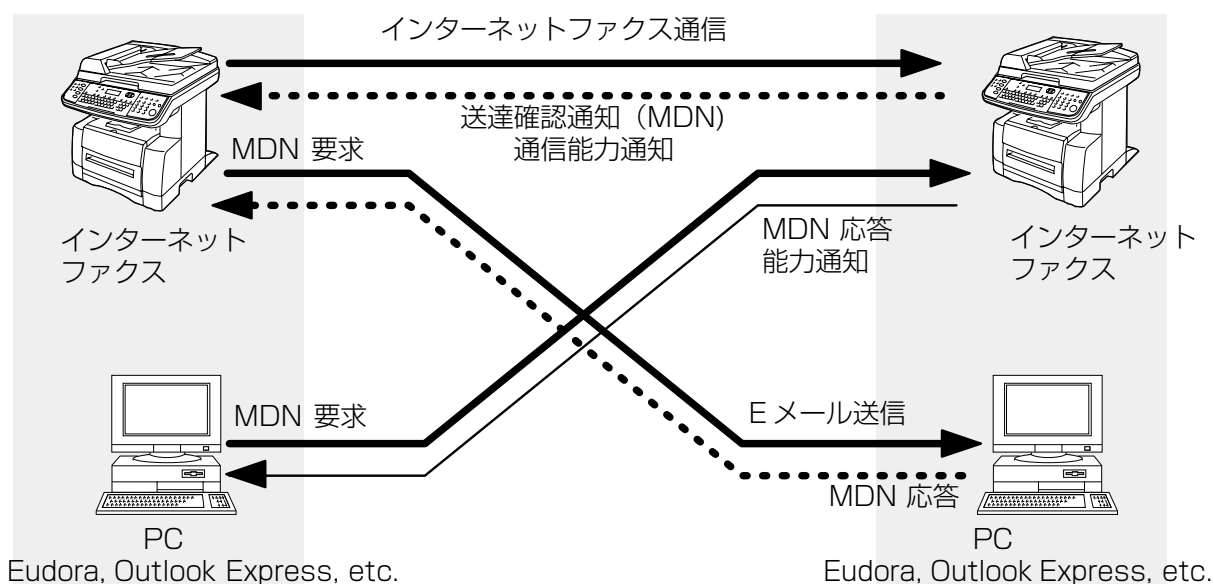
インターネットFAX／Eメール（基本編）

インターネットファクス通信

■ インターネットファクス通信とは

原稿をインターネットファクスから相手先の PC、あるいはインターネットファクスへ送信する機能です。原稿は、メールの TIFF 形式、JPEG または PDF（☞ お知らせ 1）の添付ファイルとして相手先の PC に送信されます。インターネットファクスからの簡単操作で相手先の E メールアドレスへ送信できます。
PC 側のメールソフトが MIME 形式に対応していない場合は、TIFF 形式、JPEG もしくは PDF の添付ファイルを使用できないため相手先へ正しく届きません。メールのメッセージはまず SMTP メールサーバーに送られ、その後、メールサーバーからインターネットへと送られます。

■ インターネットファクス送達確認通知 (MDN)

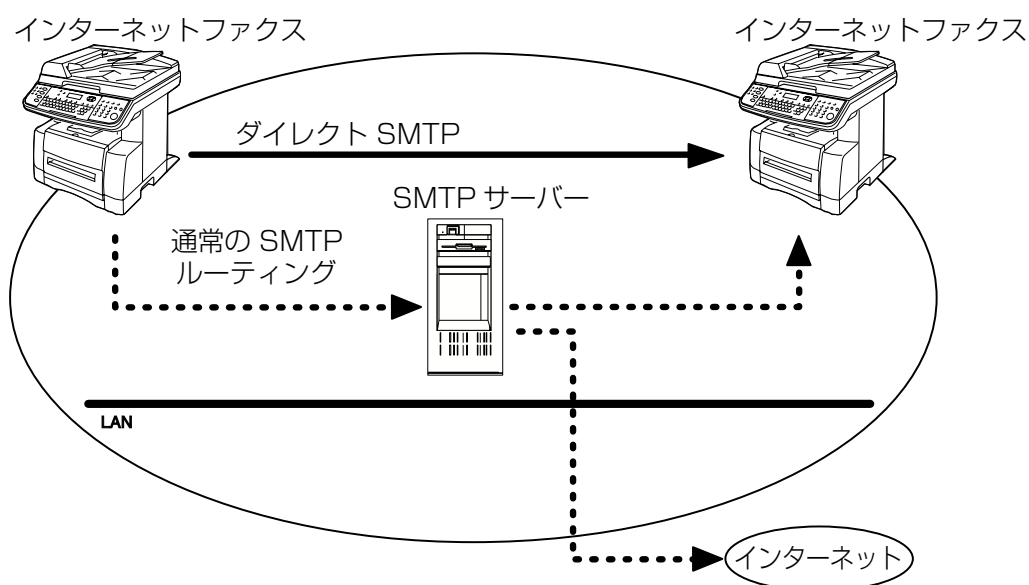
インターネットファクスからの送信の到達を確認できます。ただし、受信者の側に送達（開封）確認通知 (MDN) の機能が備わっていなければなりません。
インターネットファクスからの送達確認通知要求に応答できるメールアプリケーションには、Eudora や Outlook Express などがあります。MDN についての詳細は、各メールアプリケーション付属のヘルプやユーザーガイドを参照してください。

矢印について：

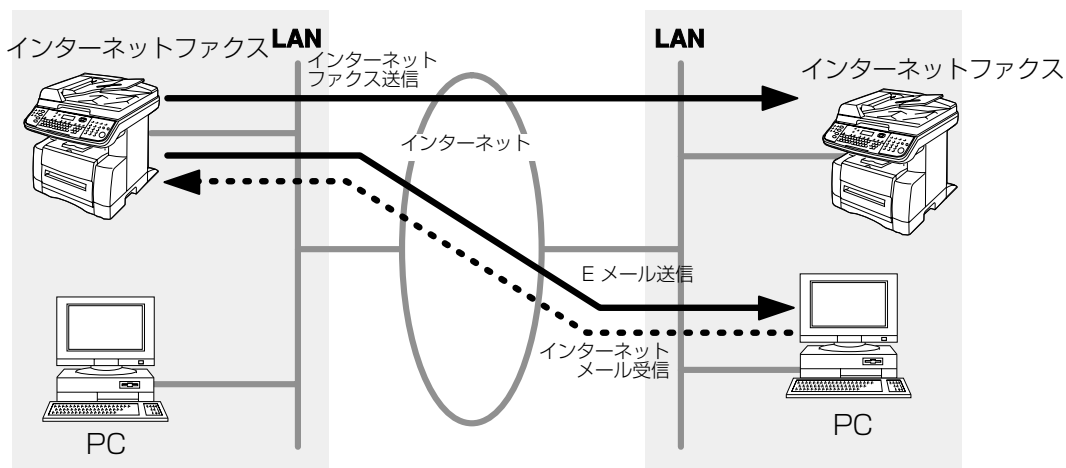
- （太線矢印）送信者からの MDN 要求
- （細線矢印）受信者からの MDN 応答　（通信能力通知）
- （点線矢印）受信者からの MDN 要求

お知らせ

1. JPEG ファイルでインターネットファクスへ送信する場合､受信側は JPEG フォーマットをサポートしている必要があります。 PDF ファイルは PC へ送信する場合にのみご利用になれます。

■ ダイレクト SMTP（ダイレクトインターネット FAX 送信）

インターネットのメールは SMTP メールサーバーが SMTP(Simple Mail Transfer Protocol) によりやりとりしています。
ダイレクト SMTP は、SMTP メールサーバーを通さずに直接インターネットファクス間で文書交換するシステムです。このシステムを働かせるには IP アドレスが常に一定に保たれている必要があります (IP アドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください)。本機のドメイン名などの情報が DNS サーバーに適切に登録されていなければなりません。
通常企業などのイントラネットでは、メールとホームページ閲覧しか許可されていません。これはファイアウォールの負担をシステム管理者が嫌うからです。
こういった場合、ダイレクト SMTP が活躍します。お使いになるときは、システム登録の「**172 ダイレクト ＩＦＡＸ 送信**」を「**アリ**」にしてください。(☞154 ページ)

■ インターネットメール受信

PC からインターネットファクスに送られてきた E メールを自動プリントする機能です。ただし、インターネットファクスがサポートしている TIFF 形式以外の添付ファイルが送られてきた場合は、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。

インターネットFAX／Eメール（基本編）

インターネット通信における注意点

■ 概要

LAN システムとの接続による通信は、基本的に E メールと同様で、一般回線用のファクスによる通信とは異なります。インターネット通信をする上で、注意しなければならないことについて説明します。

■ インターネットファクスと一般回線用のファクスの違い

通常のファクスは、受話器を取ってダイヤルして送ります。データは電話回線を介して相手側に届きます。回線使用の料金は送信者が負担します。ファクス同士接続されると、同期を取り、画像データを交換します。一方、インターネットファクスは、メールに似ています。画像データはパケットに分解され、電話回線を介さずに LAN からインターネットへ、もしくはイントラネットへと送信されます。したがって、長距離通話の経費を節減できます。

■ 正常に送信されましたか？

1. インターネット通信は LAN 経由でのメールサーバーとの通信となり、直接相手との通信はできません。したがって、何らかの原因で送信できなかった場合だけ、メールサーバーからエラーメールが返送されます。(☞ 62 ページ)
2. 相手先の場所、インターネットなどの回線の混み具合、LAN システムの構成にもよりますが、エラーメールが返送されるまで長い時間がかかることがあります。(通常は 20 ～ 30 分ぐらいと思われます。)
3. エラーメールが何らかの原因で返送されて来ない場合もあります。重要な書類、緊急を要する書類、またはそれに準じる書類を送信される場合には、送信後に必ず電話で確認願います。またインターネット経由の場合には秘匿性が低いので、重要な書類は、一般回線のご利用をお勧めします。
4. 送信する相手のメールシステムが MIME に対応していない場合、原稿を相手先に正しく送信することができません。また、相手のメールサーバーによってはエラーメールが返送されない場合があります。
5. 原稿枚数が多い場合やイメージデータ量が多いと、送信できない場合があります。

   お知らせ :
   1) システム登録の「**172 ダイレクト IFAX 送信**」が「**アリ**」になっているときは、メールサーバーを経由せず、アドレス帳に登録されている宛先へ直接送信します。
   2) 本機は送達確認通知機能をサポートしています。 (☞ 50 ページ)

■ LAN 経由での電話はできません

- 電話は一般回線で使用できます。(外部電話機使用時)
- LAN 経由の通信中でも、一般回線を使用したファクス通信はできます。

■ 2 回線通信機能

本機では 2 回線分の通信能力を持っています。一般回線の G3 ファクス通信 (PSTN) と LAN を使っての通信があります。

■ 読取りモードの文字サイズ

読取モードの文字サイズは、PC への送信を考慮して、お買い上げ時の設定を『小さい』にしてあります。この設定は、使用する原稿に合わせて変更することもできます。

■ インターネットメール受信

1. 本機は、PC からの E メールを受信しますが、受信したデータの内、英数字、ひらがな、カタカナと第 1、2 水準の漢字が記録可能です。
2. 受信したフォントや文字の大きさは変更できません。
3. 受信データを全角文字で約 60 桁、約 77 行を 1 ページで出力します。

■ LAN 経由で原稿を PC へ送る

メールで文書を送信する場合、TIFF-F 形式の画像ファイルのほかに以下のようなメッセージが宛先に届きます。「このメールには TIFF-F 形式の画像ファイルが添付されています。TIFF-F 形式画像ファイルのビューアーは以下のホームページからダウンロードできます」
http://www.panasonic.co.jp/pcc/

■ LAN 中継送信

LAN 中継局への不正なアクセスを防止するためには、ネットワーク・セキュリティーを設定します。LAN 中継パスワード、中継許可ドメイン名の設定を行ないます。また、LAN 中継通信全てを管理するために、管理者のメールアドレスを登録し通信管理レポートを受け取れるようにします。

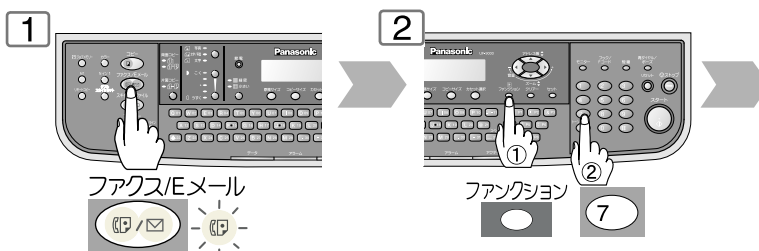
インターネットFAX／Eメール（基本編）

インターネットパラメーターの設定

■ インターネット基本パラメーター

つぎの基本パラメーターは、インターネットファクス通信を行なうために必要不可欠です。ご使用になる前に設定が必要です。

- *TCP/IP アドレス
- *TCP/IP サブネットマスク
- *TCP/IP デフォルトゲートウェーアドレス
- *DNS サーバーアドレス
- 自局 E メールアドレス
- メールサーバー名もしくはメールサーバー IP アドレス

(* これらのパラメーターの設定は共通機能設定で行ないます。本体管理編取扱説明書を参照ください。)

■ インターネットパラメーター (自局登録)

	登録項目	内容
1	時刻セット	現在の日付と時刻
2	発信元	最大 25 文字まで
3	文字 ID	最大 16 文字まで
4	数字 ID	本機のファクス番号です (最大 20 桁まで)
5	メールアドレス	本機に割り当てられたメールアドレス (最大 60 文字まで)
6	メールサーバー名	SMTP メールサーバーの名称 (最大 60 文字まで)
7	メールサーバー IP アドレス	メールサーバー IP アドレス (DNS 設定が「ナシ」のとき)
8	SMTP 認証名	SMTP メールサーバーの IP アドレス (最大 40 文字まで) (システム登録の「**170 SMTP 認証**」を「**アリ**」にしているとき)
9	SMTP 認証パスワード	本機に割り当てられたパスワード（最大 10 文字まで) (システム登録の「**170 SMTP 認証**」を「**アリ**」にしているとき)
10	POP サーバー名	POP サーバー名（ 最大 60 桁まで)
11	POP サーバー IP アドレス	POP サーバーの IP アドレス (DNS 設定が「ナシ」のとき)
12	POP ユーザー名	最大 40 桁まで
13	POP パスワード	最大 10 桁まで

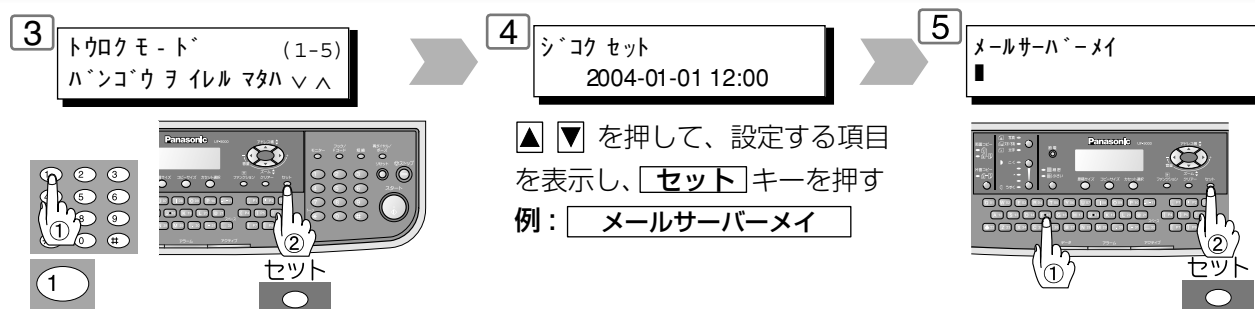
3

4

シ゛コク セット
2004-01-01 12:00

▲ ▼ を押して、設定する項目を表示し、セット キーを押す

例：メールサーバーメイ

5

メールサーバ゛ーメイ
▮

メールサーバー名を入力し、セット を押す。次の設定を行なうには クリアー を押して手順4からの操作をおこなう、または ストップ を押して待機状態に戻ります。

	登録項目	内容
14	デフォルトサブジェクト	件名（ Subject）の部分に自動挿入される内容 （全角で最大 20 文字まで）
15	デフォルトドメイン	メールアドレス省略時の付加ドメイン名（ 最大 50 桁まで） 例：panasonic.com（@ は自動で付加されます）
16	セレクトドメイン (01) ～ (10)	セレクトドメインキーに表示するドメイン名（ 最大 30 桁まで）
17	リモートパスワード	E メールを使ったリモート操作によるインターネットパラメーター、宛先登録、通信管理レポートの取得に関するパスワード（ 最大 10 文字まで）
18	LAN 中継用パスワード	中継送信時の中継許可用パスワード（最大 10 文字まで）
19	管理者メールアドレス	中継送信状況モニターと通信費用管理として利用（ 最大 60 桁まで）
20	中継許可ドメイン名 (01) ～ (10)	中継許可ドメイン名（ 最大 30 桁まで）

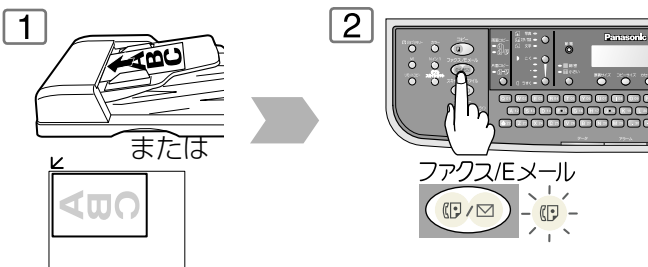
インターネットFAX／Eメール（基本編）

E メールアドレスを入力して送る

■ E メールアドレスを直接入力して送る

キーボードから直接 E メールアドレスを入力します。

1

2

5a E メールアドレスを直接入力する

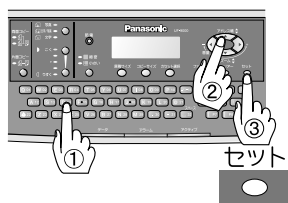
キーボードから E メールアドレスを直接入力（最大 60 文字）します。間違えたときは クリアー を押して訂正します。

例： 入力：abc@panasonic.com

5b デフォルトドメインを使う（☞ お知らせ 4）

Eメールアドレスの@より左部分のみを入力（例：abc）します。
送信時に自動的にインターネットパラメーターに登録されているデフォルトドメインを付加します。

例： "panasonic.com" が登録されているとき
表示　　　　　　：abc
送信メールアドレス：abc@panasonic.com

5c ドメインリストを使う

異なるドメイン名で送信するときは、E メールアドレスの@までを入力（例：abc @）し、▲ ▼を使ってインターネットパラメーターに登録されているセレクトドメインを表示させて セット を押します。

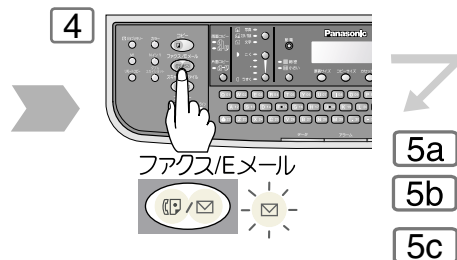
例： 表示：abc@panasonic.com

お知らせ

1. キーボードからの入力時やアドレス帳への登録時に「ピピピ」と音が鳴ったときは、インターネット基本パラメーターが登録されていません。（☞54 ページ）
2. E メールアドレスと電話番号を組み合わせての送信が可能です。
3. インターネットファクス通信では、正常に送れなかった場合にメールサーバーからエラーメールが返信され、エラーメッセージを 1 枚目の画情報とともにプリントし、送信できなかったことを知らせます。

3 送信する原稿に合わせ、送信設定をする（☞11 ページ）
カラーで送信する場合は、カラー キーを押してください。

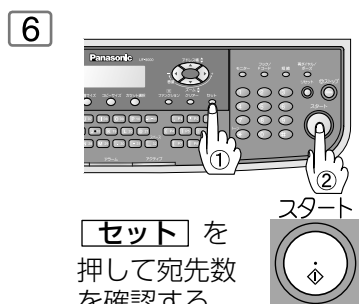
ファイルタイプとファイル名は ファンクション ⑧ ⑥
（送信ファイルタイプと名称）で、送信毎に変更できます。
（☞ お知らせ 6）

4
5a
5b
5c

インターネット FAX へ送信する場合（☞ お知らせ 3、5、6）
- カラー／モノクロ　：モノクロのみ
- ファイルタイプ　　：TIFF ／ JPEG のみ

パソコンへ送信する場合
- カラー／モノクロ　：カラー、モノクロ（グレースケールも可能）
- ファイルタイプ　　：TIFF ／ JPEG または PDF

6
セット を押して宛先数を確認する
原稿の読取りが開始され、ファイルナンバーとともにメモリーに蓄積されます。読取りが完了した原稿から送信が開始されます。

原稿台ガラスを使っての送信の場合は、スタート を押したあと原稿サイズを選択し、スタート を押してください。
１枚読み込む毎に
「ツギノ　ゲンコウガ　アリマスカ？」の表示をします。

①：ハイ
原稿を交換して スタート を押し、原稿サイズを選択したのち スタート を押します。

②：イイエ
送信を開始します。

複数宛先の指定
- メモリー送信するときは、1 つの原稿を複数宛先へ送信することができます。手順 5a、5b または 5c の操作の後、セット を押して、宛先数を確認後、手順 4 および、5a、5b または 5c の操作を繰り返して宛先を指定できます。セット は、省略することも可能ですが、スタート を押す前には セット を押して宛先数を確認することをおすすめします。宛先の消去については、12 ページを参照してください。（☞ お知らせ 2）

お知らせ

4. E メールアドレスに自動でドメイン名を付加して送信するには、自局登録（インターネットパラメーター）の「デフォルトドメイン」を登録し、システム登録の「**160 デフォルトドメイン**」を「**アリ**」に設定する必要があります。（☞154 ページ）
5. カラーまたはグレースケールを選択している場合は、受信側のインターネット FAX が JPEG フォーマットに対応している必要があります。
6. ファイルタイプを PDF に設定している場合は、受信側のインターネット FAX が PDF フォーマットに対応している必要があります。

インターネットFAX／Eメール（基本編）

E メールアドレスを入力して送る

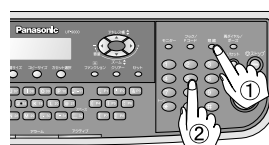
■ ワンタッチ／短縮ダイヤル／ E メールアドレス検索を使って送る

LAN 経由で送信する場合、ワンタッチ／短縮ダイヤル、アドレス帳検索の他に E メールアドレスで検索して送信することもできます。

1

2

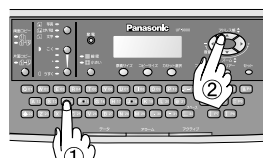
4a ワンタッチ／短縮ダイヤル（☞ お知らせ 3）

または

ワンタッチ／短縮ダイヤルの場合、宛先を表示するだけで宛先が指定されます。

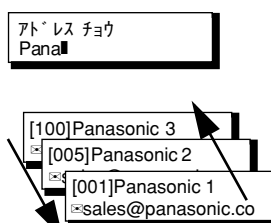
短縮

＋ 短縮ダイヤル番号（3 桁）

または

4b アドレス帳検索ダイヤル（☞ お知らせ 3）

アドレス帳

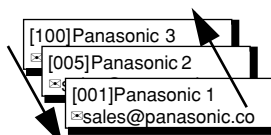
検索する文字を入力する（☞ 12 ページ）

例 : "Pana"

アドレス帳 を押して検索する

または

4c E メールアドレス検索ダイヤル（☞ お知らせ 3、4、8）

検索する E メールアドレスの文字を入力する

例 : "sa"

アドレス帳 を押して検索する

お知らせ

1. キーボードからの入力時やアドレス帳への登録時に「ピピピ」と音が鳴ったときは、インターネット基本パラメーターが登録されていません。（☞54 ページ）
2. E メールアドレスと電話番号を組み合わせての送信が可能です。
3. アドレス帳検索ダイヤルは、ワンタッチ／短縮ダイヤルが登録されているときにご利用になれます。（☞142 ページ）

   宛先を間違えたときは クリアー を押して訂正してください。（☞12 ページ）
4. E メールアドレス検索ダイヤルは、ワンタッチ／短縮ダイヤルが登録されているときにご利用になれます。（☞142 ページ）

3 送信する原稿に合わせ、送信設定をする（☞11 ページ）
カラーで送信する場合は、カラー キーを押してください。

ファイルタイプとファイル名は ファンクション ⑧ ⑥ （送信ファイルタイプと名称）で、送信毎に変更できます。（☞ お知らせ 7）

インターネット FAX へ送信する場合（☞ お知らせ 5、6、7）

- カラー／モノクロ ：モノクロのみ
- ファイルタイプ ：TIFF ／ JPEG のみ

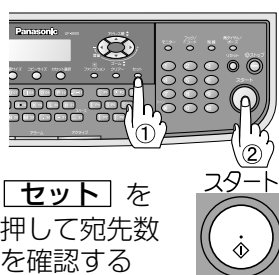
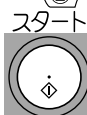
パソコンへ送信する場合

- カラー／モノクロ ：カラー、モノクロ（グレースケールも可能）
- ファイルタイプ ：TIFF ／ JPEG または PDF

4a

4b

4c

5

スタート

セット を押して宛先数を確認する

原稿の読取りが開始され、ファイルナンバーとともにメモリーに蓄積されます。読取りが完了した原稿から送信が開始されます。

原稿台ガラスを使っての送信の場合は、スタート を押したあと原稿サイズを選択し、スタート を押してください。
１枚読み込む毎に
「ツギノ　ゲンコウガ　アリマスカ？」の表示をします。

①：ハイ
原稿を交換して スタート を押し、原稿サイズを選択したのち スタート を押します。

②：イイエ
送信を開始します。

複数宛先の指定

- メモリー送信するときは、1 つの原稿を複数宛先へ送信することができます。手順 4a、4b または 4c の操作の後、セット を押して、宛先数を確認後、手順 4a、4b または 4c の操作を繰り返して宛先を指定できます。セット は、省略することも可能ですが、スタート を押す前には セット を押して宛先数を確認することをおすすめします。宛先の消去については、12 ページを参照してください。
（☞ お知らせ 2）

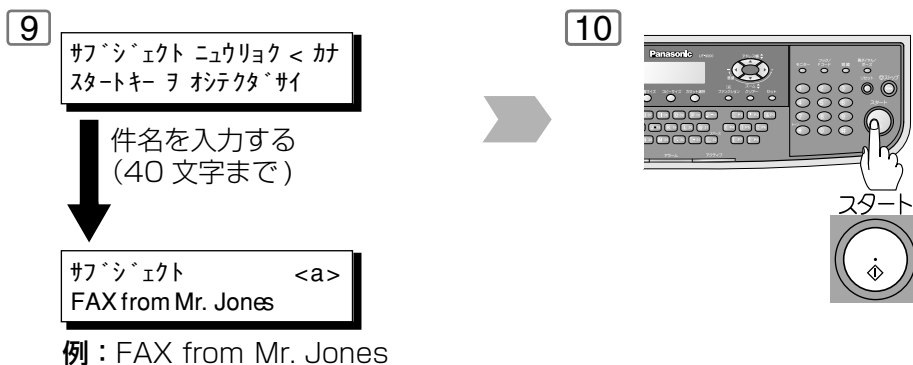
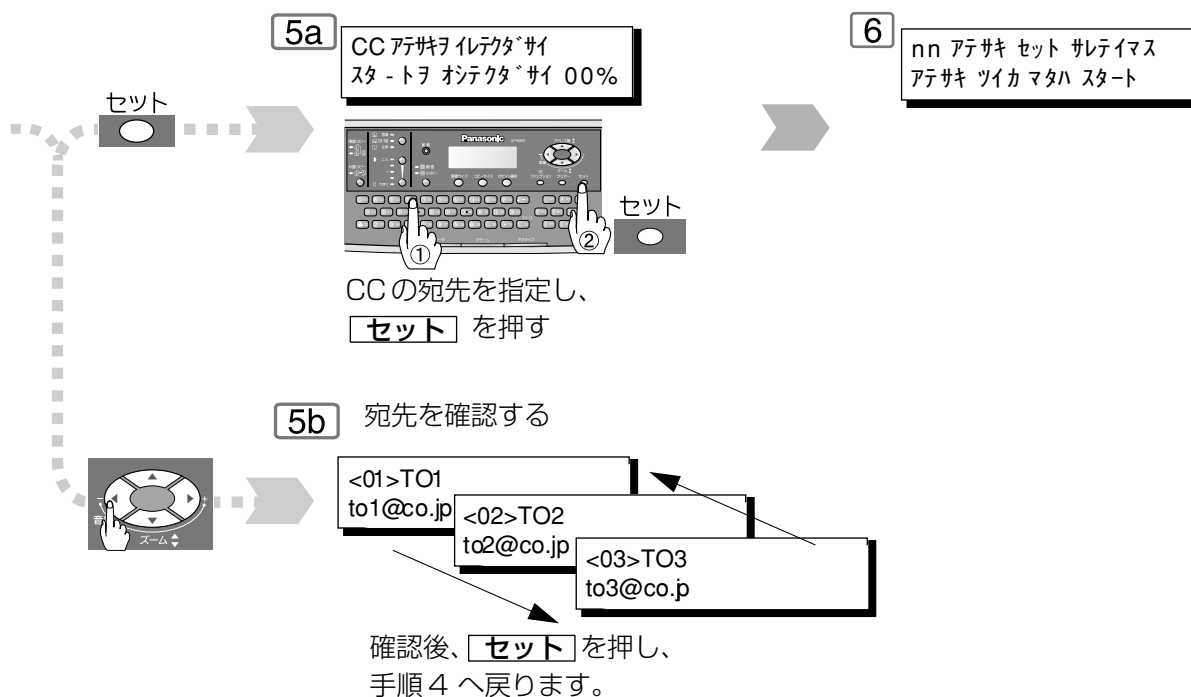
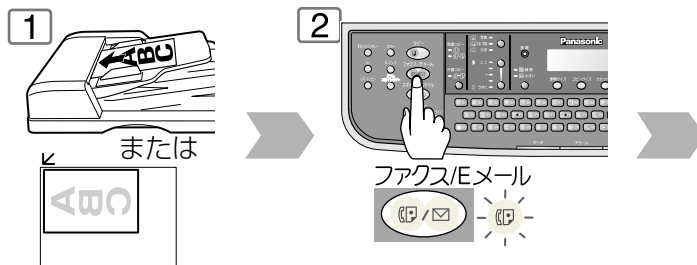
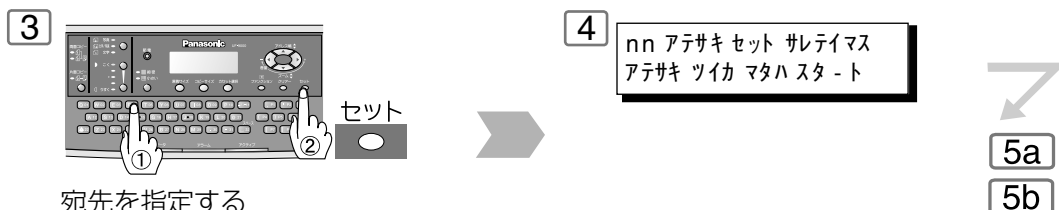
お知らせ

5. インターネットファクス通信では、正常に送れなかった場合にメールサーバーからエラーメールが返信され、エラーメッセージを 1 枚目の画情報とともにプリントし、送信できなかったことを知らせます。
6. カラーまたはグレースケールを選択している場合は、受信側のインターネット FAX が JPEG フォーマットに対応している必要があります。
7. ファイルタイプを PDF に設定している場合は、受信側のインターネット FAX が PDF フォーマットに対応している必要があります。
8. 「ミツカリマセン」 や希望の宛先やアドレスが出てこないときに、手動で E メールアドレスを表示する場合は、クリアー を 1 度または 2 度押してから入力してください。

■ E メールヘッダーの宛先指定

E メールアドレス
E メールヘッダーの指定をするとき、CC(Carbon Copy) と BCC (Blind Carbon Copy) の指定ができます。CC/BCC の入力をするにはシステム登録の「**168 CC/BCC 宛先**」を「**アリ**」に設定します。（☞154 ページ）

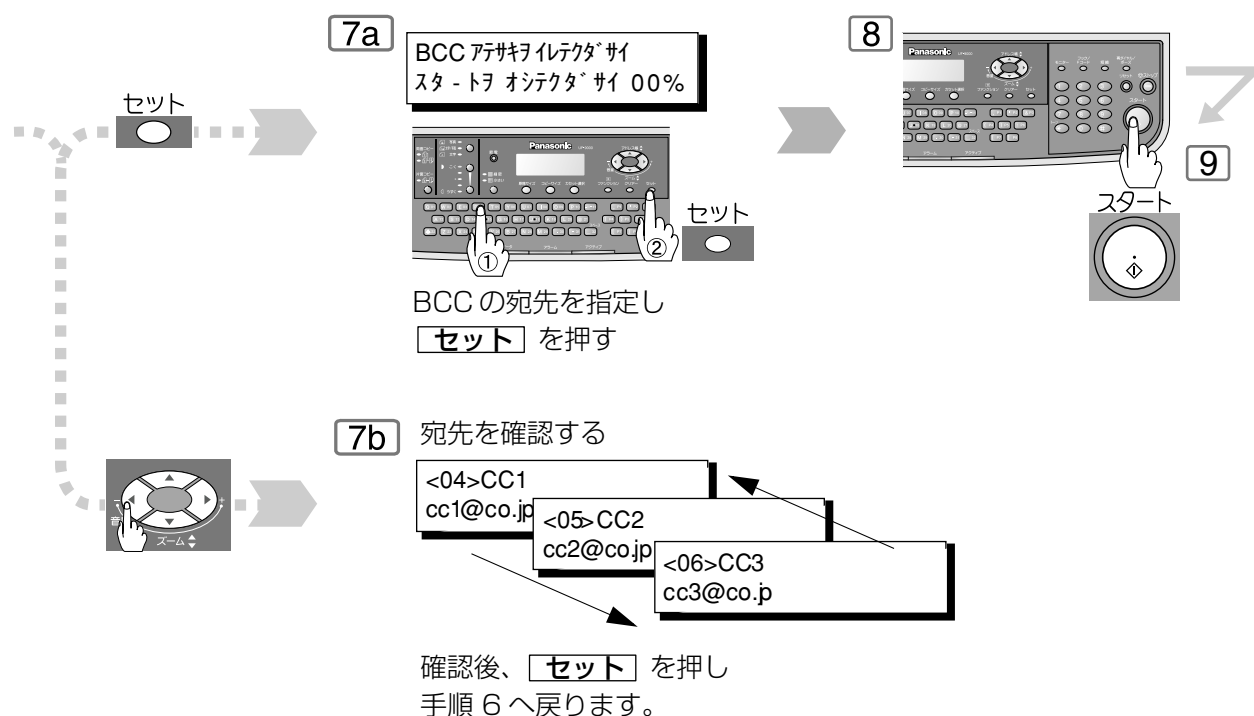
件名 (サブジェクト)
インターネットパラメーターで登録した件名 (サブジェクト) が、送信される E メールに自動的に付加されます。あらかじめ登録されている件名（デフォルトサブジェクト）以外を入力してから送信するときは、システム登録の「**159 サブジェクト登録**」を「**アリ**」に設定します。（☞154 ページ)

例：FAX from Mr. Jones

宛先を指定する
- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
- E メールアドレス

(☞ 56 ～ 58 ページ)

BCC の宛先を指定し
セット を押す

宛先を確認する

確認後、セット を押し
手順 6 へ戻ります。

お知らせ

1. システム登録の「**173 送達確認要求**」(☞155 ページ) が 「**オン**」のときは、CC/BCC に指定しても TO の宛先として送信されます。

インターネットFAX／Eメール（基本編）

E メールアドレスを入力して送る

■ エラーメール

インターネットファクス通信では、正常に送れなかった場合にメールサーバーからエラーメールが返信されてきます。メールサーバーからの情報としてテキストと 1 枚目の画情報がプリントされます。

エラーメールのプリント例 (E メールアドレスが正しくない場合)

```
Received: from localhost (localhost) by ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with
internal id OAA24381; THU, 15 AUG 2003 14:52:57 +0900
Date: THU, 12 AUG 2003 14:52:57 +0900
From: Mail Delivery Subsystem <MAILER-DAEMON@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: Returned mail: User unknown
Message-Id: <200011120552.OAA243B1@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
To: <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>

The original message was received at THU, 15 AUG 2003 14:52:54 +0900
from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21.22.51]

   ----- The following addresses had delivery problems -----
<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>  (unrecoverable error)

   ----- Transcript of session follows -----
.... while talking to nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp.:
>>> RCPT To:<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
<<< 550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown
550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown

   ----- Original message follows -----
Return-Path: fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp
Received: from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp (Internet FAX) (nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21
.22.51]) by ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with SMTP id OAA24380 for <error@nwr39
.rdmg.mgcs.mei.co.jp>; THU, 15 AUG 2003 14:52:54 +0900
Message-ID: <200011120552.OAA24380@ifeifl.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Mime-Version: 1.0
Content-Type: image/tiff
Content-Transfer-Encoding: base64
Content-Disposition: attachment; filename="image.tif"
Content-Description: image.tif
X-Mailer: Internet FAX, MGCS
Date: THU, 15 AUG 2003 14:49:00 +0900
From: iFAX <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: IMAGE from Internet FAX
To: error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.cp.jp


                             5
15-AUG-2003 14:49          iFAX                                      P.01/01
```

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH25 8ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　　　　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause

インターネットFAX／Eメール（基本編）

LAN を使って受信する

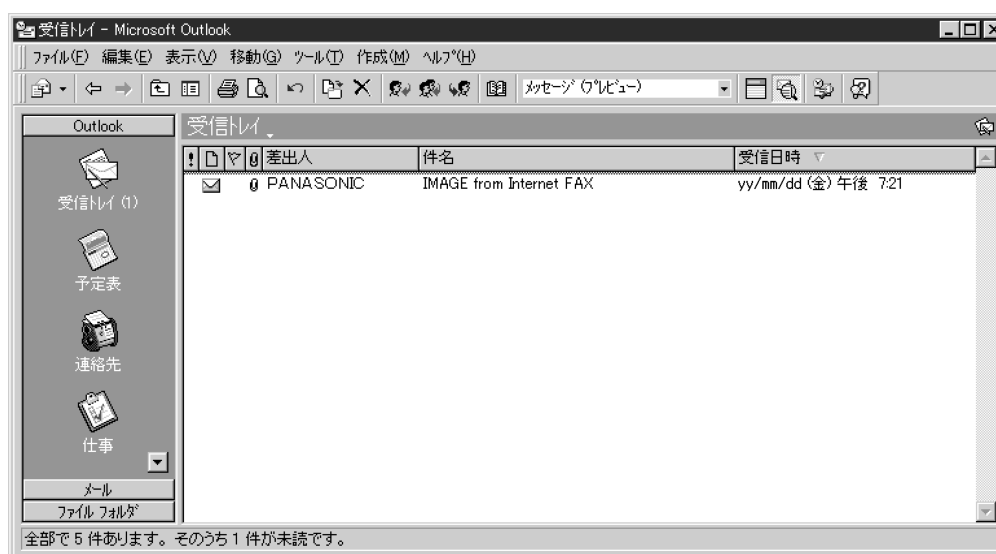
■ 概要

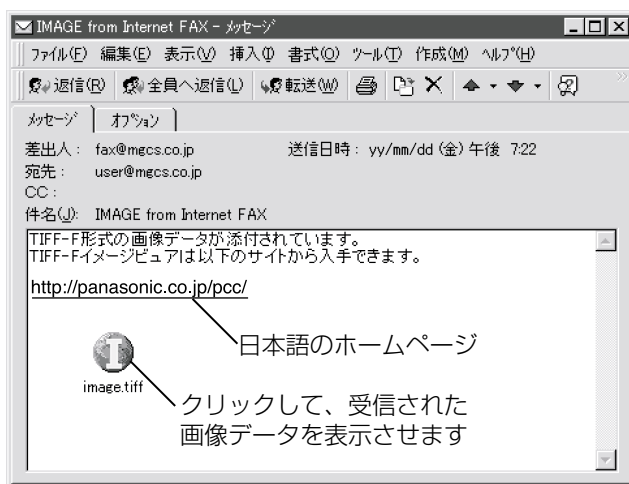
LAN 内の PC およびインターネットファクスからの受信については、自動的にプリントされて受信トレイに排出されます。受信するための設定はありません。ただし、POP サーバーに接続してインターネットファクスをご利用の場合は、LAN 関連の設定が必要になります。

インターネットファクスは原稿以外に E メールも受信できます。

E メールを PC で見る場合の操作については、お使いのメールソフトやビューアーソフトの取扱説明書をご覧ください。

次に E メールを PC で見る場合の一例を示します。

〈インターネットファクスからの E メールを PC が Microsoft®, Windows® operating system 日本語版で動作する E メールプログラム「Outlook®」で受信した場合の画面〉

インターネットファクスからの E メールは件名が「IMAGE from Internet FAX」となっています。

〈インターネットファクスから受信したメールを表示した場合の画面〉

画面表示は、Microsoft® Windows® Operating system 日本語版で動作するＥメールプログラム「Outlook®」で受信した画面です。

ソフトウェアのダウンロードについて

フリーソフトの TIFF ビューアー、TIFF コンバーターが以下のホームページからダウンロードできます。

- ホームページ http://panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html

● ダウンロードしたソフトウェアのインストール作業並びにインストール後の動作に関しましては、お客様の責任の元お取り扱いいただきますようお願いいたします。当社では、このソフトウェアについての動作保証、インストール後の二次的損害に関しては一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

インターネットFAX／Eメール（基本編）

LAN を使って受信する

■ POP 受信

POP サーバーに接続してご利用されている場合には、以下の方法で受信できます。（お使いの機器がPOP サーバーに接続されているかどうかは、システム管理者の方におたずねください）

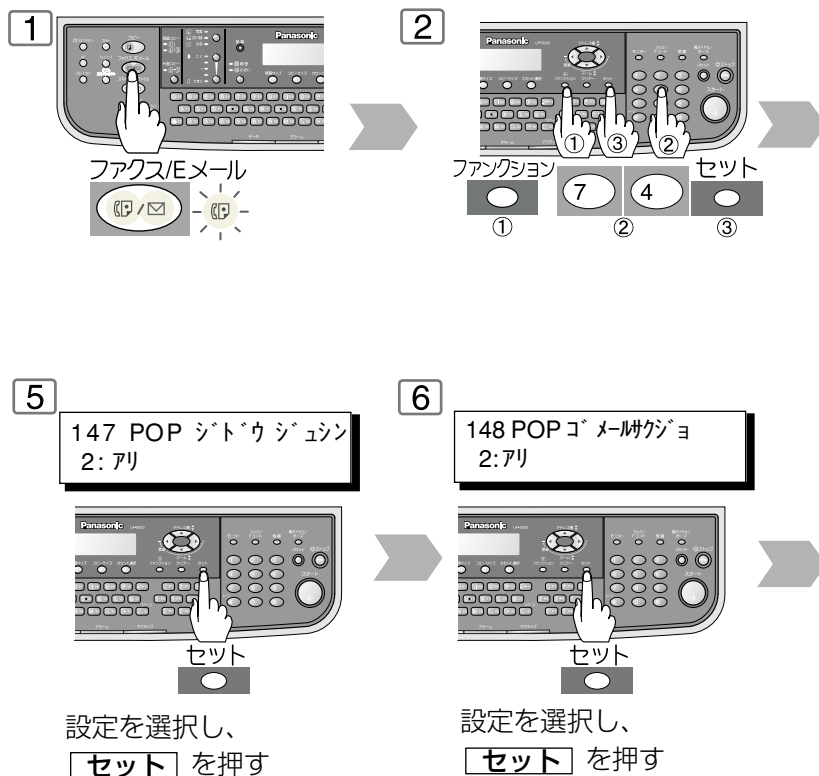
■ POP 受信の設定

システム登録の、「 146 POP 取得間隔」、「 147 POP 自動受信」、「 148 POP 後メール削除」、「 149 POP エラーメール削除」を設定します。
(☞153 ページ)

「 146 POP 取得間隔」：POP サーバーに受信メールの問い合わせを行う間隔（ 0 ～ 60 分）を設定します。（ **0 分**の時は自動で問い合わせは行いません。）

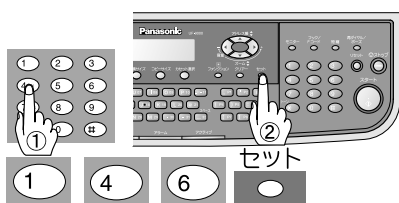
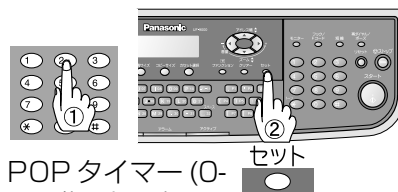
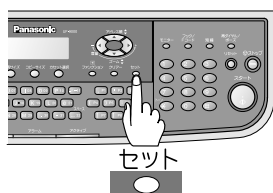
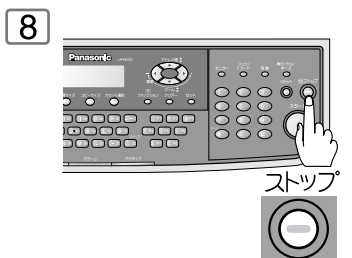
「 147 POP 自動受信」：POP サーバー自動問い合わせで受信メールがある場合、メールを受信し、プリントします。「**ナシ**」の場合は、ディスプレイに受信メールの件数のみを表示します。

「 148 POP 後メール削除」：メール受信後、サーバーからメールを削除するかしないかを設定します。

「 149 POP エラーメール削除」：プリントできない添付ファイルを受信した場合、サーバーからメールを削除するかしないかを設定します。

設定を選択し、
セット を押す

設定を選択し、
セット を押す

お知らせ

1. プログラムダイヤルの 「**POP 手動受信登録**」にユーザー名、パスワードを登録することで、自局設定以外のユーザー名で POP 受信することができます。（☞70 ページ）

お知らせ

2. シャットダウンモードをご利用になりますと POP による自動受信ができなくなります。シャットダウンモード への切替えをしないようにしてください。（☞ 本体管理編取扱説明書 : ファンクション設定モード（共通機能 : キーオペレーター専用）の「節電モード選択」を参照ください。）

インターネットFAX／Eメール（基本編）

LAN を使って受信する

■ POP による自動受信

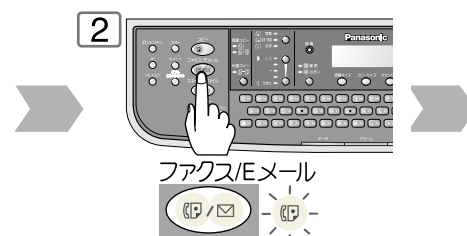
システム登録の「**146 POP 取得間隔**」が「0 分」以外で、「**147 POP 自動受信**」が、「**アリ**」の場合（☞153 ページ）、「146 POP 取得間隔」で指定された時間間隔でPOP サーバーに受信メールのあり無しを問い合わせ、ある場合は自動受信し、プリントします。

1

■ POP による手動受信

システム登録の「**147 POP 自動受信**」を「**ナシ**」に設定した場合（☞153 ページ）は、手動で POP サーバーから受信できます。

1 ADF 上に原稿が無いことを確認する

2

お知らせ

1. プログラムダイヤルの「POP 手動受信登録」にユーザー名、パスワードを登録することで、自局設定以外のユーザー名で POP 受信することができます。（☞70 ページ）

2

1 ｹﾝ ﾒｰﾙ ｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ

システム登録の「**146 POP 取得間隔**」が0 分の場合は自動で POP サーバーに受信メールのあり無しの問い合わせを行なわないため自動受信はしません。この場合は、手動で POP 受信を行ってください。

3

yyyy-MM-dd 17:15
< ﾒｰﾙ ｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ >

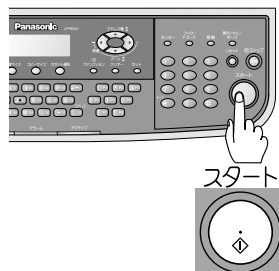
「**147 POP 自動受信**」が「**ナシ**」の場合、「146 POP 取得間隔」で指定された時間間隔で POP サーバーに受信メールのあり無しを問い合わせ、ある場合は件数をディスプレイに表示します。

インターネットFAX/Eメール（基本編）

3

yyyy-MM-dd 17:15
00%

スタート

4a-1

1 ｹﾝ ﾒｰﾙ ｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ

4a-2 サーバーに受信メールがある場合は、件数を表示した後メールを受信し、プリントします。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ

4b サーバーに受信メールがない場合は下のように表示します。

ｼﾞｭｼﾝ ﾒｰﾙ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ

インターネットFAX／Eメール（基本編）

プログラムキー

■ POP 受信キー（プログラムキー）の登録

プログラムキー（P1 ～ P8）に POP サーバーのユーザー名、パスワードを登録して POP サーバーからメールを受信することができます。
（☞ お知らせ 1）

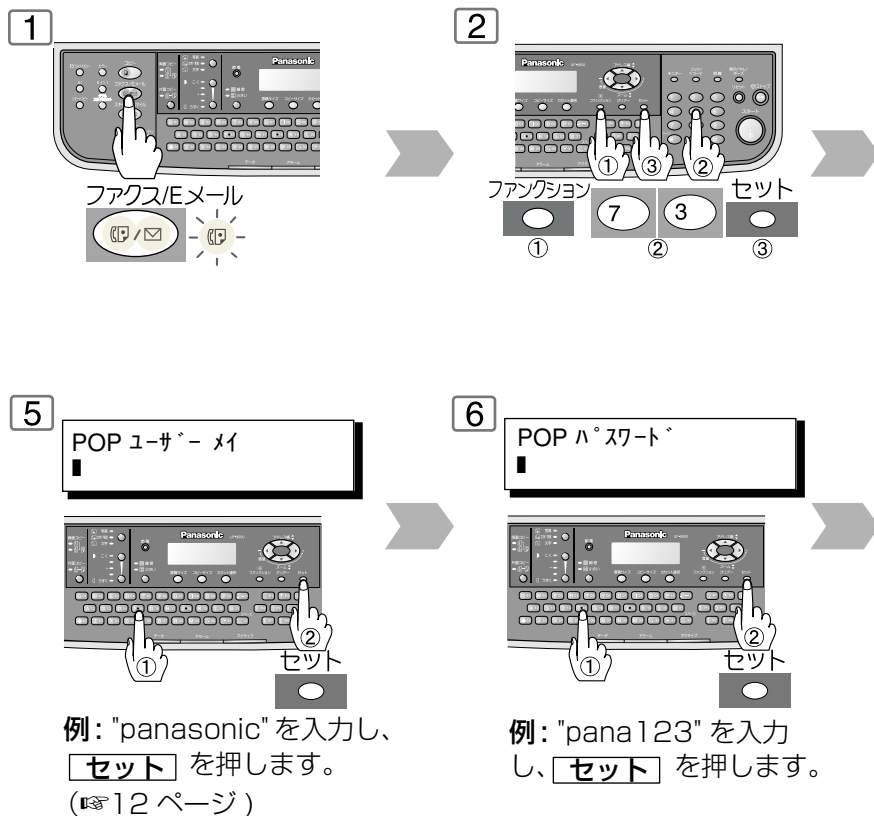
1

2

5

例："panasonic" を入力し、セット を押します。
（☞12 ページ）

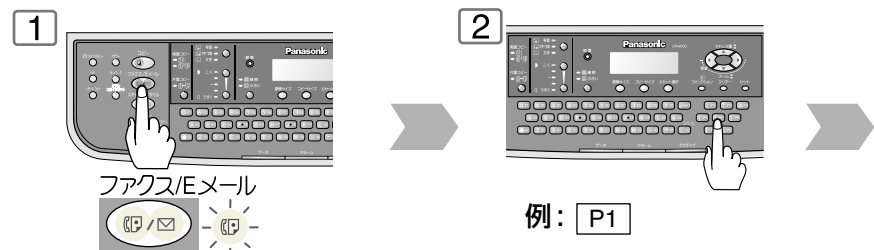
6

例："pana123" を入力し、セット を押します。

■ POP 受信キー（プログラムキー）での受信

POP 受信キー（プログラムキー）を使って次の手順で受信します。

1

2

例：P1

お知らせ

1. セキュリティの関係上必要なときには、POP パスワードを入力しないで登録します。POP 受信キー（プログラムキー）での受信時、パスワードを入力するように設定できます。

設定を選択する

① : 受信後サーバーからメール削除
② : サーバーへメールを残す

待機状態に戻ります

POP パスワードがブランクのときは、パスワード（10 桁まで）を入力し、スタート を押す

サーバーに新しいメールが無い場合は次の表示をします

ｼﾞｭｼﾝ ﾒｰﾙ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ

または

サーバーに受信メールがある場合は件数を表示した後にメールを受信し、プリントします

nn ﾒｰﾙ ｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ

■ 親展送信

本機は親展受付機として機能し、メールボックスを設定できます。本機もしくはパナソニック互換機から、親展送信用のメールボックスへ４桁のパスワードを付けて原稿を蓄積、もしくは送信することができます。親展パスワードを知っている特定の相手は、親展ポーリング受信を使ってメールボックスから親展文書を取り出すことができます。受信側はパスワードを入力しない限り原稿を取出すことができないので、情報が第三者へ漏れる心配がありません。

親展パスワードを知らないと親展文書を取り出せません。
（Panasonic 互換機でご利用になれます）

親展パスワード（4 桁）

例：2233

宛先を指定する
- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
- 直接ダイヤル

(☞ 20 ページ)

送信相手に親展パスワードを知らせます

ファクス応用編

親展通信（メールボックス）

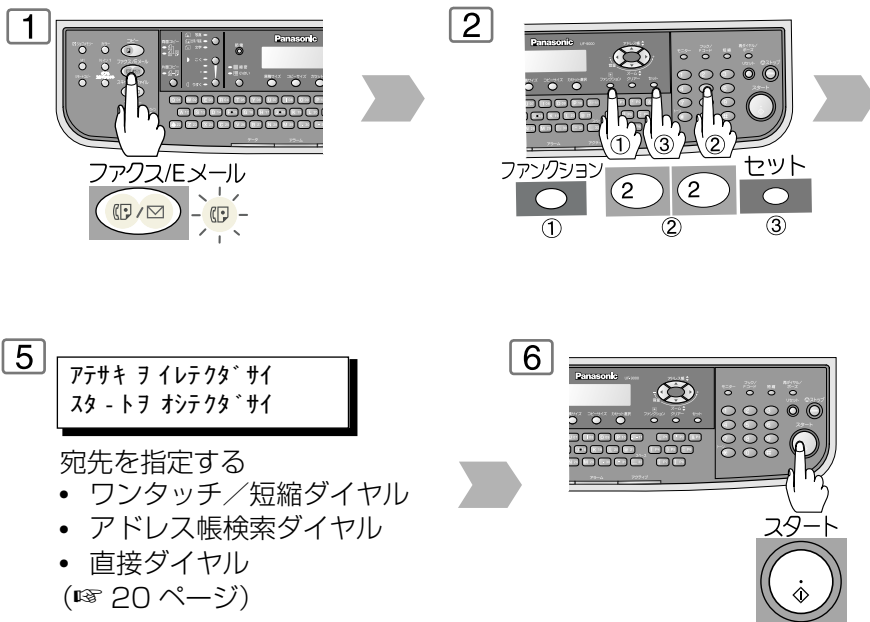
■ 親展ポーリング受信

親展受付機のメールボックスに親展文書を受信した知らせが入ったら、次の手順で親展文書を取出すことができます。

5

アテサキ ヲ イレテクダ゛サイ
スタ－トヲ オシテクダ゛サイ

宛先を指定する
- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
- 直接ダイヤル

(☞ 20 ページ)

■ メールボックスへ親展文書を受信する

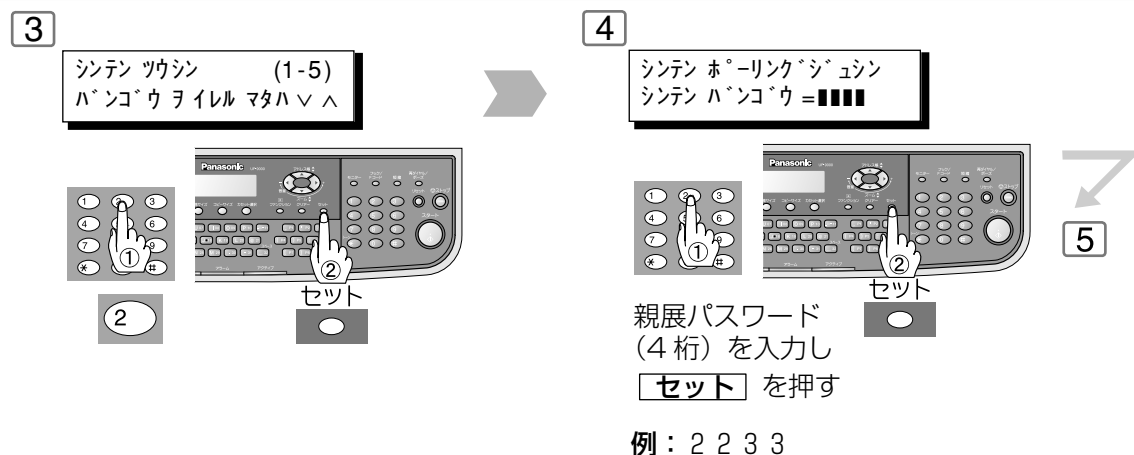
特別な設定は必要ありません。通常のファクス通信と同じように親展文書を受信することができます。親展文書を受信したときは、ディスプレイに次のように表示され、親展受付レポートがプリントされます。

シンテン ファイル ガ゛ アリマス

お知らせ

1. 親展ポーリング受信された後、文書はメールボックスから自動的に消去されます。
2. 同じパスワードをもつ 2 つの親展文書を同時に受信した場合、2 つの親展文書は同じメールボックス内に保存されます。
3. この機能をお使いになるときは、オプションのメモリーカードを装着することをおすすめします。(☞ 186 ページ)

親展パスワード（4 桁）を入力し［セット］を押す

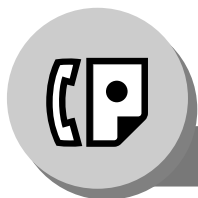
例： 2 2 3 3

親展受付レポートサンプル

```
************** - ｼﾝﾃﾝｳｹﾂｹﾚﾎﾟｰﾄ - ******************** yyyy-MM-dd ********** 15:00 ********

          ** ｼﾝﾃﾝｼﾞｭｼﾝｦｳｹﾂｹﾏｼﾀ **

  (1)         (2)                    (3)            (4)
 ﾌｧｲﾙ NO.    ｱｲﾃｻｷ ID               ﾏｲｽｳ          ｳｹﾂｹ ｼﾞｺｸ

   040        PANAFAX                001           MM-dd 15:00

                                        - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ              -

****UF-9000********************* -HEAD OFFICE    - ***** -    201 555 1212- *********
```

レポート内容説明

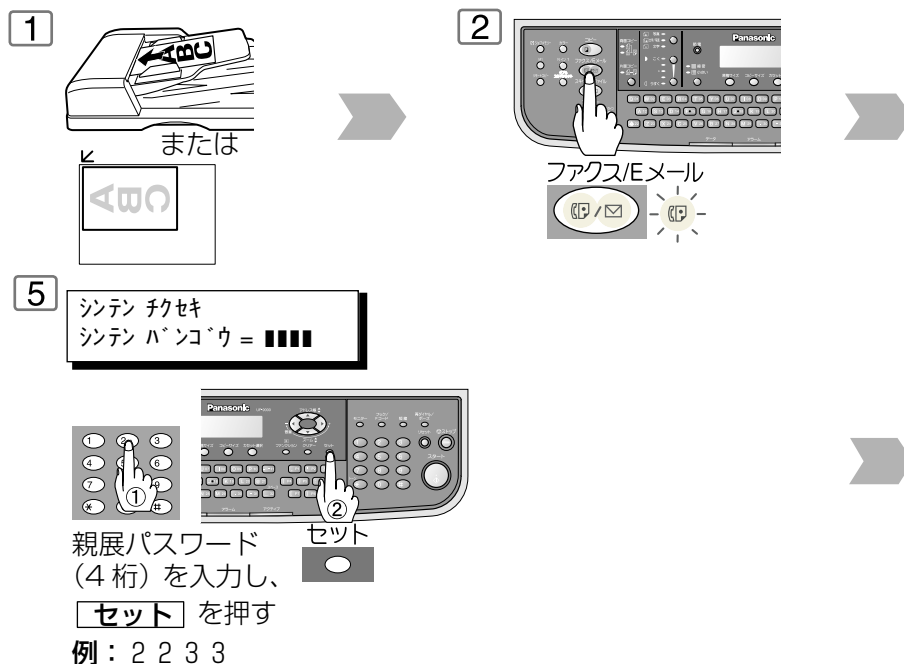
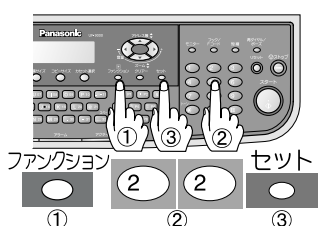
(1) ファイル番号　：001 ～ 999
(2) 相手先の ID　：文字 ID または数字 ID
(3) 受信したページ数
(4) 受信した日付と時間

お知らせ

4. メモリーには最大 10 個までの親展文書を保存可能です。 最大 10 個の異なる親展パスワードを使用し親展文書を受信できます。
5. メモリーがいっぱいになると、親展通信できません。
6. 受信されている親展文書は、予約レポートをプリントすることで確認できます。(☞ 98 ページ)

ファクス応用編

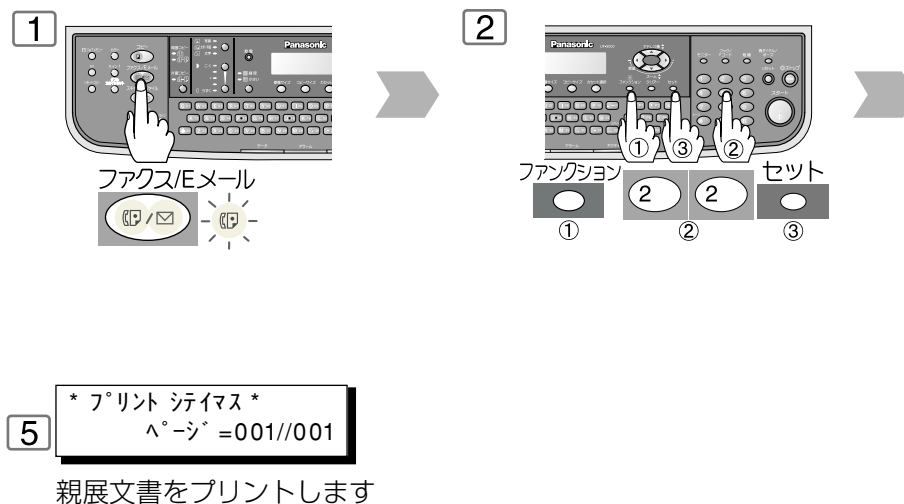
親展通信（メールボックス）

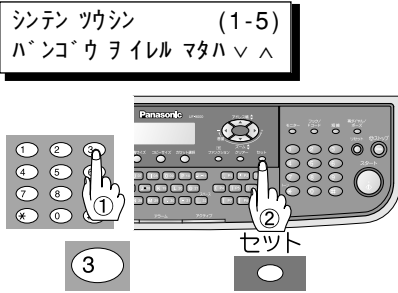
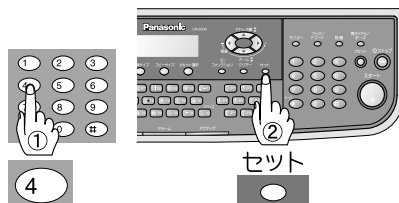
■ 親展文書の蓄積

親展文書を本機のメールボックスへ蓄積します。蓄積した文書は他のファクスからポーリング受信できます。

■ 親展文書のプリント

本機のメールボックスへ蓄積された親展文書を、次の手順でプリントできます。

5

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
        ﾍﾟｰｼﾞ =001//001
```

親展文書をプリントします

お知らせ

1. 親展文書はポーリングで取り出された後、メールボックスから自動的に消去されます。親展文書をポーリング後も消去されないようにするには、システム登録の「**42 親展ファイル保存**」を「**アリ**」に設定します。（☞ 152 ページ）

原稿が蓄積されます。受信する方へ親展文書があることを知らせ、親展パスワードを連絡します。

親展パスワード（4桁）を入力し、 セット を押す

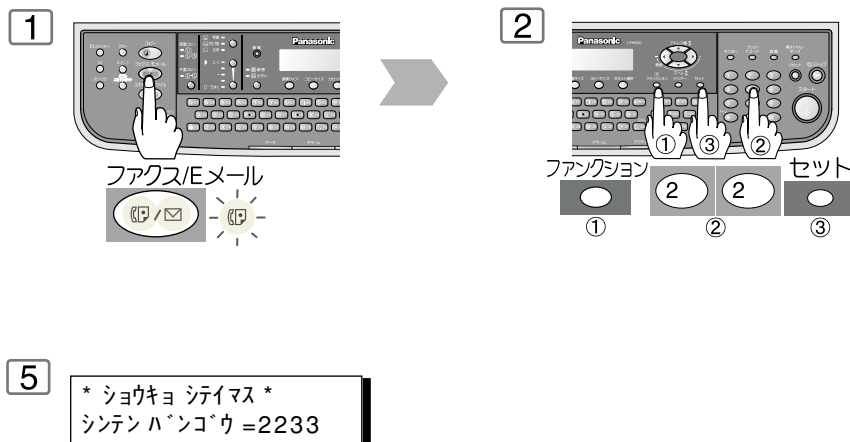
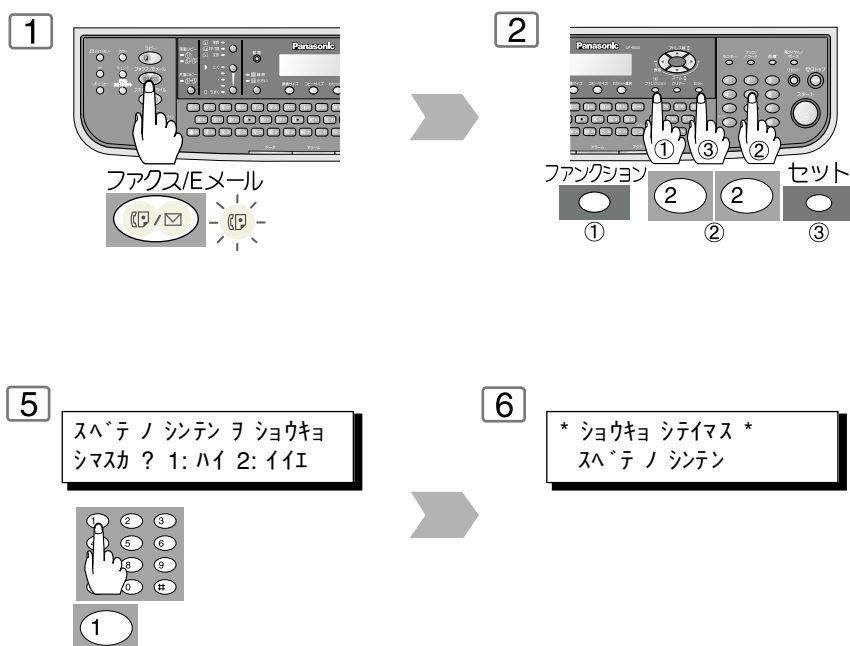
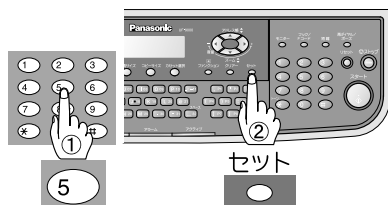
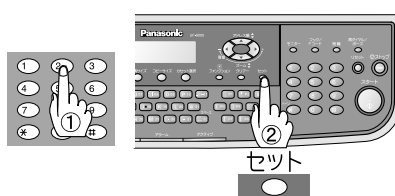
例： 2233

ファクス応用編

親展通信（メールボックス）

■ 親展文書の消去

メモリーがいっぱいになったとき、または親展文書を消去したいときは、次の手順でメールボックス内の 1 つまたは全ての親展文書を消去することができます。
パスワードによって1つずつファイルを消去する方法と、メモリー内のファイル全てを一括消去する 2 つの方法があります。

親展パスワードを使って消去する場合

1

2

5

```
* ショウキョ シテイマス *
シンテン ハ゛ンコ゛ウ =2233
```

親展文書を全て消去する場合

1

2

5

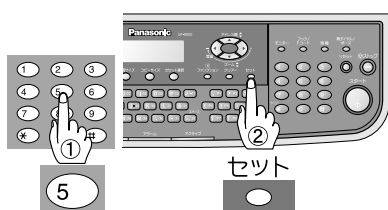
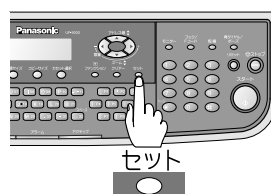
```
スヘ゛テ ノ シンテン ヲ ショウキョ
シマスカ ? 1: ハイ 2: イイエ
```

6

```
* ショウキョ シテイマス *
 スヘ゛テ ノ シンテン
```

親展パスワード
（4桁）を入力し、
セット を押す
例： 2233

ファクス応用編

F コード通信（サブアドレス通信）

当社機以外のファクスをお使いの相手とも、サブアドレスを使って機密事項を保持した通信を行えます。
- F コード通信は、ITU-T の T30（SUB）機能を持っているファクスであれば、相手機種を限定しないで F コード通信ができます。
- F コード通信をするには、メモリー機能を持つ F コードセンター機が必要になります。

また、サブアドレスを使ったルーティングができます。一般回線のファクスから受信した文書を、LAN 上のパソコンまたはインターネットファクスへメール送信、または別の一般回線のファクスへ送信することができます。
詳細はサービス実施会社へお問い合わせください。

ネットワーク設定例

Fコード送信
電話番号：2013331234
Fコード=2222

Fコード送信
電話番号：2013331234
Fコード=0001

aaa
bbb
電話回線
電話回線網
拡張ネットワーク

社内交換機

Tel No.	Ext. No.
-	2222
-	3333
201-333-1234	1111

aaa
G3/Internet fax
G3 fax
G3 fax

ルーティング表

アドレス帳	電話番号／Eメールアドレス	サブアドレス
G3 Fax No.001	2222	2222
G3 Fax No.002	3333	3333
Mail Bob	Bob@pana.com	0001

LAN
Bob
Dave
John
bbb

■ F コード（サブアドレス）送信

1
または

2
ファクス/Eメール

5
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

①
②
セット

サブアドレスパスワード（20 桁まで）を入力し、
[セット] を押す

■ F コード（サブアドレス）送信（直接ダイヤル）

1
または

2
ファクス/Eメール

お知らせ

1. [Fコード] を押すことで電話番号とFコード（サブアドレス）を分ける " s " が表示されます。
2. F コード（サブアドレス）通信は、オンフックダイヤル、オフフックダイヤルではお使いになれません。
（☞ 24 ページ）

3

4

サブアドレス（20 桁まで）を入力し、
セット を押す

5

6

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

宛先を指定する
- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
- 直接ダイヤル

(☞ 20 ページ)

7

スタート

3

電話番号

フック/Fコード

F コード
（サブアドレス）

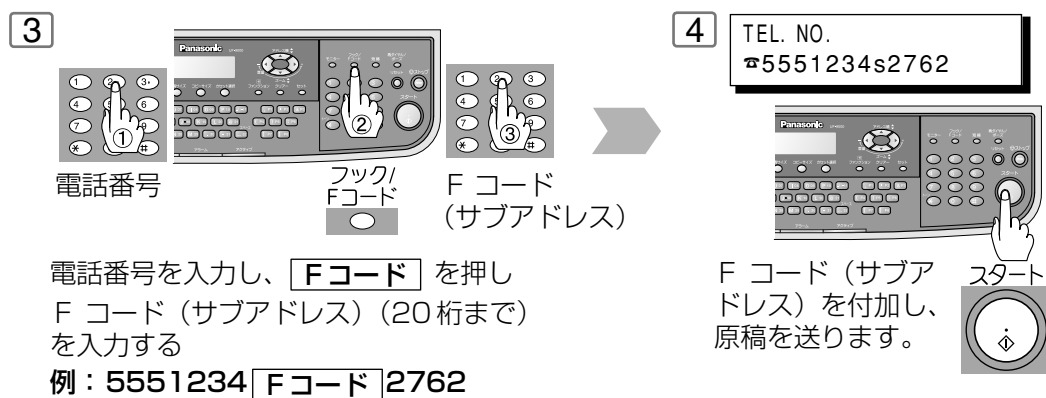
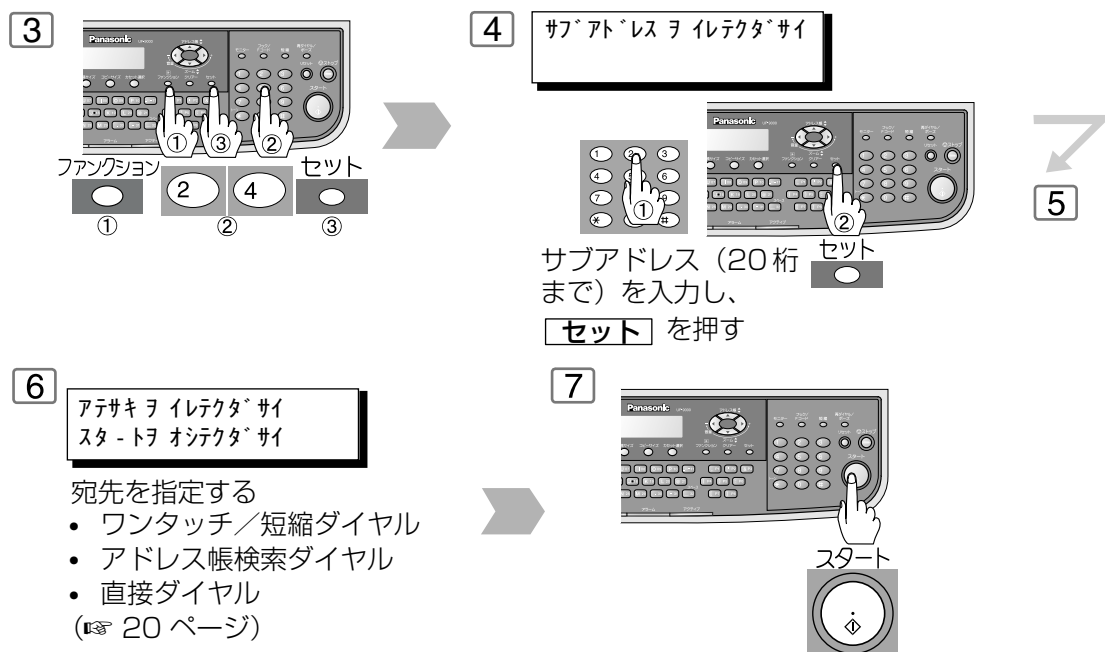
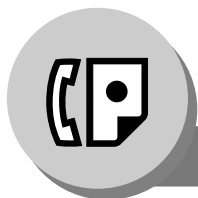
電話番号を入力し、 Fコード を押し
F コード（サブアドレス）（20 桁まで）
を入力する

例：5551234 Fコード 2762

4

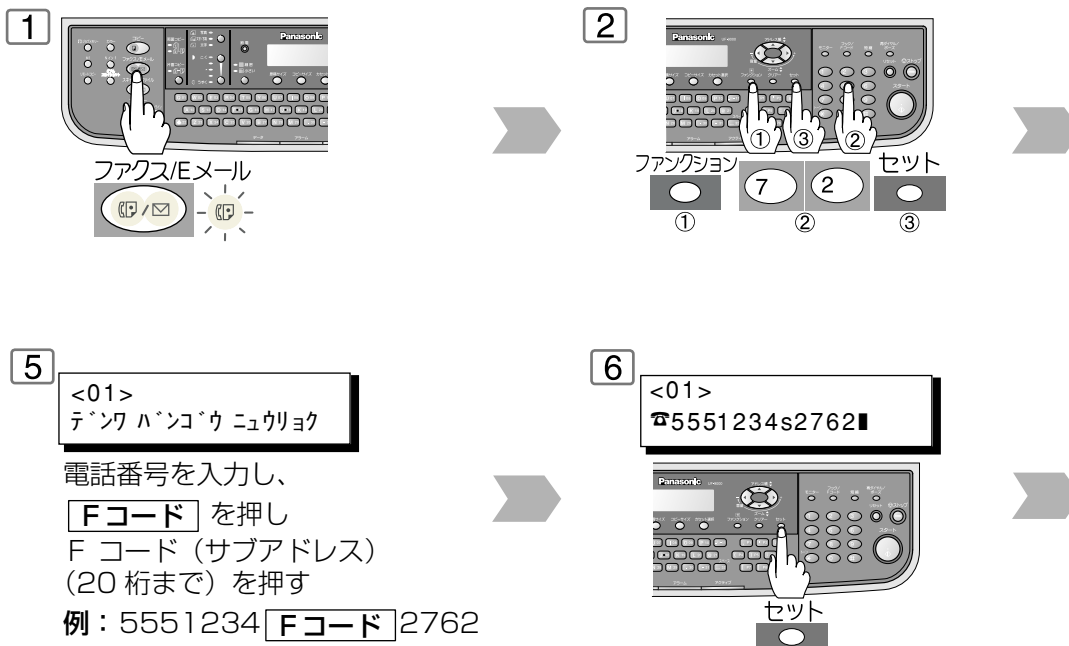
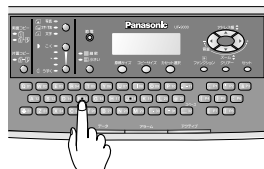
TEL. NO.
☎5551234s2762

F コード（サブアドレス）を付加し、
原稿を送ります。

スタート

ファクス応用編

ファクス応用編

F コード通信（サブアドレス通信）

■ F コード（サブアドレス）をアドレス帳に登録する

1

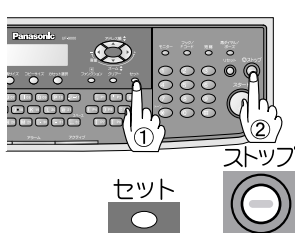
2

5

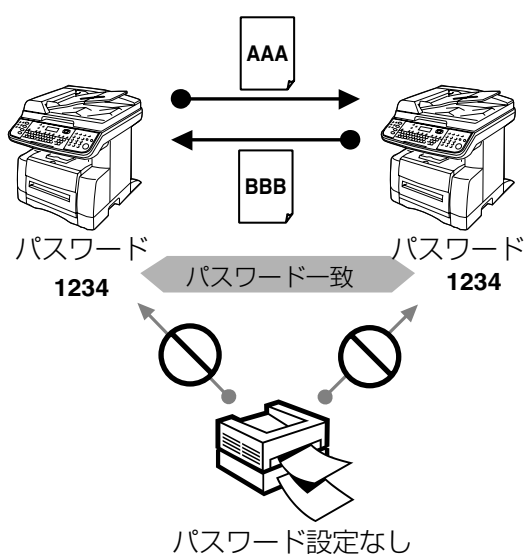
<01>
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ

電話番号を入力し、
［Fコード］を押し
F コード（サブアドレス）
（20 桁まで）を押す
例：5551234［Fコード］2762

6

<01>
☎5551234s2762▮

Fコード（サブアドレス）を登録したワンタッチ／短縮ダイヤルを使って送信できます。

ファクス応用編

パスワード通信

■ パスワード受信の設定

5

44 ﾊﾟｽﾜ-ﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
1: ｵﾌ 1234

①: オフ (パスワードチェックをしない)
②: オン (パスワードチェックをする)

お知らせ

1. 送信ごとに ファクス/Eメール ("ファクスランプ点灯") ファンクション ⑧ ④ セット （パスワード送信）を使うと、設定を送信ごとに変更できます。

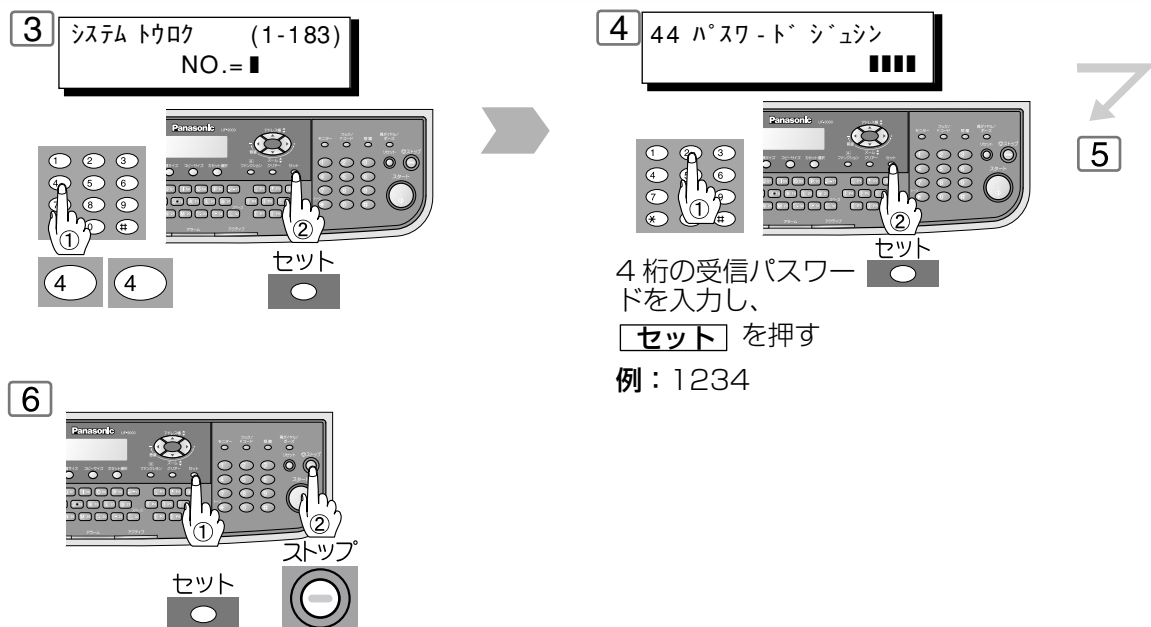
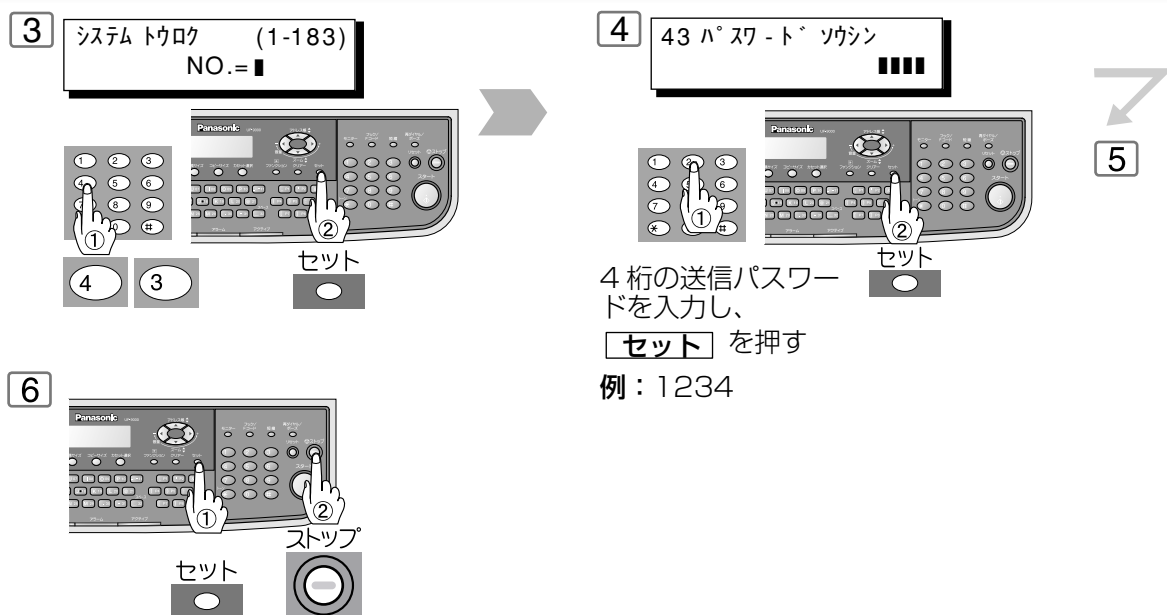
4 桁の送信パスワードを入力し、

セット を押す

例：1234

4 桁の受信パスワードを入力し、

セット を押す

例：1234

ファクス応用編

お知らせ

2. 送信／受信パスワード変更には、手順４で クリアー を押し、新しいパスワードを入力してください。

ファクス応用編

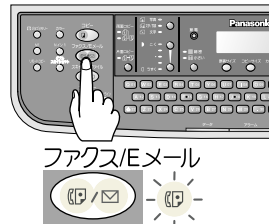
パスワード通信

■ パスワード送信設定の一時変更

パスワード送信の一時解除、一時設定を行いたい場合、次の手順で 1 回の送信に限り、設定を変更できます。

1

2

5

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀ-ﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 00%
```

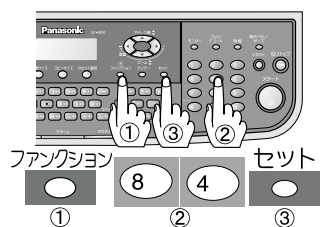
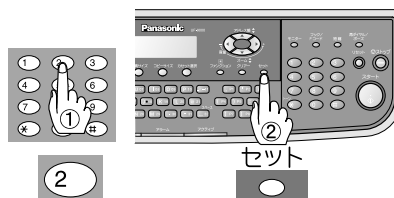
宛先を指定する
- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
- 直接ダイヤル

(☞ 20 ページ)

■ パスワード受信の設定／変更

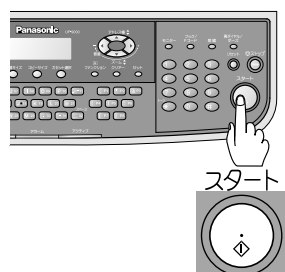
84 ページの手順にしたがって一度設定すると、追加操作の必要はありません。「オフ」または「オン」のパラメーターは、受信ごとに選択できません。切替えるには、設定を変更してください。

3

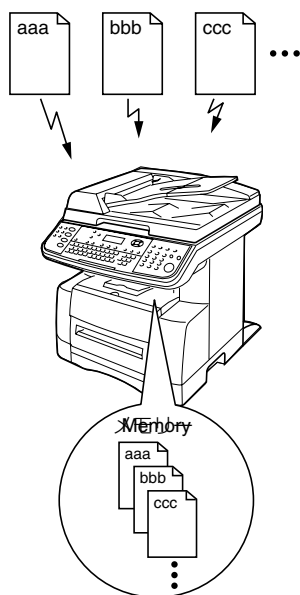
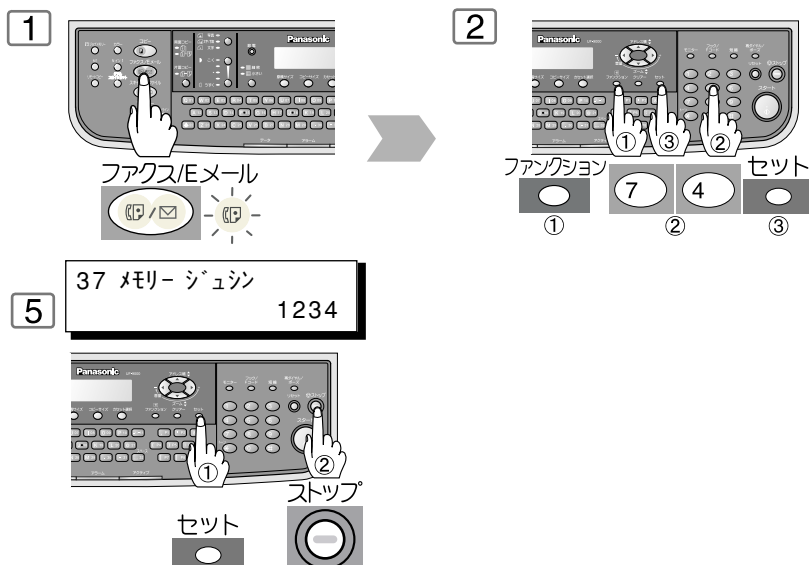
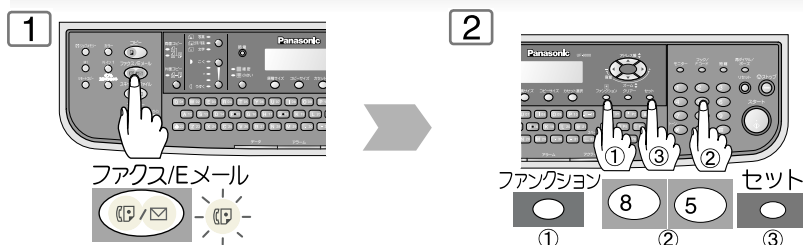
4

5

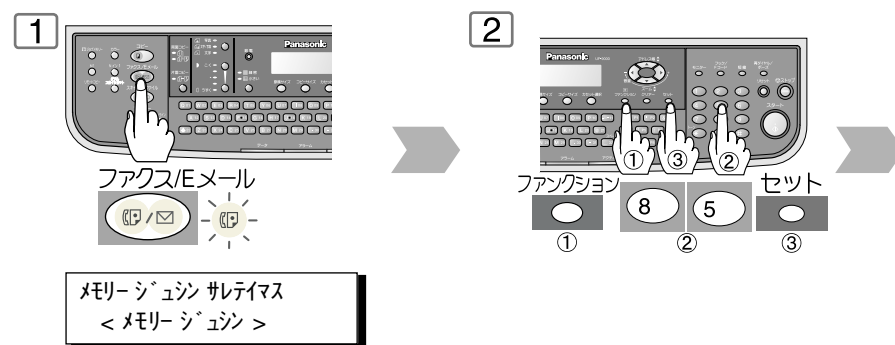
①: オフ (パスワードチェックをしない)

②: オン (パスワードチェックをする)

6

ファクス応用編

メモリー受信

この機能は、受信したすべての原稿をメモリーに蓄積して保存します。メモリー受信した原稿を印刷するにはパスワードの入力が必要です。休日や夜間に受信した原稿を、あとでまとめてプリントすることができます。

■ メモリー受信パスワードの設定

■ メモリー受信の設定

■ メモリー受信のプリント

メモリー受信をしたときは、次のメッセージがディスプレイに表示されます。

お知らせ

1. メモリーがいっぱいになると、受信を中止し通信を終了します。それ以前にメモリーに蓄積された原稿は、プリントできます。メモリーがいっぱいの場合は受信できません。
2. この機能をお使いになるときは、オプションのメモリーカードを装着することをおすすめします。(☞ 186 ページ)
3. パスワードを設定しない場合は、プリントするときにパスワード入力が必要ありません。 手順４で セット を押すことでプリントされます。

3
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ = ｵﾌ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾌﾟﾘﾝﾄ

2

4
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ = ｵﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾌﾟﾘﾝﾄ

セット

5
yyyy-MM-dd 15:00
< ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ >

3
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ = ｵﾝ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾌﾟﾘﾝﾄ

3

4
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ = ﾌﾟﾘﾝﾄ
1: ｵﾌ 2: ｵﾝ 3: ﾌﾟﾘﾝﾄ

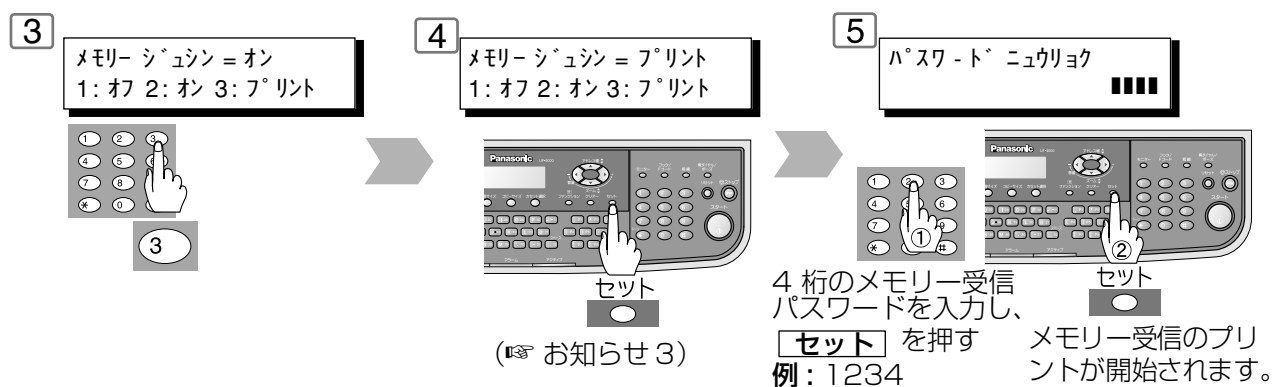
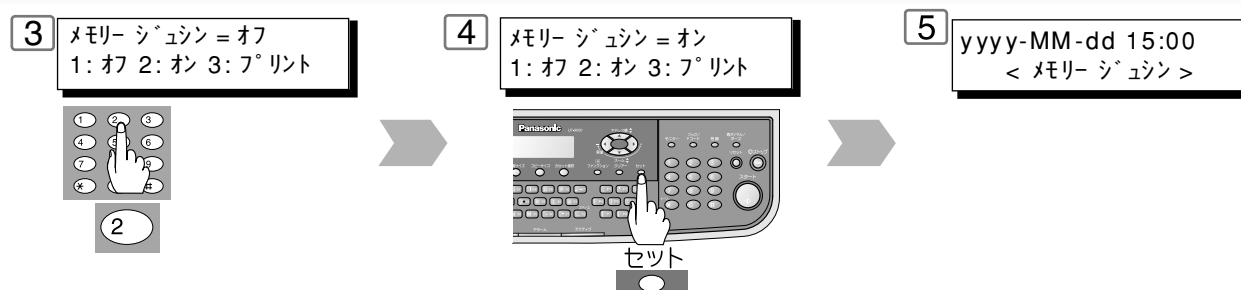
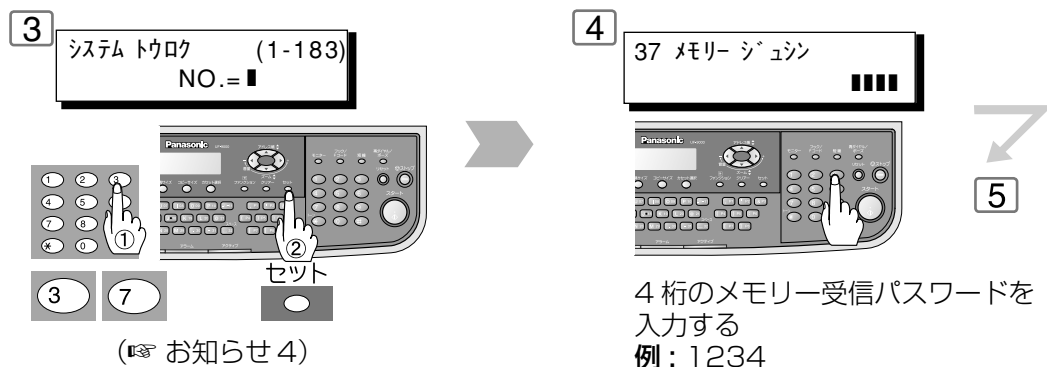
セット

(☞ お知らせ 3)

5
ﾊﾟｽﾜ-ﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ

4 桁のメモリー受信パスワードを入力し、セット を押す
例：1234

セット

メモリー受信のプリントが開始されます。

お知らせ

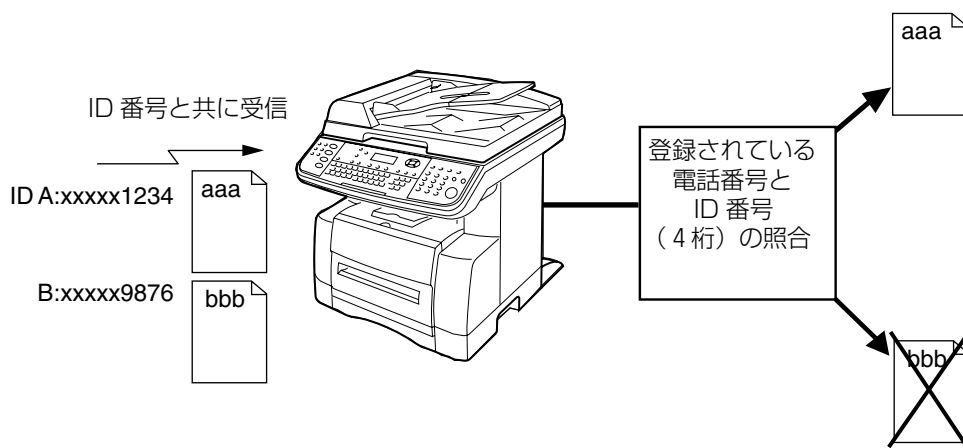
4. メモリー受信を設定しているときは、パスワードを変更することはできません。パスワードを変更するときは、まずメモリー受信の設定を「オフ」にしてから、システム登録の「**37 メモリー受信**」でパスワードを変更してください。(☞ 152 ページ)

ファクス応用編

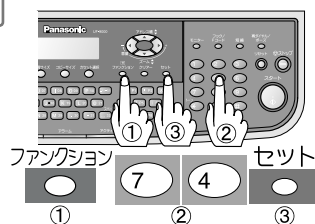
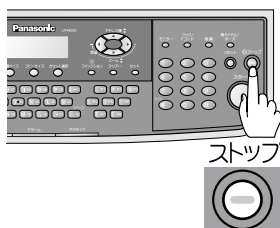
セレクト受信

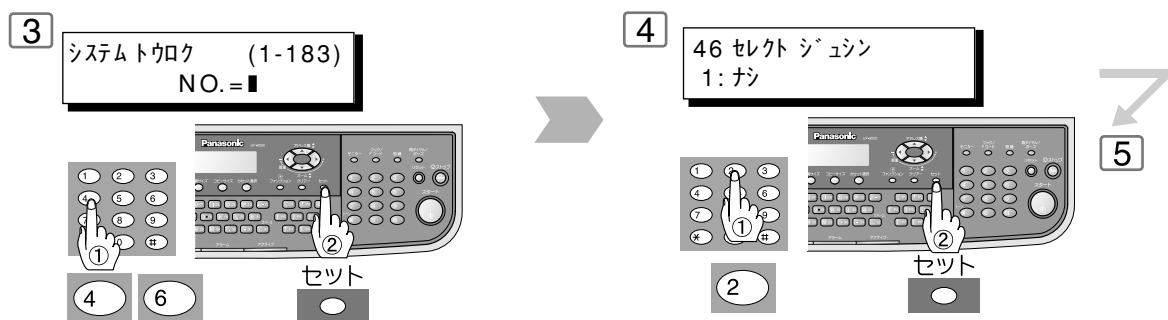
■ 概要

アドレス帳に登録されているダイヤル番号の下 4 桁と、相手から送られてきた ID 番号の下 4 桁を照合し、一致したときだけ受信します。

- あらかじめ、セレクト受信する宛先を登録しておいてください。（ ☞142 ページ）
- 相手の ID 番号には、電話番号を登録してもらってください。

■ セレクト受信の設定

1

2

5

お知らせ

1. セレクト受信が設定されているときは、本機のアドレス帳（ワンタッチ、短縮ダイヤル）に登録されている宛先からのみ受信できます。（相手が ID 番号を送ってこない場合（ ID 番号を登録していない、登録できないなど）は、受信できません。）

お知らせ

2. 本機からファクス送信するとき、相手受信機がセレクト受信を設定している場合もありますので、本機の数字 ID を登録しておいてください。（☞138 ページ）

ファクス応用編

ユーザー別管理

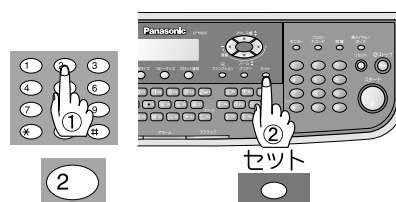
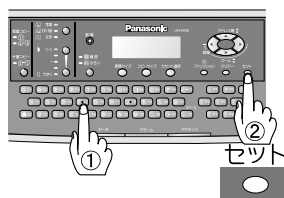
■ 概要

送信時にユーザーコード（8 桁まで）を入力します。選択したユーザー別管理名は、送信原稿の発信元、通信結果レポート、通信管理レポートへプリントされます。ユーザー別管理を設定しているとき、通信管理レポートはユーザー別管理番号 (1-50) で分類されてプリントされます。

■ ユーザー別管理の設定

1

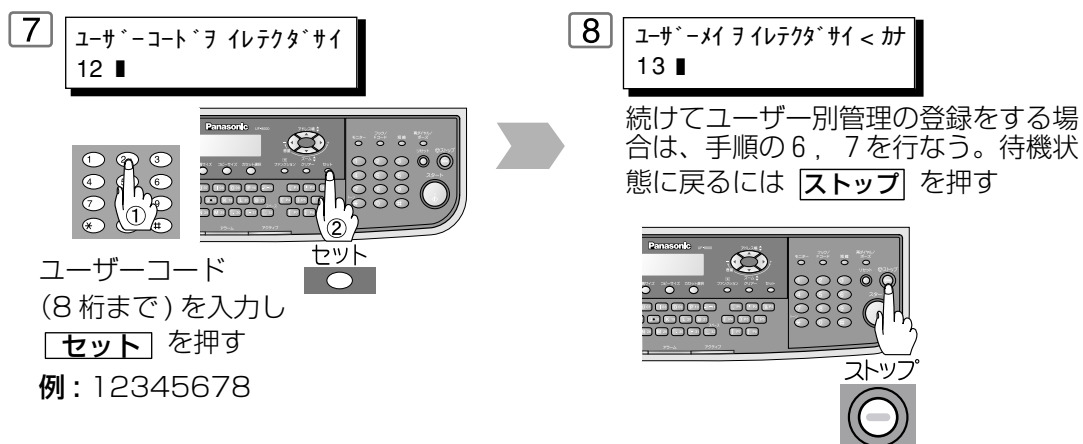
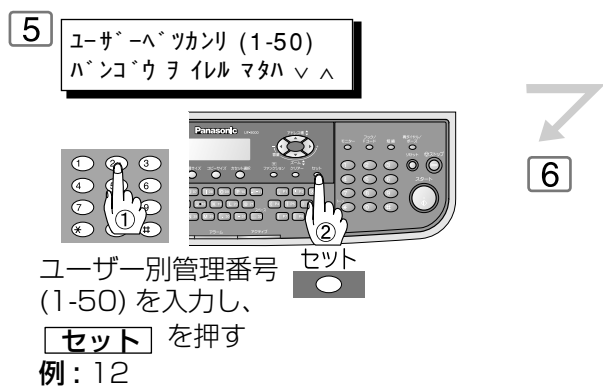
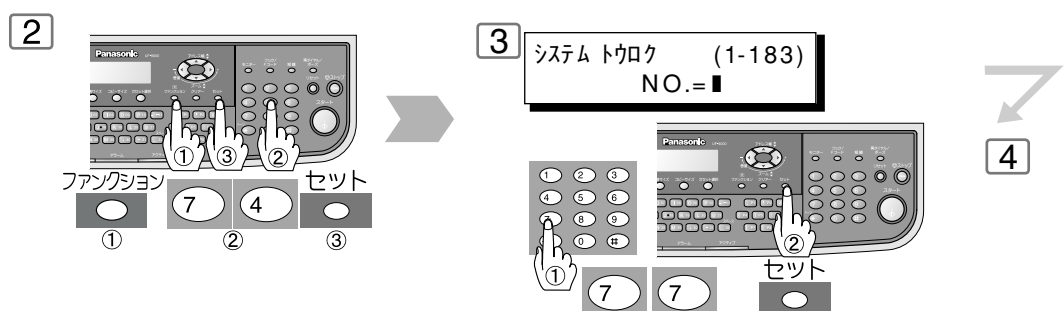
4

6

ユーザー別管理名を入力し、 セット を押す
（25 文字まで）（☞ 12 ページ）

例：パナソニック

お知らせ

1. ユーザー別管理リストは、システム登録リストをプリントして確認できます。
   システム登録の「**77 ユーザー別管理**」をあらかじめ「**アリ**」に設定する必要があります。
   （☞152 、176 ページ）

2
ファンクション
①
7
4
②
セット
③
3
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ (1-183)
NO.=▮
7
7
セット
4
5
ﾕｰｻﾞｰﾍﾞﾂｶﾝﾘ (1-50)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
ユーザー別管理番号
(1-50) を入力し、
セット を押す
例：12
6
7
ﾕｰｻﾞｰｺｰﾄﾞｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
12 ▮
ユーザーコード
(8 桁まで) を入力し
セット を押す
例：12345678
8
ﾕｰｻﾞｰﾒｲ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ < ｶﾅ
13 ▮
続けてユーザー別管理の登録をする場合は、手順の 6， 7 を行なう。待機状態に戻るには ストップ を押す
ストップ

ファクス応用編

ユーザー別管理

■ ユーザー別管理の変更／消去

1

ファクス/Eメール

2

ファンクション ① 7 4 ② セット ③

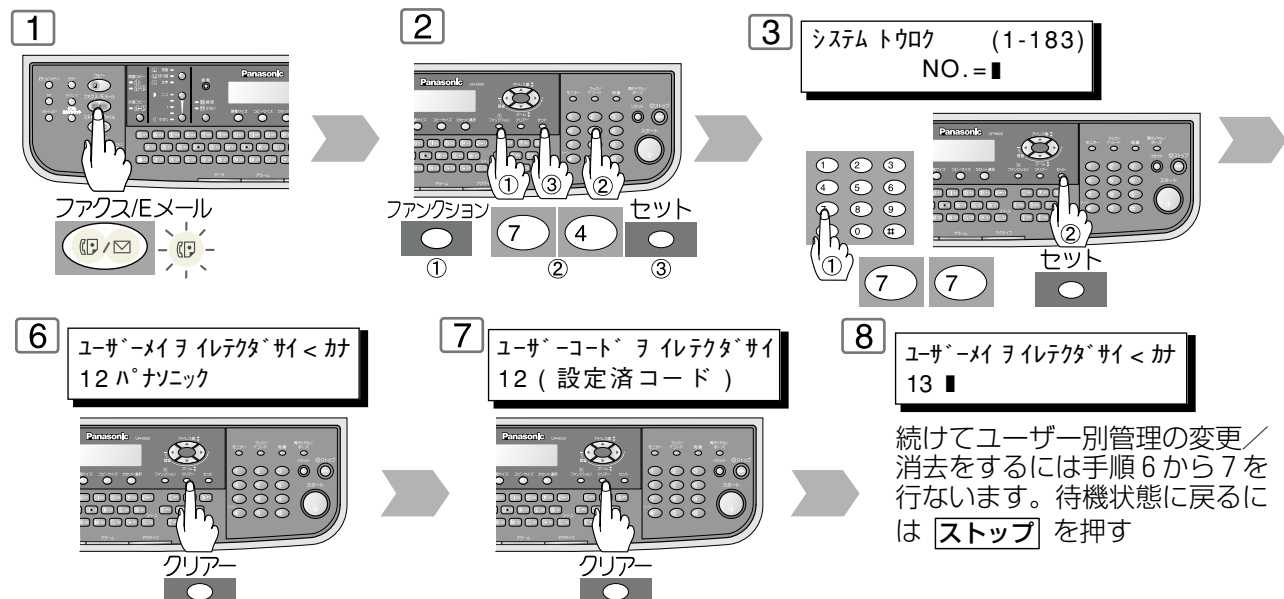
3

システム トウロク (1-183)
NO.=▮

① 7 7 ② セット

6

ﾕｰｻﾞｰﾒｲ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ < ｶﾅ
12 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ

クリアー

クリアー を押し、新たな名称を入力し、 セット を押す
(25 文字まで) (☞ 12 ページ)

例 : PANAFAX

ユーザー別管理を消去するときは、 クリアー を押したあと、 セット を押し、手順 8 へ進む。

7

ﾕｰｻﾞｰｺｰﾄﾞ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
12 (設定済コード)

クリアー

クリアー を押し、新たなユーザーコードを入力し、 セット を押す

例 : 12345678

8

ﾕｰｻﾞｰﾒｲ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ < ｶﾅ
13 ▮

続けてユーザー別管理の変更／消去をするには手順 6 から 7 を行ないます。待機状態に戻るには ストップ を押す

■ ユーザー別管理を使って送信する

1

ファクス/Eメール

2

または

3 宛先を指定する

- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
- 直接ダイヤル

例 : Q 01 (ワンタッチ)

6

スタート

送信原稿の発信元にユーザー別管理名が入り送信されます。
ユーザー別管理名は通信結果レポート、通信管理レポートでプリントされます。

変更または消去するユーザー別管理番号(1-50)を押し、セットを押す

例: 12 セット

ユーザーコード(8桁まで)を入力する

例: 12345678

■ ユーザー別管理のプリント

ユーザー別管理（送信）レポートサンプル

```
*************- ﾕｰｻﾞｰ ﾍﾞﾂ ｶﾝﾘ ｾｯﾃｲ ﾚﾎﾟｰﾄ - *****************yyyy-MM-dd ********* 15:00 *** P.01
                                                                (1)              (2)
      ﾊｯｼﾝ
      MM-dd ｶﾗ MM-dd

   (3) ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ = 000038  ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ = 00:23:56

(4)  (5)
 01: Panafax Sales
--------------------------------
NO.  ｹｯｶ  ﾏｲｽｳ     ﾌｧｲﾙ  ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ   ﾓｰﾄﾞ  ｱｲﾃｻｷ (ID/TEL NO.) ﾋﾂﾞｹ    ｼﾞｺｸ   ﾂｳｼﾝｺｰﾄﾞ

01   OK            005   00:05:13   ｿｳｼﾝ  ☎ 5551234       MM-dd   15:10  C0044903C0000
21   OK   021/021 019   00:10:15   ﾃﾝｿｳ  FAX FORWARD     MM-dd   18:10  C0044903C0000
       (6)              (7)
      ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ = 000026  ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ = 00:15:28

 02: Panafax Service
--------------------------------
NO.  ｹｯｶ  ﾏｲｽｳ     ﾌｧｲﾙ  ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ   ﾓｰﾄﾞ  ｱｲﾃｻｷ (ID/TEL NO.) ﾋﾂﾞｹ    ｼﾞｺｸ   ﾂｳｼﾝｺｰﾄﾞ

19   OK   001/001 017   00:00:13   ｿｳｼﾝ  ☎ 5551234       MM-dd   10:10  C0044903C0000
30   OK   011/011 045   00:08:15   ｿｳｼﾝ  SERVICE DEPT.   MM-dd   13:10  C0044903C0000

      ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ = 000012  ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ = 00:08:28

                                              - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ            -
***UF-9000*********************** -HEAD OFFICE- ********* -    201 555 1212 - *******
```

ユーザー別管理（受信）レポートサンプル

```
*************- ﾕｰｻﾞｰ ﾍﾞﾂ ｶﾝﾘ ｾｯﾃｲ ﾚﾎﾟｰﾄ - *****************yyyy-MM-dd ********* 15:00 *** P.02
                                                                (1)              (2)
      ｼﾞｭｼﾝ
      MM-dd ｶﾗ MM-dd

   (3) ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ = 000011  ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ = 00:13:41

NO.  ｹｯｶ  ﾏｲｽｳ     ﾌｧｲﾙ  ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ   ﾓｰﾄﾞ  ｱｲﾃｻｷ (ID/TEL NO.) ﾋﾂﾞｹ    ｼﾞｺｸ   ﾂｳｼﾝｺｰﾄﾞ

55   OK   005           00:05:13   ｼﾞｭｼﾝ 4445678         MM-dd   12:10  C0044903C0000
56   OK   005/005 020   00:08:15   PTX   111 222 333     MM-dd   19:15  C0044903C0000


70   OK   001     017   00:00:13   ｼﾞｭｼﾝ 44567345        MM-dd   10:10  C0044903C0000

                                              - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ            -
***UF-9000************************ -HEAD OFFICE  - ********* -    201 555 1212 - ********
```

1

2

3

3

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ｶｸﾆﾝ
1:ﾌﾟﾘﾝﾄ 2:ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ

①: 通信管理のプリント

②: 通信管理の画面表示

例：①

4

* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

内容説明

(1) プリントした日付
(2) プリント時刻
(3) 原稿枚数・送受信時間
(4) ユーザー別管理番号
(5) ユーザー別管理名
(6) 送受信した枚数
(7) 通信時間

ファクス応用編

通信予約の確認

■ 概要

タイマー通信などの通信予約を確認 / 消去できます。通信予約の内容をディスプレイに表示させて確認できます。また、通信予約をレポートにしてプリントすることもできます。

■ レポートのプリントまたは画面表示

次の手順でプリントまたは画面表示を行ないます。

1

2

予約レポートサンプル

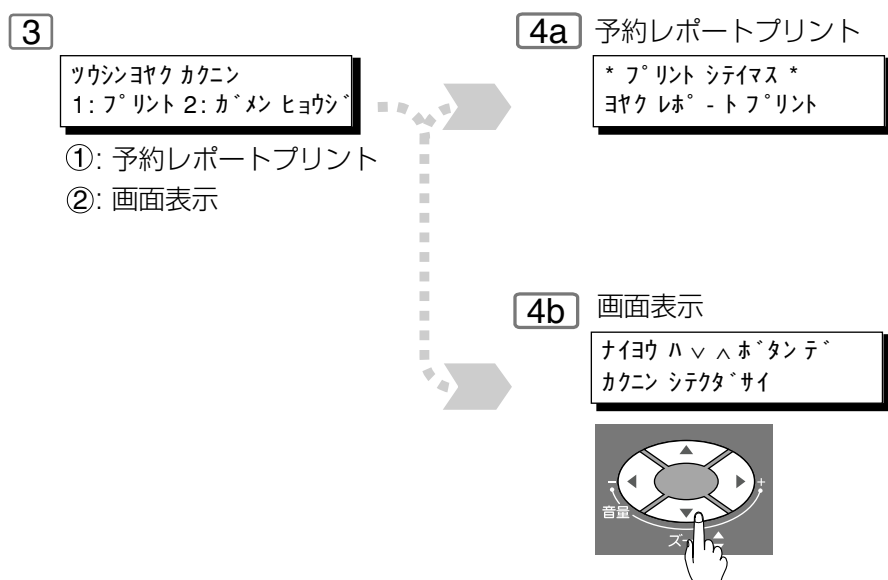
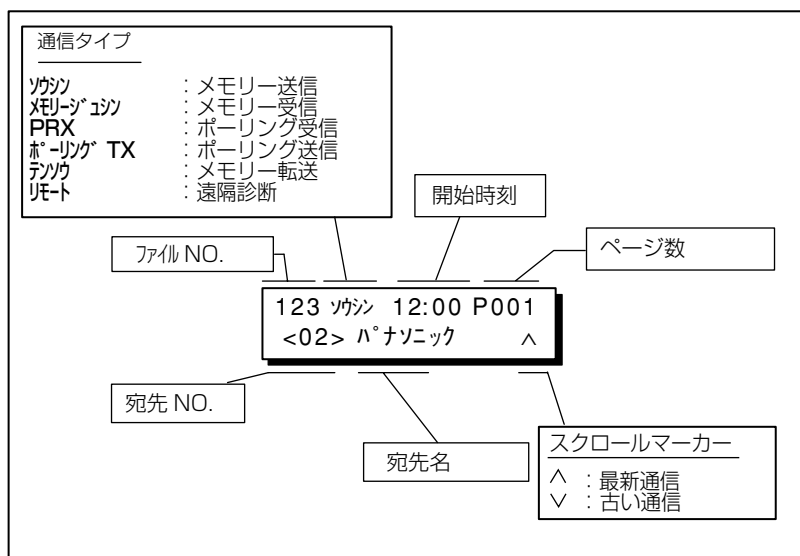
```
************** - ﾖﾔｸ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ - ********************* yyyy-MM-dd ********** 15:00 ********

(1)    (2)              (3)              (4)        (5)     (6)
ﾌｧｲﾙ   ﾂｳｼﾝ ﾀｲﾌﾟ         ｻｸｾｲ ｼﾞｺｸ         ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ    ﾏｲｽｳ    ｱﾃｻｷ
No.

001    ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ       MM-dd 13:20                 001

002    ﾒﾓﾘｰ ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ      MM-dd 13:20      22:30      003     [011] [012] [013] [016] [017]


                                    - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ                 -

***UF-9000************************** -HEAD OFFICE     - ***** -        201 555 1212- *********
```

内容説明

(1) ファイルナンバー	:	実行中のファイルには、ファイルナンバーの左に“*”が印刷されます。
(2) 通信タイプ	:	ポーリング送信、ポーリング受信、メモリー送信などの通信種別
(3) 作成時刻	:	ファイルの作成時刻
(4) 予約時刻	:	ファイルがタイマー通信の場合は、この欄に予約時刻が印刷されます。
(5) 枚数	:	蓄積枚数
(6) 宛先	:	短縮ダイヤル番号／ワンタッチ番号／直接ダイヤル番号

3
ﾂｳｼﾝﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ
1:ﾌﾟﾘﾝﾄ 2:ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ
①: 予約レポートプリント
②: 画面表示
4a 予約レポートプリント
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾖﾔｸ ﾚﾎﾟ-ﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
4b 画面表示
ﾅｲﾖｳ ﾊ ∨ ∧ ﾎﾞﾀﾝ ﾃﾞ
ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
音量

ディスプレイの表示例

通信タイプ
ｿｳｼﾝ : メモリー送信
ﾒﾓﾘｰｼﾞｭｼﾝ : メモリー受信
PRX : ポーリング受信
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ TX : ポーリング送信
ﾃﾝｿｳ : メモリー転送
ﾘﾓｰﾄ : 遠隔診断
開始時刻
ファイル NO.
ページ数
123 ｿｳｼﾝ 12:00 P001
<02> ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ ∧
宛先 NO.
宛先名
スクロールマーカー
∧ : 最新通信
∨ : 古い通信

ファクス応用編

通信予約の確認

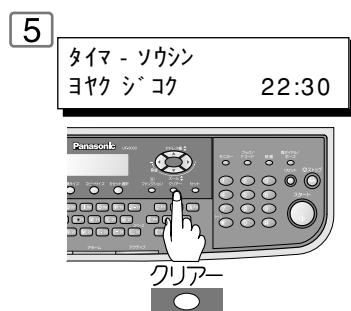
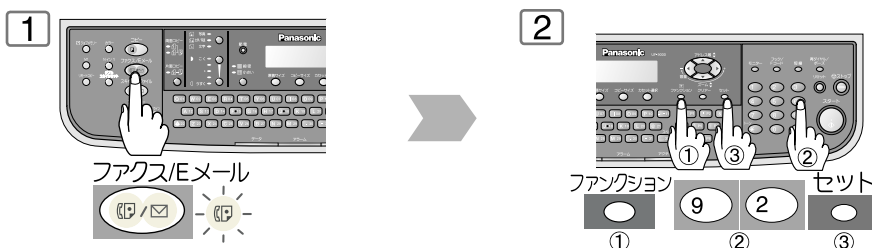
■ 通信予約の変更

タイマー送信やタイマーポーリング受信で予約した宛先や時刻を変更できます。

1

2

5

```
タイマ - ソウシン
ヨヤク ジ゛コク          22:30
```

クリアー を押し、変更する送信時刻を入力し、 セット を押す

例： 0600 (6:00am)
(☞ お知らせ 1、2)

■ 通信予約の消去

予約した通信の内容を消去できます。

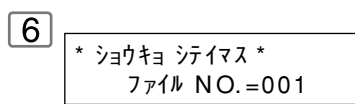
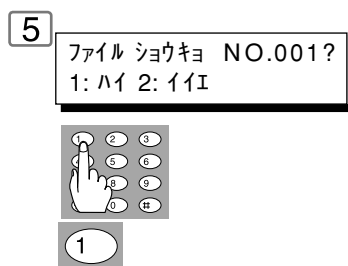
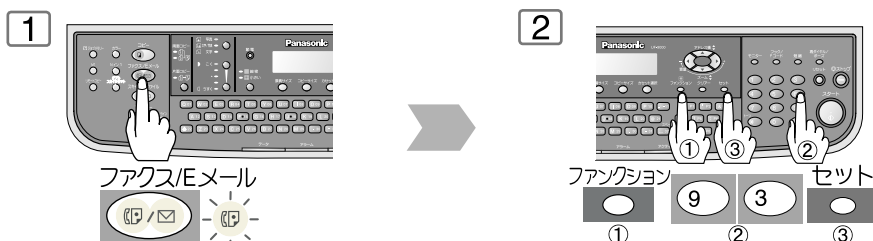
1

2

5

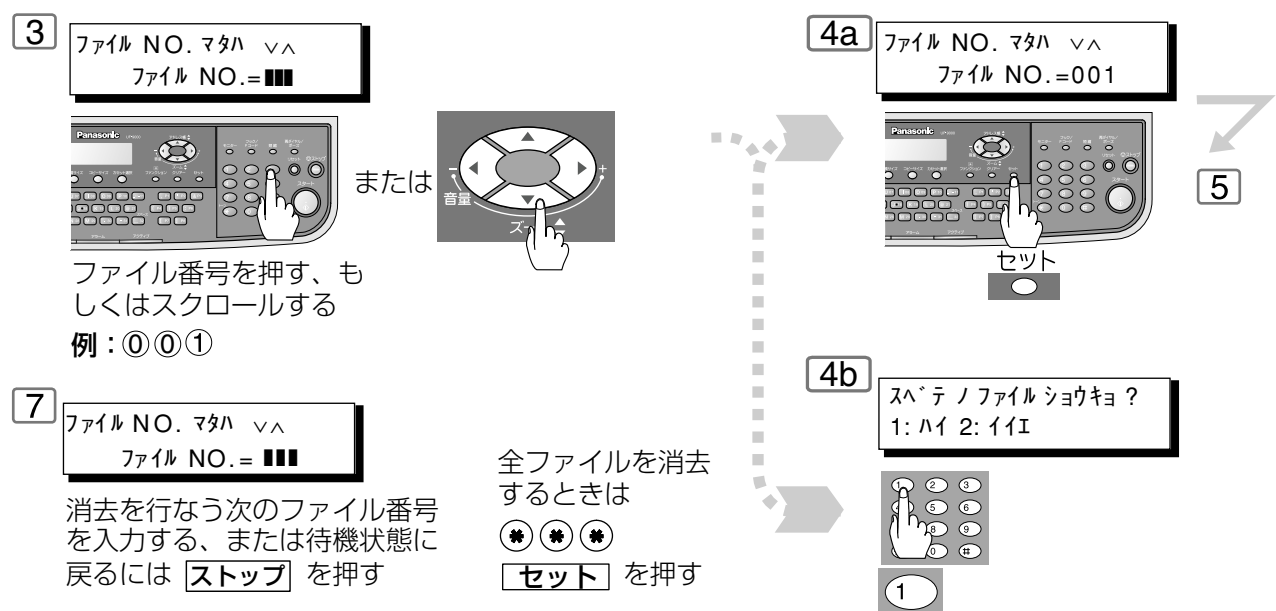
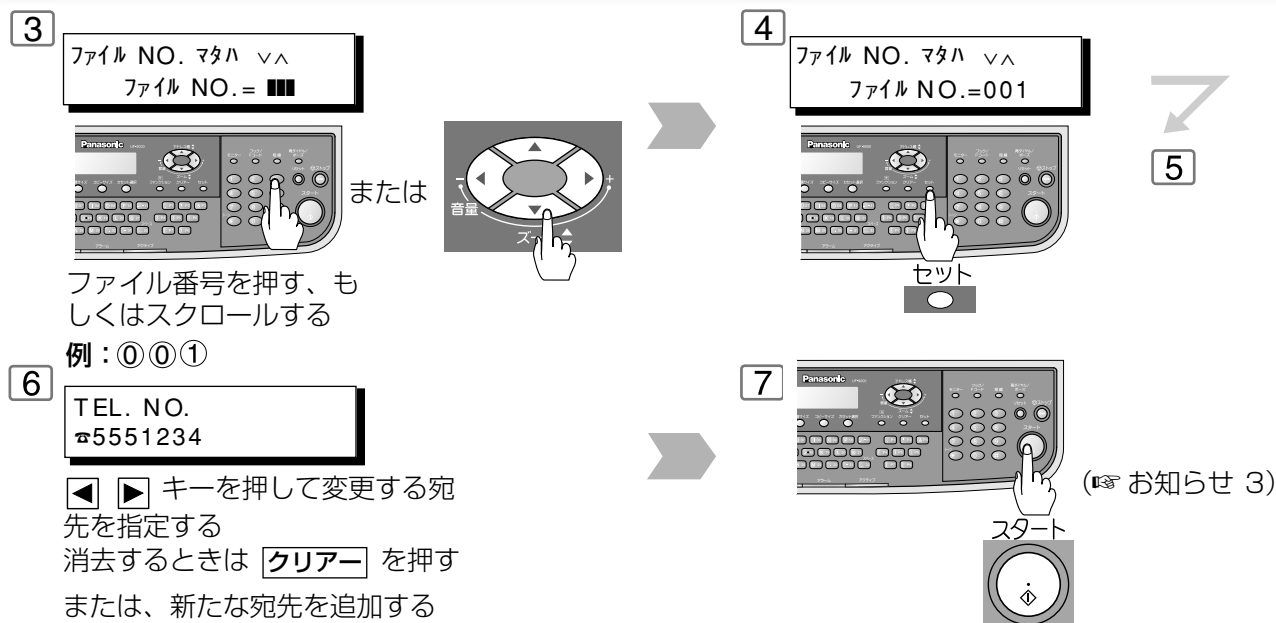
```
ファイル ショウキョ  NO.001?
1: ハイ 2: イイエ
```

6

```
* ショウキョ シテイマス *
    ファイル NO.=001
```

お知らせ

1. 送信中または再ダイヤル待機中は、ファイル内の送信時刻と宛先は変更できません。
2. タイマー通信ファイルでない場合、ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。

```
タイマーツウシンセット ?
1: ハイ 2: イイエ
```

タイマー通信にファイルの形式を変更する場合は「1：ハイ」を選んでください。

お知らせ

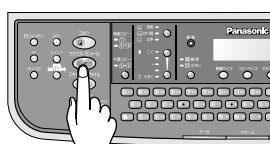
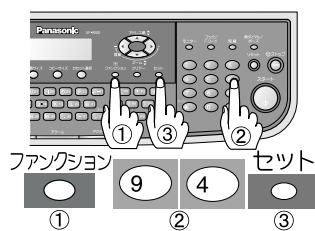
3. 通信エラーファイルとして保存したファイルを編集する場合、送信予約時刻を設定しないと、通信予約の変更手順 7 で スタート を押した後に、ディスプレイに次のメッセージを表示します。

```
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ ﾘﾄﾗｲ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ
```

再送信を行なう場合は「1：ハイ」を選んでください。

■ 指定通信予約ファイルのプリント

通信予約をしているファイルをプリントするには、次の手順でおこないます。

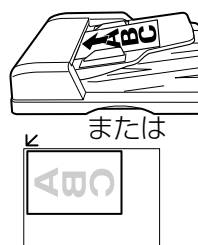
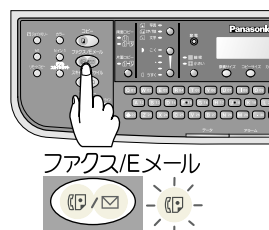
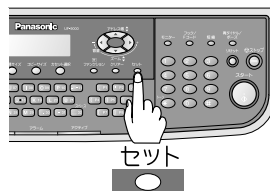
1
2
5

```
* プリント シテイマス *
      ページ=001/003
```

■ ファイルへ原稿を追加する

通信予約をしているファイル内に原稿を追加するには、次の手順でおこないます。

1
2
5

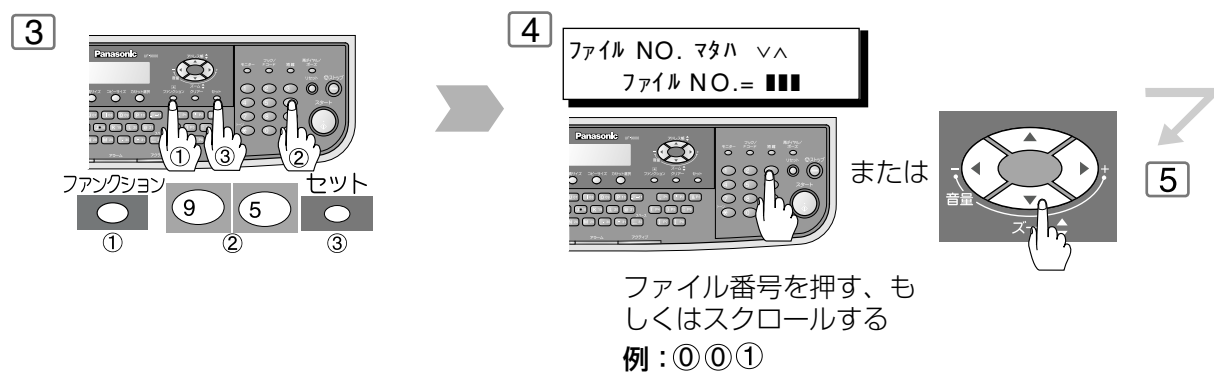
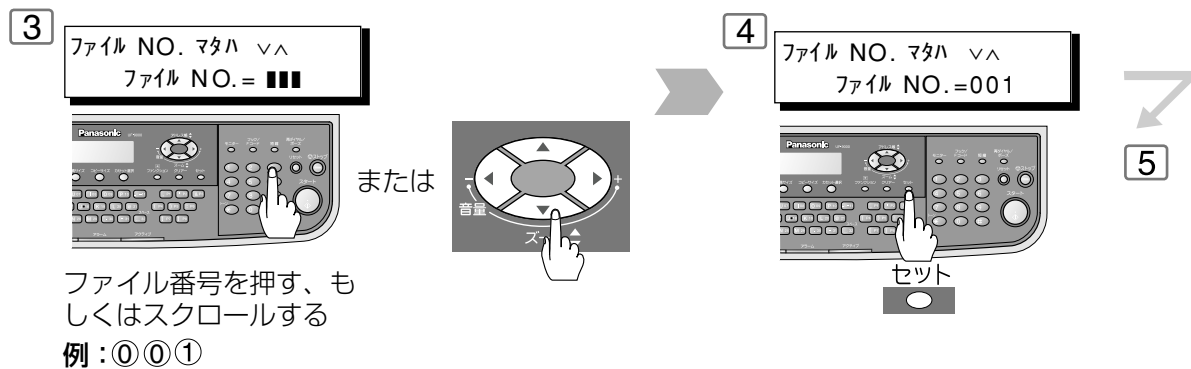
```
ファイル NO. マタハ ∨∧
    ファイル NO.=001
```

6

```
* チクセキ シテイマス * NO.001
       マイスウ =002   10%
```

お知らせ

1. 送信中のファイルをプリントすることはできません。
2. 送信中あるいは再ダイヤル待機中のファイルに原稿を追加することはできません。

ファイル番号を押す、もしくはスクロールする
例：⓪⓪①

ファイル番号を押す、もしくはスクロールする
例：⓪⓪①

通信予約の確認

■ 未達宛先再通信の指定

話し中や、相手先の応答がなかったため未通信となった場合に、蓄積された原稿は、最後に再ダイヤルした後にメモリーから消去されます。

送信されなかった場合でも原稿を保存するときは、システム登録の「**31 通信エラーファイルセーブ**」を「**アリ**」に変更してください。
(☞152 ページ)
(☞ お知らせ 2)

送信されなかったファイルを再通信するには、ファイル番号の確認が必要です。通信予約の確認で行なってください。

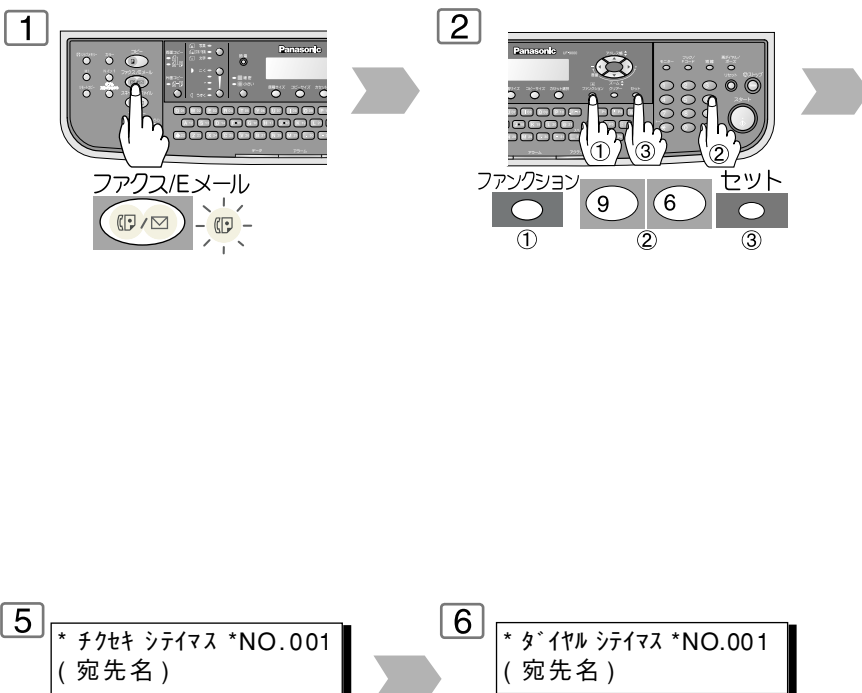
1

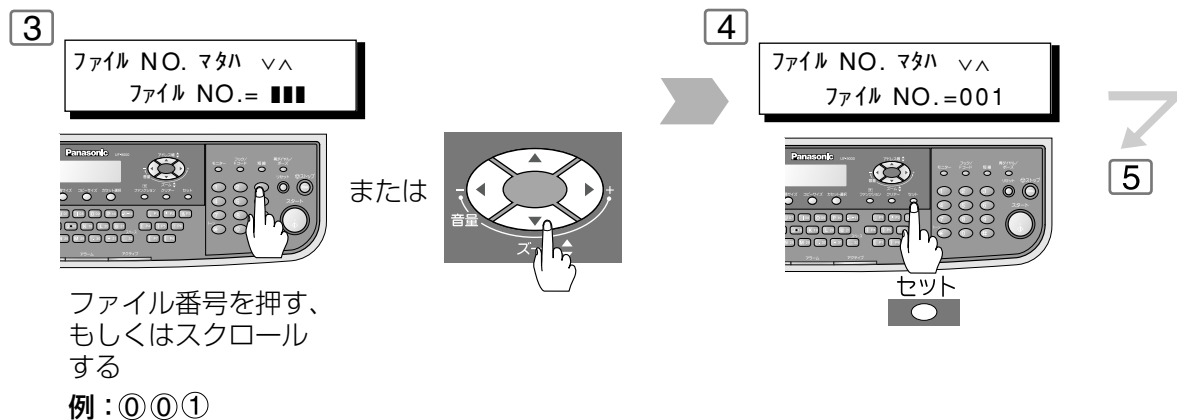
2

5

```
* ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ *NO.001
( 宛先名 )
```

6

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ *NO.001
( 宛先名 )
```

お知らせ

1. システム登録の「**31 通信エラーファイルセーブ**」を「**アリ**」に設定した場合、送信されなかったファイルはメモリーに保存されます。メモリーオーバーをさけるために、メモリーの内容をこまめにチェックしてください。この機能をご利用になるときはオプションの増設メモリーカードを装着することをお勧めします。(☞186 ページ)

3

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨∧
ﾌｧｲﾙ NO.= ▮▮▮

または

音量

ファイル番号を押す、
もしくはスクロール
する

例：⓪⓪①

4

ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨∧
ﾌｧｲﾙ NO.=001

セット

5

ファクス応用編

お知らせ

2. 通信エラーとして保存されたファイルは、通信予約ファイルとして扱われます。 通信エラーファイルの内容確認や消去、 再通信などは 98 ～ 105 ページを参照してください。

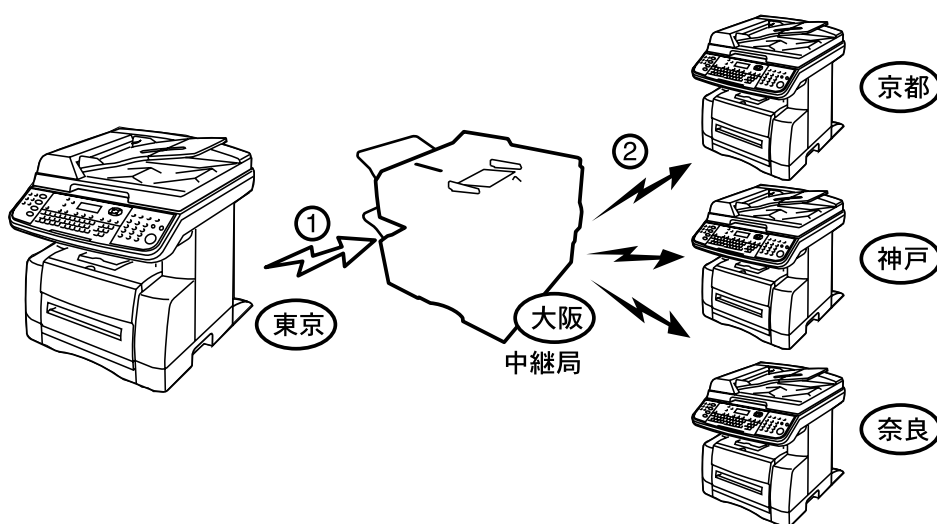
ファクス応用編

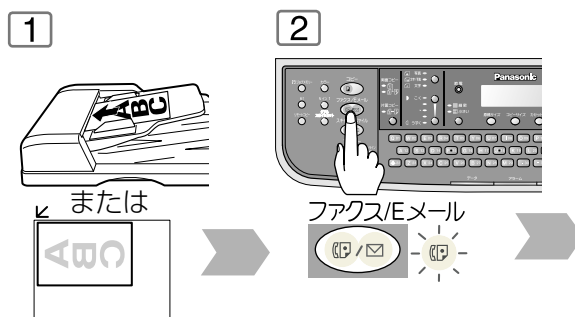
中継通信

■ 中継通信について

メモリー機能を持つ中継局を使って、中継通信を指定することができます。
- 中継通信をする場合は、本機を含むネットワークを構成する必要があります。
- 中継ネットワークを構成する場合は、サービス実施会社へご相談ください。

中継同報指示について
遠距離にある複数の宛先にファクスを送りたいとき、中継局に送信すれば中継局は指定された宛先へ順次送信します。

例：東京から、大阪の中継局を経由して京都、神戸、奈良へ送信します。

■ 中継同報指示

メモリー機能を持った中継局を中心に中継ネットワークを組んで、遠方にある複数の宛先へ１度にファクスを送信できます。
- システム登録の「**104 中継情報**」を「**アリ**」にしておいてください。
- 「中継自局情報の登録」をしておいてください。(☞156 ページ)
- 中継局のダイヤル番号と中継情報をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておいてください。(☞108 ページ)
- 中継同報指示する宛先のダイヤル番号と中継情報を、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておいてください。(☞108 ページ)

お知らせ

1. 中継同報指示の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
2. 中継同報指示できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。

3

中継同報指示を選ぶ

4

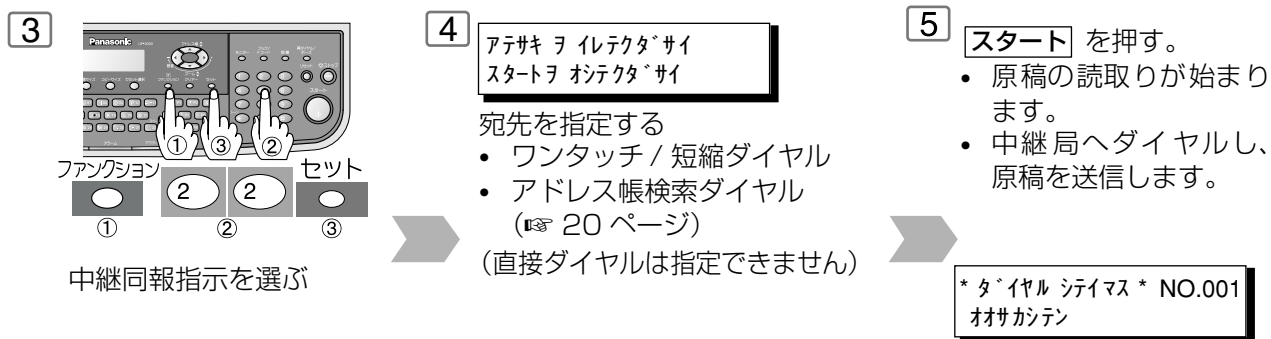
```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

宛先を指定する
- ワンタッチ / 短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
  (20 ページ)

（直接ダイヤルは指定できません）

5

スタート を押す。
- 原稿の読取りが始まります。
- 中継局へダイヤルし、原稿を送信します。

```
* ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ *  NO.001
ｵｵｻｶｼﾃﾝ
```

お知らせ

3. 手順３で「ピピピ」と音が鳴ったときは、中継情報の登録がされていません。
4. 手順４で「ピピピ」と音が鳴り " パラメータガミトウロクデス " が表示されたときは、指定した宛先に中継情報が登録されていません。中継情報を登録してください。

ファクス応用編

中継通信

■ 中継通信の登録

ワンタッチや短縮ダイヤルに「中継情報」などを登録することができます。中継情報を登録するときは、あらかじめシステム登録の「**104 中継情報**」を「**アリ**」にしておいてください。
(☞ 153 ページ)

1 2

5

<01>
ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ

電話番号（52 桁まで）を入力し、 セット を押す

例: 55512342762

6

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ < ｶﾅ
55512342762

宛名名称（15 文字まで）を入力し、 セット を押す
(☞ 12 ページ)

例: パナソニック

7

ﾁｭｳｹｲ ｿｳｼﾝ ﾄｳﾛｸ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ

10

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾎｳﾎｳ ?
1: ﾀﾝﾀﾞ 2: ﾅｲｾﾝ 3: ﾁｮｸﾀﾞ

中継親局からのダイヤル方法を選ぶ

①: 中継親局に登録されている短縮ダイヤル番号を使ってダイヤルします。

②: 中継親局の内線を使って、本機のアドレス帳に登録されている中継指示の内線番号へダイヤルします。

③: 中継親局の外線を使って、本機の短縮ダイヤルに登録されている番号をダイヤルします。（手順 12 へ進みます）

11

ﾀﾝﾀﾞ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾄｳﾛｸ
▮ (7 ｹﾀ)

または

ﾅｲｾﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾄｳﾛｸ
▮ (7 ｹﾀ)

中継親局から送信するダイヤル番号を指定し、 セット を押す。

- 手順 10 で「タンダ」を選んだときは、中継親局に登録されている短縮ダイヤル番号を指定します。
- 手順 10 で「ナイセン」を選んだときは、中継親局からダイヤルする内線番号を指定します。

3

1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ

1

①: ワンタッチ
②: 短縮ダイヤル
例 :①

4

ﾜﾝﾀｯﾁ <>
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

例 : Q 01

5

8

ﾁｭｳｹｲ ｼﾞｮｳﾎｳ ?
1:ｵﾔｷ 2:ｺｷ 3:LAN

中継機の種類を選ぶ
①: 宛先が中継親局のときに選びます。
②: 宛先が中継親局を経由した相手のときに選びます。
③: LAN 中継情報の登録をします。(☞ 128 ページ)

例 :①

9

ﾁｭｳｹｲ ｼｷﾍﾞﾂ ﾊﾞﾝｺﾞｳ

中継識別番号（2 桁）を指定し、セット を押す
(手順 8 で「1:ｵﾔｷ」を選択した場合、手順 12 へ進みます)

10

12

ﾜﾝﾀｯﾁ <>
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

続けて中継情報の登録ができます。手順 4 から 11 を繰り返します。
待機状態に戻るには
ストップ を押します。

インターネットFAX／Eメール（応用編）

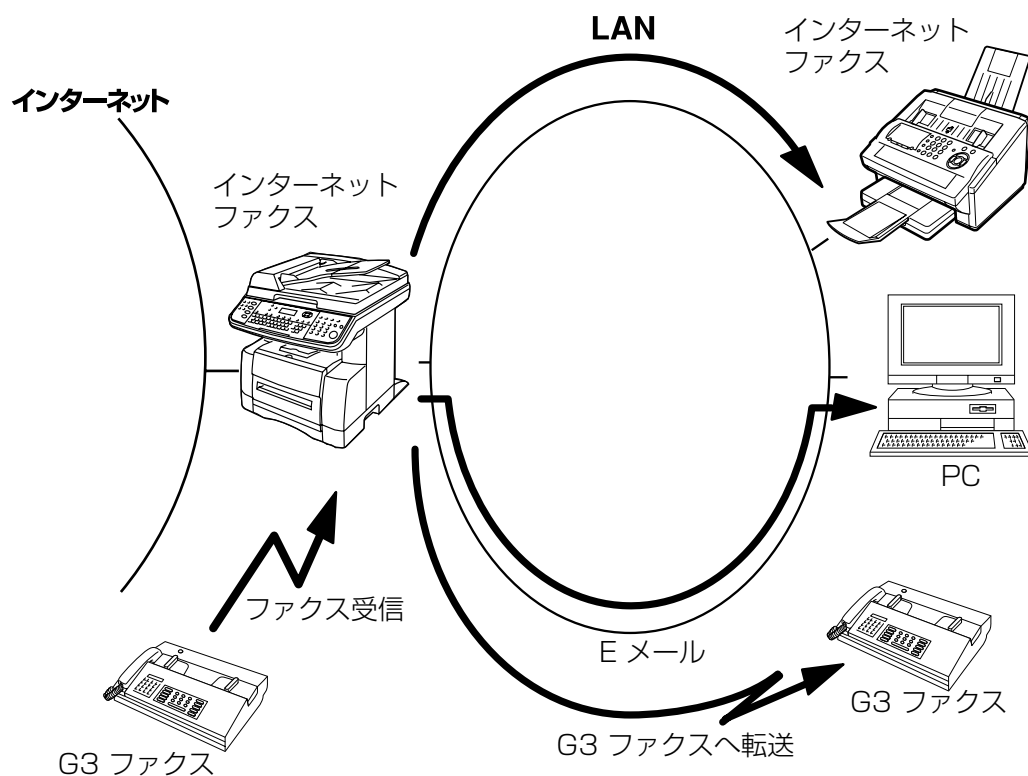
インターネット通信について

■ ルーティング （☞ 116 ページ）

一般回線のファクスから受信した文書を、LAN に接続した PC または、インターネットファクスに転送することができます。

また、別の一般回線のファクスにも転送できます。

転送先を「F コード」や送信機の「数字 ID」で指定できます。

ご利用できるファクスに関して、ご不明な場合は、サービス実施会社にお問い合わせください。

■ DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

DHCP というのは、インターネットファクスとクライアントの PC に IP アドレスを自動的に割り当てるためのプロトコルです。インターネットファクスは DHCP を使うとネットワークに接続する毎に自動的に固有の IP アドレスを取得でき、ネットワーク管理者の IP アドレス管理の手間が省けるようになります。

ネットワークにログオンしたインターネットファクスに対して DHCP サーバーがマスターリストから選んだ IP アドレスを割り当てます。

本機において以下のオプションを可能にするには、DHCP は使わずに、ネットワーク管理者によって設定済の IP アドレスおよび環境設定を使う必要があります。

SMTP 受信

LAN 中継送信

ダイレクト SMTP (ダイレクト IFAX（インターネット FAX）送信)

■ SMTP 認証

世界規模の電子的なインフラストラクチャーとしてインターネットが登場して以来、通信機器市場は飛躍的に伸びています。しかし、インターネットのセキュリティーを高める技術は、まだ確固としたものが出ていません。この理由はいくつかあります。

1. インターネットメールはマルチホップ（雑多なプロトコル、雑多なデバイス）の構造体であり、通信路をベースとしたセキュリティーは一般的に実現が困難。
2. インターネットファクスの標準規格が推奨する独占的な技術はない。

システムの改善と健全化の標準的なソリューションとして今提供されているのは、暗号技術ベースの認証システムです。この認証技術は SASL（Simple Authentication and Security Layer）のような認証機構に統合されています。

インターネットのサービスプロバイダー (ISP) は、多くが何らかの認証方式を採用しています。

本機が提供する認証オプションは以下の通りです。

1. SMTP 認証拡張サービス (SMTP AUTH) — 接続時にユーザー名とパスワードによる認証が行われるため、特定ユーザー以外の送信や中継を防止できる方法。
2. APOP 認証サービス（APOP）— E メールの送受信に使われるパスワードを暗号化する方法。
3. POP before SMTP — 送信前に指定した POP3 サーバーにあらかじめアクセスさせることにより、SMTP サーバーの使用許可を与える方法。

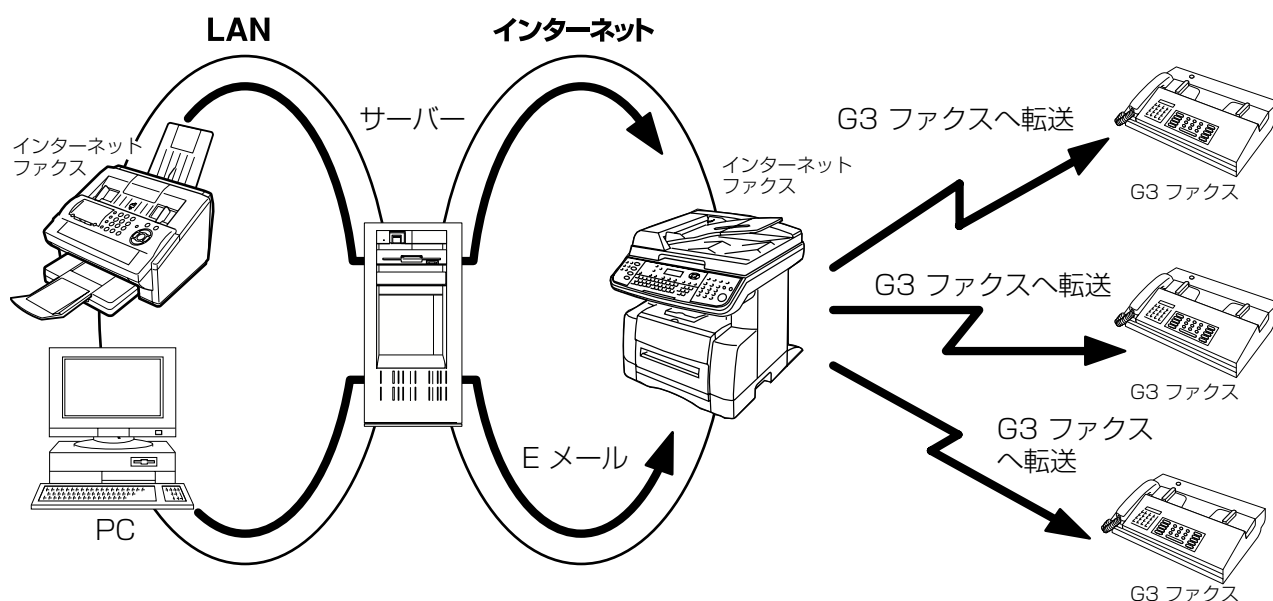
インターネットFAX／Eメール（応用編）

インターネット通信について

■ LAN 中継同報（☞124 ページ）

LAN に接続したインターネット FAX や PC から送信した E メールを、LAN 中継同報機能を持ったインターネット FAX を経由して、一般回線に接続された複数のファクスへ 同報送信することができます。
E メールには、TIFF 形式のファイルを添付することができます。

各種アプリケーションのデータファイルを TIFF- F 形式のファイルに変換するには、ソフトウェア（ TIFF 変換プログラムおよび MAPI メールリンキング）をホームページからダウンロードして、PC にインストールする必要があります。

TIFF コンバーターのインストールや操作方法については、ホームページを参照してください。
（☞65 ページ）

インターネットFAX／Eメール（応用編）

FROM 選択機能

■ FROM 選択機能の登録

システム登録「**145 From 欄選択**」を「**アリ**」にすると、ファクス、E メール（インターネットＦＡＸ）送信時に、発信元やメールの From 欄の内容を選ぶことができます。お買い上げ時の設定は「ナシ」になっています。24 個（No.01 ～ No.24）の名称とアドレスを登録できます。システム登録の「**173 送達確認要求**」が「**オン**」になっている場合、From 選択機能に登録されたアドレスに送達確認メールが送られてきます。

1 ～ 2

5

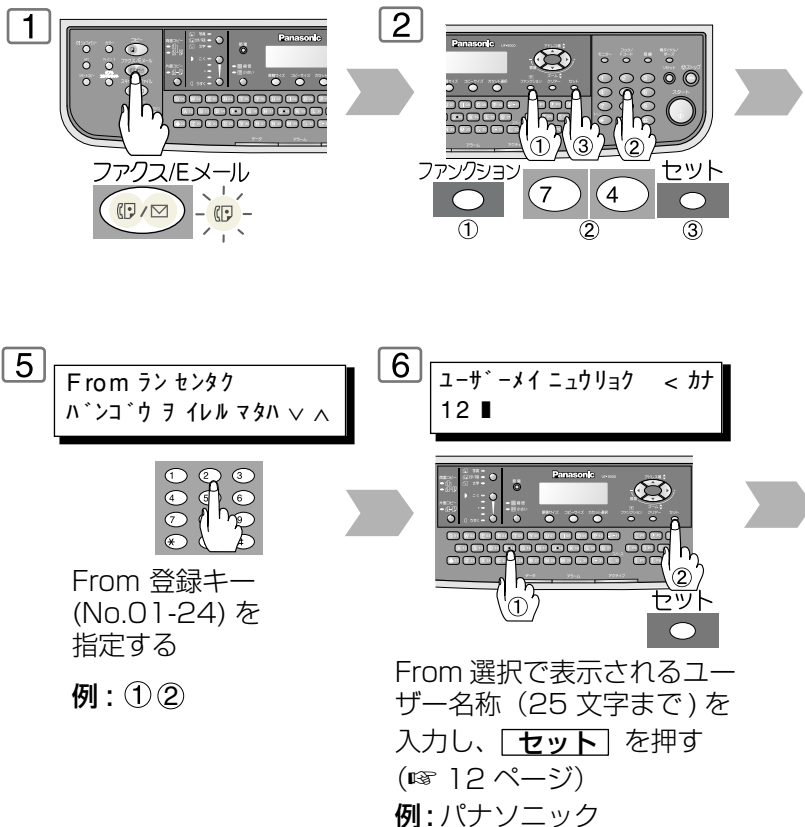
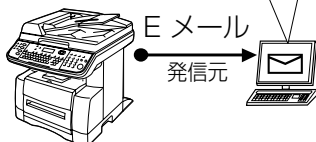
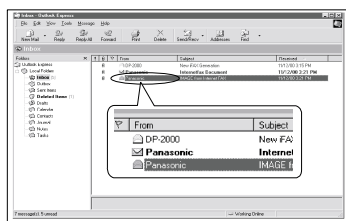
From 登録キー(No.01-24) を指定する

例 : ①②

6

From 選択で表示されるユーザー名称（25 文字まで）を入力し、［セット］を押す

(☞ 12 ページ)

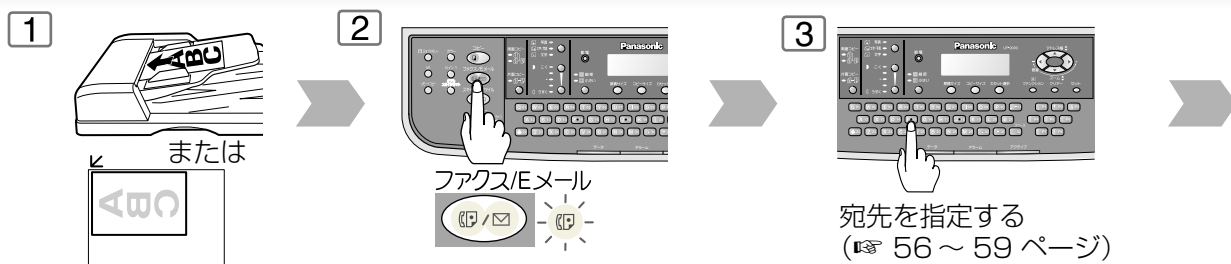
例 : パナソニック

■ 発信元（From）を選択して送信する

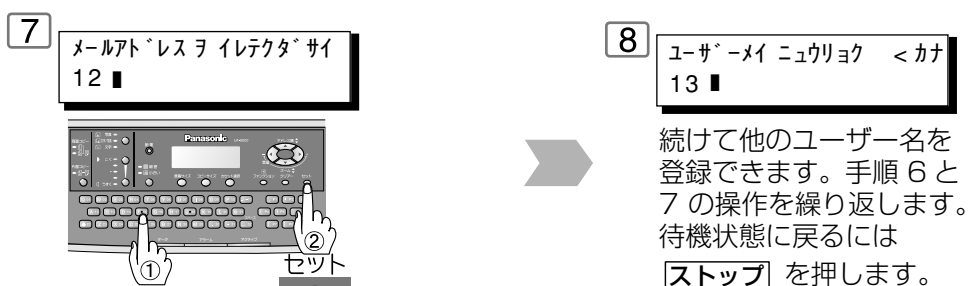
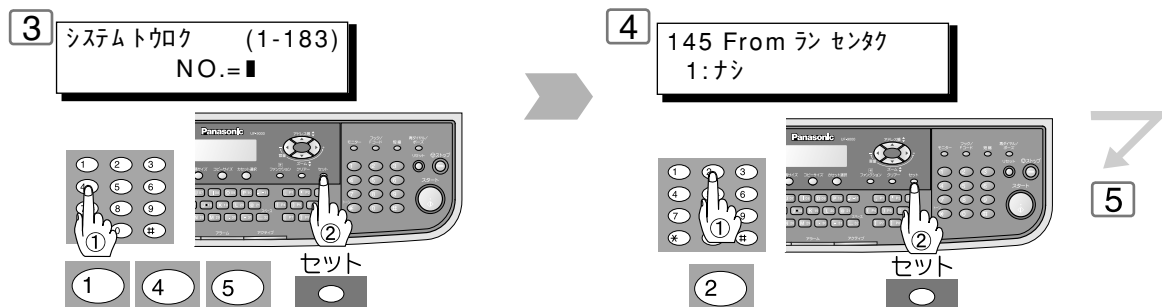
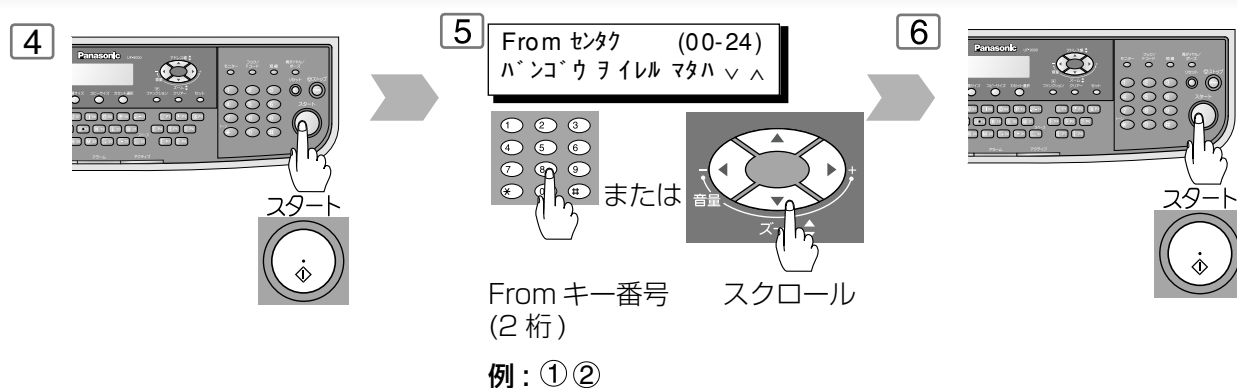
1

2

3

宛先を指定する

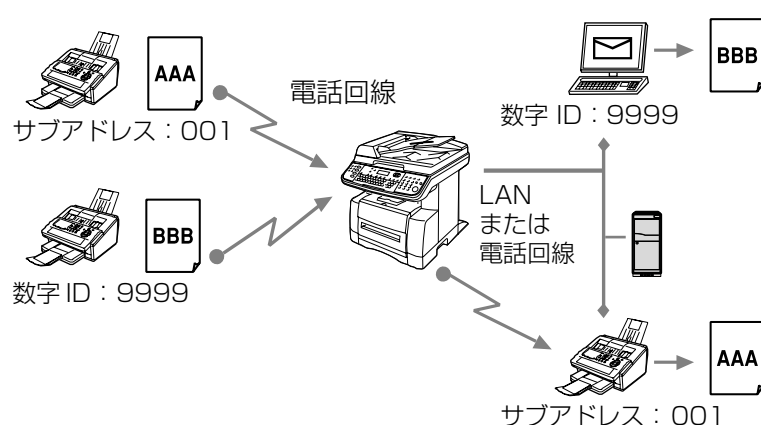
(☞ 56 ～ 59 ページ)

お知らせ

1. No.00 へは自局情報の発信元情報が登録されるため、選択できません。

お知らせ

2. システム登録のリストプリントで、From 欄選択リストをプリントできます。あらかじめシステム登録の「**145 From 欄選択**」を「**アリ**」に設定してください。(☞ 153、176 ページ)

インターネットFAX／Eメール（応用編）

ルーティング

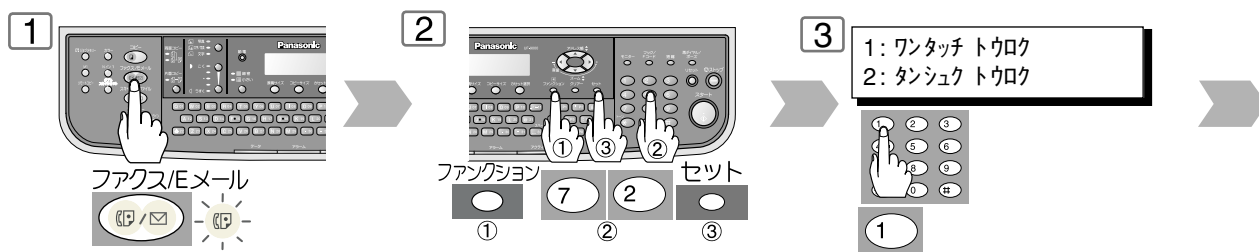
■ ルーティングの設定

一般回線のファクスから受信した文書を、LAN 上のパソコンまたはインターネットファクスにメール送信することができます。また、別の一般回線のファクスにファクス送信することもできます。

システム登録の、「 **152 SUB ルーティング**」、「 **153 数字 ID ルーティング**」「**175 発番号ルーティング**」「**176 ダイヤルインルーティング**」のいずれかご利用できる項目を「**アリ**」に設定します。

「 **152 SUB ルーティング**」：F コード通信（サブアドレス通信）を利用できる G3 ファクスから F コードのサブアドレスを使用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。送信側 G3 ファクスから F コードのサブアドレスで本機に登録されている宛先を指定してルーティングすることが可能です。

■ ワンタッチ／短縮ダイヤルへのルーティングの登録

3

1：ワンタッチ トウロク
2：タンシュク トウロク

①：ワンタッチ

②：短縮ダイヤル

例： ①

「153 数字 ID ルーティング」:
F コード通信を利用できないファクスから、ルーティングさせる場合に「アリ」に設定します。送信側ファクスから送られてくる数字 ID で本機に登録されている宛先にルーティングすることが可能です。

「154 ルーティング時 From 欄」:
ルーティングにより、LAN へメールを送るときの From 欄の内容を選びます。

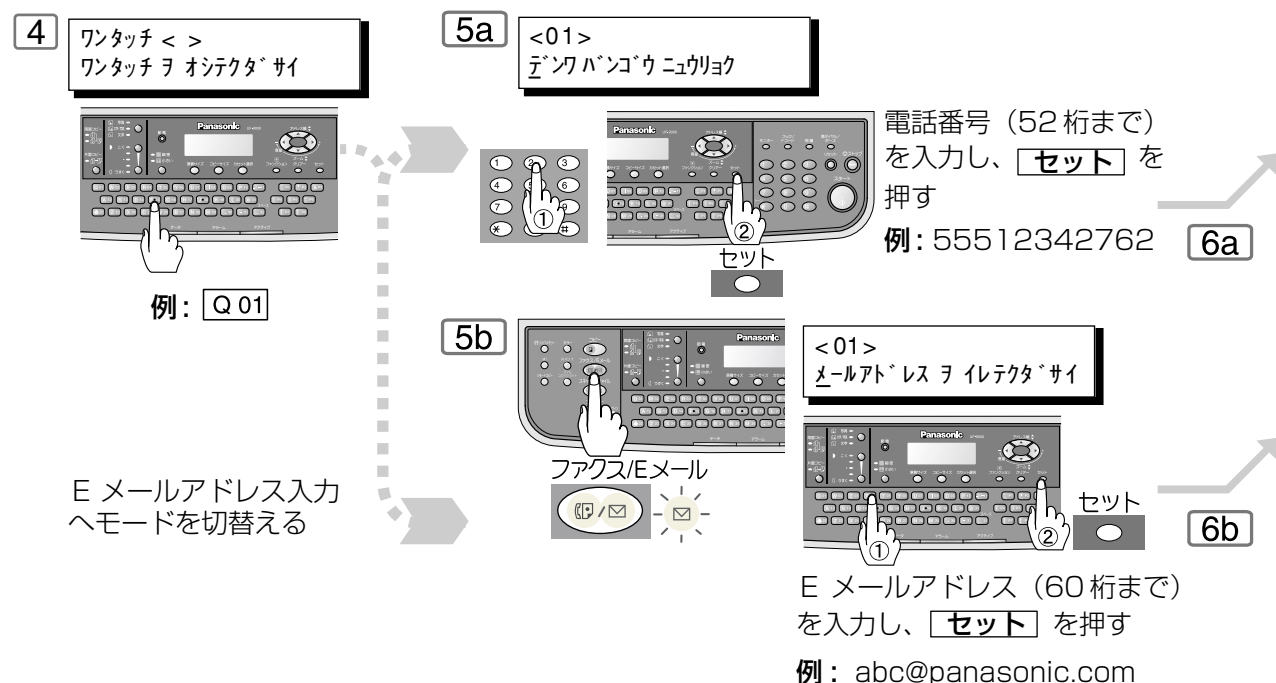
指示局 : 発信者の数字 ID をルーティングするメールの「From」欄に表示します。
中継局 : ルーティングする中継局のメールアドレスを、ルーティングするメールの「From 」欄に表示します。

「155 ルーティング時プリント」:
受信した原稿をすべて本機でプリントするか、ルーティング操作が機能しなかった場合のみプリントするかどうかを選択します。

「175 発番号ルーティング」: (☞119 ページ　お知らせ 5)
発信者番号通知（ナンバーディスプレイ）によるルーティングをする場合に「アリ」に設定します。送信側 G3 ファクスから送られる発信者番号で、本機に登録されている発信者番号の宛先にルーティングすることができます。（発信者番号通知（ナンバーディスプレイ）を契約時は、必ず「アリ」に設定してください。「ナシ」のままですと、ファクス受信できません。）

「176 ダイヤルインルーティング」: (☞119 ページ　お知らせ 5)
モデムダイヤルインサービスをご利用されている場合に、「アリ」に設定します。送信側 G3 ファクスから送られるダイヤルイン番号で、本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。

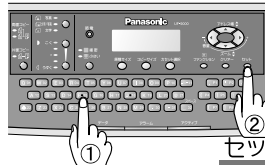
お知らせ
- 発信者番号通知･ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT にお問い合わせください。
- NCC 回線をご利用の場合は、NCC 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知ダイヤルインサービスの詳細につきましてはご契約の NCC にお問い合わせください。

＜次ページへつづく＞

インターネットFAX／Eメール（応用編）

ルーティング

■ ワンタッチ／短縮ダイヤルへの登録

6a

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ < ｶﾅ
☎55512342762

宛先名称（15 文字まで）を入力し、［セット］を押す
(☞ 12 ページ)

例 : パナソニック

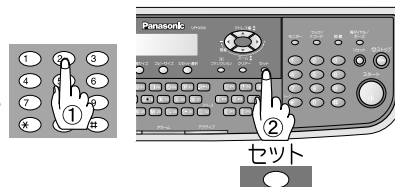
6b

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ < ｶﾅ
✉abc@panasonic.com

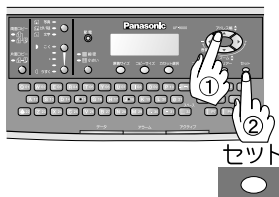
宛先名称（15 文字まで）を入力し、［セット］を押す
(☞ 12 ページ)

例 : パナソニック

7

ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ : ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ

システム登録の「152 SUB ルーティング」が「アリ」の場合、サブアドレス（20 桁まで）を入力し、［セット］を押す

10

ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ : ﾓﾃﾞﾑ ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
∨ ∧ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

システム登録の「176 ダイヤルインルーティング」が「アリ」の場合、［▼］［▲］を押してダイヤルインを指定し、［セット］を押す

11

ﾁｭｳｹｲ ｿｳｼﾝ ﾄｳﾛｸ ?
1: ﾊｲ 2: ｲｲｴ

（E メール宛先の登録の場合、この画面は表示されず、手順 12 へ進みます。）

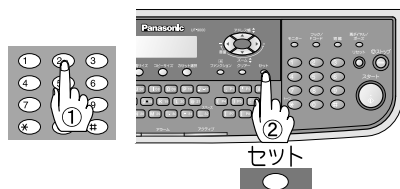
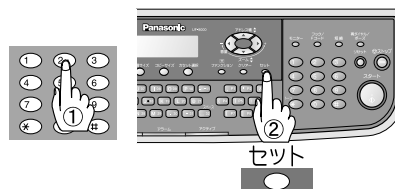
① : 中継通信の登録をします。
(☞108 ページ)

② : 手順 12 へ進みます。

12

待機状態に戻るには［ストップ］を押す

お知らせ

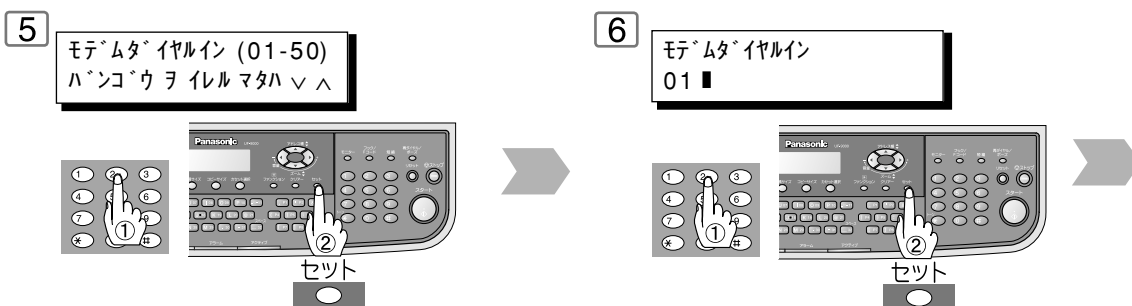
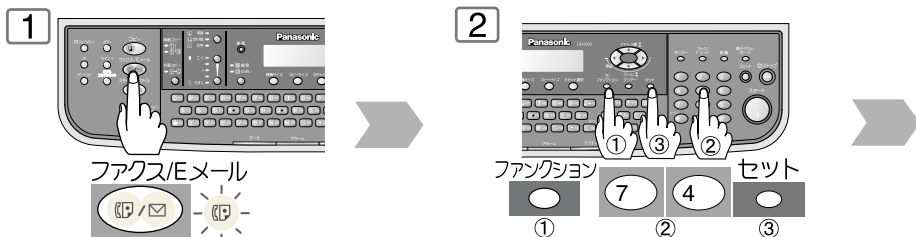
1. パルスダイヤル回線をお使いの場合、ダイヤルの途中でトーン発信に変更するときは、
   ✱ （トーン）を押します。”／” が表示され、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
2. NCC 回線をご利用の場合は、NCC 回線のアクセス番号のあとに、［ポーズ］を 2 回押して約 7 秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。
3. 一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。
4. 数字 ID によるルーティングを行なうときは、送信側のファクスに登録されている数字 ID と同一内容の数字のみを、アドレス帳の転送用相手数字 ID に登録してください。

システム登録の「153 数字 ID ルーティング」が「アリ」の場合、数字 ID（20 桁まで）を入力し、 セット を押す

システム登録の「175 発番号ルーティング」が「アリ」の場合、発番号（20 桁まで）を入力し、 セット を押す

お知らせ

2.「発番号ルーティング」または「ダイヤルインルーティング」を「アリ」にした場合は、節電モードを「シャットダウン」に設定しても、「シャットダウン」状態になりません。

インターネットFAX／Eメール（応用編）

ルーティング

■ ダイヤルインの登録

登録したい番号（01 ～50）を押す

アドレス帳に登録されている番号があるとき表示できますが選択できません。変更または消去したい場合は、アドレス帳の登録を解除してからおこなってください。

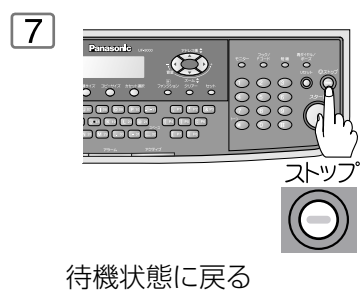
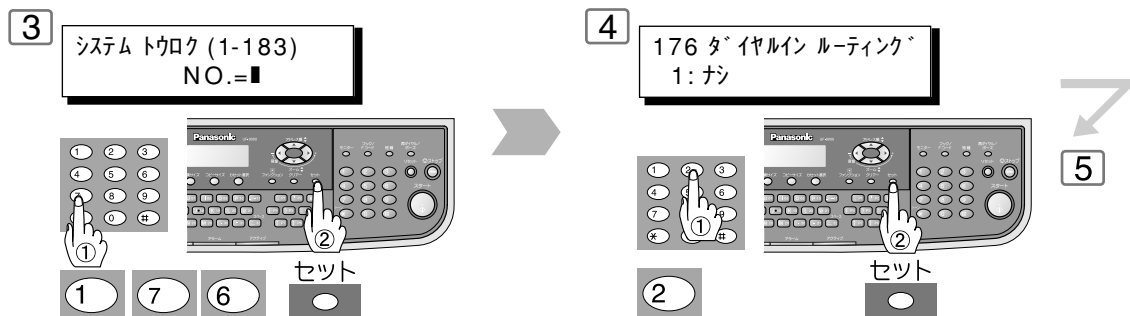
例：⓪①

ダイヤルイン番号（最大 20 桁）を入力し、［セット］を押す

- ダイヤルインには数字のみ入力できます。
- 続けてダイヤルイン番号の登録ができます。

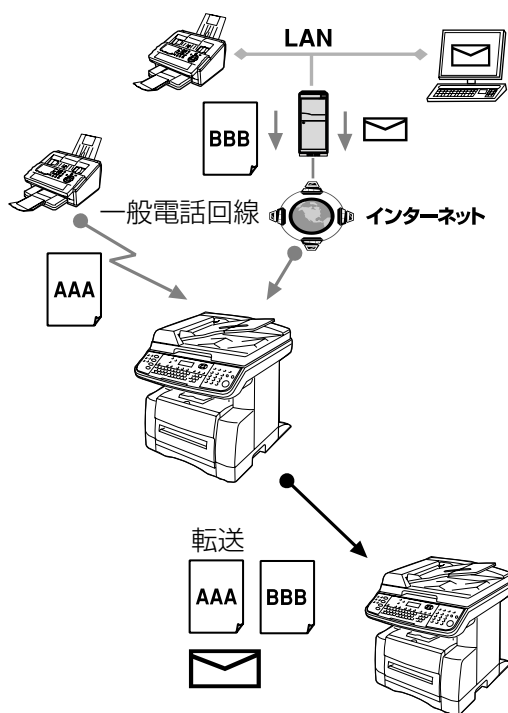
3
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ (1-183)
NO.=
①
②
1
7
6
セット
4
176 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ
1:ﾅｼ
①
②
2
セット
5

7
ストップ

待機状態に戻る

インターネットFAX／Eメール（応用編）

メモリー転送

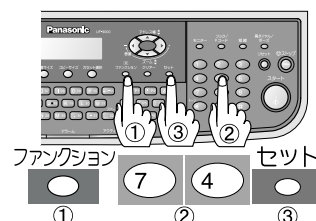
一般電話回線のファクスからの受信原稿と、LAN 経由で受信した E メールが転送できます。また宛先としては、E メールアドレスか電話番号のどちらかを登録できます。

夜間や休日に別の場所 (自宅等) でファクスを受信したい場合に便利です。

■ メモリー転送の設定

1

ワンタッチ／短縮ダイヤルにあらかじめ転送先を登録しておきます。

(☞142 ～ 143 ページ)

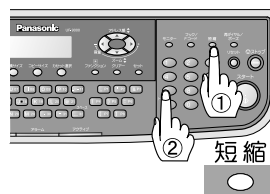
2

5a

54 ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

ワンタッチキーを押す

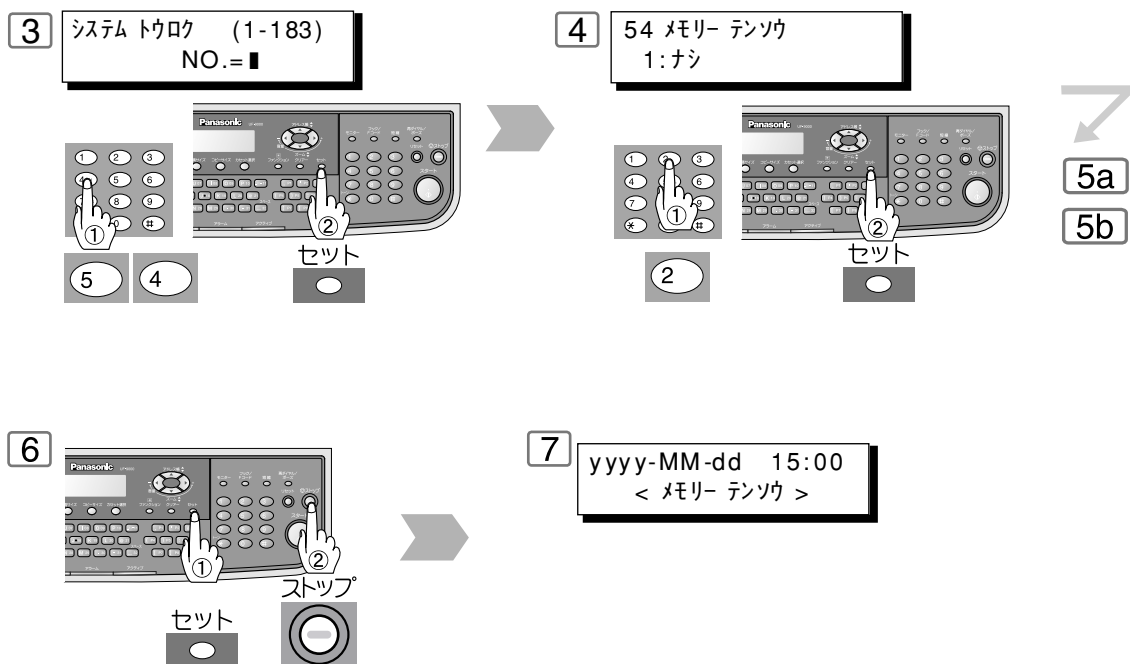
例： Q 01

5b

54 ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

短縮 を押し、短縮ダイヤル番号（3 桁）を押す

例： ①⓪⓪

お知らせ

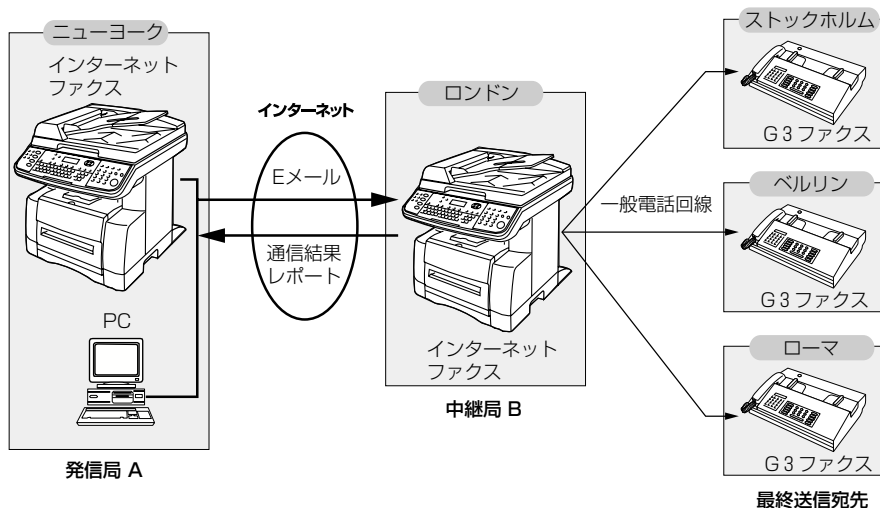
1. メモリー転送機能が設定されると、メモリー転送先として設定したワンタッチまたは短縮ダイヤルは変更できません。 番号を変更したい場合は、機能の設定を「ナシ」に切替えてください。
2. 受信した原稿のメモリー転送が話し中などで正常に終了しないとき、システム登録の「**31 通信エラーファイルセーブ**」が「**アリ**」に設定されていても、受信原稿はプリントアウトされ、メモリーから削除されます。メモリー転送が正常に行なわれないとき、受信原稿をメモリーに蓄積したい場合は、本機を「メモリー受信」に設定してください。 (☞88 ページ)

お知らせ　3.メモリー使用量が約 95%以上のときは、受信できません。

インターネットFAX／Eメール（応用編）

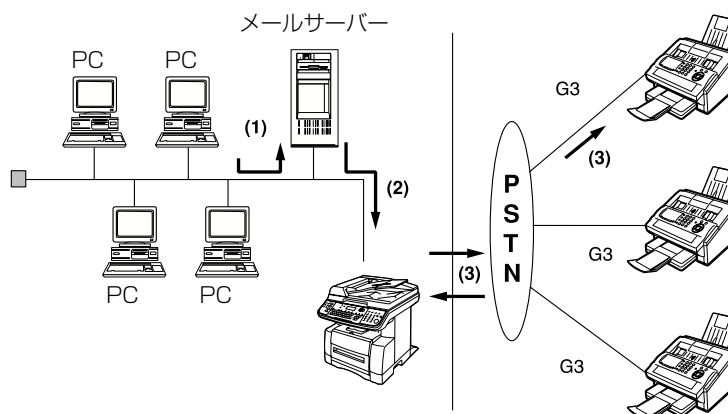
LAN 中継同報

■ 概要

LAN 中継同報機能を持ったインターネットファクスとネットワークを組むことにより、LAN 経由で送信したＥメールを、一般回線に接続された複数のファクスへ同報送信することができます。

例 1: インターネット中継送信ネットワーク

以下に LAN 中継同報の流れを説明します。

1. LAN 中継機能を持ったインターネットファクス（中継局 B）に、E メール（TIFF-F 形式のファイルを添付することができます）で、LAN 中継同報を指示します。
   あらかじめ、LAN 中継指示を登録したワンタッチ／短縮ダイヤル（ ☞128 ページ）を使用すると、簡単に LAN 中継同報の指示ができます。（☞130 ページ）
2. 管理者用のパソコンに、LAN 中継同報指示されたことを E メールで通知します。（ ☞135 ページ）
3. LAN 中継指示された E メールを、一般回線に接続されたファクス（ストックホルム）へ順次同報を開始します。受信した E メールは、1 枚目にメールヘッダ及びメール本文、2 枚目以降に添付ファイルを出力します。
4. 引き続き、次のファクス（ベルリン・ローマ）に転送します。
5. LAN 中継同報が終了したら、通信結果をLAN 中継同報を指示したインターネットファクス（発信局 A）またはパソコンへ通信結果レポート（☞134 ページ）で返送します。

例 2: ファクスサーバー (イントラネット中継送信)

(1) E メールによりメールサーバーまで LAN 中継同報送信を開始します。
(2) メールサーバーは LAN 中継指示で本機に E メールを転送します。
(3) 本機は、G3 ファクスに通信を開始しファイルを送信します。

■ 中継ネットワーク

本機から最終宛先まで直接インターネットファクスで送信する場合、本機能により、時間および長距離市外電話料金が節約できます。

中継ネットワークは原則として、インターネットファクス（発信局 A）またはパソコンである発信局とLAN 中継機能を持つインターネットファクス（中継局 B）、そして G3 ファクスである最終宛先から構成されます。

本機からの原稿の送信、またはパソコンから E メールに添付した原稿を中継局（本機を含む）へ送信します。中継局からは通常の電話回線を使って G3 ファクスである最終宛先まで送信できます。(パソコンからの送信は TIFF-F またはテキスト (.txt) ファイル添付が可能です。)

中継局からは最終宛先への送信には電話料金が発生します。

中継局から最終宛先までの送信完了後に、LAN 中継送信が完了したかどうかを通知する通信ジャーナルが中継局から発信局に返信されます。中継送信情報は、E メールで中継局にあらかじめ登録されている自局登録のインターネットパラメーターの管理者メールアドレスに送信されます。(☞55 ページ) LAN 中継送信を利用するには、126 ページから 135 ページまでに記載の設定手順にしたがい、必要情報を入力してください。図 1 に LAN 中継ネットワークのサンプルを記載します。

図 1 のサンプルは、**ニューヨーク (発信局)** を起点とし、**ロンドンおよびシンガポール (中継局)** がニューヨークと結ばれ、**(最終宛先) はストックホルム、ローマ、東京、香港そしてシドニー**などとなっています。

この基本的なネットワークは 2 箇所の中継局を利用し、ロンドンの中継局および／またはシンガポールの中継局を介してネットワーク内の宛先に、1 回の操作でファイルを送信できます。

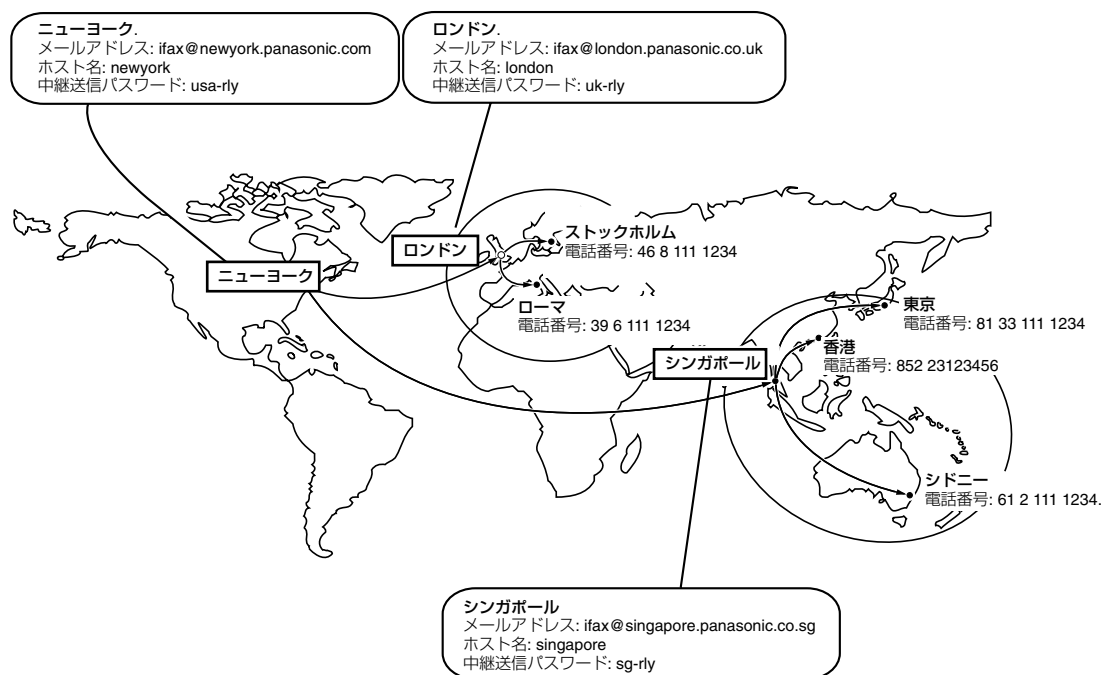



図 1：ネットワークのサンプル

インターネットFAX／Eメール（応用編）

LAN 中継同報

表 1, 2 および 3 は、125 ページでの図 1 記載のサンプルネットワーク設定です。

表 1 : ニューヨークへのサンプルパラメーターおよびアドレス帳登録内容 (発信局)

電話番号 : 212 111 1234
メールアドレス (SMTP) : ifax@newyork.panasonic.com
ホスト名 : newyork
中継用パスワード : usa-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	Ifax@london.panasonic.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	シンガポール	Ifax@singapore.panasonic.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[002]
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---
[002]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---
[003]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[004]	香港	852 23123456	[002]
[005]	シドニー	61 2 111 1234	[002]

表 2 : ロンドンへのサンプルパラメーターおよびアドレス帳登録内容 (中継局)

電話番号 : 71 111 1234
メールアドレス (SMTP) : Ifax@london.panasonic.co.uk
ホスト名 : london
中継用パスワード : uk-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[005]
<03>	シンガポール	Ifax@singapore.panasonic.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[001]
[001]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	[005]
[003]	香港	852 23123456	[001]
[004]	シドニー	61 2 111 1234	[001]
[005]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---

表 3 : シンガポールへのサンプルパラメーターおよびアドレス帳登録内容 (中継局)

電話番号 : 65 111 1234
メールアドレス (SMTP) : Ifax@singapore.panasonic.co.sg
ホスト名 : singapore
中継用パスワード : sg-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	Ifax@london.panasonic.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	ニューヨーク	ifax@newyork.panasonic.com	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[005]
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[003]	香港	852 23123456	[005]
[004]	シドニー	61 2 111 1234	[005]
[005]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---

お知らせ

1. 本機が中継局として動作するように、中継用パスワードを登録してください。
2. 第三者が LAN 中継局送信にアクセスできないようするため、ネットワークセキュリティーを設定してください。 すべての LAN 中継局送信通知のために、中継許可ドメイン名と管理者のメールアドレスを入力してください。

■ LAN 中継送信局としての設定

以下のパラメーターの設定を確実に行って、本機を LAN 中継局に設定してください。

1. **LAN 中継** (システム登録 No.142)
   本機をLAN 中継局として機能させるかを選択
   1) **ナシ** - LAN 中継動作をしない
   2) **アリ** - LAN 中継動作をする

2. **LAN 中継結果返送** (システム登録 No.143)
   LAN 中継結果を発信元へ返送する設定
   1) **オフ** - 送信しない
   2) **全て** - LAN 中継結果全てを送信する
   3) **未通信** - LAN 中継で未通信となった場合、送信する

3. **LAN 中継指示をするときのパスワード** (自局登録のインターネットパラメーター) (☞ お知らせ 1)
   LAN 中継指示をするとき、第三者が本機にアクセスするのを防ぐ目的でパスワード (10 文字まで) を設定します。このパスワードが合った場合のみ、LAN 中継送信します。

4. **リレーアドレス** (短縮ダイヤル)
   LAN 中継局を登録している短縮ダイヤルの 3 桁の番号です。

5. **管理者のメールアドレス** (自局登録のインターネットパラメーター)
   LAN 中継の管理およびコスト管理の目的で、管理者のメールアドレスを登録してください。送信情報は以下の通りです。
   (発信者：発信局のメールアドレス)
   (宛先：受信者の G3 ファクスの電話番号)
   デュアルサーバー機能ありの場合は、メールサーバー 1 経由でのみ通知されます。各発信者からの LAN 中継指示を受けると、管理者へメールで通知されます。

6. **中継許可ドメイン名** (自局登録のインターネットパラメーター) (☞ お知らせ 2)
   10 件のドメイン名 (最大 30 文字) まで登録できます。
   例 : 登録ドメイン名
   (01): rdnn.mgcs.co.jp
   (02): rdmg.mgcs.co.jp
   (03): panasonic.com

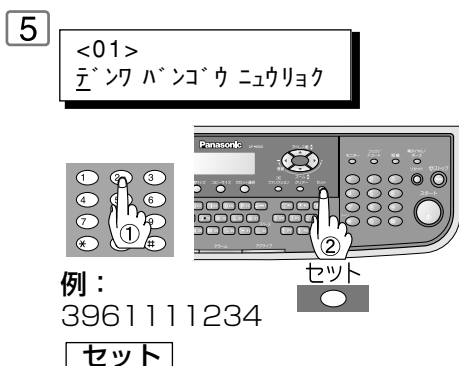
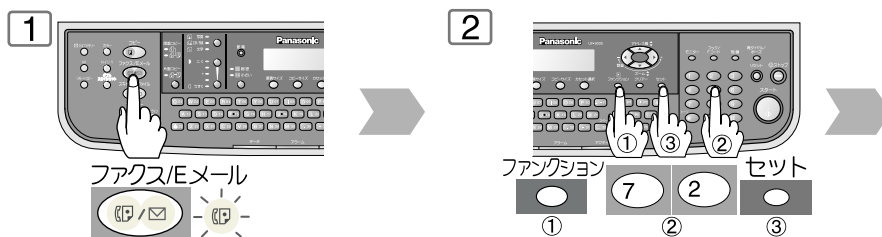
   上記の例で、LAN 中継指示は、rdnn.mgcs.co.jp, rdmg.mgcs.co.jp または panasonic.com のドメイン名を含むメールアドレスからのみ受信可能です。

お知らせ

3. LAN中継用パスワードはメールのヘッダー部分に含まれて送信するため、メールやインターネットファクスで使っているメールアドレスとは異なるものを登録することをお勧めします。このように登録することで、インターネットファクスを受信したとき、LAN 中継用パスワードを容易に識別できます。
4. ドメイン名がすべて空欄である場合は、インターネットファクスは全てのドメイン名に対して LAN 中継指示を受信します。

■ LAN 中継指示の登録

システム登録の「**104 中継情報**」および「**140 LAN 中継送信指示**」をあらかじめ「**アリ**」に設定することで、LAN 中継および登録ができます。

ワンタッチ / 短縮ダイヤルへの中継指示の登録

1

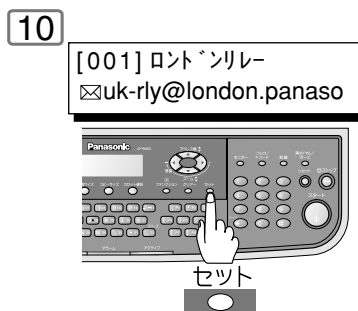
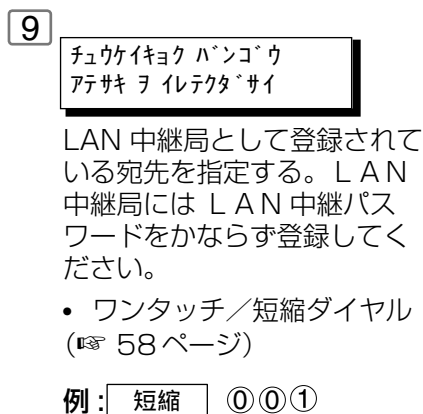
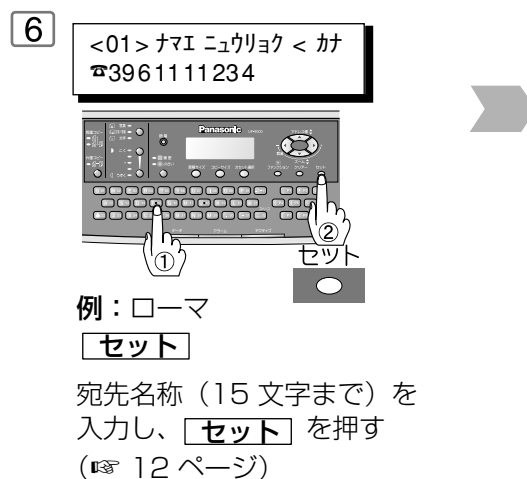
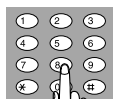
2

5

<01>
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ

セット

例：
3961111234
セット

中継先の電話番号（52 桁まで）を入力する。

6

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ < ｶﾅ
☎3961111234

セット

例：ローマ
セット

宛先名称（15 文字まで）を入力し、セット を押す
（☞ 12 ページ）

9

ﾁｭｳｹｲｷｮｸ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

LAN 中継局として登録されている宛先を指定する。ＬＡＮ中継局にはＬＡＮ中継パスワードをかならず登録してください。

- ワンタッチ／短縮ダイヤル
（☞ 58 ページ）

例： 短縮 ⓪⓪①

10

[001] ﾛﾝﾄﾞﾝﾘﾚｰ
✉uk-rly@london.panaso

続けてＬＡＮ中継指示の登録ができます。手順 4 ～ 10 を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

インターネット
FAX/Eメール
（応用編）

インターネットFAX／Eメール（応用編）

LAN 中継同報

■ LAN 中継送信（中継局をあらかじめ登録してある宛先へ送信する場合）

LAN 中継に必要な設定を登録すると、つぎの手順で LAN 中継局を経由して自動的に G3 ファクスに原稿を送信できます。LAN 中継局は、LAN 中継に必要な設定がされていることが必要です。

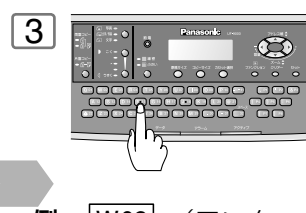
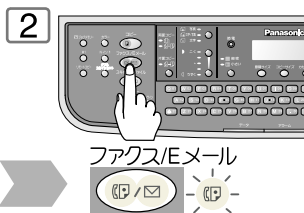
1

または

2

ファクス/Eメール

3

例：W02 （ワンタッチ）

LAN 中継指示が登録されている宛先を指定する

- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル

(☞ 20 ページ)

■ LAN 中継送信（中継局を登録していない宛先へ送信する場合）

中継局が登録されていない宛先を使って送信する

1

または

2

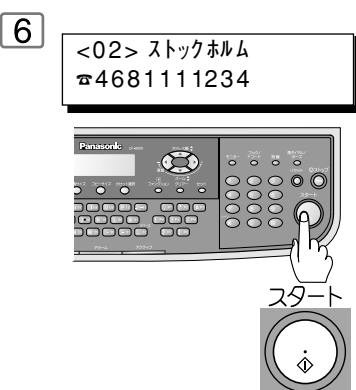
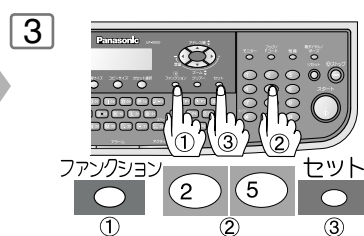
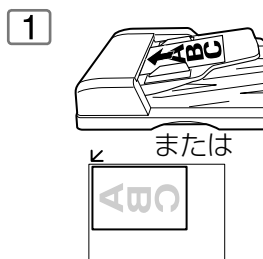
ファクス/Eメール

3

ファンクション ① 2 5 ② セット ③

6

<02> ストックホルム
☎4681111234

スタート

7

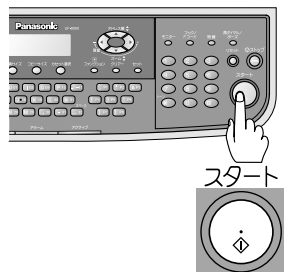
原稿がメモリーに蓄積されます。LAN 中継局へ中継先の電話番号と共に送信されます。

最終宛先へ送信を完了すると、中継局から通信結果レポートが送られてきて、LAN 中継送信が完了したことを確認できます。

お知らせ

1. "#" は LAN 中継局の E メールアドレスに使用できません。
2. グレースケール (F8-8) とカラー機能は LAN 中継送信時にはご利用できません。

4

<02> ｽﾄｯｸﾎﾙﾑ
☎4681111234

スタート

原稿がメモリーに蓄積されます。LAN 中継局へ中継先の電話番号と共に送信されます。

最終宛先へ送信を完了すると、中継局から通信結果レポートが送られてきて、LAN 中継送信が完了したことを確認できます。

4

LAN ﾁｭｳｹｲ
ﾁｭｳｹｲｷｮｸｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

LAN 中継局（1 宛先）を指定する

- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
- 直接ダイヤル（E メールアドレス）

(☞ 56 ～ 59 ページ)

例： 短縮 ⓪⓪① セット

5

LAN ﾁｭｳｹｲ
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

中継先の宛先（電話番号のみ）を指定する

- ワンタッチ／短縮ダイヤル
- アドレス帳検索ダイヤル
- 直接ダイヤル（電話番号）

(☞ 20 ページ)

例： W02 （ワンタッチ）

6

お知らせ

3. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押してポーズ (" - ") を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。

インターネットFAX／Eメール（応用編）

LAN 中継同報

■ パソコンからの LAN 中継同報指示

Outlook 等の E メールアプリケーションを使って、TIFF 形式のファイルを添付すれば、複数の宛先のファクスへ中継送信することができます。

この機能をご利用になるには、事前に本機のパラメーター（自局情報の中継パスワード）を正しく設定しておく必要があります。

同時に DNS サーバーへホスト名登録と、適切な SMTP セキュリティ設置をしていただく必要があります。

DNS サーバーへの登録と、セキュリティー設定については、お客様のネットワークを管理しているシステム管理者へお問合わせください。

パソコンから中継送信する場合、E メールアプリケーションの宛先（To ）に相当するフィールドには次のように入力します。

例：

sg-rly#8133111234@singapore.panasonic.co.sg

もしくは

sg-rly#*001@singapore.panasonic.co.sg

sg-rly：　中継用パスワード（自局情報インターネット登録の内容と合致させる）

#8133111234 ：　ファクスの電話番号

と @ の間は電話番号の他、ワンタッチキー、短縮キー等の情報を入力することもできます。

PBX（交換機）などを利用して内線から外線へ発信する際にポーズが必要な場合は、ハイフン " － " をファクス番号の部分に入力してください。

#*001 ～ #*160 ：　短縮キー

#*1001 ～ #*1032：　ワンタッチキー

#*2001 ～ #*2008：　プログラムキー

@ のあとには DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。

LAN 中継送信が完了すると、中継結果を通信結果レポートとしてパソコンへ返送します。

これにより、中継結果を確認することができます。

お知らせ

1. # と * 記号は、送信パスワードの後に入れ、最終宛先用の電話番号を続けます。
2. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号をダイヤルした後 ポーズ を押してポーズ (" - ") を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。

TIFF コンバーターは、インターネットファクスが受信可能なTIFF 形式へ変換するアプリケーションです。

MS - Word 、Excel などで作成されたファイルを、LAN 中継機能を使ってファクスへ送信される場合には、あらかじめ TIFF コンバーターを使って TIFF 形式のファイルへ変換した後に送信してください。

そのまま *.doc 、*.xls 形式のファイルを添付して送信することはできません。

変換する時の解像度は、通常 200dpi を選択してください。

400dpi は、あらかじめ受信相手側が 400dpi 処理能力を保有していることがわかっている時に使用します。

MAPI アプリケーションは、TIFF ファイルへ変換後、MAPI を使って E メールアプリケーションを自動的に起動するアドインプログラムです。

MAPI に対応した E メールアプリケーションと連動することにより、MS - Word 、Excel 等のアプリケーションから印刷を行なう感覚で、インターネットファクスへ送信することができます。

TIFF コンバーター並びにMAPI アプリケーションは、以下のURL からダウンロードすることができます。

http://www.panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html

■ LAN 中継同報の通信結果

中継送信を使用する場合、中継局は以下の 2 つのレポートを送信し、ファクスのチェックと記録をするのに役立ちます。

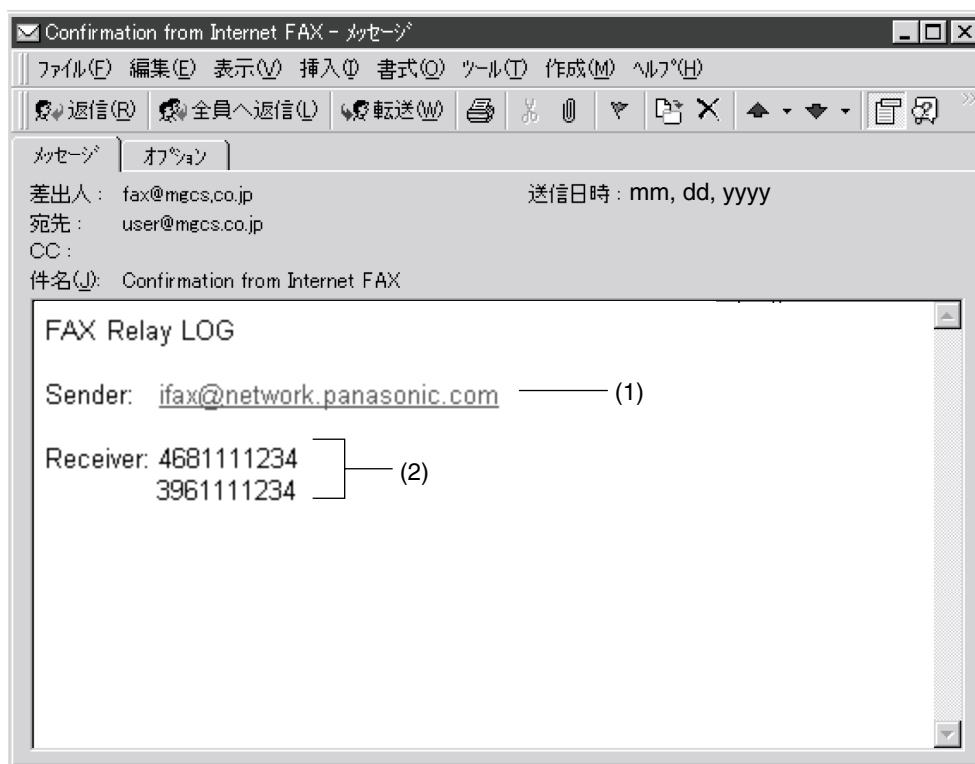
1. 中継送信レポート (通信結果レポート)
   中継局が最終宛先に送信をした場合、システム登録の「**143 中継結果返送**」が「**全て**」または「**未通信**」に設定されているとき、通信結果レポートを送信します。これで、送信が完了したかどうかを確認できます。
2. 送信ジャーナル
   中継局が LAN 中継用に指示を受信する場合、登録されている管理者に E メールで通知が送付されます。(☞127 ページ)

中継送信レポート（通信結果レポート）サンプル

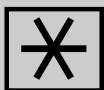
```
************* - 通信結果レポート - *************** ****yyyy 年 MM 月 dd 日 ******** 15 時 00 分 ********

 (1)                                         (2)                       (3)

通信種別 ＝ 中継転送                          受付 =MM 月 dd 日  15 時 00 分    完了 =MM 月 dd 日 15 時 00 分

  受付番号 = 050 (4)

(5)     (6)     (7)           (8)                                         (9)           (10)

宛先    状況    ワンタッチ／  相手先                                      枚数          通信時間
NO.             短縮番号
001     R-OK                  ｽﾄｯｸﾎﾙﾑ                                     001/001       00:00:15
002     R-OK                  ﾛｰﾏ                                         001/001       00:00:15

                                                                  - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ              -

***UF-9000************************** - HEAD OFFICE    - ****** - 201 555 1212 - *******
```

内容の説明

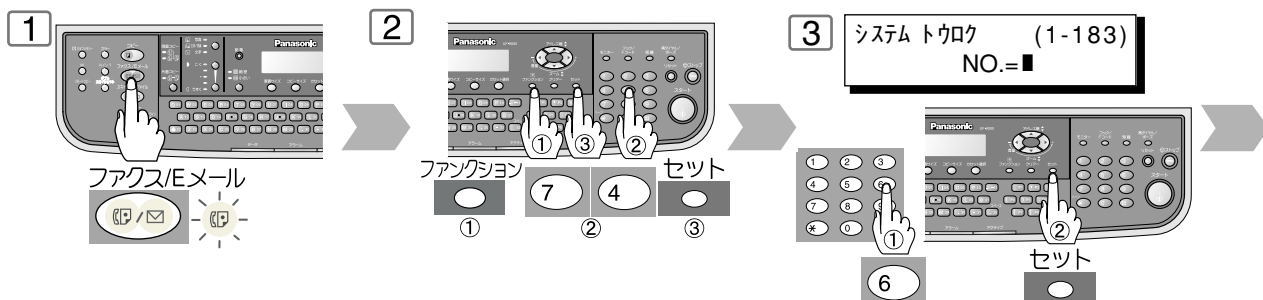
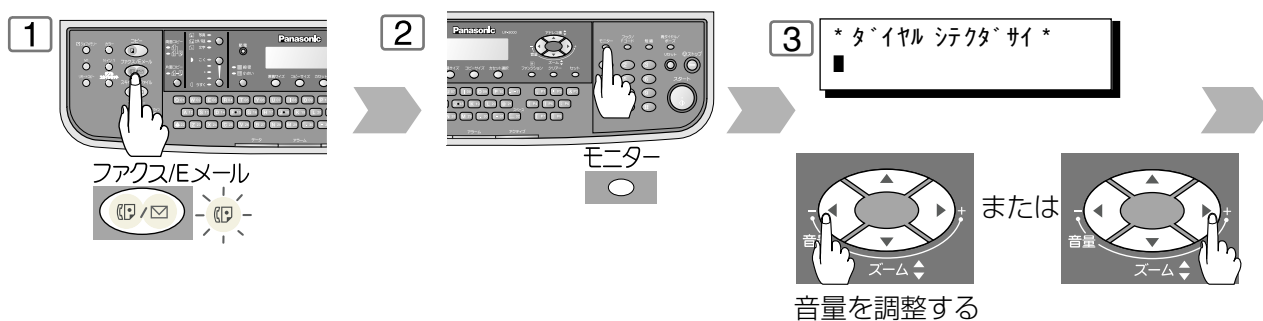
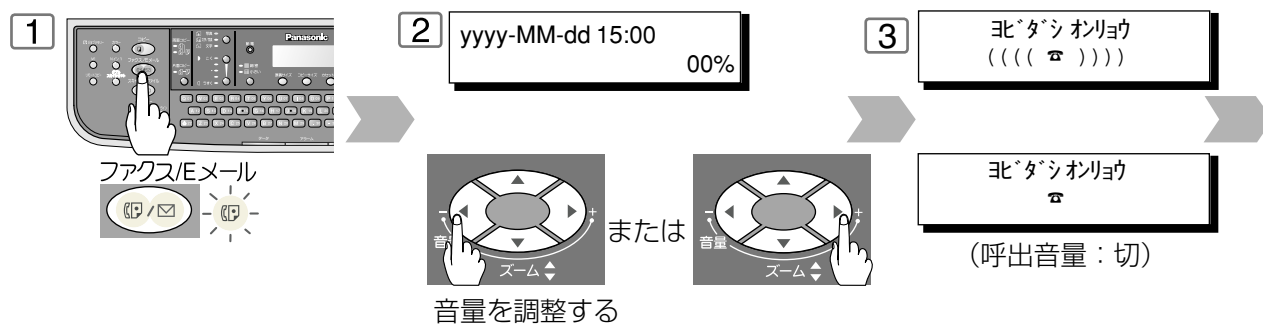
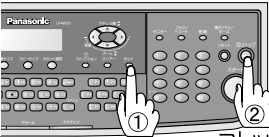
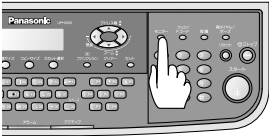
(1)	通信種別	
(2)	通信受付時間	
(3)	通信完了時間	
(4)	受付番号	: 001 から 999 まで
(5)	宛先 No.	
(6)	状況	: "R-OK" は、LAN 中継送信が完了したことを示します。 3 桁のエラーコード (☞180 ページ) は、通信がうまくいかなかったことを示します。
(7)	ワンタッチ／短縮番号	
(8)	最終宛先の電話番号 , メールアドレスまたは宛先名	
(9)	送信ページ数	: 3 桁の数字は、送信が完了したページ数を示します。
(10)	通信所要時間	

管理者宛メール

内容の説明

(1) 送信者のインターネットファクスまたはパソコンのメールアドレス

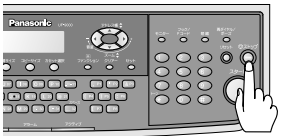
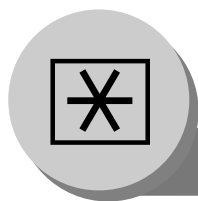
(2) 最終宛先の G3 ファクス電話番号

登録編

音量調節と電話回線設定のしかた

■ 電話回線の設定（プッシュ式とダイヤル式）

■ モニターの音量設定

■ 呼出音量の設定

① :PB（プッシュ式）
② :10pps（ダイヤル式）
③ :20pps（ダイヤル式）
例：②

モニター音量：切

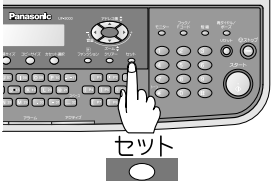
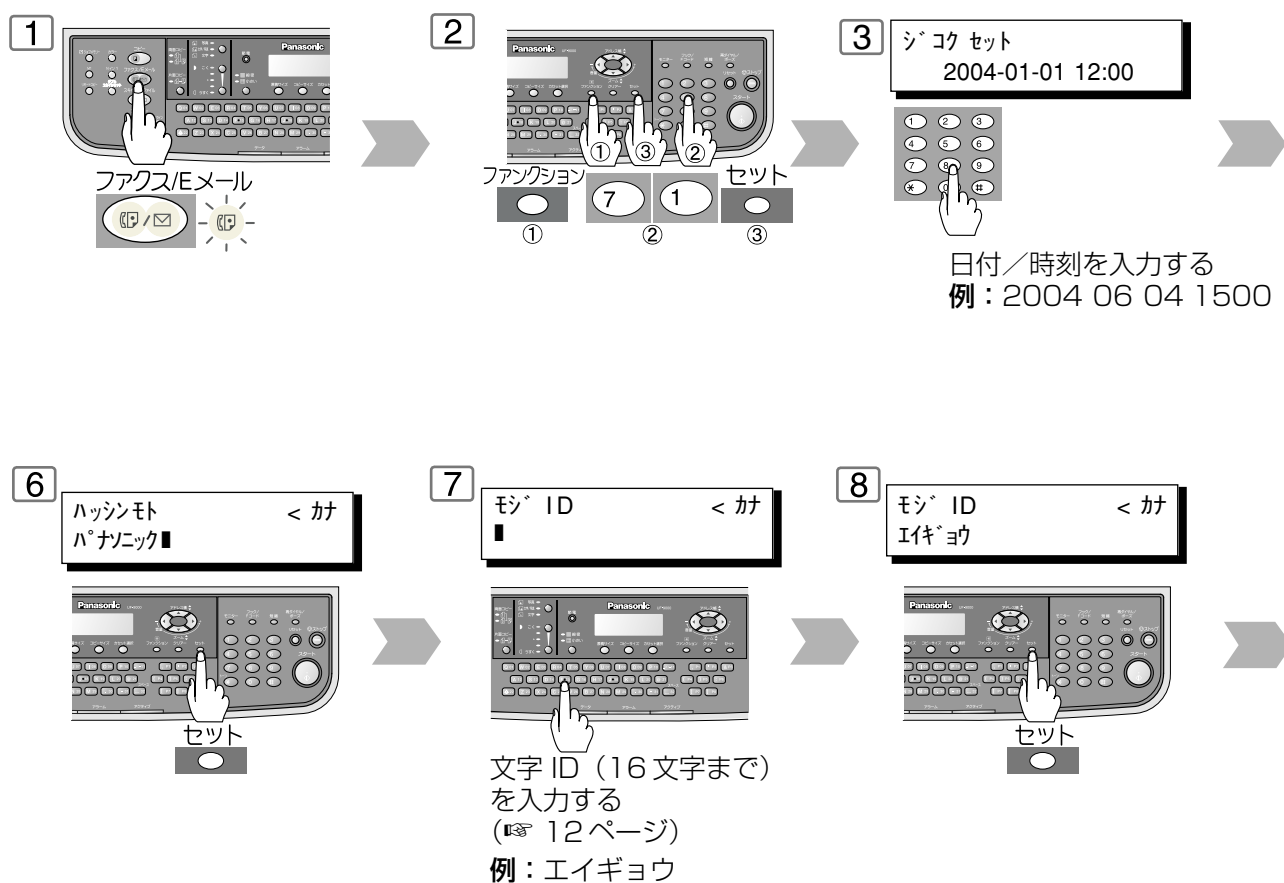
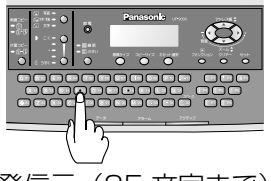
待機状態に戻ります

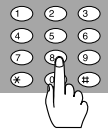
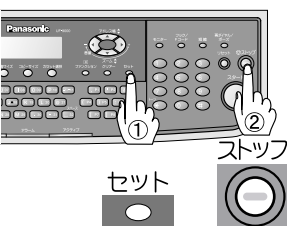
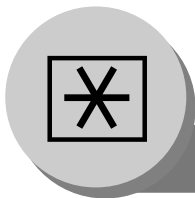
待機状態に戻ります

登録編

登録編

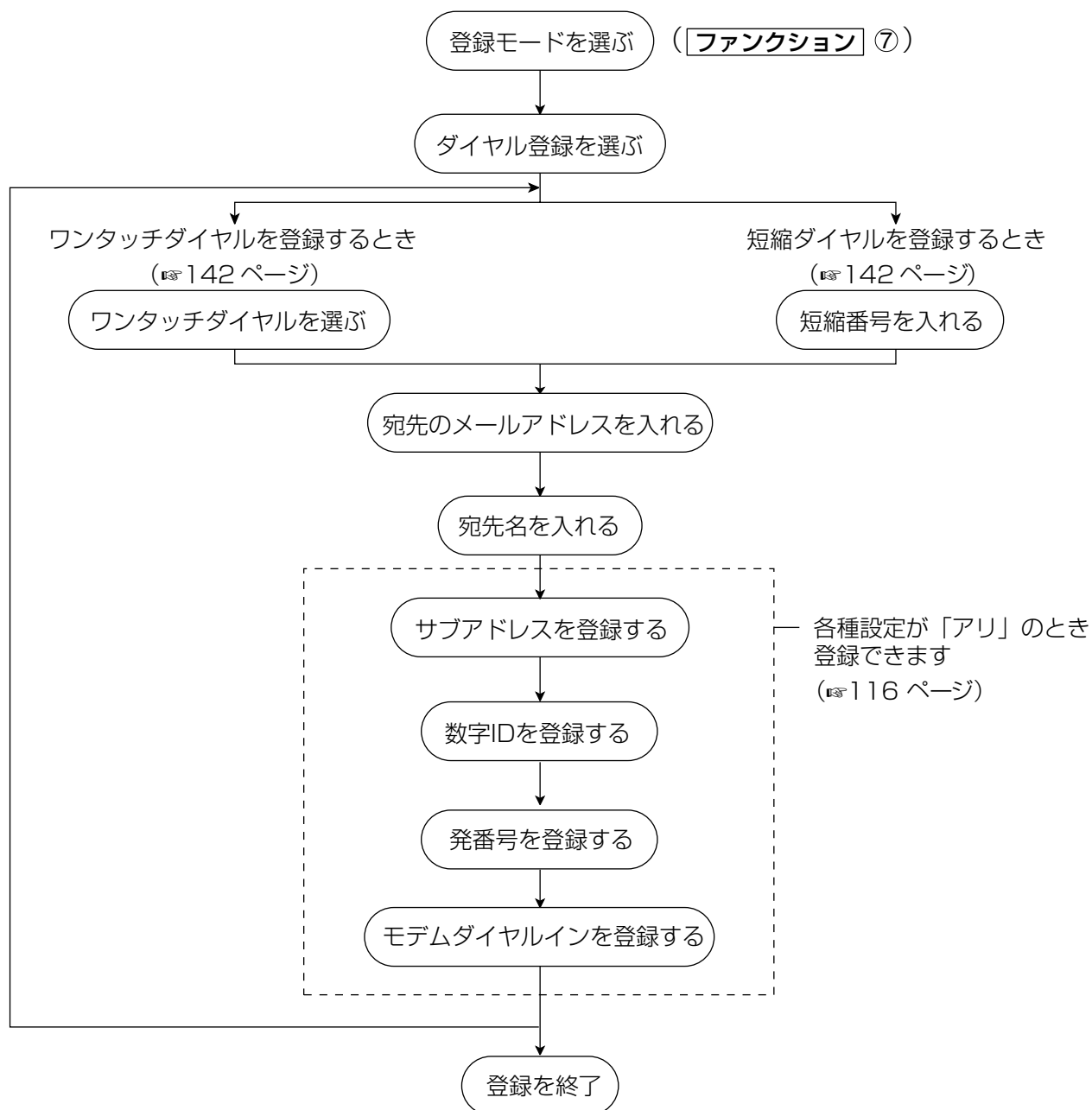
自局登録

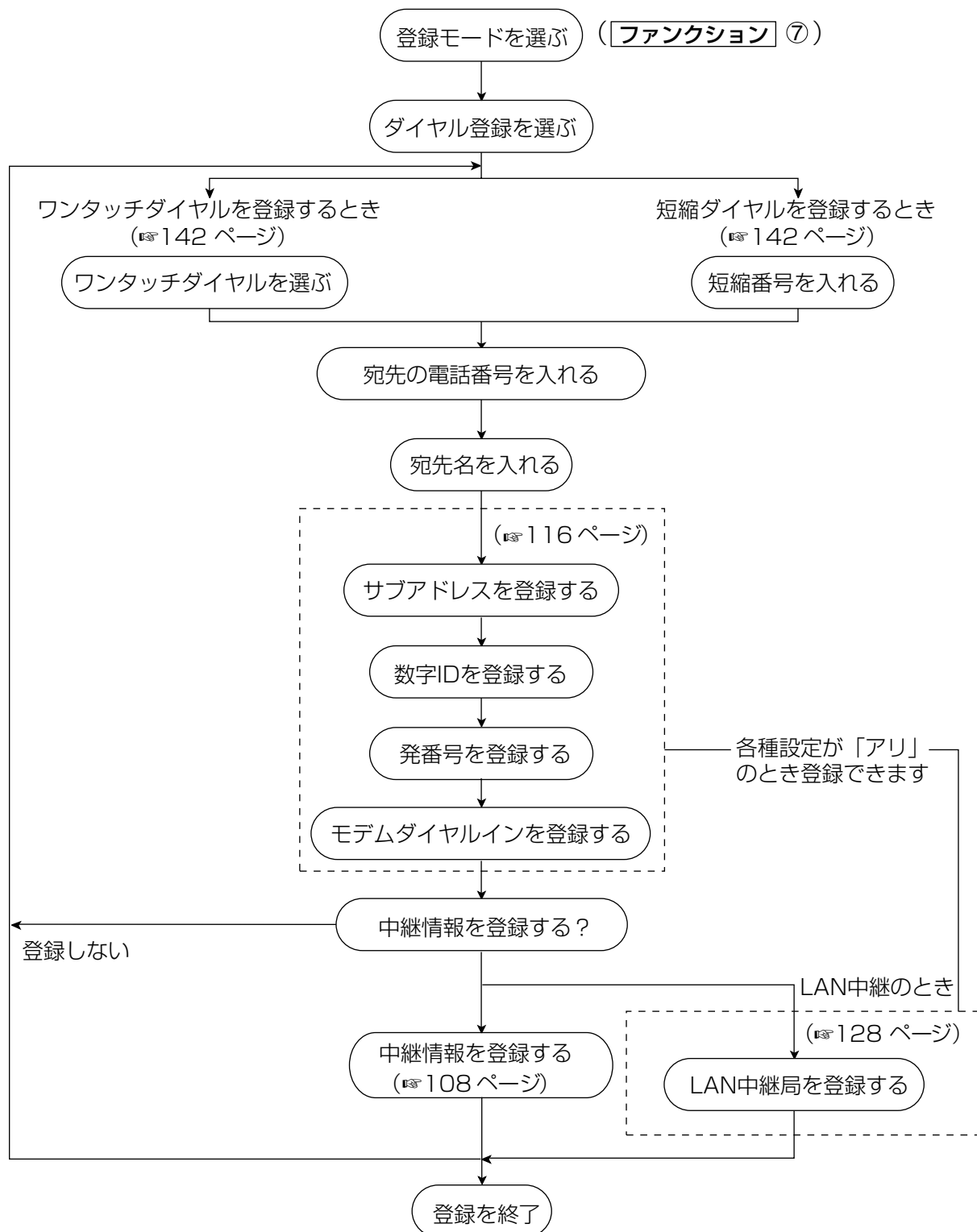
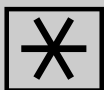
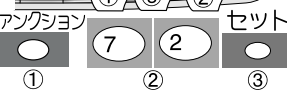
■ 概要

自局登録をすることで、通信を行なったとき相手先の受信文書に送信日時と発信元が印字されます。また文字 ID や数字 ID は相手先のディスプレイに表示されます。

■ 自局登録のしかた

お知らせ

1. 間違えたときは ◀ ▶ を使ってカーソルを移動し、クリアー を押して訂正します。

4
ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ
2004-06-04 15:00
セット
5
ﾊｯｼﾝﾓﾄ < ｶﾅ
発信元（25 文字まで）
を入力する
(☞ 12 ページ)
例：パナソニック
6
9
ｽｳｼﾞ ID ﾄｳﾛｸ
数字 ID（20 桁まで）を入力
する（ モニター を押すことでスペースが入ります）
例：201 モニター 555
モニター 1212
10
ｽｳｼﾞ ID ﾄｳﾛｸ
201 555 1212
①
②
ストップ
セット
待機状態へ戻ります

■ ダイヤル登録操作フロー

電話番号／メールアドレスをワンタッチダイヤル（01 ～ 32）や短縮ダイヤル（001 ～ 160）に登録して、簡単な操作で相手にダイヤルすることができます。

メールアドレスを登録するとき

電話番号を登録するとき

登録編

アドレス帳（ワンタッチ／短縮ダイヤル）

■ アドレス帳の登録（電話番号）

1

ファクス/Eメール

2

ファンクション ① 7 2 ② セット ③

3

1：ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2：ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ

①: ワンタッチ

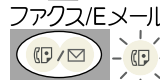
②: 短縮ダイヤル

例：①

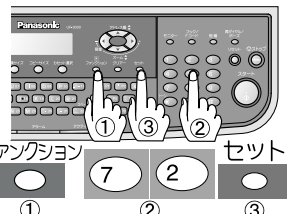
6

<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ < ｶﾅ
☎3961111234

宛先名称（15 文字まで）を入力する（☞ 12 ページ）

7

ﾁｭｳｹｲ ｿｳｼﾝ ﾄｳﾛｸ ?
1：ﾊｲ 2：ｲｲｴ

①: 中継送信登録をします（☞108 ページ）

②: 手順８へ進みます

8

ﾜﾝﾀｯﾁ < >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

続けてアドレス帳の登録ができます。手順４から７を繰り返します。待機状態に戻るには ストップ を押します。

■ アドレス帳の登録（メールアドレス）

1

ファクス/Eメール

2

ファンクション ① 7 2 ② セット ③

3

1：ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2：ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ

①: ワンタッチ

②: 短縮ダイヤル

例：②

7

[022] ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ < ｶﾅ
✉sales@panasonic.com

宛先名称（15 文字まで）を入力する

8

ﾀﾝｼｭｸ [▮]
ﾀﾝｼｭｸ NO. ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

続けてアドレス帳の登録ができます。手順４から７を繰り返します。待機状態に戻るには ストップ を押します。

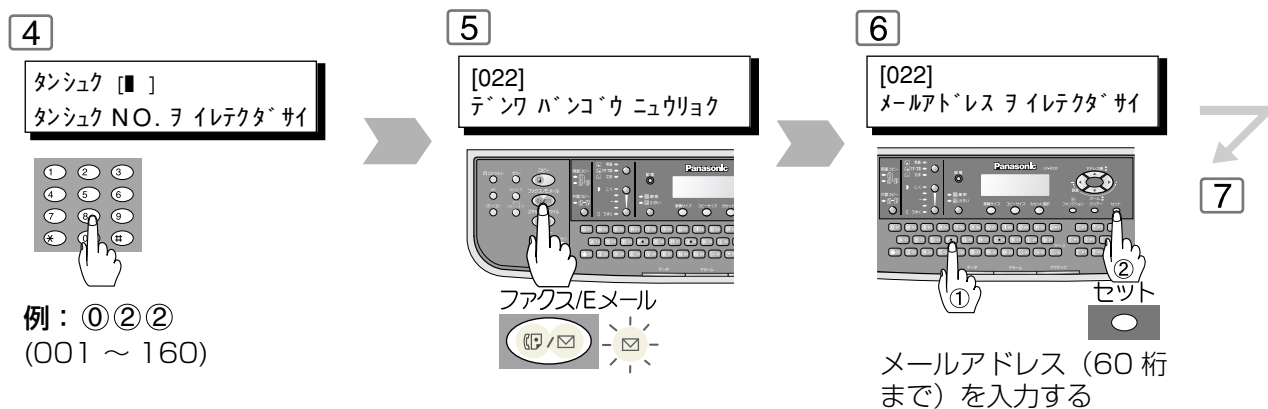
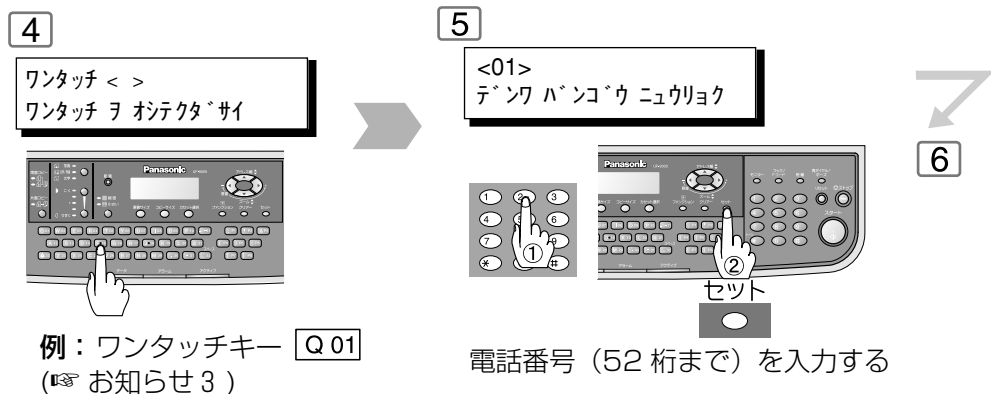
お知らせ

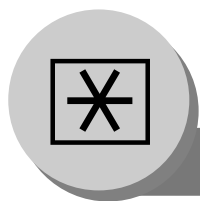
1. パルスダイヤル回線をお使いの場合、ダイヤルの途中でトーン発信に変更するときは、✱（トーン）を押します。”／” が表示され、パルス発信からトーン発信へ変更されます。
2. NCC 回線をご利用の場合は、NCC 回線のアクセス番号のあとに、ポーズ を 2 回押して約 7 秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。

例：ワンタッチキー Q 01
(☞ お知らせ 3)

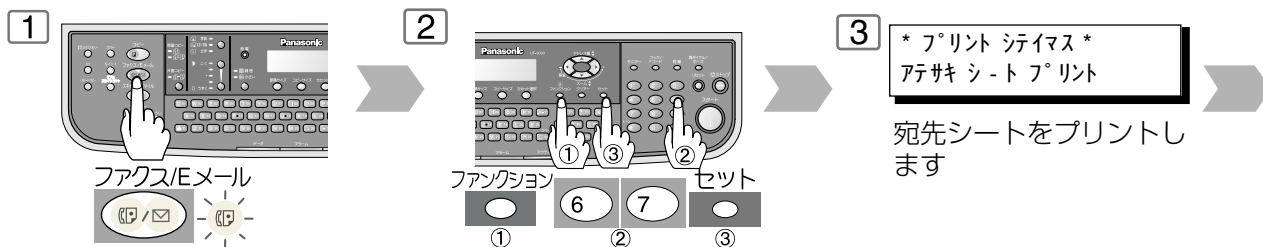
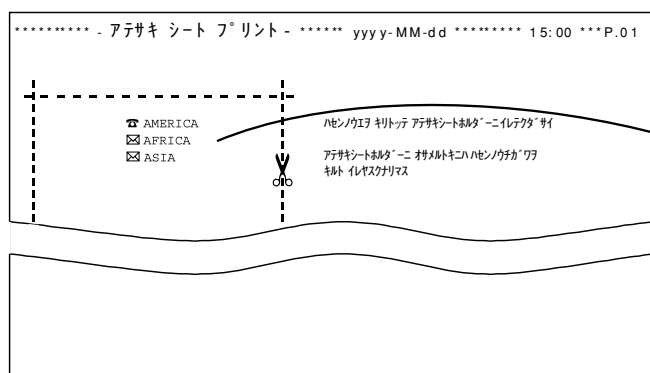
電話番号（52 桁まで）を入力する

例：⓪②②
(001 ～ 160)

メールアドレス（60 桁まで）を入力する

お知らせ

3. 手順４で「ピピピ」と音が鳴った場合は、ワンタッチがスキャナ用のワンタッチキーとして既に登録されています。
4. LAN を使っての通信をする場合は、インターネット基本パラメーターをあらかじめ登録しておく必要があります。（☞54 ページ）

■ 宛先シートのプリント

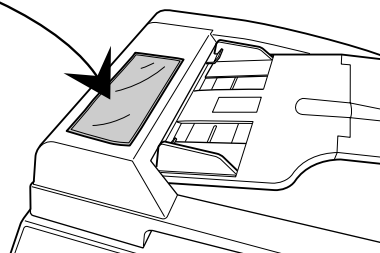
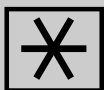
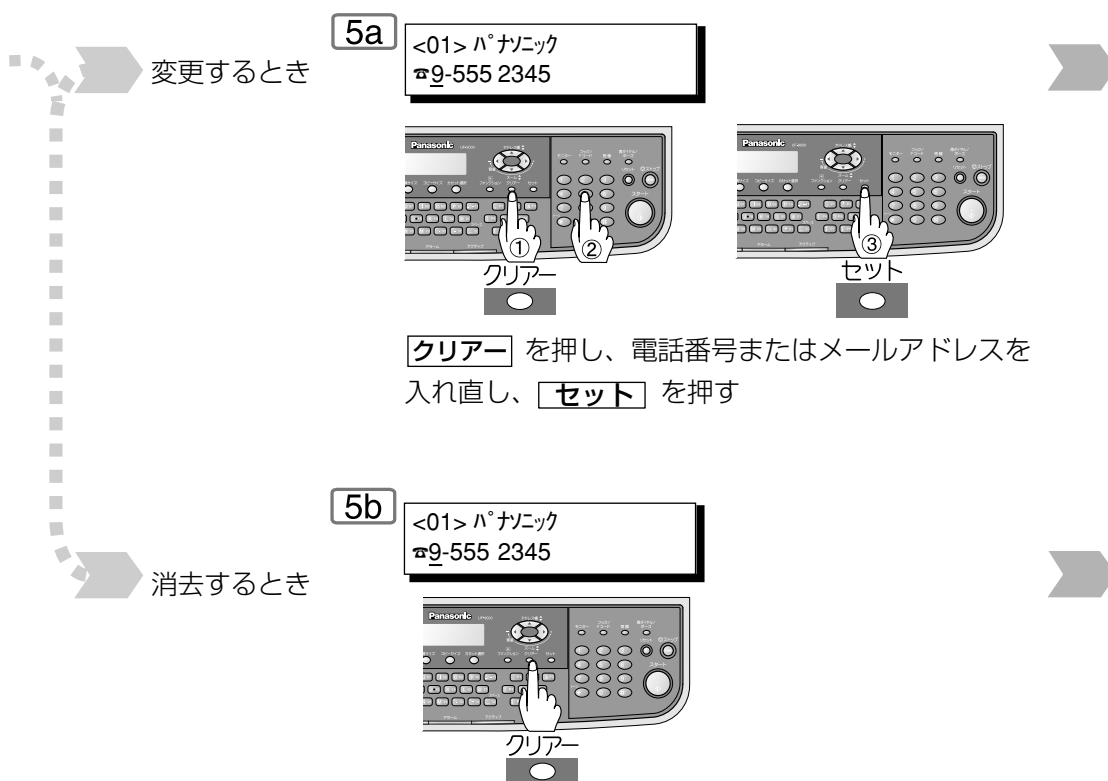
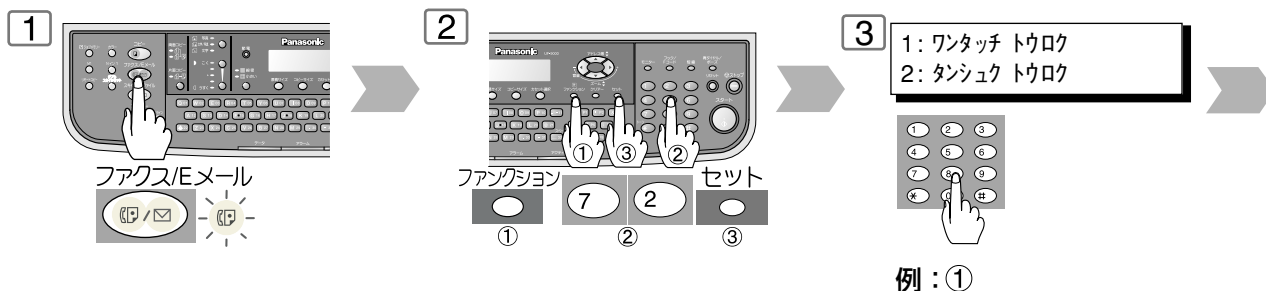
ワンタッチの登録が完了した後、ワンタッチの宛先シートをプリントできます。

宛先シートをプリントします

宛先シートのプリント例

点線に沿って宛先シートを切り取ります。添付されている宛先シートフォルダーへ挿入します。

お知らせ： フォルダーに合わせて切り取りサイズを調整すると見やすくなります。

登録編

■ アドレス帳（ワンタッチ／短縮ダイヤル）の変更／消去

クリアー を押し、電話番号またはメールアドレスを入れ直し、セット を押す

お知らせ

1. 外線へつなぐ外線発信番号を登録するには 外線発信番号を入力した後 ポーズ を押します。ディスプレイには「－」が表示されます。
2. 見やすくするために番号の間にスペースを入力するには、モニター を押します。
3. ワンタッチ／短縮ダイヤルを変更するには、電話番号／メールアドレス、宛先名の各登録手順で、クリアー を押してから入力し直してください。
4. 間違えたときは◀ ▶を使ってカーソルを移動し、クリアー を押して訂正します。

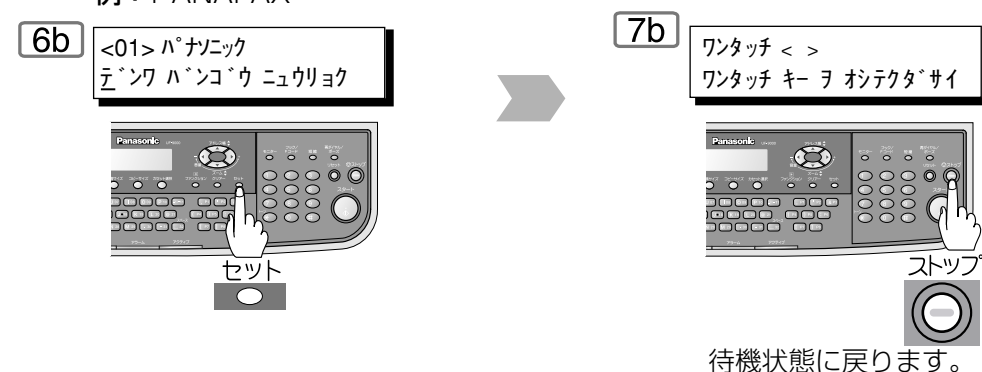
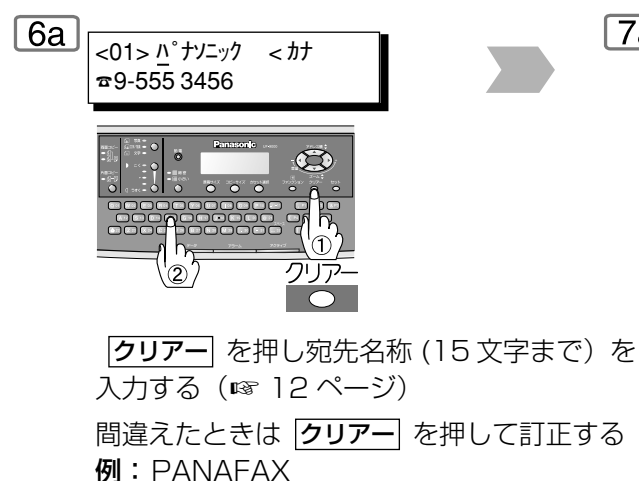
6a クリアー を押し宛先名称 (15 文字まで）を入力する（☞ 12 ページ）

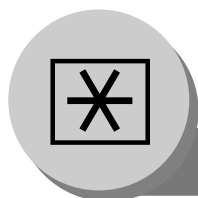
間違えたときは クリアー を押して訂正する

例： PANAFAX

7a 中継送信登録が必要な場合は、画面に従い入力する（☞108 ページ）

待機状態に戻るには セット ストップ を押す

7b 待機状態に戻ります。

お知らせ

5. 手順４で「ピピピ」と音が鳴った場合は、ワンタッチがスキャナ用のワンタッチキーとして既に登録されています。
6. ワンタッチキーとして登録してあるプログラムキー［P1］～［P8］の変更は 42 ページを参照ください。
7. メモリー転送機能が設定されると、メモリー転送先として設定したワンタッチまたは短縮ダイヤルは変更できません。 番号を変更したい場合は、機能の設定を「ナシ」に切替えてください。

登録編

システム登録

■ 概要

本機では様々なシステム登録の設定が可能となっています。また、文字サイズ、濃度などの設定は、通信時に変更可能です。動作が終了すると、システム登録で設定している設定値に戻ります。各設定は、次の手順で変更できます。

■ システム登録の設定

1

2

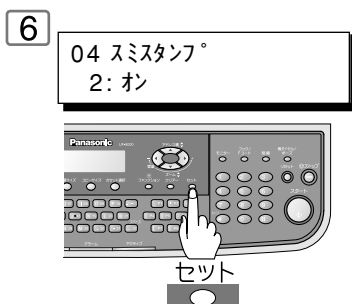
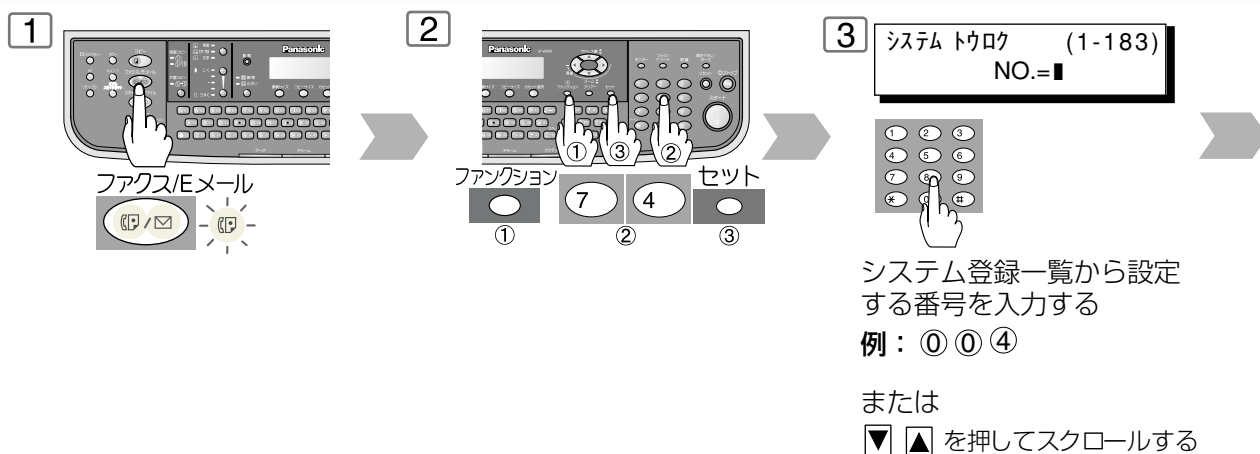
3

システム登録一覧から設定する番号を入力する

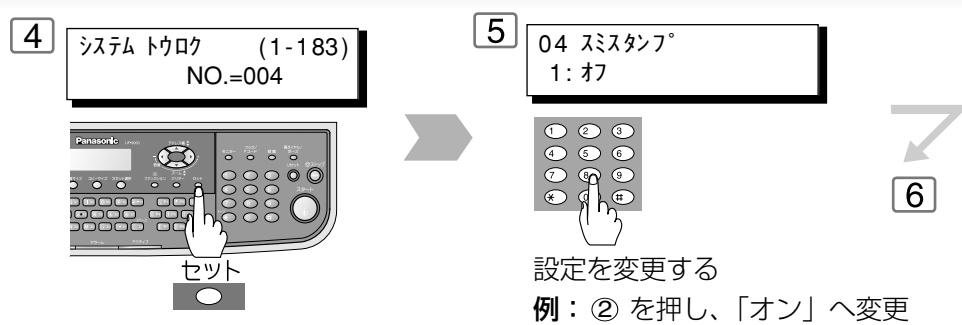
例： ⓪⓪④

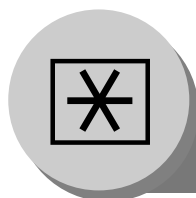
または

▼ ▲ を押してスクロールする

6

続けてシステム登録の設定ができます。
クリアー を押し、手順 3 からを行なう、
または ストップ を押して待機状態に戻ります。

お知らせ

1. システム登録のプリントは 176 ページを参照ください。

お知らせ　2. システム登録の変更は、本機が待機状態のときにできます。

登録編

登録編

システム登録

No	項目	設定値	設定	内容
001	原稿濃淡	1	薄く	通常、使用する原稿の濃さに合わせます。
		2	やや薄く	
		*3	標準	
		4	やや濃く	
		5	濃く	
002	文字サイズ	1	普通	通常、使用する原稿の文字の大きさに合わせます。(「サイミツ」では「400 dpi」「600 dpi」を設定できます。No.120 を参照ください)
		*2	小さい	
		3	細密	
003	画質デフォルト	*1	文字	通常使用する原稿に合わせます。
		2	文字 / 写真	
		3	写真	
004	済スタンプ	1	オフ	済スタンプの設定状態を選びます。
		*2	オン	
005	送信メモリー優先	1	オフ	「オフ」にすると、通常の操作でダイレクト送信となります。
		*2	オン	
006	ダイヤル切替	*1	プッシュ (PB)	ダイヤル種別を選びます。
		2	10PPS	
		3	20PPS	
007	発信元（印字）	*1	画面内	相手用紙にプリントする発信元の位置を設定します。「ナシ」にすれば、発信元をプリントしません。
		2	画面外	
		3	ナシ	
008	発信元（印字）フォーマット	1	発信元 ID	相手用紙にプリントする発信元のフォーマットを設定します。
		*2	From to	
009	受信時刻プリント	*1	ナシ	「アリ」にすれば、受信した時刻を用紙にプリントします。
		2	アリ	

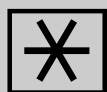
No	項目	設定値	設定	内容
012	通信結果レポート	1	オフ	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
		2	全て	
		*3	未通信	
013	通信管理レポート	1	ナシ	通信管理レポートのプリント方法を設定します。「ナシ」にしたときはパネル操作でレポートをプリントします。
		*2	アリ	
014	メモリー受付レポート	*1	ナシ	メモリー送信を受け付けたとき、受付枚数や宛先などをレポートにしてプリントします。
		2	アリ	
017	受信モード	1	手動	ファクスの受信のしかたを選びます。
		*2	FAX 専用	
		3	F/T 切替	
018	F/T ベル回数	1	3 回	受信モードを“F/T 切替”にセットしているとき、ファクスに切り替わってから呼出音を鳴らす回数を設定します。
		2	6 回	
		*3	9 回	
		4	12 回	
021	着信ベル回数	0 ～ 9	0 回 ～ 9 回	ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数を設定します。
		*1		
022	代行受信	1	ナシ	用紙が切れたり、トナーが無くなったり、紙づまりとなった場合、メモリーで代行受信をするとき「アリ」にします。
		*2	アリ	
024	縮小受信	1	固定	縮小受信の設定をします。 **固定：**No. 025 で設定した縮小率で受信します。 **自動：**受信した原稿の長さに合わせて縮小します。
		*2	自動	
025	固定縮小率	70	70%	No. 024 で縮小受信を「固定」にしたときの縮小率を設定します。
		----	----	
		*100	100%	
026	ポーリングパスワード		(----)	ポーリング通信をするときに使う 4 桁のパスワードです。
027	ポーリングファイル保存	*1	ナシ	「アリ」にすると、ポーリング送信したあと、原稿をメモリーから消去しません。
		2	アリ	
028	メモリー済スタンプ	1	ナシ	「ナシ」にすると、メモリー送信のときに、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押しません。
		*2	アリ	

登録編

<次ページへつづく>

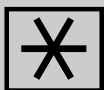
No	項目	設定値	設定	内容
031	通信エラーファイルセーブ	*1	ナシ	「アリ」にすると通信エラーになったファイルをメモリーに保存し、再通信を指定することができます。(最大 10 ファイルまで保存可能です。)
		2	アリ	
037	メモリー受信		(----)	セレクトモードのメモリー受信（F8-5）を設定している場合、受信した原稿を印刷するときのパスワードを設定します。メモリー受信を設定すると、この設定は画面上に表示されません。
042	親展ファイル保存	*1	ナシ	親展文書をポーリングされた後もメールボックスに残すときに「アリ」にします。
		2	アリ	
043	パスワード送信	*1	オフ	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。
		2	オン	
044	パスワード受信	*1	オフ	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。
		2	オン	
046	セレクト受信	*1	ナシ	「アリ」にすると、ダイヤル番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。(☞ 90 ページ)
		2	アリ	
047	リモート受信	1	ナシ	「アリ」にすると、接続した外部電話機から、ファクスをリモート受信できます。(☞ 27 ページ)
		*2	アリ	
051	遠隔診断	*1	ナシ	遠隔診断などにより各種の診断を行なう機能です。
		2	アリ	
054	メモリー転送	*1	ナシ	「アリ」にすると、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送できます。メモリー転送する宛先、受信した原稿の本機でのプリント指定、をセットできます。
		2	アリ	
067	受信 2 イン 1 ／両面	1	ナシ	**2 イン 1**：A5 サイズの原稿を 2 枚受信したとき、A4 サイズの用紙 1 枚の片面にまとめてプリントします。 **両面**：A4 サイズの原稿を 2 枚受信したとき、A4 サイズの用紙 1 枚の両面にまとめてプリントします。
		*2	2 イン 1	
		3	両面	
071	親切受信	*1	ナシ	相手が送信のファクス（ポー・・ポー・・音）の場合、自動的に受信に切替わります。
		2	アリ	
075	オプション ハンドセット	*1	ナシ	オプションハンドセットをお使いのときに設定します。
		2	アリ	
077	ユーザー別管理	*1	ナシ	ユーザー別管理機能を設定します。
		2	アリ	
082	クイックメモリー送信	1	ナシ	クイックメモリー送信を設定します。「アリ」にすると、ADF から 1 ページ目の原稿をメモリーに読み込んだ時点で送信を開始する機能です。(複数宛先の場合は、クイックメモリー送信となりません。)
		*2	アリ	
096	NTT ファクシミリ通信網	1	ナシ	ファクシミリ通信網加入時、第 2 発信音を検知する場合は「SDT 」、しない場合は「Timer 」にします。(☞155 ページのお知らせ 3)
		2	S D T	
		*3	Timer	

No	項目	設定値	設定	内容
099	メモリーサイズ（フラッシュ）（2MB）			オプションの「メモリーカード」の取り付け状態を確認します。（メモリーカードは、取り付け時に自動認識しますので設定はありません。）（オプションの設置により設定は変わります。）
104	中継情報	1	ナシ	短縮ダイヤルとワンタッチダイヤルの付加情報を設定します。
		*2	アリ	
118	自動 FAX 切替え	1	ナシ	コピーモード時に電話番号入力を検知して自動的に FAX モードに切替えます。入力する桁数で切替える設定をします。
		2	4 桁	
		3	5 桁	
		*4	6 桁	
		5	7 桁	
		6	8 桁	
120	細密文字サイズ	*1	400 dpi	「サイミツ」の文字サイズ設定を選択します。（カラーモードで「サイミツ」を選択した場合は、300dpi 固定です。）
		2	600 dpi	
140	LAN 中継送信指示	*1	ナシ	「アリ」にすると、LAN 経由の中継送信の指示を行います。
		2	アリ	
142	LAN 中継機能	1	ナシ	「ナシ」にすると、LAN 中継動作を行いません。
		*2	アリ	
143	LAN 中継結果返送	1	オフ	LAN 中継の結果を指示元に返送するときの条件を選びます。
		*2	全て	
		3	未通信	
145	From 欄選択	*1	ナシ	発信元やメールの From 欄の内容を選べるようにするときに、「アリ」にします。24 個のユーザー名称（最大 25 文字）とメールアドレス（最大 60 桁）を登録できます。
		2	アリ	
146	POP 取得間隔	----	0 ～ 60 分	POP サーバーへメールの到着の確認をする間隔を設定します。
		*3		
147	POP 自動受信	1	ナシ	「ナシ」にすると、POP 取得時、自動受信しません。
		*2	アリ	
148	POP 後メール削除	1	ナシ	「ナシ」にすると、POP 受信後メール削除しません。
		*2	アリ	
149	POP エラーメール削除	*1	ナシ	「アリ」にすると、POP サーバーに受信できないメールが来たときにこのメールを削除します。
		2	アリ	
150	送達確認返送	*1	ナシ	LAN 受信時の結果を送信元に返送するとき「アリ」に設定します。
		2	アリ	
151	メールヘッダー表示	1	全て	メールを受信したときにプリントするヘッダーの内容を設定します。
		*2	編集	
		3	オフ	
152	SUB ルーティング	*1	ナシ	サブアドレスによるルーティングを行うときに「アリ」にします。
		2	アリ	

<次ページへつづく>

No	項目	設定値	設定	内容
153	数字 ID ルーティング	*1	ナシ	数字 ID によるルーティングを行うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
154	ルーティング時 From 欄	*1	指示局	ルーティングにより、LAN へメールを送るときのFrom 欄の内容を選びます。
		2	中継局	
155	ルーティング時 プリント	*1	未通信	ルーティング時に、受信した原稿を自局でプリントする設定を選びます。
		2	全て	
156	メモリー転送時 プリント	*1	未通信	メモリー受信したファクス、またはメールを転送する際、全て印刷するか、または転送が未通信の場合のみ、印刷するかを選択します。
		2	全て	
157	管理レポート送信	*1	ナシ	「アリ」にすると、管理レポートを登録された宛先へ送信します。
		2	アリ	
158	メールリモート登録	*1	ナシ	メールによる PC から登録取出しを行うとき「アリ」にします。
		2	アリ	
159	サブジェクト登録	*1	ナシ	送信の度に件名（Subject）を記入できるようにするかどうかを選択します。
		2	アリ	
160	デフォルトドメイン	1	ナシ	直接アドレスを入力して送るとき、自動的にドメイン名をつけたいとき「アリ」にします。
		*2	アリ	
162	TIFF ビューア URL	1	ナシ	メールのメッセージ中に URL アドレスを入れるときに言語の設定します。
		*2	日本文	
		3	英文＋日本文	
163	ルーティングヘッダー	*1	ナシ	ルーティング時に、ルート局のヘッダー情報を付けるときに「アリ」にします。
		2	アリ	
164	LAN 送信ヘッダー	*1	付加	デフォルトドメインに登録されている同ドメイン内に原稿を送信する場合、ヘッダーを印刷するかどうかを選択します。(スキャナーとして使う場合に便利です。) ただし、デフォルトドメイン以外のドメインへ送信する場合は、設定が「ナシ」になっていてもヘッダーは付加されます。
		2	ナシ	
168	CC/BCC 宛先	*1	ナシ	CC/BCC 宛先指定の設定をします。
		2	アリ	
170	SMTP 認証 (☞ お知らせ 2)	*1	ナシ	SMTP 認証が必要かどうかを選択します。設定を「アリ」にした場合、ユーザー名とパスワードを入力できます。
		2	アリ	
171	SMTP 時 POP 確認 (☞ お知らせ 2)	*1	ナシ	POP での SMTP 認証が必要かどうかを選択します。(ネットワーク管理者にご相談ください)
		2	アリ	
172	ダイレクト IFAX 送信	*1	ナシ	ワンタッチ／短縮ダイヤルへの登録時、インターネット通信時にダイレクト IFAX （インターネット FAX）送信を行なうかどうかを選択できます。
		2	アリ	

No	項目	設定値	設定	内容
173	送達確認要求	1	オフ	インターネットファクスで送信するときに、送達確認要求（MDN）をするかどうかのデフォルト設定を選択できます。送達確認要求の設定はセレクトモード（F8-2）で送信毎に設定が可能です。送達確認が宛先側から返信されると、通信管理レポートに通信結果を記録します。
		*2	オン	
174	APOP 認証 (☞ お知らせ 2)	*1	ナシ	APOP による認証を行なうかどうかを選択します。（この設定はサーバーに依存するものです。ネットワーク管理者にご相談ください）
		2	アリ	
175	発番号ルーティング	*1	ナシ	発信者番号によるルーティングをする場合に「アリ」に設定します。送信側ファクスから送られてくる発信者番号で本機に登録されている宛先にルーティングすることが可能です。（発信者番号通知（ナンバーディスプレイ）を契約時は、必ず「アリ」に設定してください。「ナシ」のままですと、ファクス受信できません。）
		2	アリ	
176	ダイヤルイン ルーティング	*1	ナシ	モデムダイヤルインサービスをご利用されている場合に「アリ」に設定します。モデムダイヤルインサービスで登録されている電話番号で、本機に登録されている宛先にルーティングすることが可能です。
		2	アリ	
177	送信ファイルタイプ	*1	TIFF/JPEG	送信ファイルタイプのデフォルト値を設定します。
		2	PDF	
183	カラー添付ファイル	*1	1ページ	1宛先にカラー原稿を複数ページ送信するとき、全ページを1ファイルで送信（E メールに添付されるファイルサイズは大きい）、または 1ページごとに1ファイルを送信（E メールに添付されるファイルサイズは小さい）を選択します。 （同報宛先指定の場合はファイルの分割はされません。また、カラー原稿送信はファイルサイズが大きくなるため増設メモリーカードを装着することをお勧めします。） **例:** 10 ページのカラー原稿を1宛先へ送信するとき • **1ページ：** 10回（1ページ毎に）に分割し、E メールを送信します。 • **複数ページ：** 1回（10ページ全て）で E メールを送信します。
		2	複数ページ	

お知らせ

1. アスタリスク（*）が付いている設定値はお買い上げ時の設定を示します。また、お買い上げ時の設定と現在の設定は、システム登録リストをプリントして確認できます。（☞ 176 ページ）
2. SMTP サーバーまたはPOP サーバーがAPOP機能をサポートする場合、「アリ」を選択できます。
3. NTT コミュニケーションズがファクシミリ利用者向けにサービス（有料）している「ファクシミリ通信網（F ネット）」を利用できます。遠くの相手と多く通信する場合には、通常のファクス通信より経済的です。
   ファクシミリ通信網の機能・利用法についての詳しいことは、お近くのNTT コミュニケーションズ窓口にお問い合わせください。

登録編

中継自局情報の登録

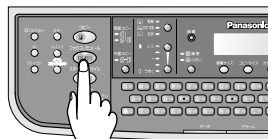
中継局を使って通信をするとき、自局の情報を登録しておく必要があります。

- あらかじめ、システム登録の「**104 中継情報**」を「**アリ**」にしておいてください。
- 中継自局情報には、次の内容が登録できます。
  自局のダイヤル（最大 52 桁）
  中継局に登録されている、自局の指示番号（ネットワークアドレス）
  中継ネットワーク内で使う暗証番号（ネットワークパスワード）

1

ファクス/Eメール

4

ﾚﾎﾟｰﾄ ﾍﾝｿｳｻｷ (ﾁｮｸﾀﾞ)

レポート返送先（最大 5 2 桁）を入れ、 セット を押す

5

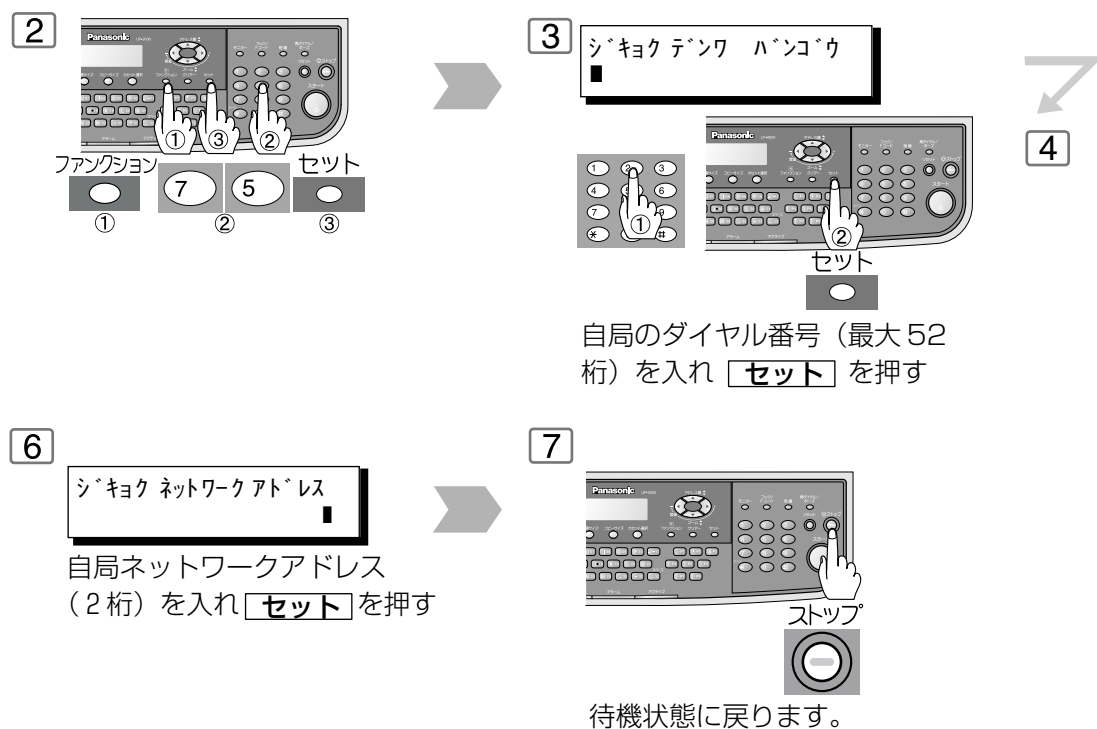
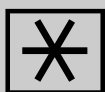
ﾈｯﾄﾜｰｸ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

ネットワークパスワード（4 桁）を入れ セット を押す

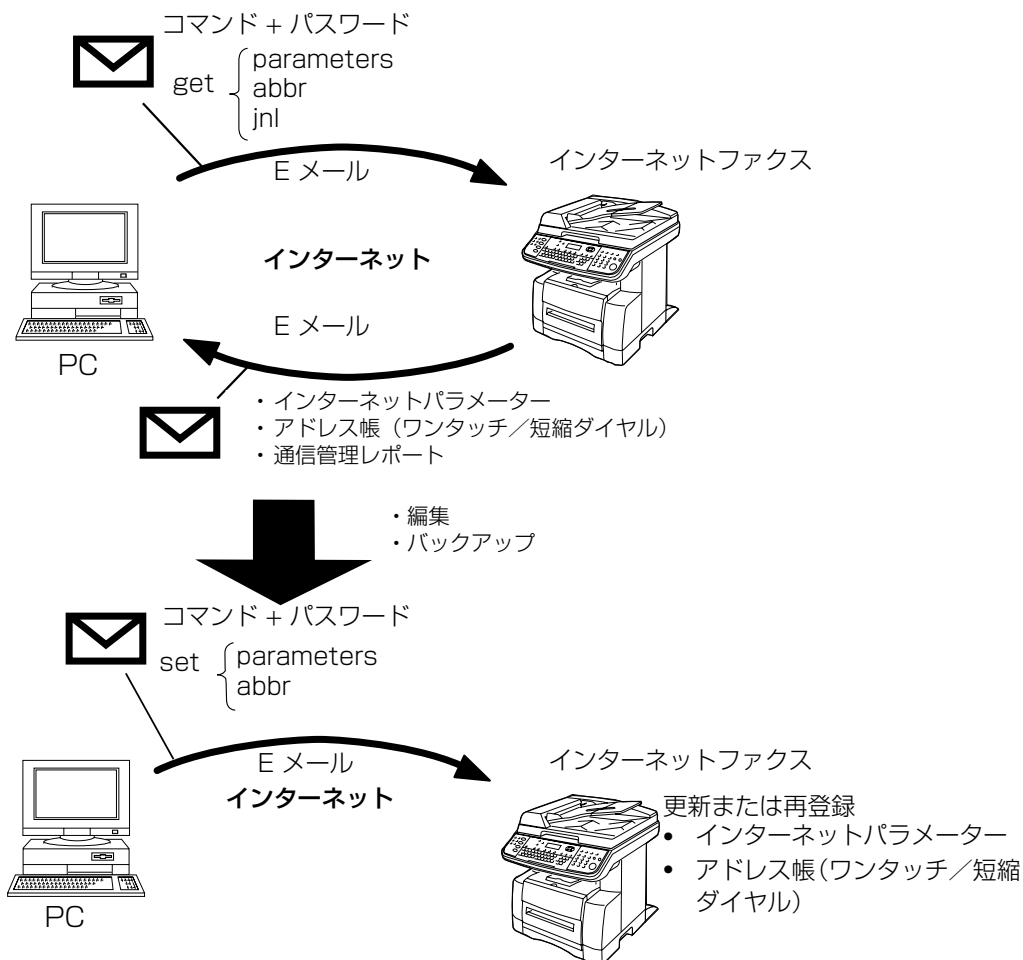
お知らせ

1. 中継自局情報の登録を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
2. 自局電話番号に登録できるのは、数字、＊、#、トーン、ポーズの最大 52 桁です。
3. 自局電話番号、レポート返送先、ネットワークパスワード、自局ネットワークアドレスを変更するときは、各登録手順で クリアー を押してから入力しなおしてください。

2
ファンクション
セット
7
5
3
シ゛キョク デ゛ンワ ハ゛ンコ゛ウ
セット
自局のダイヤル番号（最大 52 桁）を入れ セット を押す
4
6
シ゛キョク ネットワーク アト゛レス
自局ネットワークアドレス（2 桁）を入れ セット を押す
7
ストップ
待機状態に戻ります。

登録編

登録編

メールリモート登録

■ 概要

■ 各種情報の登録または取り出し

自局情報のインターネットパラメーター、ワンタッチ、短縮ダイヤル、通信管理レポート等を、PC から本機へ E メールを送信することにより登録もしくは内容の取り出しをすることができます。この機能を利用するには、あらかじめシステム登録の「**158 メールリモート登録**」を「**アリ**」に変更してください。件名 "Subject" をコマンドラインフィールドとして利用することにより、次の機能をご利用できます。

	"Subject:" 行に入力するコマンド	機能
1	#set parameters(password)#	インターネットパラメーターの登録
2	#get parameters(password)#	インターネットパラメーターの取り出し
3	#set abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの登録
4	#get abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの取り出し
5	#get jnl(password)#	通信管理レポートの取り出し

"set" ：登録するとき
"get" ：取り出しをするとき
"parameters"：インターネットパラメーター
"abbr"：アドレス帳
"jnl" ：通信管理レポート
"password" ：リモートパスワード（インターネットパラメーターで設定）
(例： 1234567890)。パスワードの両端はカッコ "( )" で囲みます。
コマンドの両端は＃で囲みます。コマンドラインは半角文字で入力します。

■ インターネットパラメーターのメールリモート登録

この機能は、PC から E メールを本機へ送信することにより、便利にしかも簡単にインターネットパラメーターを設定することができます。次のパラメーターが、PC からリモートで登録できます。その他のパラメーターは、本体側で自局情報の登録をしなければなりません。(☞ 54 ページ)

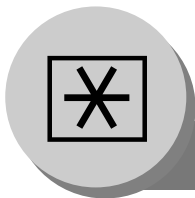
- FROM 選択 (ユーザー名：最大 25 文字まで)
- デフォルトドメイン
- セレクトドメイン（最大 10 件まで）
- 中継許可ドメイン（リレー送信指示を許可するドメインを最大 10 個まで登録可能）
- リモートパスワード
- 管理者メールアドレス
- 中継用パスワード
- ドメイン名 (中継許可ドメイン名：最大 30 文字まで)
- コミュニティー名
- デバイス名
- デバイスロケーション

本機は、PC による E メールの件名 "Subject" に入力されたコマンドを解析し、インターネットパラメーターの登録または取り出しを実行します。

件名”Subject" へは、次の 2 つのコマンドタイプが入力できます。

1) データの登録をするには	:	**#set parameters(password)# と入力する。**	:	パスワードは、本機のインターネットパラメーター (自局情報) で設定したリモートパスワードです。 (例 :1234567890) このコマンドラインをご利用になりますと現在の設定値は削除され上書きされてしまいます。次の 160 ～ 166 ページに説明する取り出しを最初に実行し、編集したあとに登録する方法をお勧めします。
2) データの取り出しをするには	:	**#get parameters(password)# と入力します。**	:	パスワードは、本機のインターネットパラメーター (自局情報) で設定したリモートパスワードです。 (例 :1234567890)

お知らせ

1. この機能を有効にするには、システム登録の「**158 メールリモート登録**」を「**アリ**」にします。(☞ 154 ページ)

登録編

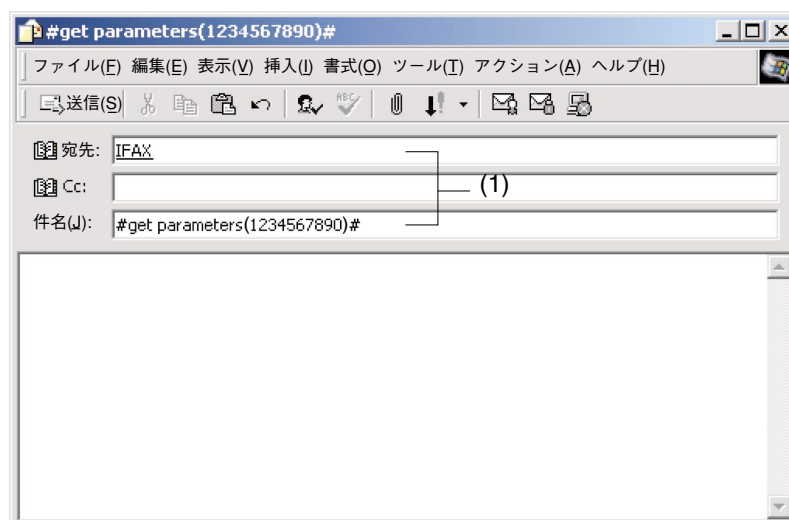
メールリモート登録

■ 各種情報の取り出し

現在の各種情報の取り出しには、本機のEメールアドレスへ、以下に示すコマンドラインを件名"Subject"に記述してテキストメールを送信します。

- #get parameters(password)# ：（インターネットパラメーター（自局情報）の取り出し）
- #get abbr(password)# ：（アドレス帳の取り出し）
- #get jnl(password)# ：（通信情報の取り出し）

このパスワードは、本機の自局情報へ登録されたリモートパスワードです。セキュリティー確保のために、リモートパスワードは常に設定してください。Cc、Bccなどの欄は空欄で送信してください。

インターネットパラメーターのEメール例

（1）宛先（To） ： 本機のEメールアドレス

差出人（From） ： 新規のEメールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルトEメールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

件名（Subject） ： データの取り出しをするには:#get parameters(password)# と記述してください。

#get abbr(password)#
#get jnl(password)#

通信管理レポートの取り出し

通信管理レポートの取り出しをするには、件名"Subject"に以下のコマンドを入力したEメールを、本機のEメールアドレスに送信します。
#get jnl(password)#: このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです（例:1234567890）。
通信管理レポートは、このEメールを送信したPCに返信されます。
通信管理レポートの取り出しをした後、固定幅のフォント（例えば、ターミナルやクーリエ）に変換して、取り出した通信管理レポートの内容をPC上で位置合わせしてください。
本機の自局情報に登録された管理者のEメールアドレスに、通信管理レポートを送信したことを知らせる別のEメール("Internet Fax Return Receipt")が送信されます。

■ 取り出し、または編集をしたインターネットパラメーターおよびアドレス帳のバックアップ

インターネットパラメーターまたはアドレス帳の取り出し、編集をした後、バックアップ用としてテキスト形式 (.txt) のファイルで保存します。

各種情報の変更を行うには以下の手順に従います。

1. 新規メッセージの作成を行い、To 、From 、Subject の各欄へ次ページのように記入します。

宛先 (To)	:	本機の E メールアドレス
差出人 (From)	:	新規メッセージを作成する時には表示されません。通常このフィールドには、あらかじめ設定されているデフォルトの E メールアドレスが入ります。
件名 (Subject)	:	データ登録のためには #set parameters(password)# または #set abbr(password)# と記述してください。

2. バックアップされた各種情報のテキストファイルを開いて、新規メッセージを本文へ貼り付けます。
3. エラーとならないように、E メール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。"#" に続く情報は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。本機では無視されます。
4. 設定内容の編集を行います。
5. すべて完了したら、ファイルを別名で保存を選択して、拡張子 .txt でバックアップ用として保存してください。
6. 編集された各種情報を本機へ E メールにて送信します。

インターネットパラメーターの E メール例

(1) 宛先 (To)	:	本機の E メールアドレス
差出人 (From)	:	新規の E メールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルト E メールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名 (Subject)	:	データを登録するには #set parameters(password)# と記述してください。

(2) @sender ～ @end : 発信者（ From ）情報を (2) の @sender ～ @end の間に記述します。
24 個以内で発信者選択用ユーザー名称、メールアドレスを登録します。
各データの区切りにセミコロン (;) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン (;) を挿入します。
各発信者選択用の記述データは、単一行で完結する必要があります。
構文は＜発信者選択番号＞ ; ＜ユーザー名称＞ ; ＜メールアドレス＞
(a) 01 ～ 24 ：発信者選択番号の表示
(b) ユーザー名称 (カナ英数字で最大 25 文字)
(c) メールアドレス（最大 60 文字）

(3) @select-domain ～ @end : セレクトドメイン名を (3) の @select-domain ～ @end の部分へ記述します。
セレクトドメイン名を最大 10 個まで登録します。

(4) @relay-domain ～ @end : ドメイン名を (4) の @relay-domain ～ @end の部分へ記述します。
インターネット FAX から一般 FAX へ LAN 中継送信を許可するドメイン名を最大 10 個まで登録します。

(5) @system ～ @end : インターネットパラメーターを (5) の @system ～ @end の部分へ設定します。
登録するインターネットパラメーターは次の通りです。
(a) デフォルトドメイン（最大 30 文字）
構文は domain; ＜デフォルトドメイン＞
(b) 管理者メールアドレス（最大 60 桁）
構文は manager; ＜管理者のメールアドレス＞
(c) 中継用パスワード（最大 10 文字）
構文は relay ; " ＜中継用パスワード＞ "
例にならって "" で中継用パスワードを囲む必要があります。
(d) リモートパスワード（最大 10 文字）
構文は remote ; "< リモートパスワード >"
例にならって "" でリモートパスワードを囲む必要があります。

(6) @mib ～ @end : @mib から @end までの区画で、設定する MIB です。以下のインターネットパラメーターを登録してください。
(a) コミュニティ名（1）（最大 32 文字）
構文：com_name1 ; ＜コミュニティ名（1）＞
(b) コミュニティ名（2）（最大 32 文字）
構文：com_name2 ; ＜コミュニティ名（2）＞
(c) デバイス名（最大 32 文字）
構文：device ; ＜デバイス名＞
(d) デバイス位置（最大 32 文字）
構文：location ; ＜デバイスロケーション＞

(7) 本機へメールを送信してインターネットパラメーターを再設定する前に、このヘッダーを削除する必要があります。

(8) 本機は、"#" に続く情報を無視します。そのままの状態で残すか、削除することができます。

アドレス帳（ワンタッチ／短縮ダイヤル）の E メール例

(1) 宛先 (To)	:	本機の E メールアドレス
差出人 (From)	:	新規 E メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトの E メールアドレスが入っています。このフィールドは、アドレス帳データの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名 (Subject)	:	データを登録するには、#set abbr(password)# と記述してください。

(2) @begin ～ @end : @begin ～ @end の間にアドレス帳のデータを記述します。
情報を編集、削除します。
各データフィールドの区切りにセミコロン (;) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切り毎にセミコロン (;) を挿入します。
各記述データは、単一行で完結する必要があります。
@list ～ @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に @begin ～ @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次の通りになります。
＜登録番号＞；＜宛先名称＞；＜宛先のアドレス＞；＜通信モード＞；＜ルーティングサブアドレス＞；＜ルーティング数字 ID ＞；

- (a) 登録番号：登録されるアドレス帳番号 001 ～ 160：1001 ～ 1032 のアドレス帳を示します。（最大 200 個）
- (b) 宛先名称：登録される宛先名称（かな漢字英数字で最大 20 文字）
- (c) 宛先のアドレス：E メールアドレス（最大 60 文字）または電話番号（最大 52 桁）
- (d) ルーティングサブアドレス：ルーティングに使用されるサブアドレス。（最大 20 桁）
- (e) ルーティング数字 ID：ルーティングに使用される数字 ID 番号。（最大 20 桁）
- (f) 電話番号の場合、シャープ記号 (#）の後に入力します。

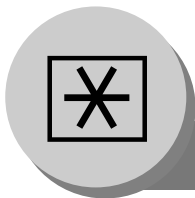
(3) @program ～ @end : @program と @end の間にグループダイヤルまたは POP 手動受信キーとして登録されるプログラムのデータを記述します。

- (a) プログラム：P01 ～ 08
- (b) POP キー名称：登録される POP キー名称（かな漢字英数字で最大 10 文字）
- (c) POP：プログラムキーを POP 手動受信キーとして登録するための構文。構文は "<P O P キー名称 >"POP
- (d) POP ユーザー名：登録される POP ユーザー名（最大 40 桁の英数字）
- (e) POP パスワード：登録される POP パスワード（最大 10 桁の英数字）
- (f) E メールの受信後に POP サーバー上の E メールを削除するかどうかを設定します。(off ：削除しません、on：削除します）
- (g) グループダイヤル名称：登録されるグループダイヤル名称（かな漢字英数字で最大 20 文字）構文は "< グループダイヤル名称 >;< キー名称 >" キー名称：登録されるグループダイヤルのキー名称 (かな漢字英数字で最大 10 文字)（必ず記述してください)
- (h) GROUP ：プログラムキーをグループダイヤルとして設定するための構文。構文は "< グループダイヤル名称 >;< キー名称 >"GROUP
- (i) 登録番号: 登録されるアドレス帳 001 ～ 160 : 短縮ダイヤル番号 001 から 160 までを表示します (最大 100 宛先)。1001 ～ 1032: 01 から 32 のワンタッチを表示します。P01 ～ P08: プログラムキーを表示します。(P1 から P8 をワンタッチとしてプログラムします）

(4) 本機へメールを送信してインターネットパラメーターを再設定する前に、このヘッダーを削除する必要があります。

(5) 本機は、"#" に続く情報を無視します。そのままの状態で残すか、削除することができます。

お知らせ

1. 「宛先名称」以外は半角文字で入力してください。
2. 以下の場合、E メール経由での登録はできません。
   - 通信予約がある場合
   - LAN ボードが動作中の場合
3. E メールで登録を行った後、登録結果の E メールが返信されます。
4. ご利用のメールアプリケーションによってはある一定の桁数に達すると、本文途中で自動的に改行を行うものがあります。その場合は、自動改行送りを無効にする、一行あたりの桁数を増やす等の対応をしてください。

■ アドレス帳全体の削除

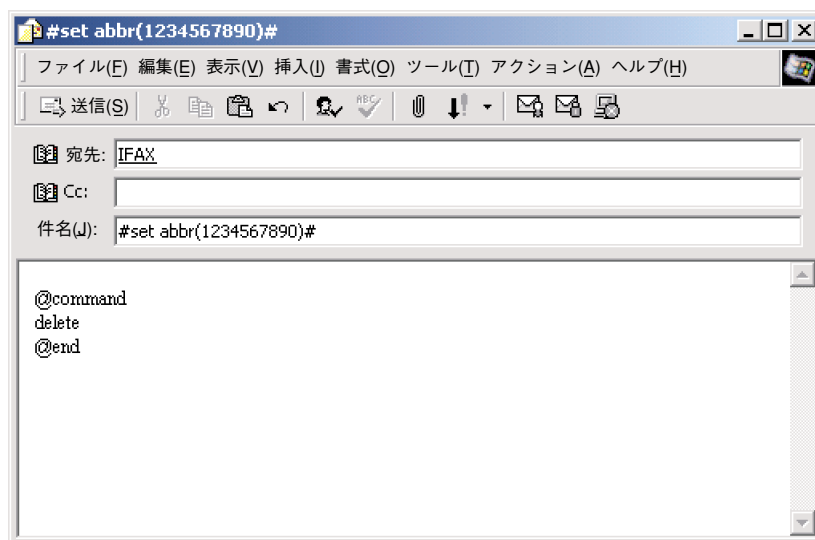
本機のアドレス帳のデータ全体を削除する場合は、E メールの本文に以下のコマンドを入力します。

```
@command
delete
@end
```

このコマンドを @begin ～ @end ブロックの前に挿入して、アドレス帳のデータ全体を削除し、新しいデータでアドレス帳を再設定することもできます。

この方法を使用すれば、本機から返信される E メールに「上書き警告メッセージ」は表示されません。

アドレス帳のデータ全体を削除するには、E メールの件名 "Subject" の行に以下のコマンドを入力します。

#set abbr(password)# ： このパスワードは、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです。このコマンドを送信する前に、160 ～ 165 ページで説明するデータの取り出しと編集の手順に従って、PC への既存データの受信とバックアップを実行してください。

お知らせ

1. "delete" を行った場合、アドレス帳の内容は削除され、お買い上げ時の状態となります。

F 網通信

NTT コミュニケーションズのファクシミリ通信網を利用して通信することができます。F 網通信をお使いになるときは、NTT コミュニケーションズとの利用契約が必要です。お近くの NTT コミュニケーションズ窓口にお問い合わせください。

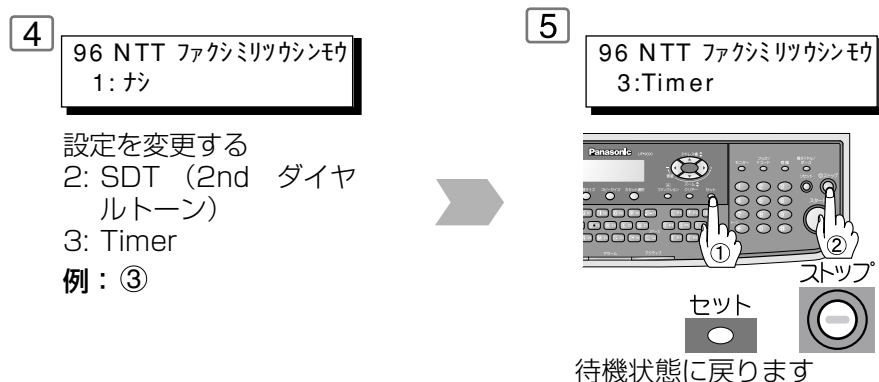
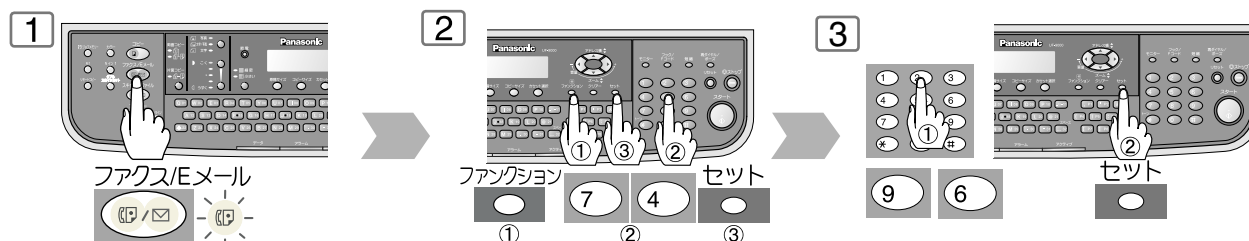
4

```
96 NTT ﾌｧｸｼﾐﾘﾂｳｼﾝﾓｳ
  1:ﾅｼ
```

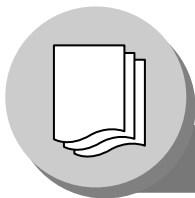
設定を変更する
2: SDT (2nd ダイヤルトーン)
3: Timer
例：③

5

```
96 NTT ﾌｧｸｼﾐﾘﾂｳｼﾝﾓｳ
  3:Timer
```

待機状態に戻ります

お知らせ

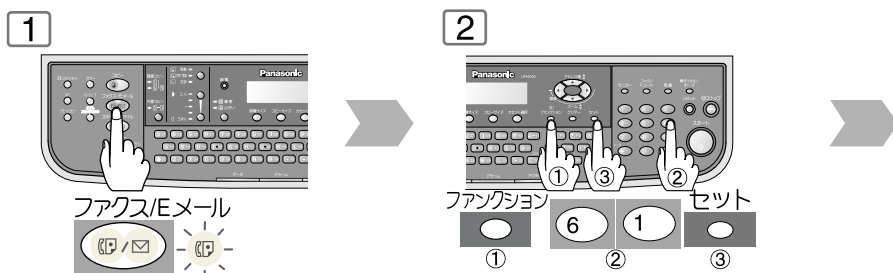
1. F 網通信をご利用になる場合は、シャットダウンモードは使用しないでください。シャットダウンモードになると、正常なサービスがご利用できなくなります。

登録編

リスト・レポート

通信管理レポート

「通信管理レポート」は、最新の200通信の記録です。これは200通信ごとに自動的にプリントされますが(☞お知らせ1)、次の手順でプリント、またはディスプレイで確認することもできます。

1

2

通信管理レポートサンプル

(1) (2)
************** - ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ - **************************** yyyy-MM-dd ********** 15:00 ***** P.01

(3) NO.	(4) ｹｯｶ	(5) ﾏｲｽｳ	(6) ﾌｧｲﾙ	(7) ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ	(8) ﾓｰﾄﾞ	(9) ｱｲﾃｻｷ(ID/TEL NO.)	(10) ﾋﾂﾞｹ	(11) ｼﾞｺｸ	(12) ﾂｳｼﾝｺｰﾄﾞ
001	OK	001/001	149	00:00:52	ﾂｳｼﾝ	☎215	MM-dd	20:04	C8444B0577000
002	--	001/001	151	00:00:02	ﾂｳｼﾝ	TEST	MM-dd	20:07	01 STN(S) LAN
003	--	003/003	153	00:00:20	ﾂｳｼﾝ	fax@nwfax1	MM-dd	20:09	01 STN(S) LAN
004	OK	003	154	00:00:21	ｼﾞｭｼﾝ	fax@nwfax1.rdmg.mgcs	MM-dd	20:10	LAN
005	OK	001	155	00:00:19	ｼﾞｭｼﾝ	215	MM-dd	20:11	C0542B0577000
006	634	000/003	156	00:00:00	ﾂｳｼﾝ	☎216	MM-dd	20:14	0800420000000
007	408 *	003		00:02:14	ﾂｳｼﾝ	☎217	MM-dd	21:17	0040440A30080
049	OK	000/001	159	00:00:07	ﾂｳｼﾝ	TEL XMT	MM-dd	20:18	CA40462000000
050	OK	001/001	160	00:00:16	ﾂｳｼﾝ	TEL XMT	MM-dd	20:19	C8444B0577000

<< ｼﾞ ﾍﾟｰｼﾞ ﾍ >>

(13)
- ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ -
UF-9000 *********************** -HEAD OFFICE - ***** - 201 555 1212- *********
(15) (14)

お知らせ

1. 通信管理レポートの自動プリントを解除したい場合は、システム登録の「**013 通信管理レポート**」を「**ナシ**」に変更してください。(☞151ページ)

3

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ　ｶｸﾆﾝ
1:ﾌﾟﾘﾝﾄ 2:ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ

①：通信管理レポートのプリント 4a

②：通信管理レポートのディスプレイ表示 4b-1 4b-2

4a

＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

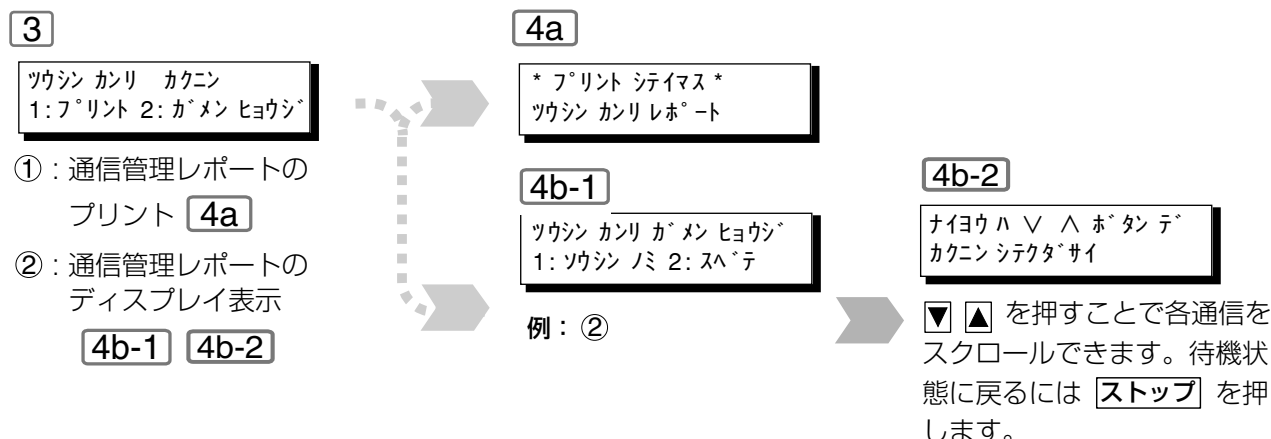
4b-1

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ
1:ｿｳｼﾝ ﾉﾐ 2:ｽﾍﾞﾃ

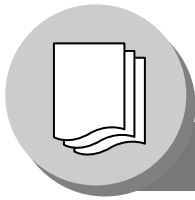
例：②

4b-2

ﾅｲﾖｳ ﾊ ∨ ∧ ﾎﾞﾀﾝ ﾃﾞ
ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

▼ ▲ を押すことで各通信をスクロールできます。待機状態に戻るには ストップ を押します。

通信管理レポートの内容説明

(1)	プリントした日付	: yyyy-MM-dd （年 - 月 - 日）		
(2)	プリントした時刻	: hh:mm（時 : 分）		
(3)	レポート番号	: 001-200		
(4)	通信結果	: OK	:	通信完了
		M － OK	:	メモリー受信完了
		ビジー	:	回線使用中
		テイシ	:	通信中にストップ キーが押された
		P － OK	:	原稿読取中のメモリーオーバーフローもしくは原稿詰まり。読込済み原稿の送信は完了
		B － OK	:	バッチ送信完了
		R － OK	:	LAN 中継または親展通信完了
		--	:	LAN 送信 (☞ お知らせ 2)
		3 桁エラーコード	:	通信エラー（☞180 ページ）
(5)	送受信したページ数	: 3 桁の数字は送受信枚数 ＊ 印は相手機異常		
(6)	ファイル番号	: 001 ～ 999(それぞれの通信にファイル番号が付与されます。)		
(7)	通信時間	: hh:mm:ss（時 : 分 : 秒）		
(8)	通信の種類	: ソウシン	:	送信
		ジュシン	:	受信
		ポーリング	:	ポーリング
		テンソウ	:	メモリー転送
(9)	相手先	: 相手先名または電話番号／メールアドレス		
		☎ 番号	:	直接ダイヤル番号
		番号のみ	:	相手の ID ナンバー (電話番号)
		メールアドレス		
(10)	通信日	: MM-dd（月ー日）		
(11)	通信開始時刻	: hh:mm（時 : 分）		
(12)	診断	: サービスマンのみ		
		STN(S)LAN	:	LAN 送信
		(MDN)LAN	:	通達確認付き LAN 送信
(13)	発信元	: 25 文字まで		
(14)	数字 ID	: 20 桁まで		
(15)	文字 ID	: 16 文字まで		

お知らせ　2. メールによる同報送信は 1 回の送信として記録されます。

リスト・レポート

通信結果レポート

通信するたびに、通信結果の内容を表すレポートをプリントすることができます。

- お買い上げ時の設定では、結果レポートは未通信になったときだけプリントされます。
- システム登録の「**012 通信結果レポート**」(☞ 151 ページ) の設定により、通信結果レポートのプリント方法を選択することができます。
- メモリー送信時はプリントした通信結果レポートに、送信を指定した原稿を付加します。

通信結果レポートサンプル（複数宛先指定時の例）

```
************* - ﾂｳｼﾝｹｯｶﾚﾎﾟｰﾄ - ********************* yyyy-MM-dd ******** 15:00 ***

(1)                         (2)                         (3)
ﾓｰﾄﾞ = ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ              ｶｲｼ =MM-dd 14:50             ｵﾜﾘ =MM-dd 15:00

  ﾌｧｲﾙ NO.= 050 (4)

(5)     (6)    (7)        (8)                              (9)       (10)
ｱﾃｻｷ    ｹｯｶ    ﾜﾝﾀｯﾁ/     ｱﾃｻｷ ﾒｲ/ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ/ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ          ﾏｲｽｳ      ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ
ｳｹﾂｹNo.        ﾀﾝｼｭｸ
001     OK     <01>       ｻｰﾋﾞｽ                            001/001   00:01:30
002     OK     <02>       ｴｲｷﾞｮｳ                           001/001   00:01:25
003     407    <03>       ｹｲﾘ                              000/001   00:01:45
004     ﾋﾞｼﾞｰ  ☎          021 111 1234                     000/001   00:00:00

                                              - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ              -
***UF-9000*************************** - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ     - ****** - 201 555 1212 - *******
```

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC   18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd

...variations of print density ... cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

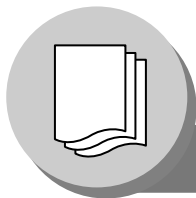
Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

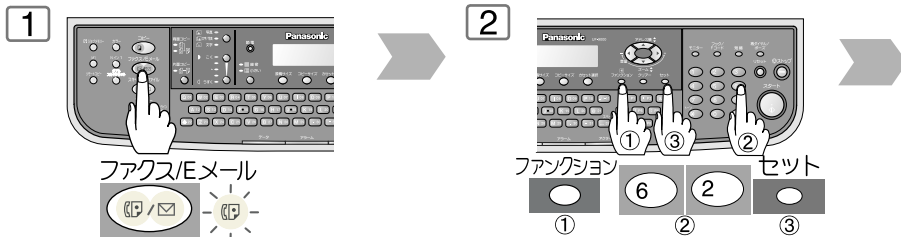
Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

通信結果レポートの内容説明

番号	項目		内容		説明
(1)	通信モード表示	:	通信モード		
(2)	通信開始日・時刻	:	MM-dd hh:mm（月ー日　時：分）		
(3)	通信終了日・時刻	:	MM-dd hh:mm（月ー日　時：分）		
(4)	ファイル番号	:	001 ～ 999(それぞれの通信にファイル番号が付与されます)		
(5)	宛先受付番号	:	宛先として受付けた順に番号が付与されます		
(6)	通信結果	:	OK	:	通信完了
			ビジー	:	回線使用中
			テイシ	:	通信中にストップキーが押された
			P − OK	:	原稿読取中のメモリーオーバーフローもしくは原稿詰まり。読込済み原稿の送信は完了
			R − OK	:	LAN 中継または親展通信完了
			--	:	LAN 送信 (☞169 ページのお知らせ 2)
			3 桁エラーコード	:	通信エラー（☞180 ページ）この場合、前頁に示すように、送信文書の最初のページをプリントします
(7)	ワンタッチ／短縮ダイヤル番号または ☎ マーク	:	☎ マーク	:	直接ダイヤル番号
			＜ nn ＞	:	ワンタッチ番号
			[nnn]	:	短縮ダイヤル番号
(8)	宛先名、直接ダイヤルでの電話番号／メールアドレス				
(9)	送受信したページ数	:	送受信枚数（通信完了枚数／通信枚数）		
(10)	通信時間	:	hh:mm:ss（時：分：秒）		

リスト・レポート

ワンタッチ / 短縮ダイヤルおよびアドレス帳リスト

登録されているワンタッチ／短縮ダイヤルおよびアドレス帳リストをプリントする。

1
2
短縮ダイヤルリストサンプル

```
*************** - ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ - **************************** yyyy-MM-dd ********* 11:11 *** P.01
(1)      (2)               (3)
ﾜﾝﾀｯﾁ    ｱﾃｻｷ ﾒｲ           ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ / ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ                              (6)
No.                     (5) ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ       ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID              ﾁｭｳｹｲｷｮｸﾊﾞﾝｺﾞｳ
                            ﾙｰﾃｨﾝｸﾞﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ        ﾙｰﾃｨﾝｸﾞﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
                        (7) ﾁｭｳｹｲ ｼｷﾍﾞﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ      ﾁｭｳｹｲ ｼﾃｨ
<01>     Jane Smith         ☎201 555 1212
                            1212                    212 555 1234                   <10>
                            ---                     ---
                            ---                     ---
<02>     John Smith         ☎201 555 3456
                            4452                    +1 201 123 4567                [001]
                            ---                     ---
                            ---                     ---
<04>   Panafax1             panafax1@rdmg.mgcs.mei.co.jp
                            4827                    +81 03 5251 1234                ---
                            ---                     ---
                            ---                     ---
         ﾄｳﾛｸ ｽｳ = 03 (4)
                                                          - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ               -
***UF-9000************************* - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ        - ***** -      201 555 1212- *********
```

ワンタッチリストサンプル

```
*************** - ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ - *********************yyyy-MM-dd ********** 11:11 *** P.01
(1)      (2)               (3)
ﾀﾝｼｭｸ    ｱﾃｻｷ ﾒｲ           ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ / ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ                              (6)
No.                     (5) ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ       ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID              ﾁｭｳｹｲｷｮｸﾊﾞﾝｺﾞｳ
                            ﾙｰﾃｨﾝｸﾞﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ        ﾙｰﾃｨﾝｸﾞﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
                        (7) ﾁｭｳｹｲ ｼｷﾍﾞﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ      ﾁｭｳｹｲ ｼﾃｨ
[001]    Jane Smith          ☎201 555 1212
                            1212                    212 555 1234                   <10>
                            ---                     ---
                            ---                     ---
[002]    John Smith         ☎201 555 3456
                            4452                    +1 201 123 4567                [009]
                            ---                     ---
                            ---                     ---
[003]    Bob Jones          jonesb@abcdefg.com
                            123456                  201 555 1212                    ---
                            ---                     ---
                            ---                     ---
         ﾄｳﾛｸ ｽｳ = 003 (4)
                                                          - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ               -
***UF-9000************************* - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ        - ***** -      201 555 1212- *********
```

3

```
1: ﾜﾝﾀｯﾁ・ﾀﾝｼｭｸ ﾘｽﾄ
2 : ｱﾄﾞﾚｽﾁｮｳ ﾘｽﾄ
```

①：ワンタッチ／短縮ダイヤルリスト
②：アドレス帳リスト

4a

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾜﾝﾀｯﾁ・ﾀﾝｼｭｸ ﾘｽﾄ
```

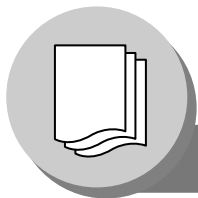
4b

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ｱﾄﾞﾚｽﾁｮｳ ﾘｽﾄ
```

アドレス帳リストサンプル

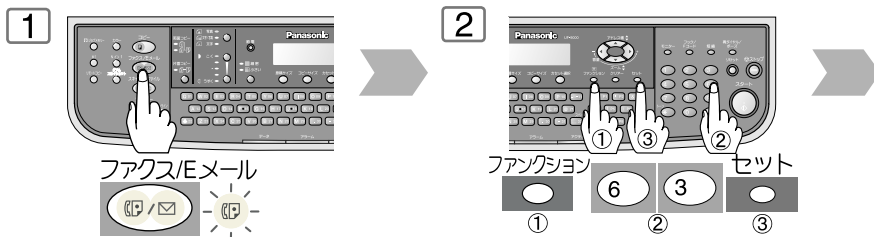
```
*************** - ｱﾄﾞﾚｽﾁｮｳ ﾘｽﾄ - *************************yyyy-MM-dd ********** 11:11 *** P.01
      (2)                (1)            (3)
      ｱﾃｻｷ ﾒｲ            ﾜﾝﾀｯﾁ /        ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ / ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ                            (6)
                         ﾀﾝｼｭｸ      (5) ﾙｰﾃｨﾝｸﾞｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ           ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID            ﾁｭｳｹｲｷｮｸﾊﾞﾝｺﾞｳ
                                        ﾙｰﾃｨﾝｸﾞﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ           ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
(8)                                 (7) ﾁｭｳｹｲ ｼｷﾍﾞﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ         ﾁｭｳｹｲ ｼﾃｲ
[B]   Bob Jones          [003]           jonesb@abcdefg.com
                                        123456                    201 555 1212               ---
                                        ---                       ---
                                        ---                       ---
[J]   Jane Smith         [002]          ☎201 555 1212
                                        1212                      212 555 1234              <10>
                                        ---                       ---
                                        ---                       ---
      John Smith         [001]          ☎201 555 3456
                                        4452                      +1 201 123 4567           [009]
                                        ---                       ---
                                        ---                       ---
[P]   Panafax1            [004]         panafax1@rdmg.mgcs.mei.co.jp
                                         4827                     +81 03 5251 1234           ---
                                        ---                       ---
                                        ---                       ---
          ﾄｳﾛｸ ｽｳ = 004 (4)

                                                         - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ              -
***UF-9000************************** - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ       - ***** -      201 555 1212- *********
```

リストの内容説明

(1) ワンタッチまたは短縮ダイヤル番号	： <nn>= ワンタッチ番号、[nnn]= 短縮ダイヤル番号
(2) 宛先名	： 15 文字まで
(3) 電話番号／メールアドレス	： 52 桁まで (電話番号)
	： 60 文字まで (メールアドレス)
	： ワンタッチ／短縮ダイヤルにプログラムされる電話番号
(4) 登録数	： 登録済アドレスの数
(5) ルーティング情報	
(6) LAN 中継局番号	
(7) G3 中継局情報	
(8) 本機に登録した宛先名の最初の文字	

プログラムリスト

登録されているプログラムリストをプリントします。

1

2

プログラムリストのサンプル

```
************** - ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾘｽﾄ - ************************yyyy-MM-dd ********* 15:00 *********

(1)        (2)              (3)        (4)        (5)
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ    ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾒｲ        ﾀｲﾌﾟ       ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ   ﾄｳﾛｸ ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾝｼｭｸ NO.

 [P1]      ﾀｲﾏｰｿｳｼﾝ         ｿｳｼﾝ        12:00     [001]
 [P2]      ﾀｲﾏｰ POLL        ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ     19:00     [002]
 [P3]      ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.A        ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ     -----     [001] [002]
 [P8]      ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.B        ｸﾞﾙｰﾌﾟ      -----     [001] [002] [003]

                                                 - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ                    -

***UF-9000************************* - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ        - ***** -      201 555 1212- *********
```

3

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾘｽﾄ
```

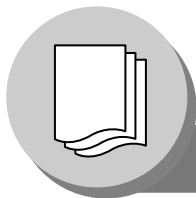
リストの内容説明

(1) プログラムキー　：［P1］～［P8］

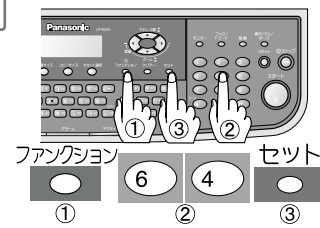
(2) プログラム名　：15 文字まで

(3) プログラムの種類　：ソウシン　：送信
ポーリング：ポーリング
グループ　：プログラムキーをグループキーとして登録
ワンタッチ：プログラムキーをワンタッチキーとして登録
ポップ　：プログラムキーを POP 受信キーとして登録

(4) 予約時刻　：開始時刻　hh:mm（時：分）

(5) 登録宛先　：ワンタッチ／短縮ダイヤル番号

リスト・レポート

システム登録リスト

システム登録の設定をプリントします。

システム登録リストのサンプル

************** - ｼｽﾃﾑﾄｳﾛｸﾘｽﾄ - ********************* ***yyyy-MM-dd ***** **** 15:00 ***** P.01

(1) ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰ ｽｳｼﾞ ID	(2) ｺｳﾓｸﾒｲ	(3) ｾﾝﾀｸｼ			(4) ｹﾞﾝｻﾞｲﾉ ｾｯﾃｲ	(5) ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ｾｯﾃｲ
(6)001	ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾀﾝ	(1: ｳｽｸ ―	3:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ―	5: ｺｸ)	3	3
*002	ﾓｼﾞｻｲｽﾞ	(1: ﾌﾂｳ	2: ﾁｲｻｲ	3: ｻｲﾐﾂ)	3	2
003	ｶﾞｼﾂﾃﾞﾌｫﾙﾄ	(1 : ﾓｼﾞ	2 : ﾓｼﾞ / ｼｬｼﾝ	3: ｼｬｼﾝ)	1	1
183	ｶﾗｰ ﾃﾝﾌﾟ ﾌｧｲﾙ	(1:1 ﾍﾟｰｼﾞ	2: ﾌｸｽｳ ﾍﾟｰｼﾞ)		1	1

- ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ -

UF-9000********************* - ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ - ***** - 201 555 1212- *********

3

```
* プ゜リント シテイマス *
システム トウロク リスト
```

リストの内容説明

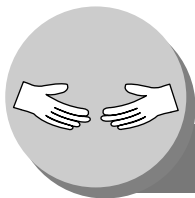
(1) 設定番号

(2) 設定項目

(3) 設定値

(4) 現在の設定 : --：設定値またはパスワードが設定されていません。設定値またはパスワードが設定されると、() 内に記述されます。

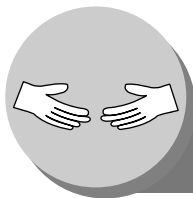
(5) 標準設定 : お買い上げ時の設定です。

(6) 設定の変更 : * 印は標準設定から変更されたものです。

トラブル

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは次の項目をチェックしてください。

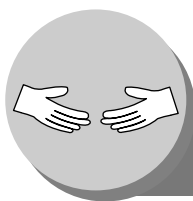
こんなときには	現象	処置	参照ページ
送信中	原稿が送り込まれないか、または複数枚同時に送り込まれる	1. 原稿にホチキスの針やクリップが付いていないこと、また汚れや破れのないことを確認してください。 2. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。	---
	済スタンプがプリントされない	システム登録 No.04 および No.28 の設定値を確認してください。	150 151
	済スタンプが薄すぎる	済スタンプを交換してください。	186
送信先の受信画質	送信した原稿に縦線が入る	お手元のコピーの画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告してください。コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	---
	送信した原稿が白紙で出てくる	1. 原稿が指定の向きにセットしてあることを確認してください。 2. お手元のコピーの画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告してください。コピーに問題がある場合は、原稿読取部（原稿台ガラス）を清掃してください。	

こんなときには	現象	処置	参照ページ
受信中	用紙切れ	用紙がなくなった場合は､エラーコード がディスプレイに表示されます。用紙を補給してください。	---
	用紙づまり	用紙がつまった場合は、エラーコードがディスプレイに表示されます。つまった用紙を取り除いてください。	---
	用紙が送り込まれない	用紙カセットに用紙がセットされていることを確認してください。用紙のセット方法については、該当する指示に従ってください。	---
	プリント終了時に用紙が排出されない	用紙が本機内部でつまっていないか確認してください。	---
	原稿自動縮小機能がはたらかない	縮小受信の設定値を確認してください。	151
通信	発信音なし	1.電話回線の接続を確認してください。 2.電話回線を確認してください。	16
	自動受信しない	1.電話回線の接続を確認してください。 2.受信モードの設定値を確認してください。 3.システム登録 **No.13 通信管理レポート**を「**アリ**」（初期値）に設定して、受信した原稿をメモリーからプリントしている場合（200 番目の処理になる可能性あり）、通信管理レポートのプリントが完了するまで自動受信は有効になりません。 4.シャットダウンモードになっていないか確認してください。DHCP「アリ」の場合、シャットダウンモードから復帰するとき、サーバー接続エラー中は受信できないことがあります。また、LAN ケーブルがはずれている場合も、サーバー接続エラー中は受信できないことがあります。	16 26 151
	送受信ができない	ディスプレイにエラーコードが表示されます。エラーコード表を参照して原因を特定してください。	180
操作	操作を受け付けない	本機の電源をオフにし、数秒後にオンにしてください。	---

主なエラーコード

通信できなかったときなどに、通信管理レポートにエラーコードが表示されます。エラーコードが表示されたときは、次の表に従って処置してください。他のエラーコードは、本体管理編取扱説明書を参照してください。

エラーコード	現象	処置	参照ページ
030	原稿がつまっている	1.原稿を正しくセットし直してください。 2.原稿づまりを取り除いてください。	本体管理編
031	原稿が長すぎるか、つまっている。文字サイズが「フツウ」「チイサイ」で原稿の長さが2m を超えている。文字サイズが「サイミツ」の場合は 400 dpi で 1.4m、600 dpi で 60 cm を超えている	1.原稿を正しくセットし直してください。 2.原稿づまりを取り除いてください。 3.原稿の長さを確認してください。	本体管理編
400	初期手順の途中で、受信局が応答しなかったか、または通信エラーが発生した	1.相手先を替えて確認してください。 2.原稿をセットし直し、再送してください。	--
401	中継局に受信用パスワードが必要なため、原稿を受信できない。中継局がメールボックスを持たない。中継局が送信側機器の ID 番号（ファクス番号）を要求している	中継局に確認してください。本機の ID 番号（ファクス番号）を登録してください。	--
402	初期手順の途中で通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	--
403	中継局側にポーリング機能がない	「ポーリング = アリ」を設定するように中継局側に連絡してください。	--
404/405	初期手順の途中で、通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	--
406	送信用パスワードが一致しない。受信用パスワードが一致しない。不正な相手局からセレクト受信モードで受信した	ワンタッチまたは短縮ダイヤルのパスワードまたは電話番号を確認してください。	84 90
407	受信局からのページ送信済み確認信号が得られない	数分後に再送してください。	--
408/409	遠隔側からのページ送信済み確認信号が判読できない	数分後に再送してください。	--
410	送信側による通信打切り	相手先を替えて確認してください。	--
411	ポーリング用パスワードが一致しない	ポーリング用パスワードを確認してください。	36
412	送信側からのデータが得られない	相手先を替えて確認してください。	--
414	ポーリング用パスワードが一致しない	ポーリング用パスワードを確認してください。	36
415	ポーリング送信エラー	ポーリング用パスワードを確認してください。	34
416/417/418/419	受信データに含まれるエラーが多すぎる	相手先を替えて確認してください。	--
420/421	受信モードにはなるが、送信側からのコマンドが受信できない	1.相手先のダイヤル間違い。 2.相手先を替えて確認してください。	--

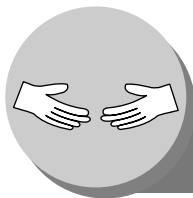
エラーコード	現象	処置	参照ページ
422/427	インターフェースに互換性がない	相手先を替えて確認してください。	--
430/434	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	--
436/490	受信データに含まれるエラーが多すぎる	相手先を替えて確認してください。	--
456	• 本機が以下のいずれかの条件のもとで、親展原稿を受信した、または親展原稿のポーリングを要求した 1. 親展原稿の受信に必要な空きメモリーがない 2. 親展メールボックスが一杯である 3. 受信した原稿をプリント中である • 本機が原稿の中継を要求されている場合	1. 通信予約レポートをプリントし、その内容を確認してください。 2. 本機がプリントを完了するまで待ってください。	98
492/493/494	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	--
495	電話回線が切断された	相手先を替えて確認してください。	--
501/502/503/504	内蔵 V.34 モデムで通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	--
540/541/542/543/544	送信中に通信エラーが発生した	1. 原稿をセットし直し、再送してください。 2. 相手先を替えて確認してください。	--
550	電話回線が切断された	相手先を替えて確認してください。	--
552/553/554/555	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	--
580	F コード機能をもたない機器へのサブアドレス送信	相手先を替えて確認してください。	80
581	F コード（サブアドレス）機能をもたない機器へのサブアドレスパスワード送信	相手先を替えて確認してください。	80
623	自動原稿送り装置に原稿がセットされていない	原稿をセットし直し、再送してください。	--
630	回線使用中による再ダイヤル失敗	原稿をセットし直し、再送してください。	--
631	ダイヤル中に STOP を押した	原稿をセットし直し、再送してください。	--

<次ページへつづく>

主なエラーコード

エラーコード	現象	処置	参照ページ
634	相手先からの無応答による、またはダイヤル間違いによる、再ダイヤル失敗 **注：** ビジートーンが検出されなかった場合、本機は再ダイヤルを 1 回しか行ないません。	電話番号を確認し、再送してください。	--
638	通信中に停電が発生した	電源コードとプラグを確認してください。	--
712	メールアドレスの誤り	登録されたメールアドレスを確認してください。SMTP サーバーの IP アドレスをネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
714	LAN にログオンできない	10Base-T/100Base-TX ケーブルの接続を確認してください。予期できない問題が発生しました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
715	TCP/IP 接続のタイムアウト	インターネットFAXのパラメーター設定値を確認してください。IP アドレス、ゲートウェイ IP アドレスの初期値、SMTP サーバーの IP アドレスを確認してください。	--
716	指定した SMTP サーバーにログオンできない	SMTP サーバーの IP アドレス設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
717	SMTP プロトコル伝送が不完全。SMTP サーバーのハードディスクが一杯の可能性あり	SMTP サーバーに障害があります。 ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
718	プリントデータ受信時のページメモリーオーバーフロー。用紙カセットの用紙サイズよりも大きいサイズをアプリケーションで選択した	原稿サイズと文字サイズを確認してください。受信側で対応しているサイズと文字サイズで再送してもらうように送信側に連絡してください。	--
719	LAN 経由で受信したデータ形式が受信側に対応していない	以下に示すような、対応するファイル添付形式で再送してもらうように送信側に連絡してください。 *TIFF-F 形式。 * 用紙のサイズに合った画像データ	--
720	POP サーバーと接続できない（POP サーバー IP アドレスの誤り）。POP サーバーのダウン	POP サーバーの IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
721	POP サーバーに接続できない（ユーザー名またはパスワードのエラー）	POP ユーザー名とパスワード、または APOP 設定値を確認してください。 ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--

エラーコード	現象	処置	参照ページ
722	DHCP サーバーからのネットワークパラメーター（例：IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトのゲートウェイ IP アドレス）の取得に失敗	1. LAN ケーブルの接続を確認してください。 2. ネットワーク管理者に問い合わせて、お手元のネットワークで DHCP が使用できるか確認してください。	16
725	DNS サーバー接続のタイムアウト DNS サーバーのダウン	DNS サーバーの IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	--
726	DNS サーバーからエラー応答を受信	POP サーバー名を確認してください。 SMTP サーバー名を確認してください。	--
728	送信したデータ（ PDF) 形式が受信側に対応していない (PDF 形式での送信は、インターネット FAX から PC への送信時のみご利用になれます）	送信ファイルフォーマット（F8-6)、またはシステム登録の「**177 送信ファイルタイプ**」を「**TIFF/JPEG**」に設定して送信してください。	155
729	SMTP サーバーとの接続時に認証（SMTP 認証）に失敗	SMTP 認証ユーザー名とパスワードを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	54 154
730	メール経由で PC から遠隔操作で、ジャーナルを取り出せない、またインターネットパラメーターやワンタッチ／短縮ダイヤルも登録できない	システム登録 **No.158 メールリモート登録**が「**アリ**」に設定してあるか確認してください。	154
731	中継送信要求を受けたときに手動ダイヤル用ダイアラーバッファが一杯（50 宛先まで）	予約通信終了後に中継送信要求を送信し直してもらうように送信元に連絡してください。	--
800/814/816/825	相手先が中継機能または親展機能を持っていない	相手先の設定を確認してください。	--
815	メールボックスが一杯	不要なファイルを削除してください。	--
826	アドレス帳（ワンタッチ / 短縮ダイヤル）に受信したサブアドレスが登録されていない	アドレス帳をチェックしてください。 相手先に確認してください。	--
870	送信原稿を蓄積中にメモリーフルとなった	1. ダイレクト送信してください。 2. オプションのメモリーカードを装着してください。	22 186

お知らせ

1. 上記以外のエラーコードが表示された場合は、もう一度通信してみてください。 処置をしてもエラーコードが表示される場合は、サービス実施会社にご相談ください。

トラブル

リモート登録時のエラーメッセージ

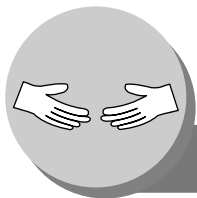
■ システムエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録時にエラーとなった場合に、本機より送信元へメールでエラーメッセージが送信されます。

	エラーメッセージ	原因と処置
1	554 Data transfer error (broken header)	ヘッダーまたはサブヘッダーの解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
2	554 Data transfer error (broken data)	データ解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
3	554 Data transfer error (FAX module)	LAN モジュールとの通信中に FAX モジュールでデータ転送エラーが発生しました。再送してください。
4	554 MIME attachment not supported (message/file)	サポートしていない MIME の添付ファイルが送られました。テキストデータだけの添付ファイルで再送してください。
5	554 MIME format not supported	サポートしていない MIME タイプが送られました。テキストデータだけで再送してください。
6	554 G3 relay permission denied	中継要求のあったドメイン名は登録されていません。
7	554 Relay address unknown	中継要求のあった最終受信局の電話番号が不明です。
8	554 Memory full (FAX module)	FAX メモリーが一杯です。あとで再送してください。
9	554 Data transfer error	リストに記載されていないエラーです。あとで再送してください。

■ リモート登録失敗時のエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録が失敗したときに、本機より送信元へメールでエラーメッセージが送信されます。

	エラーメッセージ	原因と処置
1	@command ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@command」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
2	@begin コマンドがありません。	ブロック開始コマンド「@begin」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@begin」コマンドを加えて再送してください。
3	@begin ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
4	@system ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@system」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
5	@sender ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@sender」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
6	@domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
7	@program ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@program」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
8	@system コマンドがありません。	システム開始コマンド「@system」が「@system」ブロックで記述されていません。「@system」コマンドを加えて再送してください。
9	ＦＡＸ 動作中のためリモート登録できません。	• ファクス通信が予約されている場合、ファクス動作終了後に再送してください。 • 予約レポートを確認し、予約がない状態にして再送してください。
10	リモート登録パスワードチェックエラー。	パスワードを修正して再送してください。
11	リモート登録が許可されていません。	システム登録の「**158 メールリモート登録**」を「**アリ**」に設定してください。
12	Format Error:< エラー行 >	入力したフォーマットが正しくないか、または各宛先選択用の記述データが一行で完結していないため不完全となっています。修正して再送してください。
13	Warning:< エラー行 >	入力したフォーマットが正しくないか、または入力した文字数が最大桁数を超えています。修正して再送してください。
14	データが長すぎます。	宛先名、ドメイン名、送信元名、プログラム名などの文字数が最大桁数を超えています。
15	@list ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@list」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
16	@select-domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@select-domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
17	以下のデータに上書きされました。 ：<（上書きされたデータ）>	データが上書きされた場合に返送されます。
18	ダイヤルインデータの登録がありません。 ：< エラー行 >	設定しようとしたモデムダイヤルイン番号に該当するダイヤルが登録されていません。装置のダイヤル設定を確認してください。

トラブル

済スタンプの交換／増設メモリーカード

■ 済スタンプ

済マークが薄くなってきたら交換します。

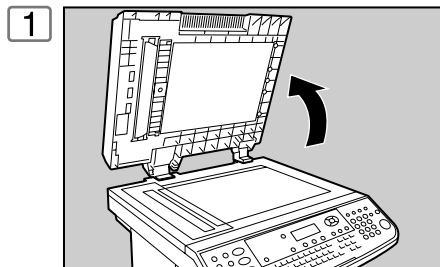
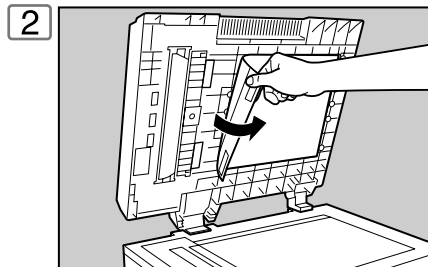
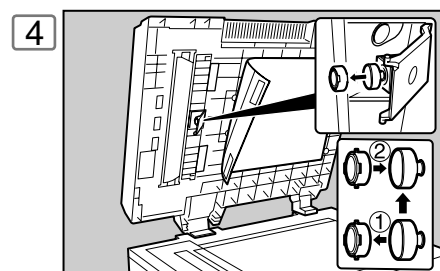
済スタンプのはずしかた

1

ADF を開ける

2

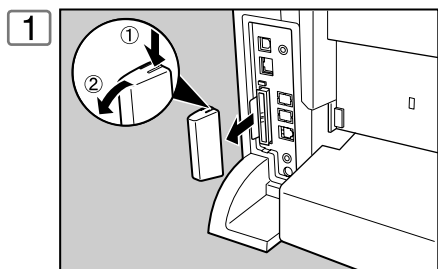
原稿押えパットを一部はがす

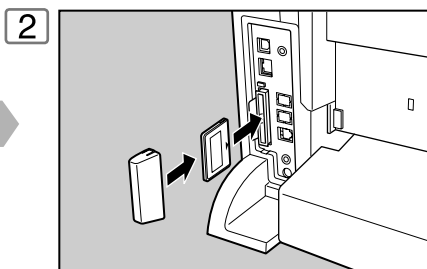
4

済スタンプをはずし、新しいものへ交換する
済スタンプ品番：UG-4105-2

■ メモリーカード（オプション）の設置

本機に内蔵されているメモリーのほかにオプションの増設メモリーカードを取り付けて、大量のファクスをメモリー送信／受信、または代行受信することができます。

- 本機のメモリーに原稿が蓄積されているときに、増設メモリーカードを取り付けると、本機のメモリーに入っていた内容は消去されます。
- 増設メモリーカードを取り付ける前に、通信予約レポートをプリント（☞ 98 ページ）して、本機のメモリーに何も蓄積されていないことを確認してください。
- ディスプレイに“メモリー ジュシン サレテイマス”が表示されているときは、メモリーの内容をプリント（☞ 88 ページ）して、メモリーに何も蓄積されていない状態にしてください。

1

(1) 電源を切り電源コードを抜く
(2) メモリーカードカバーをはずす

2

(1) ”Panasonic" の文字面が本体側になる向きで、とまるまで確実に差し込む
注意： 差し込む向きを間違えると、接続ピンが曲がる恐れがあります。
(2) メモリーカードカバーを付ける

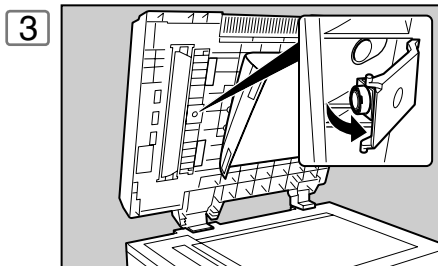
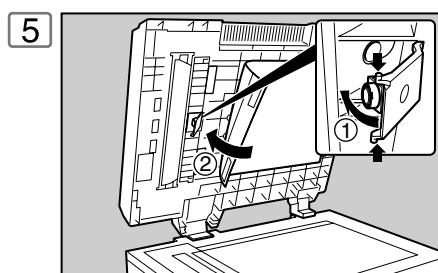
お知らせ

1. 本機のメモリーに蓄積されていた原稿は、増設メモリーカードを抜くと消去されます。

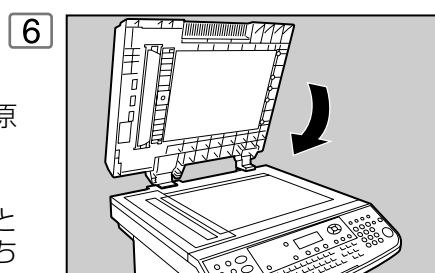
3

スタンプフォルダーを開ける

4

5

スタンプフォルダーを閉じ、原稿押えパットを戻す

お知らせ：
スタンプフォルダーを閉めるときは、両側のラッチ部分を持ち静かに閉めます。

6

ADF を閉じる

3 電源コードを接続し、電源を入れる。
システム登録リストをプリント (☞176 ページ) し、
「**99 メモリーサイズ**」（☞153 ページ）で確認する。

その他

主な仕様

G3 ファクス部仕様

適用回線	電話回線（ITU-T Group 3）、ファクシミリ通信網 （F 網 2 種接続サービス）
直流抵抗値	145Ω
帯域圧縮方式	JBIG, MH, MR, MMR (ITU-T 勧告準拠)
モデム形式	ITU-T V.34, V.17, V.29, V.27 ter and V.21
通信速度	33600 - 2400 bps
原稿サイズ	A5 - A4 最大　: 原稿台ガラス　: A4 　　　　ADF　: 216 × 2000 mm 最小　: 原稿台ガラス　: 制限なし 　　　　ADF　: A5
読取方式	CCD イメージセンサーによる平面走査
有効読取幅	207 mm
走査線密度	水平方向　垂直方向 ふつう 8 dot/mm × 3.85 lines/mm 小さい 8 dot/mm × 7.7 lines/mm 細密 16 dot/mm × 15.4 lines/mm(補間) 主走査　: 8 dot/mm　: ふつう、小さい 　: 16 dot/mm　: 細密（400 dpi 相当） 　: 600 dpi　: 細密（600 dpi） 副走査　: 3.85 lines/mm　: ふつう 　: 7.7 lines/mm　: 小さい 　: 15.4 lines/mm　: 細密（400 dpi 相当） 　: 600 dpi　: 細密（600 dpi）
ワンタッチ／短縮ダイヤル登録件数	200 宛先 (ワンタッチキー 32、プログラムキー 8、短縮ダイヤル 160）
イメージメモリー容量	2MB（お買い上げ時）　: 約 120 枚 2MB 増設時　: 約 240 枚 4MB 増設時　: 約 360 枚 8MB 増設時　: 約 600 枚 • 保存できる枚数は、A4 標準原稿（ A4 サイズ 700 字程度の原稿）を、文字サイズ「ふつう」で読み取ったときの枚数です。原稿によっては枚数は異なります。 • タイマー送信などの通信予約でメモリーを使用している場合は、メモリーに保存できる枚数が少なくなります。
消費電力	待機時　: 約 19 W ～ 800 W 節電モード時　: 約 19 W スリープモード時　: 約 10 W シャットダウン時　: 約 0.9 W 送信時　: 約 45 W 受信時　: 約 900 W 最大　: 約 900 W

インターネットファクス／ E メール部仕様

適合規格	10Base-T Ethernet (IEEE 802.3), 100Base-TX Fast Ethernet (IEEE802.3u)
適用回線	10/100Base-TX port: RJ-45
適合規格	IETF RFC 2305, ITU-T T.37
通信プロトコル	TCP/IP, SMTP, POP3, MIME
データ形式	TIFF [IETF RFC 2301 Profile S, F, J] PDF (送信時のみ) JPEG (カラー送信時のみ)
有効受信幅	最大：A4 サイズ

オプションと消耗品

品名	品番	内容
ハンドセット	UE-403146	
済スタンプ	UG-4105-2	
メモリーカード	UE-410046-AZ UE-410047-AZ UE-410048-AZ	2 MB フラッシュメモリーカード 4 MB フラッシュメモリーカード 8 MB フラッシュメモリーカード

■ 停電のとき

停電中はファクスのディスプレイは消えています。ファクスを送ったり受けたりすることはできません。また、オプションのハンドセットをご利用の場合、電話をかけることはできません。

停電になったとき	相手の方とお話し中	そのまま通話できます。
	ファクス送信中	送信は中断されます。停電復旧後、もう一度送信してください。
	ファクス受信中	受信は中断されます。停電復旧後、相手の方にもう一度送信を依頼してください。
停電中	電話をかける	できません。
	電話を受ける	できます。
	ファクスを送る	できません。
	ファクスを受ける	できません。
停電復旧後	メモリーの内容	メモリーに蓄積されている送信および受信データは保持されています。
	ファクスに登録／設定した内容	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの登録内容、その他各種登録は、停電中も消えることなく保持されています。

■ チェック＆コール

万一、本機が故障した場合には、本機が自動的に当社指定のサービス実施会社に障害状況を連絡する機能です。詳しくはお買い上げの販売店にまたは、サービス実施会社にお問い合わせください。

お知らせ

1. 原稿を読み取り中に停電した場合は、読み取りは中断されます。停電復旧後、もう一度読み取りをしてください。 ファクス送信時、原稿読み取り後のメモリー送信中に停電した場合は、 停電復旧後、直ちに再送信されます。

用語集

10Base-T/ 100Base-TX	イーサーネット規格の一種です。 「10/100」はバンド幅が 10/100 Mbps の意味で、このバンド幅は単一チャンネル・ベースバンドのベースとなっています。「T」は撚り（Twisted）対の意味で、この規格のケーブルは 2 対の非シールド撚り線からなります。
ADF (自動原稿送り装置)	複数枚の原稿をセットして、1 枚ずつ読取り部へ送る装置です。
BPS (Bits Per Second)	電話回線経由で送信されるデータ量の単位です。本機は常に最大伝送速度で動作開始しますが、電話回線の状況や受信側機器の能力に応じて伝送速度を自動的に落とします。
DTMF (Dual Tone Multi Frequency)	電話機の各ダイヤルボタンの各数字を表わす 2 つの周波数を組み合わせた信号です。一般に、プッシュホン式ダイヤル呼出しを指します。
ECM (Error Correction Mode)	G3 ファクス通信を行なっているときに、通信エラーを訂正する機能です。
FROM 選択	あらかじめプログラム登録してある 24 の送信者名、E メールアドレス、または電話番号のうちの 1 つを発信元情報として送信前に選択することができます。
G3 モード (Group 3)	現在最も普及している、G3 規格に準拠したアナログ電話回線用のファクシミリ手順です。
IP アドレス	インターネットに接続されたコンピューターなどの住所にあたる数列です。
ISP (Internet Service Provider)	インターネットへの接続サービスを提供する組織のことです。
ITU-T	国際電気通信連合電気通信標準化部門。旧国際電信電話諮問委員会 (旧 C.C.I.T.T)。
ITU-T Image No.1	送信速度と機器能力との比較を可能にする業界標準原稿のことです。
LAN (Local Area Network)	オフィス、工場、大学などといった隣接エリアに限定された、データの統合および交換のためのコンピューターネットワークシステムです。
LAN 中継パスワード	LAN 中継通信を行う際に、パスワードとして用いる E メールアドレスです。 LAN 中継通信の宛先を表す E メールアドレスの、ユーザー名（@ の左側）の部分と比較して、一致した場合に LAN 中継通信を行います。
LCD	本機の状態表示をする液晶ディスプレイのことです。
MAC アドレス	装置に割り当てられるハードウェアアドレスで、MAC (メディア・アクセス・コントロール) アドレスともいいます。 MAC アドレスは設定不可能で、コロン（：）で区切られた 6 つの 16 進数からなります。 例：00:00:c0:34:f1:50

MAPI (Messaging Application Program Interface)	メッセージ送信のための Windows 標準インタフェースです。ワープロソフトや表計算ソフトなどのメニューから、編集中の文書を直接 E メールで送信するようなことが可能です。
MDN (Message Disposition Notifications)	メールが読まれたかどうかを確認する為に、送信側から MDN 要求を付加して送付します。
MIME (Multipurpose Internet Mail Extension)	インターネット上で、テキストデータ以外のマルチメディア情報も扱えるように拡張した、E メールの通信手順です。
POP (Post Office Protocol)	メールサーバーにアクセスして自分宛のメールを取り出すための通信手順です。
PSTN (Public Switched Telephone Network)	公衆電話交換ネットワークを指します。相互に接続された交換機と送信施設からなるネットワークです。
SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)	インターネット上でメールを送受信するための主な通信プロトコルです。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)	インターネットで使用されているプロトコルの最も基本的な集合体（プロトコルスイート）であり、あるインターネット端末と別の端末との間のデータ転送を可能にします。
TIFF (Tagged Image File Format)	異機種間でのグラフィックデータの交換ができるようデータの前にタグと呼ばれる部分を設け、データの記述形式を記載したデータファイルです。本製品の TIFF ファイルは、MH 方式によりデータを圧縮しています。
TIFF イメージビューアー	TIFF ファイルの中身を閲覧するための機能を持ったプログラムです。市販の TIFF ビューアーでは、本製品から送られた TIFF ファイルを表示できない場合があります。
宛先名	各ワンタッチ／短縮ダイヤル番号の登録名です。
イーサーネット	LAN 上のコンピューターおよび装置をネットワーク化する最も一般的な通信規格。ほぼすべてのタイプのコンピューターが対応しています。
イメージメモリー容量	原稿の各ページを記憶するために本機が利用できるメモリーの量を意味します。ITU-T 勧告の Image No. 1 原稿を基に、読込み可能枚数を規定しています。
インターネット	相互に接続された、TCP/IP プロトコルを使用するさまざまなネットワークの巨大な集合体。個々のネットワークは接続されて全世界をつなぐ巨大なインターネットを形成します。

<次ページへつづく>

その他

用語集

イントラネット	会社内部または組織内部にある非公開のネットワーク。イントラネットでは、公開されているインターネットと同じ種類のソフトウェアを使用しますが、その用途は内部的なものに限定されます。
エラーコード	通信エラー、トラブルなど発生時に表示するコードです。
クライアント	クライアント (端末) コンピューターの意味で、LAN 上でデータベースを共用したり、グループ作業や通信を行うときに使用します。
グループダイヤル	１つのプログラムボタンに複数宛先を登録できます。１回の操作で順次同報送信ができます。
固定縮小プリント	すべての着信原稿を一定の縮小率（例：75%）でプリントします。
最終宛先	LAN 中継通信時の最終送信宛先です。
サーバー	クライアント（端末）コンピューターに対してデータ資源、通信接続、データ保存空間その他のサービスを提供する、ネットワークに接続されたコンピューターまたは装置をさします。メールサーバーソフトウェアは、ネットワーククライアントがメールアカウントを保有してメールの送受信を行なうことを可能にしています。
サブアドレス	着信ファクスのルーティング、転送または中継を実行するための ITU-T 勧告です。
サブアドレスパスワード	サブアドレスに対応する追加機密保護のための ITU-T 勧告です。
サブネットマスク	ネットワーク ID で定義されたネットワークの、サブセグメントを管理するためのマスクビット列です。
自局登録	自局登録をすることで、通信のときに相手機に自局の情報を表示できます。たとえば、発信元、文字 ID、日時などがあります。
システム登録リスト	本機のシステム登録の設定値をリストにしてプリントできます。
自動縮小プリント	標準サイズの普通紙にプリントできるように、受信した原稿を自動的に縮小する機能です。たとえば、B4 サイズの着信原稿を縮小して A4 サイズの用紙にプリントします。
自動受信	ファクスが自動的に着信をおこない原稿を受信するモードです。
受信側パスワード	原稿受信前に照合される 4 桁のパスワードのことです。
手動受信	着信原稿を受信するのに使用者の操作が必要なモードです。
数字 ID	通信相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報です。
済スタンプ	送信が完了したページ、またはメモリーへ読込まれたページに済スタンプが押されます。済スタンプの ON、OFF は任意に切替えできます。

正順プリント	受信した原稿を送信した順序でプリントする機能です。
節電モード	指定時間経過後に定着器を OFF にして、待機モードよりも消費電力を抑えてエネルギーを節約します。
セレクト受信	ダイヤルに登録してある電話番号の下 4 桁を照合し、一致したファクスからのみ本機が受信する機能です。
送信側パスワード	原稿送信時に照合される 4 桁のパスワードのことです。
送信予約	本機が別の機能を実行しているときに送信予約ができます。
送達通知	送信側インターネット FAX から受信側インターネット FAX へ出されるメッセージで、送達通知 (MDN) 要求のことです。受信側インターネット FAX は、メッセージ（メール）を読むと送達確認メッセージを返送します。
タイマー送信	指定時刻に原稿の送信ができます。
タイマーポーリング	指定時刻にポーリング通信ができます。
ダイレクト SMTP	インターネットファクス同士がメールサーバーを経由せずに、ファイアーウォール（イントラネット）内で互いに直接通信を行なう機能です。
蓄積原稿	本機で読込み済でメモリーに記憶されている原稿です。
中継アドレス	LAN 中継通信時に中継局を登録している 3 桁の短縮ダイヤルの番号です。
中継局	中継局では、受信した原稿を指示された宛先へ、順次同報で転送することができます。
中継送信	発信局から原稿を LAN 中継局へ送信すると、中継局はさらにその原稿を最終受信側端末局へ送信します。
中継ネットワーク	中継局経由で通信する機器のネットワークのことです。
重複プリント	縮小できないくらい大きな原稿は、約 13 mm 重ね合わせて 2 つのページに分割して自動的に出力されます。
直接ダイヤル	電話番号または E メールアドレスを、テンキーまたは文字ボタンで入力して直接ダイヤルする方法です。
通信管理レポート	最新の通信結果（直近の 200 件）を一覧にしてプリントできます。
デフォルトルーターIP アドレス	ルーターのアドレスで、インターネット FAX との通信時に他のネットワークがどのルートをとったらよいか判断するときに使用します。
テンキー	コントロールパネルにある数字キーです。
同報送信	プログラム登録された複数の宛先に同じ原稿を送信する機能。

＜次ページへつづく＞

用語集

ドメイン名	インターネットに接続された個々のコンピューターを一意に識別する名称です。ドメイン名は DNS サーバーによって IP アドレスから翻訳されます。これは、IP アドレスが変更された場合でも、ユーザーに親しみやすい（記憶されやすい）名称を保持することが目的です。
ネットワーク	2 台以上のコンピューターを相互に接続してリソースを共有すると、コンピューターネットワークになります。さらに 2 つ以上のコンピューターネットワークをつなぐと、インターネットが形成されます。
ネットワークアドレス	アドレス帳に登録される 4 桁の固有アドレス番号で、中継ネットワーク上にある特定の端末局を識別するのに使います。
濃度	送信する原稿に合わせて読取りの濃度を設定できます。
発信元	会社名または名前などを登録します。
ハーフトーン	黒と白の中間色（グレー）を階調で表現します。
ハンドシェーキング	送信側と受信側が通信するため、実際にデータを転送する前に、双方の通信方法や条件、プロトコルなどをあらかじめやり取りしておく手順のことです。
ビューモードー通信管理	通信管理レポートを出力することなく通信管理の簡単な内容を LCD ディスプレイに表示することができます。
ビューモードー通信予約ファイル	通信予約レポートを出力することなく通信予約ファイルの簡単な内容を LCD ディスプレイに表示することができます。
ファイル	メモリーを使っての送受信を行なったとき作成されます。たとえば、タイマー送信などがあります。
ファンクションキー	各機能を使うときに押します。
符号化方式	各種機器が使用するデータ圧縮方式。本機は、Modified Huffman (MH)、Modified Read (MR)、Modified Modified Read (MMR)、Joint Bi-level Image Group (JBIG) 符号化方式を採用しています。
プリント縮小モード	本機にセットされた用紙に収まるように縮小してプリントする方法です。
プログラムキー	複雑な機能の操作をプログラムキーに登録したり、複数の宛先を登録して、簡単なキー操作で機能を使えます。
プロトコル	複数のデバイスやコンピューターシステムが互いに通信するための規約。
ヘッダー	送信側ファクスが送信する、また受信側ファクスが各ページの先頭にプリントする部分です。ヘッダーは、送信側ファクスの情報（日時など）を提供します。

ホスト	ネットワーク上の他のコンピューターを集中管理するコンピューターです。ホストはドメイン内で唯一のホスト名を持ちます。ホストは全ドメイン名（FQDN）の最初（左端）の部分となります。 例： 本機のＥメールアドレスが Fax@fax01.panasonic.com であるとすると、「fax01」はホストに、「panasonic.com」はドメインに相当します。
ホームページ	ブラウザー起動時に最初に表示されるページ、あるいは会社、組織などの主要なウェブページです。
ポーリング	別のファクスから原稿を取り出す機能です。
ポーリングパスワード	登録された４桁の暗証番号で、ポーリングが行なわれている原稿に対する機密保護を有効にするのに使います。
メモリー送信	原稿をメモリーに読込んでから送信します。
メモリー代行受信	用紙またはトナーがなくなったときに着信原稿をメモリーに蓄積する機能です。
メモリー転送	指定した短縮ダイヤルの宛先へ、全ての着信ファクスとＥメールを転送する機能です。
メールアドレス	メールでデータを送受信するためのアドレスです。ユーザー名、サブドメイン名、ドメイン名で構成されています。
メールゲートウェイIP アドレス	メールサーバーのアドレスです。
メーリングリスト	あるアドレスにメールを送り、自動的にメーリングリストに登録されている複数の人にＥメールのコピーを送るためのＥメールアドレスです。
文字 ID	相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。
文字サイズ	送信する原稿の文字の大きさに合わせ、変更できます。
文字ボタン	各種登録をするときに文字または記号を入力するためのボタンです。
モデム	本機から出された信号を電話回線経由で伝送できる信号に変換する装置です。
ルーター（ゲートウェイ）	複数の LAN 間の通信を可能にするネットワーク装置です。インターネットでは、それぞれの LAN のルーターが、インターネットを経由して転送すべきデータの経路を管理しています。

その他

ITU-T Image No.1

ITU-T Image No.1 に準拠している標準原稿のサンプルです（以下のサンプルでは、縮尺が実際のものと異なっています）。

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

Registered in England: No. 2038
Registered Office: 60 Vicara Lane, Ilford. Essex.

その他

索引

索引

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番 UF-9000
販売店名	電話（　　　）　　-	
サービス実施会社名	電話（　　　）　　-	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー
〒153-8687 東京都目黒区下目黒2-3-8 電話(03)3491-9191

PJQMC0063ZE
T0604-4075
July 2005
Printed in Japan